

# mitsubishi

Changes for the Better

2006年度版 設計・施工資料

三菱ハウジングエアコン

# '06

## フリービルトインタイプ 設計・施工用資料集 (総集編)

MBZ-28RAS

MBZ-36RAS

MBZ-40RAS

MBZ-50RAS

人と暮らしの夢づくり

Advance to the Next

本資料集掲載商品の価格には、配送・設置調整費・パイプ・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。  
エアコンを廃棄する場合は家電リサイクル法に基づく収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料)が必要になります。

## フリービルトインタイプ 設計・施工用資料集 目次

セールスポイント	3
リニューアルについて	4
可能な施工例と構成図	5
使用別売部品一覧表	6
製品仕様表	7
外形寸法図（出荷仕様）	9
電気配線図	11
設置パターン一覧	12
<b>据付工事</b>	
室内・室外ユニット据付図	16
室内ユニットの据付前に	17
室内ユニットの据付手順	17
室内ユニットの吊り込みについて	18
壁穴あけ/ドレン配管/電源・内外接続電線/ 切換スイッチの設定/冷媒配管/試運転要領	19
<b>据付時の注意事項</b>	
冷媒配管に関する注意事項	23
アース工事に関する注意事項	23
アフターメンテナンスに関する注意事項	24
室外ユニット据付設置例	25
設置パターン別施工要領	27
<b>&lt; 開口穴と点検口の位置および必要最小空間 &gt;</b>	
一間幅天袋吊り設置	27、32
一間幅天袋置き設置	27、35
据付要領（一間幅天袋吊り・置き設置）	38
半間幅天袋吊り設置（グリル縦置き）	28、40
据付要領（半間幅天袋吊り設置）	43
半間幅天袋吊り設置<一面グリル>	28、45
据付要領（半間幅天袋吊り設置<一面グリル>）	49
一間幅地袋置き設置	29、52
半間幅地袋置き設置（グリル縦置き）	29、55
据付要領（一間幅地袋置き・半間幅地袋置き設置）	58
半間幅地袋置き設置<一面グリル>	30、47
据付要領（半間幅地袋置き設置<一面グリル>）	49
下がり天井設置（キャンバスダクトなし）	30、60
下がり天井設置（キャンバスダクトあり）	31、63
据付要領（下がり天井設置<一面グリル>）	67
天埋設置吸吹両ダクトタイプ（1方向吹出）	71
天埋設置吸吹両ダクトタイプ（2方向吹出）	77
据付要領（天埋設置吸吹両ダクトタイプ<1方向吹出・2方向吹出>）	83
天埋設置下吸込パネルタイプ（1方向吹出・キャンバスダクトなし）	89
天埋設置下吸込パネルタイプ（1方向吹出・キャンバスダクトあり）	93
天埋設置下吸込パネルタイプ（2方向吹出・キャンバスダクトなし）	98
天埋設置下吸込パネルタイプ（2方向吹出・キャンバスダクトあり）	102
据付要領（天埋設置下吸込パネルタイプ）	107

## 別売部品据付要領

吹出チャンバー	MAC-500FC	114
吹出グリル	MAC-501FG/502FG	115
吹出ボックス	MAC-503FB	116
吸込グリル	MAC-504SG/505SG	118
吸込ボックス	MAC-506SB	119
一面グリル	MAC-525TG/526TG	121
一面グリル用据付ボックス	MAC-529TB	123
下吸込パネル	MAC-530UP	125
キャンバスダクト	MAC-508CD	126
ダクト吸込チャンバー	MAC-509SC	127
ダクト吸込ボックス	MAC-510SB	128
ダクト吸込グリル	MAC-511SG/512SG	129
ロスナイ給気フランジ	MAC-513LK	130
ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	131
フレキシブルダクト	MAC-515FD/516FD	132
ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	133
ダクト大吹出グリル	MAC-518FG/519FG	134
ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	135
ダクト小吹出グリル	MAC-521FG/522FG	136
レシーバー取付具	MAC-523RT	137
レシーバー延長コード	MAC-524RC	138

## 設置パターン別特性表

運転音曲線	139
風量－能力・入力性能補正曲線図	144

## 機器単体特性表

機外静圧	145
圧力損失	151

能力曲線図	152
-------	-----

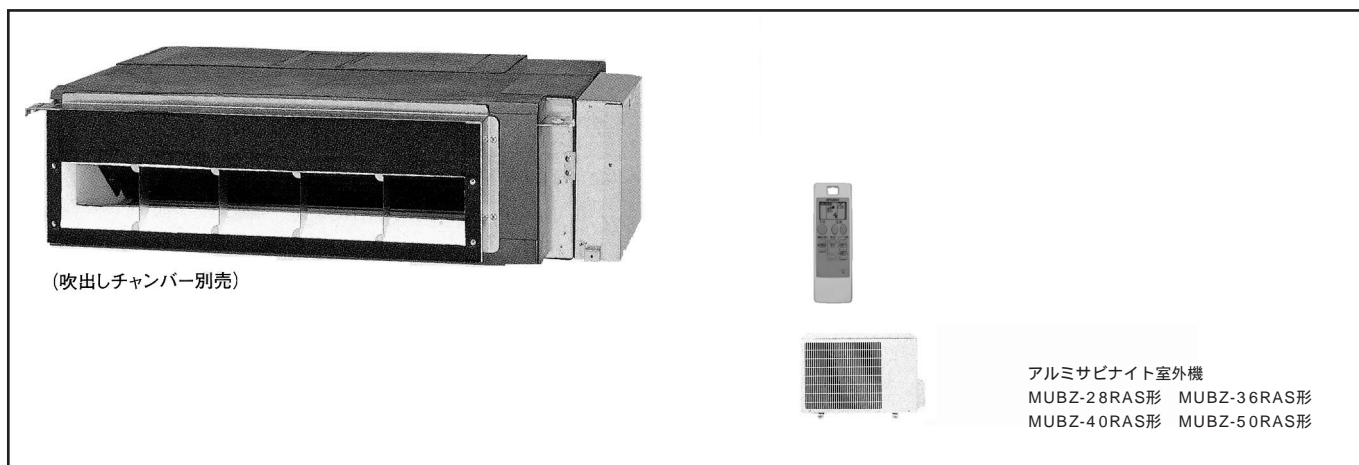
故障診断	154
------	-----

## セールスポイント

床の間の地袋、押入れの天袋・地袋、リビングの上がり天井・天井懐等、お部屋のつくりをいかしながら、省スペースでの設置ができます。

お部屋の上の方へ設置するときは<上吸込/下吹出>、お部屋の下の方へ設置するときは<下吸込/上吹出>と変えることで、効率の良い冷房・暖房が可能です。

また、吸込口と吹出口を別々にできるため、インテリアに合わせたいろいろな設置をご検討いただけます。



### MBZ-28RAS形

	畳数のめやす	能力	消費電力
暖房	9～12畳 (15～19㎡)	4.2kW (0.9～6.6kW)	1,065W (115～1,900W)
冷房	8～12畳 (13～19㎡)	2.8kW (0.7～4.0kW)	645W (125～1,140W)

設置パターン別に別売部品が必要です。

室内ユニット/高さ230×幅770(+65)×奥行450mm  
室外ユニット/高さ550×幅800(+69)×奥行285mm

電|内外選択|単相200V・15A・直結|芯3芯|管|液φ6.35・ガスφ9.52

### MBZ-36RAS形

	畳数のめやす	能力	消費電力
暖房	11～13畳 (17～22㎡)	4.8kW (0.9～7.6kW)	1,340W (115～2,460W)
冷房	10～15畳 (16～25㎡)	3.6kW (0.7～4.1kW)	1,000W (125～1,180W)

設置パターン別に別売部品が必要です。

室内ユニット/高さ230×幅770(+65)×奥行450mm  
室外ユニット/高さ550×幅800(+69)×奥行285mm

電|内外選択|単相200V・15A・直結|芯3芯|管|液φ6.35・ガスφ9.52

### MBZ-40RAS形

	畳数のめやす	能力	消費電力
暖房	13～17畳 (22～27㎡)	6.0kW (0.9～8.6kW)	1,670W (115～2,850W)
冷房	11～17畳 (18～28㎡)	4.0kW (0.7～4.3kW)	1,110W (125～1,250W)

設置パターン別に別売部品が必要です。

室内ユニット/高さ230×幅770(+65)×奥行450mm  
室外ユニット/高さ550×幅800(+69)×奥行285mm

電|内外選択|単相200V・15A・直結|芯3芯|管|液φ6.35・ガスφ9.52

### MBZ-50RAS形

	畳数のめやす	能力	消費電力
暖房	15～18畳 (24～30㎡)	6.7kW (0.9～9.0kW)	2,040W (115～3,110W)
冷房	14～21畳 (23～34㎡)	5.0kW (0.7～5.7kW)	1,650W (125～2,200W)

設置パターン別に別売部品が必要です。

室内ユニット/高さ230×幅770(+65)×奥行450mm  
室外ユニット/高さ550×幅800(+69)×奥行285mm

電|内外選択|単相200V・20A・直結|芯3芯|管|液φ6.35・ガスφ9.52

#### (1) インテリアを重視したオーダーメイド感覚の設置が可能

住宅内の限られたデッドスペースを有効に活用できるコンパクトサイズの室内ユニットです。P5の設置例のように様々な設置パターンをインテリアにあわせて選べるオーダーメイド感覚のエアコンです。

#### (2) リプレース対応新冷凍機油

既設配管を洗浄レスで再利用できるリプレース対応新冷凍機油を採用。

#### (3) 脱臭機能を搭載

ワイドカテキンエアフィルターを採用

別売部品 吸込グリル(MAC-504SG/505SG)、下吸込パネル(MAC-530UP)、ダクト吸込ボックス(MAC-510SB)に同梱しています。

#### (4) ドレンアップメカを内蔵

室内ユニット下面から最大500mmまでドレンアップ可能です。

#### (5) ロスナイユニットとの接続が可能

天埋設置吸吹両ダクトタイプの場合(別売部品 ダクト吸込ボックス:MAC-510SB使用時)にロスナイセントラルユニットからの給気口を兼ねることができます。

また、このときロスナイに接続するため、別売部品 ロスナイ給気フランジ(MAC-513LK)が必要となります。別売部品ダクト吸込ボックス(MAC-510SB)にロスナイ給気フランジ(MAC-513LK)を取付けてください。



## リニューアルについて

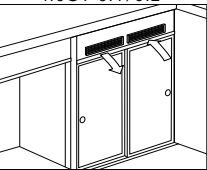
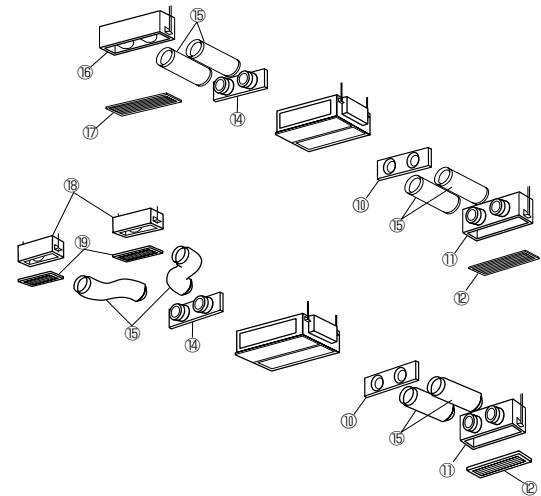
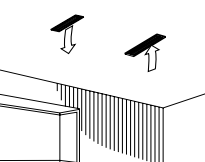
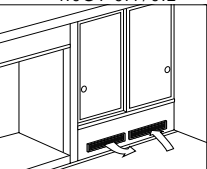
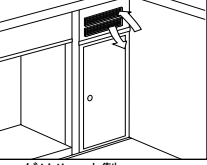
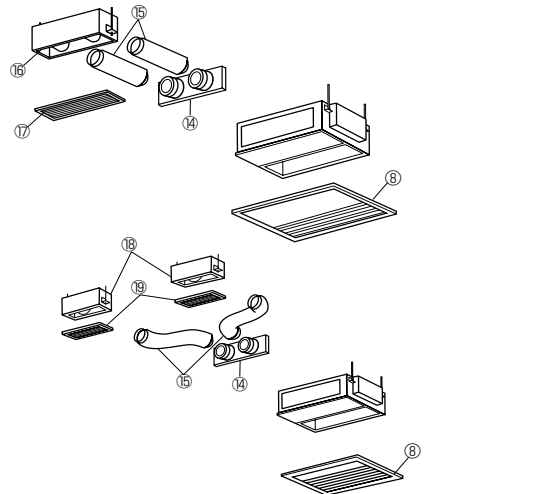
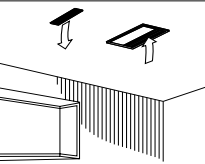
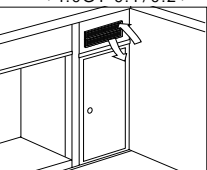
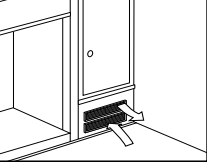

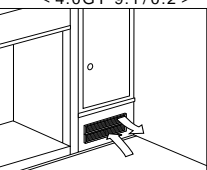

下表に基づきリニューアルが可能です。新機種の使用冷媒は、R410Aです。  
 またMBZ-\*\*10S、\*\*14Sの別売部品は使用できませんので、MBZ-\*\*RASの別売部品をご使用願います。  
 リニューアルに際し、既設配管の利用が可能です。下記にご注意願います。

- ・古いエアコン取外しの際には必ずポンプダウンを行い、冷媒・冷凍機油の回収を実施してください。
- ・配管厚が下記であることを確認してください。  
 $\phi 6.35 / \phi 9.52 \text{mm}$ を使用する場合、配管厚0.8mm以上あること。  
 $\phi 12.7 \text{mm}$ を使用する場合、配管厚1.0mm以上あること。
- ・フレアは新冷媒対応に切り直してください。  
 配管内が極端に汚れている場合にはR22と同様に洗浄するか新しい配管に交換してください。  
 施工用工具は、R410A用を使用してください。

設置パターン	既設の形名	
分離グリル設置	MBZ-2810S/2814S	⇒
下がり天井設置	MBZ-3210S/3214S	
天井埋込設置	MBZ-4010S/4014S	
		MBZ-28RAS MBZ-36RAS MBZ-40RAS/50RAS

- ・冷媒配管/ドレン配管の接続位置が異なるため、修正が必要です。
- ・室内ユニットの吊りボルトピッチが異なるため、修正が必要です。
- ・MBZ-\*\*10S、\*\*14Sの別売部品は使用できませんので、MBZ-\*\*RASの別売部品をご使用願います。
- ・MBZ-\*\*RASシリーズは、ドレンポンプを内蔵していますので別売のドレンアップメカは不要です。
- ・MBZ-36RAS/40RAS/50RASにリニューアルする場合、既設配管径が $\phi 12.7 \text{mm}$ （ガス管）でも再利用可能です。  
 別売の異径継手：MAC-A20JPをご利用ください。
- ・MBZ-\*\*PSシリーズからのリニューアル時は、MBZ-\*\*RASシリーズの別売部品をそのままご使用できます。

# 可能な施工例と構成図

設置場所	施工例と構成図	設置場所	施工例と構成図	
一 間 幅 設 置	<p>&lt;グリル&gt;木製 MAC-501FG/504SG(白木) MAC-502FG/505SG(ホワイト) &lt;4.0GY 9.1/0.2&gt;</p>  <p>詳細はP32～P39を参照してください。</p>	吸 吹 両 ダ ク ト	<p>詳細はP71～P88を参照してください。</p>  <p>⑯、⑰は、各々2つ必要です。</p>  <p>&lt;吹出グリル&gt;(アルミ+板金)製+植毛付 MAC-518FG/521FG (ホワイト)&lt;4.0GY 9.1/0.2&gt; MAC-519FG/522FG (ベージュ)&lt;7.7YR 6.9/3.7&gt; &lt;吸込グリル&gt;(アルミ+板金)製 MAC-511SG (ホワイト)&lt;4.0GY 9.1/0.2&gt; MAC-512SG (ベージュ)&lt;7.7YR 6.9/3.7&gt;</p>	
	<p>&lt;グリル&gt;木製 MAC-501FG/504SG(白木) MAC-502FG/505SG(ホワイト) &lt;4.0GY 9.1/0.2&gt;</p>  <p>詳細はP52～P59を参照してください。</p>			
天 袋	<p>&lt;グリル&gt;木製 MAC-501FG/504SG(白木) MAC-502FG/505SG(ホワイト) &lt;4.0GY 9.1/0.2&gt;</p>  <p>詳細はP40～P44を参照してください。</p>		天 埋 設 置	<p>詳細はP89～P113を参照してください。</p>  <p>⑱、⑲は、各々2つ必要です。</p>  <p>&lt;吹出グリル&gt;(アルミ+板金)製+植毛付 MAC-518FG/521FG (ホワイト)&lt;4.0GY 9.1/0.2&gt; MAC-519FG/522FG (ベージュ)&lt;7.7YR 6.9/3.7&gt; &lt;下吸込パネル&gt; (アルミ+板金)製 MAC-530UP(ホワイト) &lt;4.0GY 9.1/0.2&gt;</p>
	<p>&lt;グリル&gt;木製 MAC-525TG(白木) MAC-526TG(ホワイト) &lt;4.0GY 9.1/0.2&gt;</p>  <p>詳細はP45～P51を参照してください。</p>			
半 間 幅 設 置	<p>&lt;グリル&gt;木製 MAC-501TG/504SG(白木) MAC-502FG/505SG(ホワイト) &lt;4.0GY 9.1/0.2&gt;</p>  <p>詳細はP55～P59を参照してください。</p>	下 吸 込 パ ネ ル		<p>⑱、⑲は、各々2つ必要です。</p> 
	<p>&lt;グリル&gt;木製 MAC-525TG(白木) MAC-526TG(ホワイト) &lt;4.0GY 9.1/0.2&gt;</p>  <p>詳細はP47～P51を参照してください。</p>			
下 が り 天 井 設 置	<p>&lt;グリル&gt;木製 MAC-501FG(白木) MAC-502FG(ホワイト) &lt;4.0GY 9.1/0.2&gt;</p>  <p>詳細はP60～P70を参照してください。</p> <p>&lt;下吸込パネル&gt; (アルミ+板金)製 MAC-530UP(ホワイト) &lt;4.0GY 9.1/0.2&gt;</p>			

## 使用別売部品一覧表

設置場所により使用する別売部品が異なりますので、下表を基に選択してください。  
R22フリービルトイン対応の別売部品は、使用できません。

：必要    ×：不要    ：使用可能

No	品名	形名	希望小売価格 (税抜き)	設置場所										
				一間幅設置		半間幅設置		下がり 天井 設置	天埋設置					
				天袋	地袋	天袋	地袋		吸込両ダクトタイプ		下吸込パネルタイプ			
										1方向吹出	2方向吹出	1方向吹出	2方向吹出	
				室内ユニットの取付状態										
吊り	置き	置き	吊り	置き	吊り	吊り	吊り	吊り	吊り	吊り				
①	吹出チャンバー	MAC-500FC	6,000円								×	×	×	×
②	吹出グリル (白木)	MAC-501FG	12,000円								×	×	×	×
	吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	12,000円								×	×	×	×
③	吹出ボックス	MAC-503FB	8,000円								×	×	×	×
④	吸込グリル (白木)	MAC-504SG	14,000円						×		×	×	×	×
	吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	14,000円						×		×	×	×	×
⑤	吸込ボックス	MAC-506SB	8,000円						×		×	×	×	×
⑥	一面グリル (白木)	MAC-525TG	35,000円	×	×	×			×		×	×	×	×
	一面グリル (ホワイト)	MAC-526TG	35,000円	×	×	×			×		×	×	×	×
⑦	一面グリル用据付ボックス	MAC-529TB	20,000円	×	×	×			×		×	×	×	×
⑧	下吸込パネル	MAC-530UP	45,000円	×	×	×	×	×			×	×		
⑨	キャンバスダクト	MAC-508CD	30,000円	×	×	×	×	×	*3		×	×	*3	*3
⑩	ダクト吸込チャンバー	MAC-509SC	12,000円	×	×	×	×	×	×				×	×
⑪	ダクト吸込ボックス	MAC-510SB	26,000円	×	×	×	×	×	×				×	×
⑫	ダクト吸込グリル (ホワイト)	MAC-511SG	25,000円	×	×	×	×	×	×				×	×
	ダクト吸込グリル (ベージュ)	MAC-512SG	25,000円	×	×	×	×	×	×				×	×
⑬	ロスナイ給気フランジ	MAC-513LK	3,000円	×	×	×	×	×	×	*1	*1		×	×
⑭	ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	12,000円	×	×	×	×	×	×					
⑮	フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	9,000円	×	×	×	×	×	×					
	フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	13,000円	×	×	×	×	×	×					
⑯	ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	26,000円	×	×	×	×	×	×			×		×
⑰	ダクト大吹出グリル (ホワイト)	MAC-518FG	25,000円	×	×	×	×	×	×			×		×
	ダクト大吹出グリル (ベージュ)	MAC-519FG	25,000円	×	×	×	×	×	×			×		×
⑱	ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	20,000円	×	×	×	×	×	×				×	
⑲	ダクト小吹出グリル (ホワイト)	MAC-521FG	18,000円	×	×	×	×	×	×				×	
	ダクト小吹出グリル (ベージュ)	MAC-522FG	18,000円	×	×	×	×	×	×				×	
⑳	レシーバー(-5)取付具	MAC-523RT	2,000円											
㉑	レシーバー(-5)延長コード(10m)	MAC-524RC	8,000円								*2	*2	*2	*2

：受信装置は、吹出ボックスに取付可能なため不要ですが、それ以外の場所に取付けたい場合は、使用可能です。

また、受信装置は、吹出ボックスにのみ取付可能なため、吹出ボックスを使用しない場合は、レシーバー取付具が必要となります。

\*1：ロスナイ接続時のみ使用してください。

\*2：出荷仕様は、レシーバーコード長2mです。付属長さで不足した場合に使用ください。

\*3：室内ユニットと下吸込パネルとで直付けできない場合に使用ください。

\*4：カテキンフィルターを同梱しています。

\*5：レシーバーとは、室内ユニットに付属している受信装置のことを意味します。

ドレンアップメカは、室内ユニットに内蔵しています。

吹出グリル、吸込グリル、一面グリルは、白木、ホワイトのいずれかをセットで選定してください。

ダクト吹出グリル、ダクト吸込グリルは、ホワイト、ベージュのいずれかをセットで選定してください。

ダクト小吹出ボックスと、ダクト小吹出グリルは2セット必要です。

②～⑤は分離グリルタイプ、⑥・⑦は一面グリルタイプですので、必要に応じて選定してください。

# 製品仕様表

項目		形名	室内 MBZ-28RAS 室外 MUBZ-28RAS	室内 MBZ-36RAS 室外 MUBZ-36RAS		
性能	冷房	標準能力 (kW)	2.8(0.7 ~ 4.0)			
		除湿能力 (L/h) (室温 24、湿度 60%)	-			
		エネルギー消費効率	4.34			
	暖房	標準能力 (kW)	4.2(0.9 ~ 6.6)			
		低温能力 (kW)	4.8			
		エネルギー消費効率	3.94			
	冷・暖房平均エネルギー消費効率		4.14			
	2007年度省エネ法基準値達成率 (%)		104			
	運転音	冷房	室内(強・弱・静) (dB)	37・34・31		
			室外 (dB)	45		
暖房		室内(強・弱・静) (dB)	38・36・34			
		室外 (dB)	46			
電気特性	電源 (相・V・Hz)		単・200・50/60			
	定格		冷房	暖房	冷房	暖房
		標準消費電力 (W)	645 (125 ~ 1,140)	1,065 (115 ~ 1,900)	1,000 (125 ~ 1,180)	1,340 (115 ~ 2,460)
	Hz	運転電流 (A)	3.5	5.75	5.40	7.20
		力率 (%)	92	92	92	93
	低温消費電力 (W)	-	1,680	-	2,170	
	電熱装置の消費電力(抗酸化ヒーター) (W)		-		-	
	始動電流 (A)		5.75		7.20	
製品	色調		(室内)- (室外)マンセルNO. 3.0 Y7.8/1.1			
	外形寸法 高さ×幅×奥行 (mm)		(室内)230×770(+65)×450 (室外)550×800(+69)×285			
	製品質量 (kg)		(室内)18 (室外)36			
	冷媒量 R410A (kg)		1.25			
	熱交換器形式		クロスフィン			
	内外接続電線		VVVFケーブル 3芯・1本・φ2.0mm			
	延長配管(接続)	許容値 (m)		配管長 30・高低差 20		
		パイプ径	ガス側 (mm)	φ9.52		
			液側 (mm)	φ6.35		
		ドレン接続口 (mm)		VP20		
	保護装置	圧縮機保護		電流検知,吐出温度検知,ロータ位置検知		
		送風機保護		(室内)電流検知(DC用),回転速度検知 (室外)電流検知(DC用),回転速度検知		
	圧縮機	形名		SNB130FKBH		
		出力 (W)		750		
	送風機	形式		(室内)シロッコファン (室外)プロペラファン		
出力 (W)		(室内)40 (室外)50				
風量切換		(室内)3段 (室外)3段				
冷房		回転速度 (rpm)	(室内)930 (室外)840			
		風量 m³/h	(室内)610 (室外)1,860			
暖房		回転速度 (rpm)	(室内)950 (室外)790			
	風量 m³/h	(室内)620 (室外)1,740				
コンセント形状・定格		端子台直結・15A				
電源電線(分岐回路)の太さと長さ		φ1.6/14,φ2.0/23				

- 注1. 運転特性はJIS C 9612の条件で運転した場合の数値です。  
 定格冷房能力(室内側:27.0℃[DB]、19℃[WB]、外気温度:35.0℃[DB]、24℃[WB])  
 定格暖房能力<標準>(室内側:20.0℃[DB]、外気温度:7.0℃[DB]、6.0℃[WB])  
 <低温>(室内側:20.0℃[DB]、外気温度:2.0℃[DB]、1.0℃[WB])  
 延長配管5m(相当長) 高低差0m
2. 運転音測定条件:無響室、Aスケール、JIS C9612による。  
 3. 本仕様は予告なく変更することがあります。  
 4. エネルギー消費効率の成績係数(COP)は、消費電力1kWあたりの冷房能力、暖房能力を表したものです。  
 5. 室内ユニット外形寸法中( )内の寸法は、電気品箱を含めたときの寸法です。  
 6. 室外ユニット外形寸法中( )内の寸法は、バルブ又は、バルブカバーの寸法を示しています。

項目		形名	室内 MBZ-40RAS 室外 MUBZ-40RAS	室内 MBZ-50RAS 室外 MUBZ-50RAS			
性能	冷房	標準能力(kW)	4.0(0.7~4.3)	5.0(0.7~5.7)			
		除湿能力(L/h) (室温24℃、湿度60%)	-	-			
		エネルギー消費効率	3.60	3.03			
	暖房	標準能力(kW)	6.0(0.9~8.6)	6.7(0.9~9.0)			
		低温能力(kW)	6.2	6.5			
		エネルギー消費効率	3.59	3.28			
	冷・暖房平均エネルギー消費効率		3.60	3.16			
	2007年度省エネ法基準値達成率(%)		113	101			
	運転音	冷房	室内(強・弱・静)(dB)	40・36・31	43・38・31		
			室外(dB)	48	49		
暖房		室内(強・弱・静)(dB)	41・38・34	45・40・34			
		室外(dB)	49	50			
電気特性	電源(相・V・Hz)		単・200・50/60				
	定格	標準消費電力(W)	1,110(125~1,250)	1,670(115~2,850)	1,650(125~2,200)	2,040(115~3,110)	
		運転電流(A)	6.00	8.90	8.80	10.70	
	Hz	力率(%)	92	93	93	95	
		低温消費電力(W)	-	2,520	-	2,750	
	電熱装置の消費電力(抗酸化ヒーター)(W)		-		-		
	始動電流(A)		8.9		10.7		
	製品	色調		(室内)- (室外)マンセルNO. 3.0 Y7.8/1.1		(室内)- (室外)マンセルNO. 3.0 Y7.8/1.1	
外形寸法 高さ×幅×奥行 (mm)		(室内)230×770(+65)×450 (室外)550×800(+69)×285		(室内)230×770(+65)×450 (室外)550×800(+69)×285			
製品質量(kg)		(室内)18 (室外)36		(室内)18 (室外)36			
冷媒量 R410A(kg)		1.25		1.25			
熱交換器形式		クロスフィン		クロスフィン			
内外接続電線		VVFケーブル 3芯・1本・φ2.0mm		VVFケーブル 3芯・1本・φ2.0mm			
(フレック配管)		許容値(m)		配管長 30・高低差 20		配管長 30・高低差 20	
		パイプ径	ガス側(mm)	φ9.52		φ9.52	
			液側(mm)	φ6.35		φ6.35	
		ドレン接続口(mm)		VP20		VP20	
保護装置		圧縮機保護		電流検知,吐出温度検知,ロータ位置検知		電流検知,吐出温度検知,ロータ位置検知	
		送風機保護		(室内)電流検知(DCE-タ用),回転速度検知 (室外)電流検知(DCE-タ用),回転速度検知		(室内)電流検知(DCE-タ用),回転速度検知 (室外)電流検知(DCE-タ用),回転速度検知	
圧縮機		形名		SNB130FKBH		SNB130FKBH	
		出力(W)		1,100		1,300	
送風機		形式		(室内)シロッコファン (室外)プロペラファン		(室内)シロッコファン (室外)プロペラファン	
	出力(W)		(室内)40 (室外)50		(室内)40 (室外)50		
	風量切換		(室内)3段 (室外)3段		(室内)3段 (室外)3段		
	冷房	回転速度(rpm)	(室内)1,030 (室外)840		(室内)1,170 (室外)840		
		風量m <sup>3</sup> /h	(室内)680 (室外)1,840		(室内)790 (室外)1,860		
	暖房	回転速度(rpm)	(室内)1,050 (室外)800		(室内)1,200 (室外)900		
風量m <sup>3</sup> /h		(室内)700 (室外)1,750		(室内)810 (室外)2,000			
コンセント形状・定格		端子台直結・15A		端子台直結・20A			
電源電線(分岐回路)の太さと長さ		φ1.6/14,φ2.0/23		φ2.0/17			

- 注1. 運転特性はJIS C 9612の条件で運転した場合の数値です。  
 定格冷房能力(室内側:27.0℃[DB],19℃[WB],外気温度:35.0℃[DB],24℃[WB])  
 定格暖房能力<標準>(室内側:20.0℃[DB],外気温度:7.0℃[DB],6.0℃[WB])  
 <低温>(室内側:20.0℃[DB],外気温度:2.0℃[DB],1.0℃[WB])  
 延長配管5m(相当長) 高低差0m
2. 運転音測定条件:無響室、Aスケール、JIS C9612による。  
 3. 本仕様は予告なく変更することがあります。  
 4. エネルギー消費効率の成績係数(COP)は、消費電力1kWあたりの冷房能力、暖房能力を表したものです。  
 5. 室内ユニット外形寸法中( )内の寸法は、電気品箱を含めたときの寸法です。  
 6. 室外ユニット外形寸法中( )内の寸法は、バルブ又は、バルブカバーの寸法を示しています。

# 外形寸法図

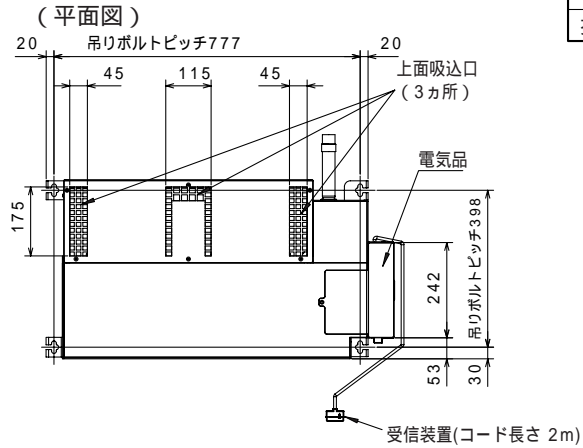
室内ユニット 出荷仕様

MBZ-28RAS MBZ-36RAS MBZ-40RAS MBZ-50RAS

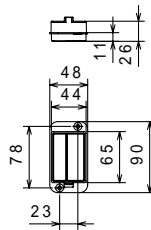
受信装置コード	有効長 2m
本体配管	液管 フレア接続 6.35(1/4")
	ガス管 フレア接続 9.52(3/8")
接続ドレン配管	VP20

ドレン配管の立ち上げは室内機下面から500mm以下

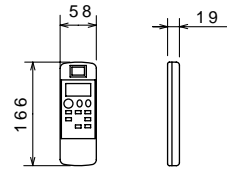
単位：mm



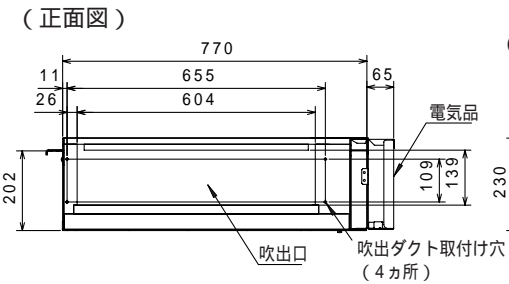
受信装置外形図



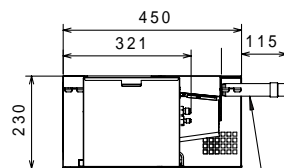
リモコン外形図



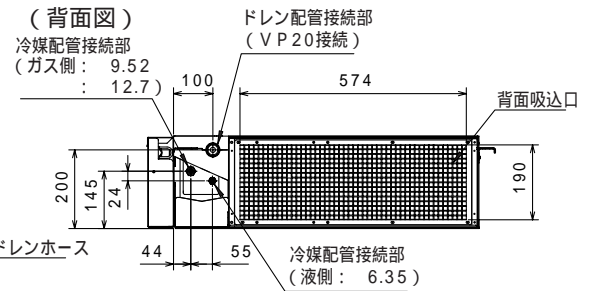
吹出し開口面積  
0.03m<sup>2</sup>



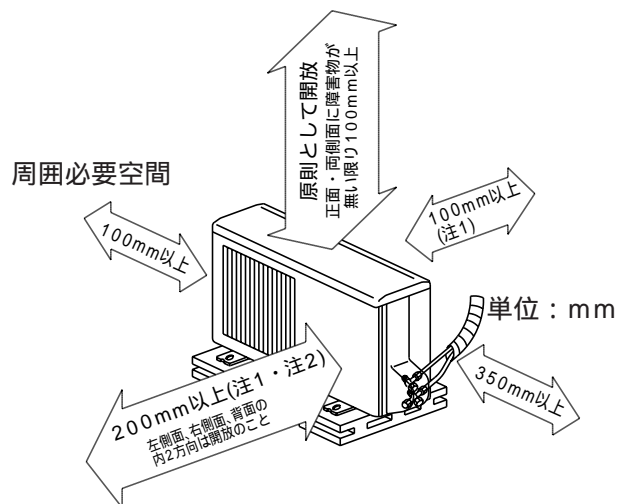
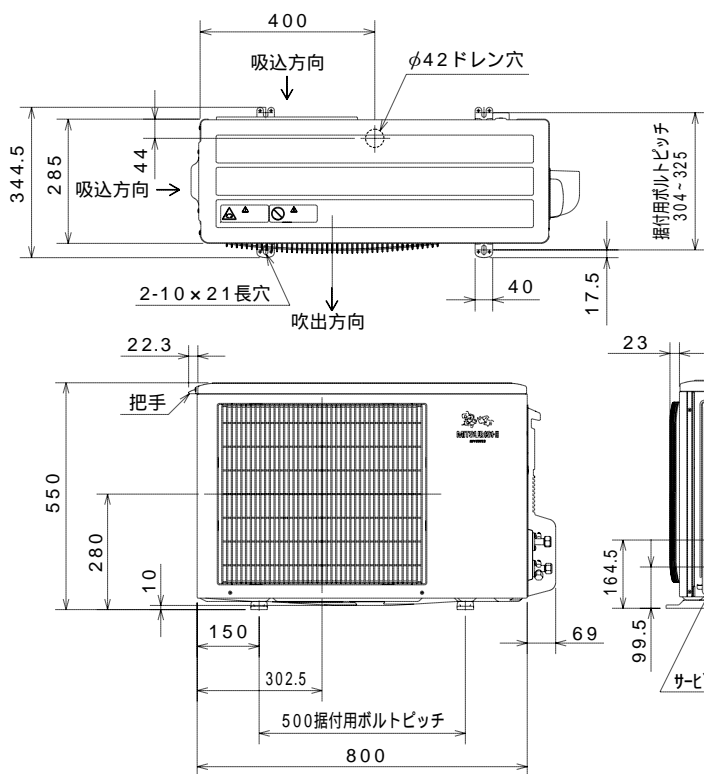
(右側面図)



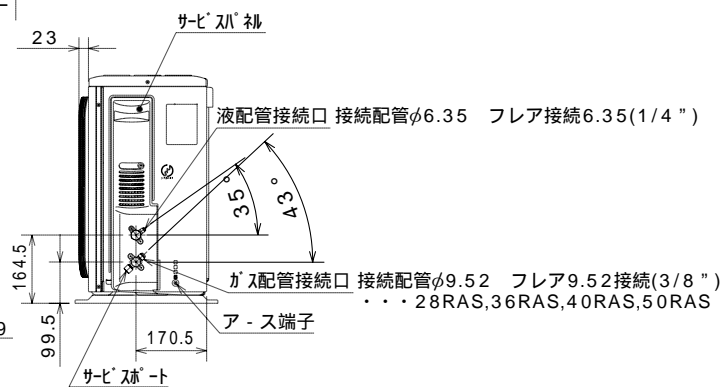
(背面図)



室外ユニット  
 MUBZ-28RAS  
 MUBZ-36RAS  
 MUBZ-40RAS  
 MUBZ-50RAS



上記の ← → 印寸法は、エアコンの性能を保証するために必要な空間です。後々のサービス、補修なども考慮してできるだけ周囲の空間が大きくとれる場所に設置してください。  
 注1) 風通しが悪くショートサイクルが起きやすい場合は、冷暖房能力及び消費電力が10%程度悪化する場合があります。吹出が仕(別売部品)を付けると冷暖房能力及び消費電力の改善が図れます。  
 注2) 壁に向けて吹出すと壁が汚れる場合があります。





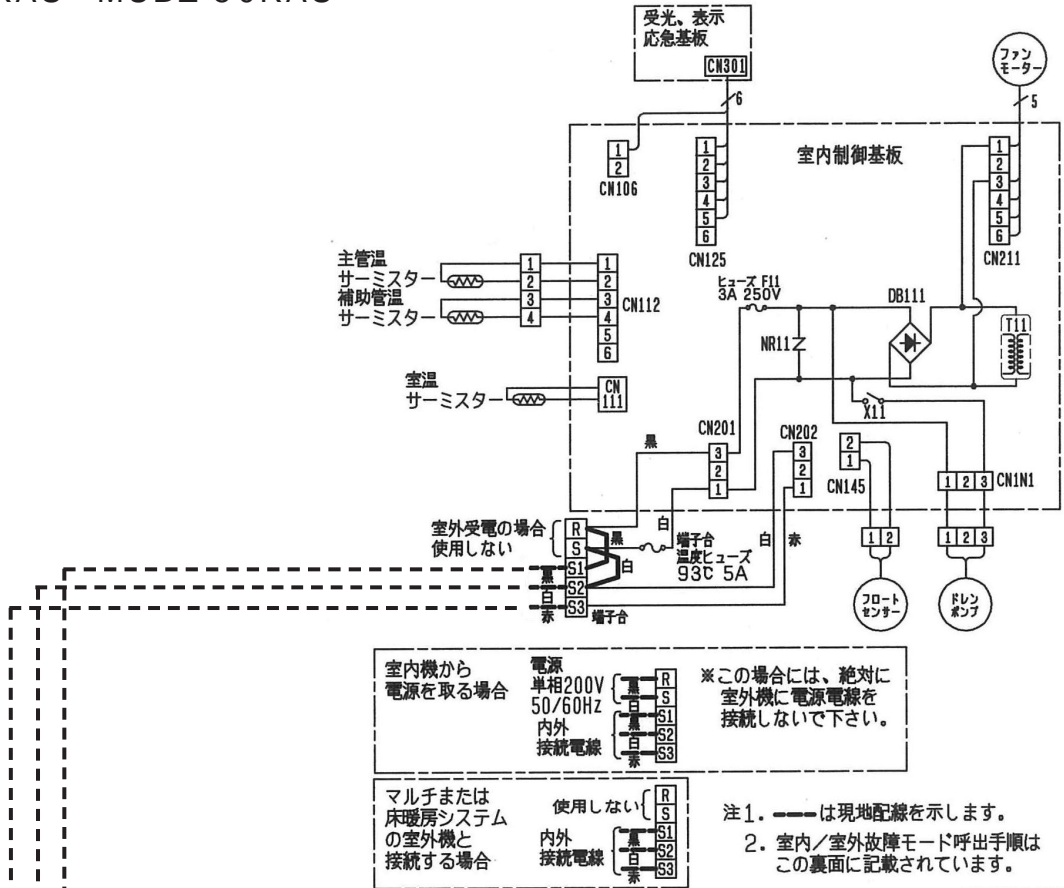
# 電気配線図

本図に示す電気部品は全て安全部品(△)です。安全および性能維持上特に重要です。交換の際は必ず指定品をお使いください。

MBZ-28RAS・MUBZ-28RAS  
 MBZ-36RAS・MUBZ-36RAS  
 MBZ-40RAS・MUBZ-40RAS  
 MBZ-50RAS・MUBZ-50RAS

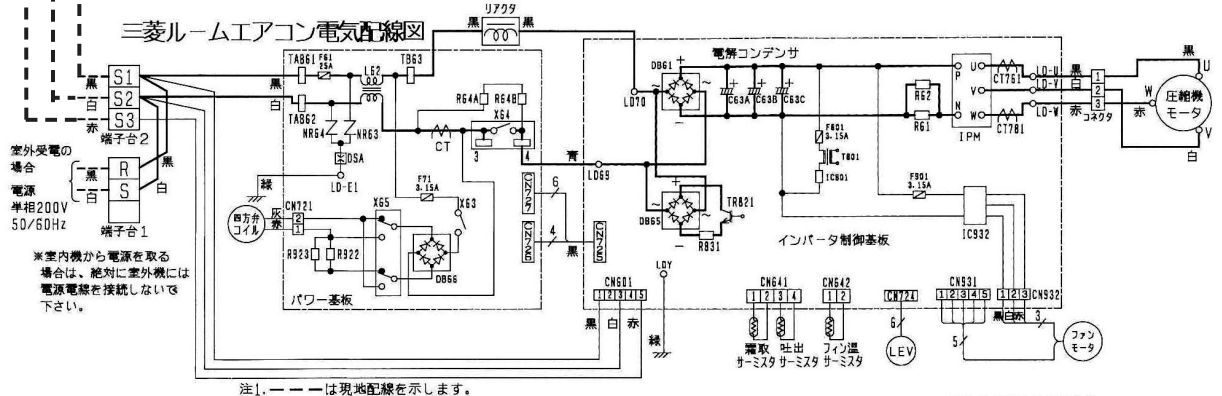
## 三菱ルームエアコン電気配線図

室内



SG79N398H01

室外



SG79N369H02

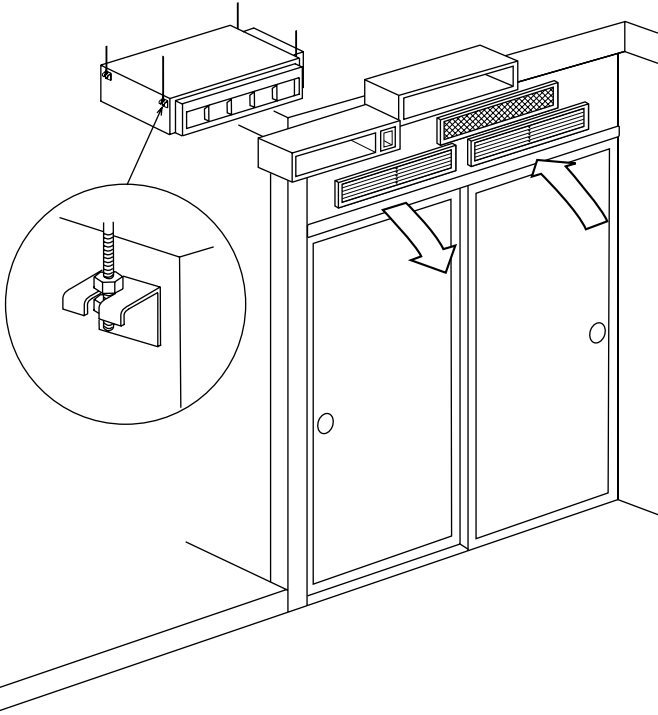


## 設置パターン一覧(目次)

(各設置パターン別に使用別売部品・設置構成据付要領等が異なりますので、指定のページをご参照ください。)

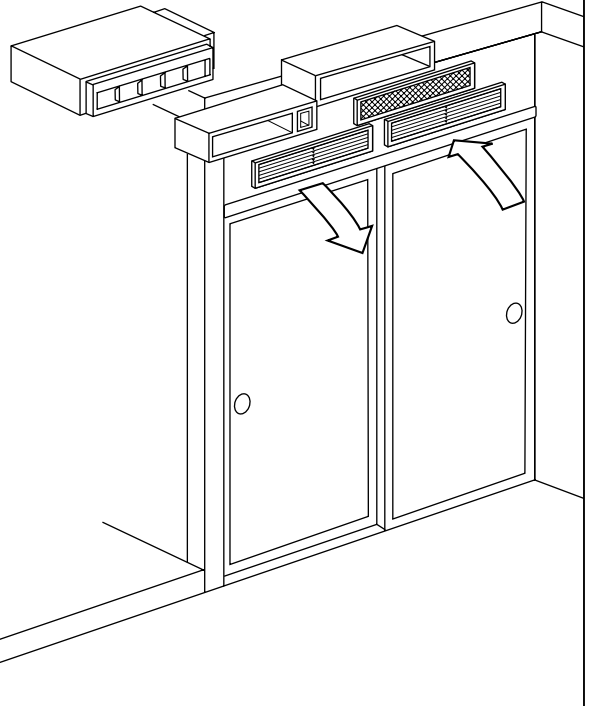
### 一間幅天袋吊り設置(⇒P32)

開口穴と点検口の寸法については、P27を参照してください。



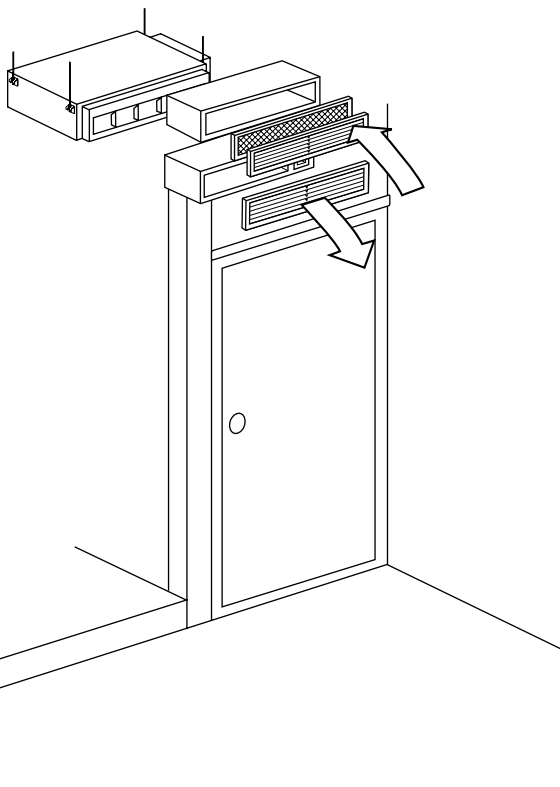
### 一間幅天袋置き設置(⇒P35)

開口穴と点検口の寸法については、P27を参照してください。



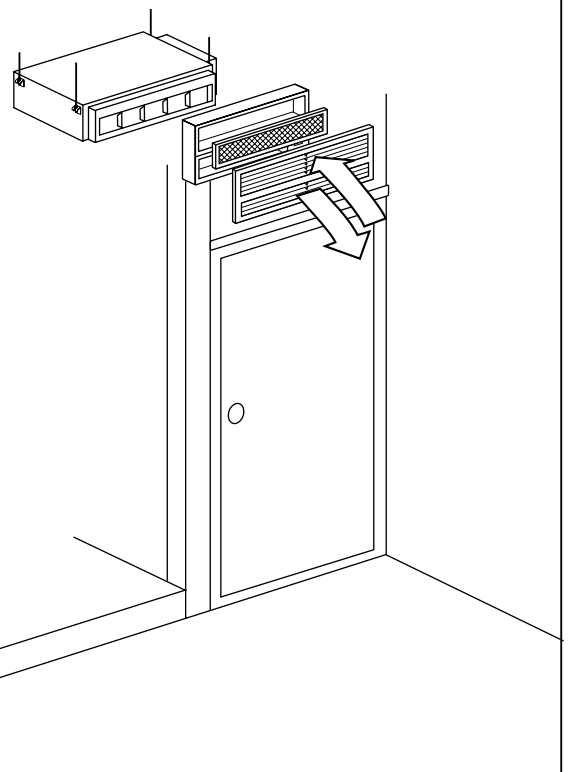
### 半間幅天袋吊り設置<グリル縦置き>(⇒P40)

開口穴と点検口の寸法については、P28を参照してください。



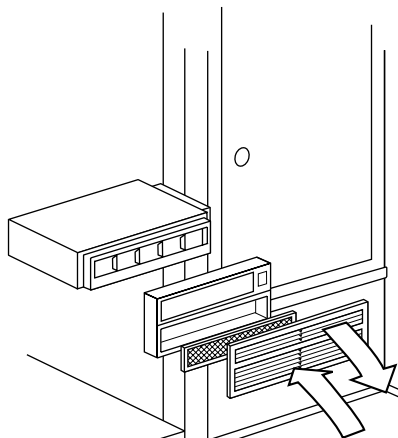
### 半間幅天袋吊り設置<一面グリル>(⇒P45)

開口穴と点検口の寸法については、P28を参照してください。



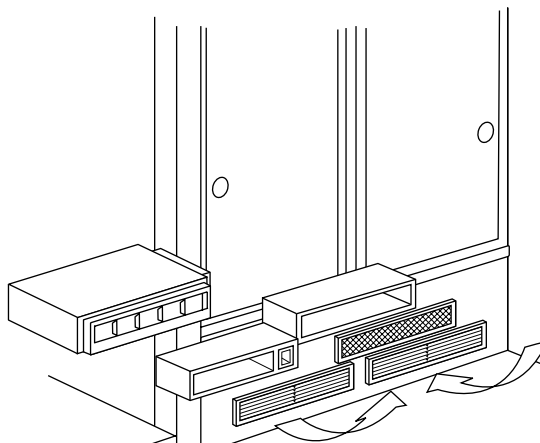
半間幅地袋置き設置<一面グリル> (⇒P47)

開口穴と点検口の寸法については、P30を参照してください。



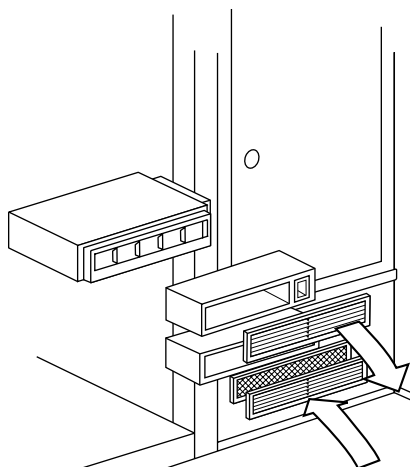
一間幅地袋置き設置(⇒P52)

開口穴と点検口の寸法については、P29を参照してください。



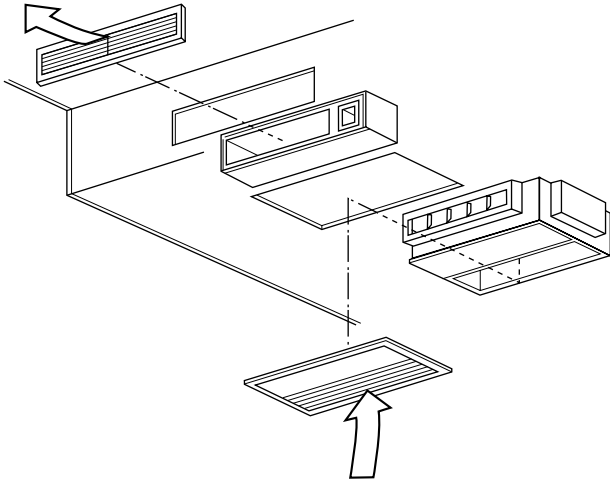
半間幅地袋置き設置<グリル縦置き> (⇒P55)

開口穴と点検口の寸法については、P29を参照してください。



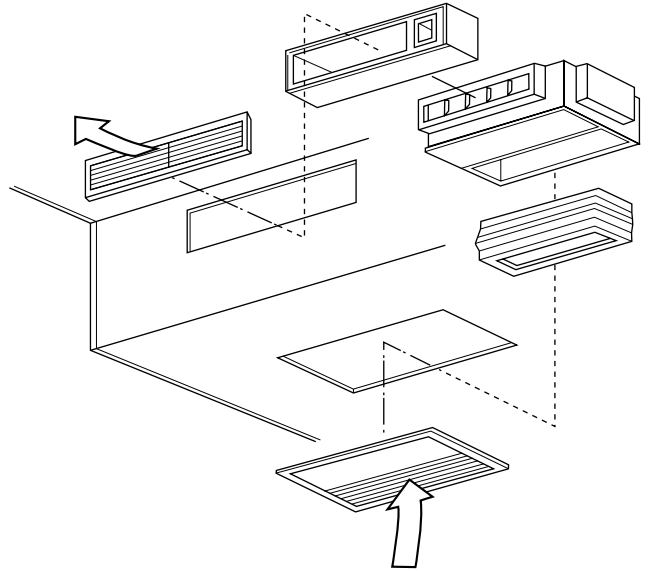
下がり天井設置<キャンバスダクトなし>  
(⇒P60)

開口穴と点検口の寸法については、P30を参照してください。

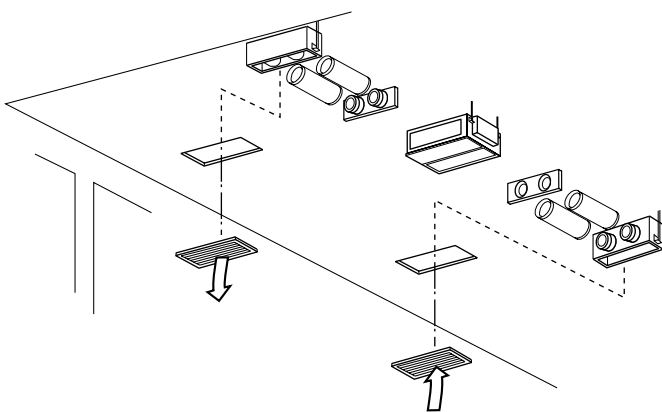


下がり天井設置<キャンバスダクトあり>  
(⇒P63)

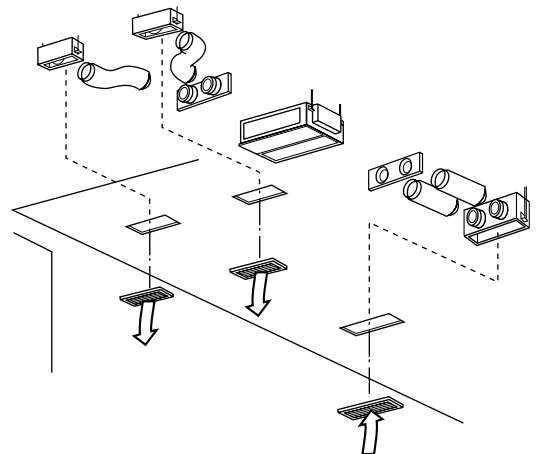
開口穴と点検口の寸法については、P31を参照してください。



天埋設置吸吹両ダクトタイプ  
<1方向吹出>(⇒P71)



天埋設置吸吹両ダクトタイプ  
<2方向吹出>(⇒P77)



<p>天埋設置下吸込パネルタイプ          &lt;1方向吹出・キャンバスダクトなし&gt; (⇒P89)</p>	<p>天埋設置下吸込パネルタイプ          &lt;1方向吹出・キャンバスダクトあり&gt; (⇒P93)</p>
<p>天埋設置下吸込パネルタイプ          &lt;2方向吹出・キャンバスダクトなし&gt; (⇒P98)</p>	<p>天埋設置下吸込パネルタイプ          &lt;2方向吹出・キャンバスダクトあり&gt; (⇒P102)</p>

# 据付工事

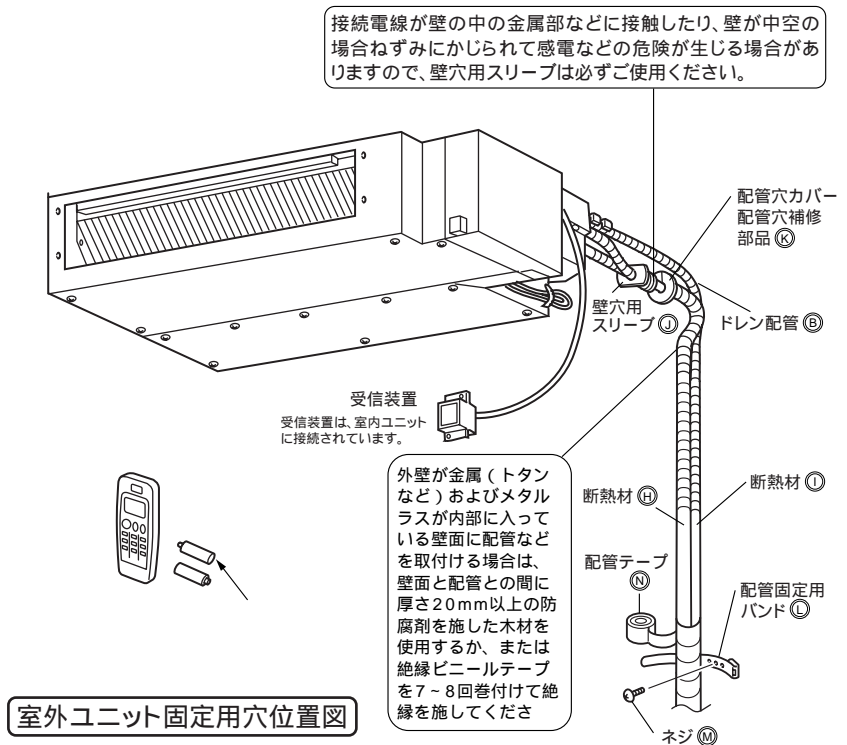
## 室内・室外ユニット据付図

(詳しくは据付工事説明書をご覧ください。)

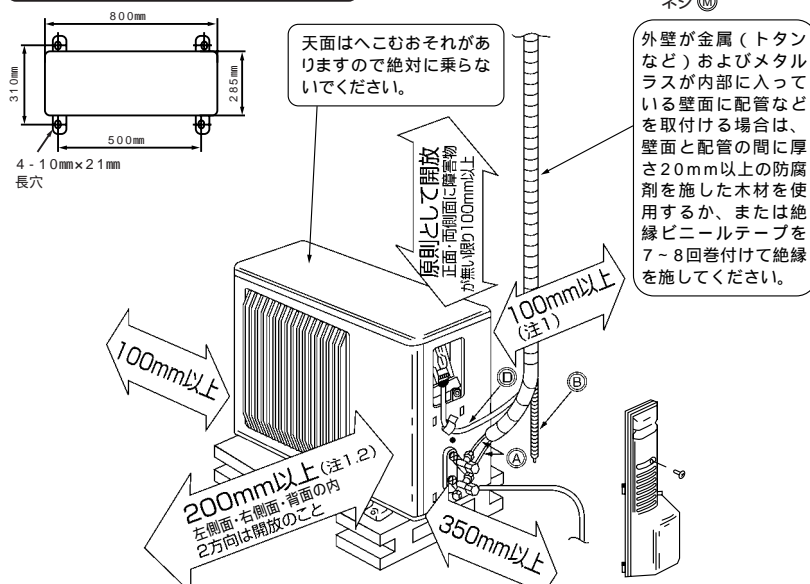
室内ユニット付属部品		
アルカリ乾電池 リモコン用単4形	2	
特殊座金(クッション付4個)	8	
パイプバンド(大)	1	
の固定用ネジ 4×16	2	
電気品箱背面取付金具(半間幅設置用)	2	
の固定用ネジ 4×10	4	
断熱材(200×130 t3)	3	
断熱材(202×140 t3) L字形	1	
断熱材(218×629 t3)	1	
断熱材(230×145 t3)	1	

現地で準備していただく部品(別売部品および一般市販部品)		
Ⓐ 冷媒配管(梱包表示による)	1	
Ⓑ ドレン配管 VP20外径 26)	1	
Ⓒ 電源電線(2芯) VVFケーブル( 2.0)	1	
Ⓓ 内外接続電線(3芯) VVFケーブル( 2.0)	1	
Ⓔ 吊りボルト(M10)	4	
Ⓕ フランジ付きナット(M10)	8	
Ⓖ 六角ナット(M10)	4	
Ⓗ 冷媒配管用断熱材 耐熱発泡ポリエチレン 比重0.045 肉厚1.4mm以上 相当品	1	
Ⓙ ドレン配管用断熱材 発泡ポリエチレン 比重0.03 肉厚1.0mm以上 相当品	1	
⓵ 壁穴用スリーブ	1	
⓷ 配管穴補修部品 パテ、カバー(または石膏等)	1	
⓸ 配管固定用バンド	2~7	
⓹ ①の固定用ネジ	2~7	
⓺ 配管テープ	1~5	
⓻ 据付工事部品一式 水さし等	-	
⓼ ビニールホース内径15mm(室外側ドレン配管を接続する場合に使用)	1	
⓽ アース棒(別売部品)	1	
⓿ ドレンソケット(別売部品)	1	

据付前に付属部品を確認してください。  
現地で準備していただく部品の数量は室内ユニット1台当たりの使用数です。  
設置パターンにより、別売部品が必ず必要です。  
P6の使用別売部品一覧を参照してください。



### 室外ユニット固定用穴位置図



上記の(⇔)印寸法は、エアコンの性能を保証するために必要な空間です。後々のサービス、補修なども考慮してできるだけ周囲の空間が大きくとれる場所に設置してください。  
マルチ機種、床暖房システムに接続するときは、室外ユニット付属の据付工事説明書にしたがって設置してください。  
注1 風通しが悪くショートサイクルが起きやすい場合は、冷暖房能力及び消費電力が10%程度悪化する場合があります。  
吹出ガイド(別売部品)を付けると冷暖房能力及び消費電力の改善が図れます。  
注2 壁に向けて吹出すと壁が汚れる場合があります。

## 室内ユニットの据付前に

室内ユニットは、別売部品の使用により下表の据付が可能です。

< 据付設置例 >

据付パターン	一間幅設置		半間幅設置		天井埋込設置			
	天袋	地袋	天袋	地袋	下がり天井	天井内		
使用別売部品	吹出チャンバー (MAC-500FC) 吹出グリル (白木) (MAC-501FG) 吹出グリル (ホワイト) (MAC-502FG) 吹出ボックス (MAC-503FB) 吸込グリル (白木) (MAC-504SG) 吸込グリル (ホワイト) (MAC-505SG) 吸込ボックス (MAC-506SB)				吹出チャンバー (MAC-500FC) 吹出グリル (白木) (MAC-501FG) 吹出グリル (ホワイト) (MAC-502FG) 吹出ボックス (MAC-503FB) 下吸込パネル (MAC-530UP) キャンバスダクト (MAC-508CD)		ダクト吸込チャンバー (MAC-509SC) ダクト吸込ボックス (MAC-510SB) ダクト吸込グリル (ホワイト) (MAC-511SG) ダクト吸込グリル (ベージュ) (MAC-512SG) ロスナイ給気フランジ (MAC-513LK) ダクト吹出チャンバー (MAC-514FC) フレキシブルダクト (φ150,1m) (MAC-515FD) フレキシブルダクト (φ150,2m) (MAC-516FD) ダクト大吹出ボックス (MAC-517FB) ダクト大吹出グリル (ホワイト) (MAC-518FG) ダクト大吹出グリル (ベージュ) (MAC-519FG) ダクト小吹出ボックス (MAC-520FB) ダクト小吹出グリル (ホワイト) (MAC-521FG) ダクト小吹出グリル (ベージュ) (MAC-522FG) レシーバー取付具 # (MAC-523RT) レシーバー延長コード # (MAC-524RC)	
	一面グリル (白木) (MAC-525TG) 一面グリル (ホワイト) (MAC-526TG) 一面グリル用据付ボックス (MAC-529TG)							

# : レシーバー取付具/レシーバー延長コードは、一間幅/半間幅/下がり天井設置の場合でも使用可能です。

室内ユニットにドレンポンプを内蔵しています。

各々の据付パターンには、室内ユニットの先行準備が必要です。(各設置パターンの据付要領の項を参照してください。)

## 室内ユニットの据付手順

順序	一間幅天袋設置		半間幅天袋設置	一間幅地袋設置	半間幅地袋設置	下がり天井設置	天埋設置 吸込両ダクトタイプ	天埋設置 下吸込パネルタイプ
	室内ユニット吊り	室内ユニット置き	室内ユニット吊り	室内ユニット置き	室内ユニット置き	室内ユニット吊り	室内ユニット吊り	室内ユニット吊り
1	室内ユニット点検口および開口穴の設定							
2	吹出ボックス/吸込ボックス/(据付ボックス)の取付					吹出ボックスの取付	ダクト吹出大(小)ボックス/ダクト吸込ボックス /レシーバー取付具の取付	ダクト吹出大(小)ボックス/レシーバー取付具の取付
3	室内ユニットの先行準備							
	吹出チャンバーの取付						ダクト吸込・吹出チャンバーの取付/風量切換SWの切換	ダクト吹出チャンバーの取付/風量切換SWの切換
	-				室内ユニットの部品脱着		室内ユニットの部品脱着/レシーバー延長コードへの交換	
	電気品箱の背面取付設置場所切換えの設定		-	電気品箱の背面取付設置場所切換えの設定		キャンバスダクトの取付	-	キャンバスダクトの取付
4	室内ユニットの吊り込み	室内ユニットの取付	室内ユニットの吊り込み	室内ユニットの取付		室内ユニットの吊り込み		
5	壁穴あけ							
6	ドレン配管接続							
7	電源電線/内外接続電線の接続、室内ユニット切換SWの設定							
8	冷媒配管接続							
9	受信装置の取付					下吸込パネルの取付/キャンバスダクトの固定	受信装置の取付	下吸込パネルの取付/キャンバスダクトの固定
10	吹出グリル/吸込グリル/(一面グリル)の取付					受信装置の取付	吸込・吹出大(小)グリルの取付	受信装置の取付
11	試運転					吹出グリルの取付	試運転	吹出グリルの取付
12	-					試運転	-	試運転

ロスナイと接続する場合は、ロスナイ給気フランジ (MAC-513LK) を取り付けてください。

## 室内ユニットの吊り込みについて

### 1.吊り込み準備

室内ユニットを吊る場合に行います。

室内ユニット吊り下げ後、天井内での配管、配線接続作業が必要です。据付場所選定後、配管引出し方向を決定し、特に天井が既設の場合は、室内ユニットを吊り下げる前に配管、配線接続位置まで冷媒・ドレン配管・内外接続電線を引いておいてください。

点検口寸法（天井開口寸法）は、据付パターンによって異なります。各設置構成図および設置スペース必要寸法をご覧ください。

点検口は必ず設けてください。アフターサービス用として必要になります。

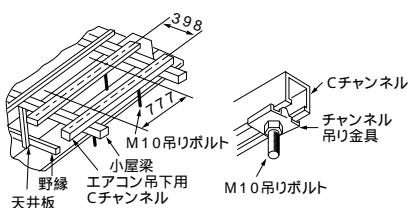
設置スペースは据付作業を考慮し余裕ある寸法にしてください。

天井または壁面の処理・・・建物の構造により異なりますので、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

#### 吊りボルトの設置

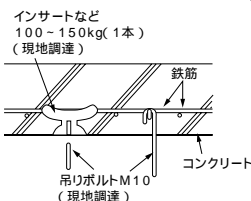
##### 木造の場合

小屋梁<平屋建>又は二階梁<二階建>を強度メンバーとしてください。市販のCチャンネルとチャンネル吊り金具を使用してエアコンを吊り下げてください。吊りボルトはM10を用いてください。(現地調達)



##### 鉄筋の場合

右図の方法で吊りボルトを固定するか、またはアングル・角材などを利用して吊りボルトを取付けてください。



### 2.吊り込み作業

吊りボルトピッチを確認してください。(398mm×777mm)

※室内ユニット下面から吊りボルト⑤下端まで55mm以上を確保してください。

①吊りボルトにあらかじめフランジ付ナット(M10)⑥、特殊座金④(2個)、フランジ付ナット(M10)⑥、六角ナット(M10)⑦の順に通しておく。

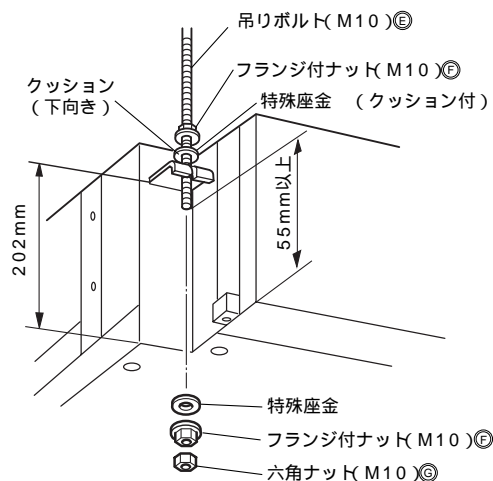
※クッション付特殊座金④はクッションを図の向きにしてセットしてください。

②室内ユニットを吊り込みます。

特殊座金④の間に取付足を引っ掛けます。

③フランジ付ナット(M10)⑥を締付け固定します。

④コーナー4カ所が水平になっているか水準器又はビニールチューブに水を入れて確認してください。



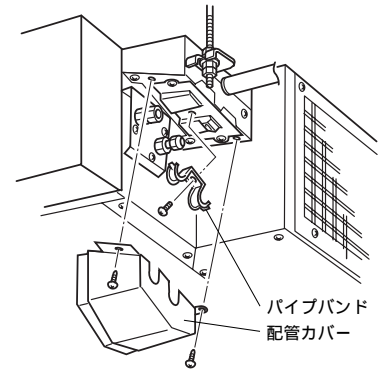
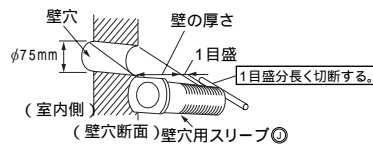
水平に据付けていない場合、ユニットから水が滴下するおそれがあります。



# 壁穴あけ/ドレン配管/電源・内外接続電線/切換スイッチの設定/冷媒配管/試運転要領

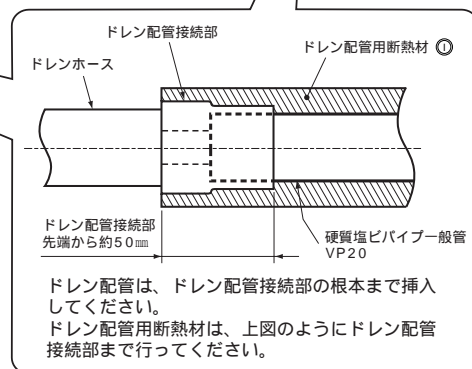
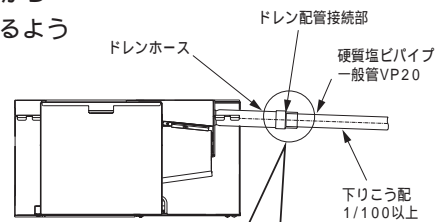
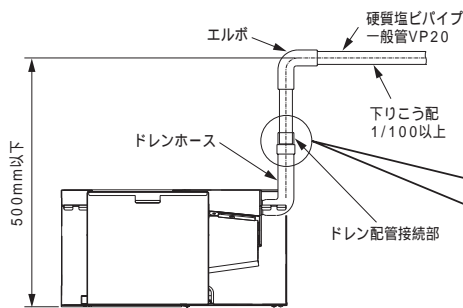
## 1. 壁穴あけ

- ① 壁穴位置を決めます。
- ②  $\phi 75\text{mm}$ の穴を外側に下がりぎみにあけます。
- ③ 壁穴用スリーブ①をはめ込みます。  
※壁穴用スリーブ①は冷媒配管用です。  
ドレン配管用は別に設けてください。



## 2. ドレン配管接続

ドレン配管は硬質塩ビパイプ一般管VP20(外径 $\phi 26\text{mm}$ )を使用し接続部は必ず塩ビ系接着剤にて漏れないように接着してください。  
ドレン配管接続前に配管カバーとパイプバンドをはずしてください。  
ドレン配管接続部(ソケット側)はVP20(外径 $\phi 26\text{mm}$ )を直接接続してください。  
ドレン配管は、ドレン配管接続部の根本まで挿入してください。  
ドレン出口高さを上げたい場合は下記のように、室内ユニット下面から最大500mmまで垂直に立ち上げた後、下りこう配1/100以上になるように施工してください。



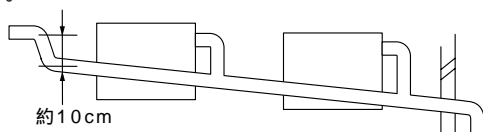
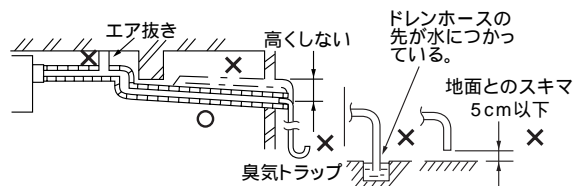
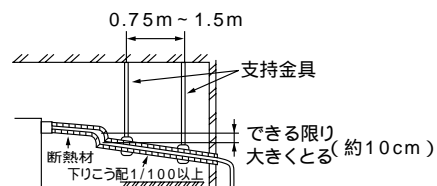
※ドレン出口の立ち上げ可能最大寸法は室内ユニット下面より高さ約500mmですが、可能な限り立ち上げ寸法は小さくしてください。

ドレン配管が屋内を通る場合は必ず市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03、肉厚10mm以上)を巻いてください。  
ドレン配管用断熱材は、右上図のようにドレン配管接続部まで行ってください。

ドレン配管は室外側(排水側)が下りこう配(1/100以上)になるようにし、途中にトラップや山越えを作らないようにしてください。

ドレン配管の横引きは20m以下にしてください。また、ドレン配管が長い場合には途中に支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。エア抜き管は絶対につけないでください。(ドレンアップメカ内蔵のためドレンが吹出場合があります。)

ドレン配管の排水口部の臭気トラップは必要ありません。  
集合配管の場合下図のように本体ドレン出口部より約10cm低い位置に集合配管がくるようにし、かつ集合配管はVP30程度のもので下りこう配1/100以上になるように施工してください。



ドレン配管を、アンモニアガス・イオウ系ガスの発生する下水槽や浄化槽などに、直接入れないでください。



### 3. 電源

電源電線のハウジングエアコンへの引き込み接続工事については下記の仕様表に合わせ電気設備技術基準及び内線規程にしたがって施工してください。

回路はハウジングエアコン専用回路としてください。

形名	定格電圧	運転電流(A)	始動電流(A)	ブレーカー容量	電源接続方式	電源電線(分岐回路)の太さと長さ 電線径(mm)/最大こう長(m)
MBZ-28RAS	単相200V	5.75	5.75	15A	端子台	φ1.6/14 φ2.0/23
MBZ-36RAS		7.20	7.20			
MBZ-40RAS		8.90	8.90	20A		φ2.0/17
MBZ-50RAS		10.7	10.7			

### 4. 電源・内外接続電線の接続

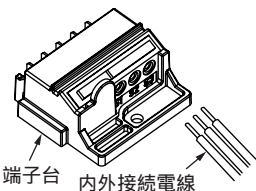
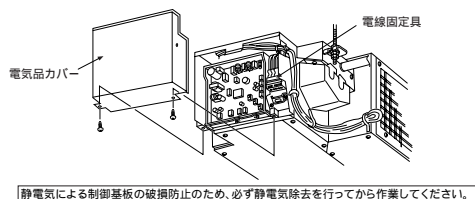
電気品カバーを取外します。

内線規程にしたがってください。

芯線がかけれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認してください。挿入が不十分ですと端子台が焼損することがあります。

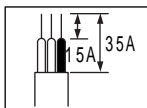
電源電線・内外接続電線を端子台に接続後、必ず電線固定具で電源電線・内外接続線を固定してください。

接続作業が終わりましたら、電気品カバーをもとに戻してください。

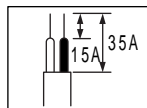


皮むき寸法

(内外接続電線)  
VVVFケーブル  
3芯 2.0A



(電源電線)  
VVVFケーブル  
2芯 2.0A



### ご 注 意

電源電線の接続は、室内または室外ユニットのどちらか片方のみです。室内、室外両方に接続することは絶対に行わないでください。誤配線をしますと正常な運転ができないか、またはヒューズが切れて運転が不可能となりますので誤配線のないように十分注意してください。

### 5. 室内ユニット切換

同じ部屋または、近接する部屋に2台室内ユニットを設置した場合に1つのリモコンで1台のエアコンのみを操作したい時に設定を行ってください。

室内ユニットとリモコンのそれぞれに切換スイッチがあります。下記設定方法にしたがって2台中の1台の室内ユニットおよびリモコンの切換スイッチを操作して“2”に設定してください。(双方の切換スイッチの番号を合わせてください。)

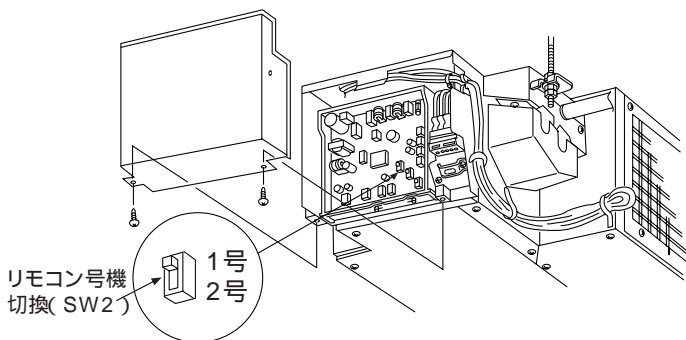
#### 室内ユニットの設定

設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。

室内ユニットの電気品カバーをはずします。

下図の位置に切換スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げて設定を行います。

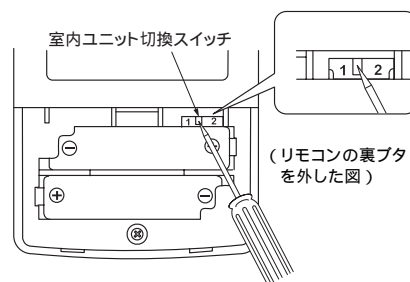
設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。



#### リモコンの設定

リモコン裏側の裏ボタンをはずし設定を行ってください。

設定が終わりましたら、裏ボタンを取付けてください。



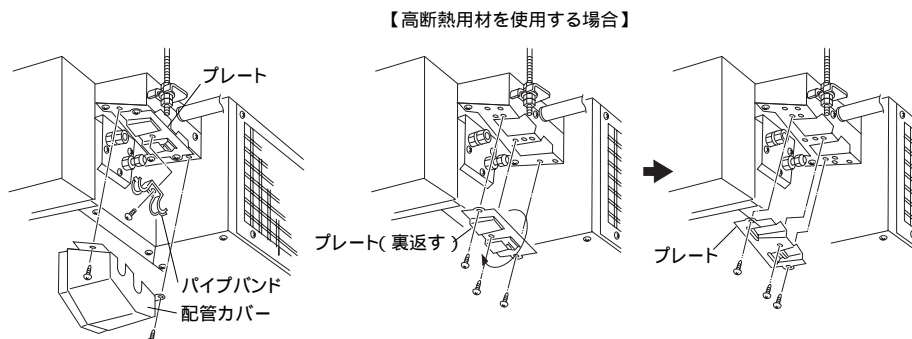
出荷時は室内ユニット、リモコンとも設定1になっています。

静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

## 6.冷媒配管の接続および断熱

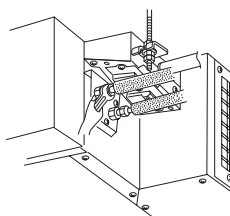
### 配管工事前作業

- 1.室内ユニットの配管カバーとパイプバンドをはずしてください。
- 2.室内接続配管の断熱材に高断熱用(液管用φ48mm、ガス管φ51mm相当品)を使用する場合は、プレート(板金)をはずし裏返して、凹になるようにしてください。



### 配管の接続

- ①パイプとユニオンのシート面には冷凍機油を塗布してください。
- ②接続は中心を合わせ、フレアナットは最初の3～4回転を手で締めます。
- ③室内側ユニオン部の締め付けは右表を目安にして締付けてください。締め過ぎますと、フレア部を破壊します。



パイプ径	締めトルク
φ6.35mm( 1/4 )	14～18N・m( 140～180kgf・cm )
φ9.52mm( 3/8 )	34～42N・m( 340～420kgf・cm )

### 注意

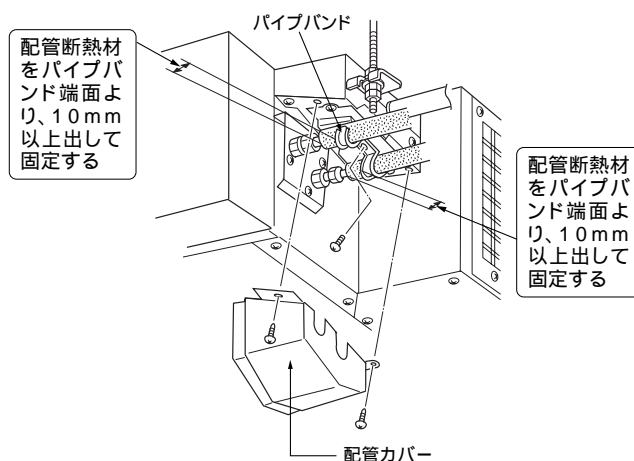
接続時に配管内部に水が浸入すると、圧縮機の故障ならびに、性能低下につながります。配管加工時や接続時に水が入らないように十分注意すると共に、配管接続後は真空引きを必ず実施してください。

### 配管カバーの取付

この作業は必ず行ってください。

“不備があると水漏れの原因になります。(露たれ防止)  
本製品は室内側配管接続部分の断熱は必要ありません。  
配管カバーにより、配管接続部の露を回収します。

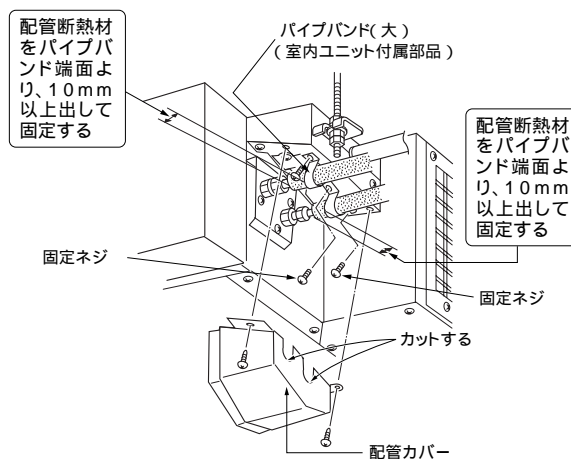
- 1.はずしたパイプバンドを取付け、接続配管を固定してください。  
パイプバンドが接続配管の断熱材を押さえるように取付けてください。  
右図のようにパイプバンドから断熱材が10mm以上出るように取付けてください。
- 2.配管カバーを取付けてください。



### < 高断熱用配管を使用した場合 >

断熱材が高断熱用(液管用φ48mm、ガス用φ51mm相当)の接続配管を使用する場合は、下記作業を行ってください。

1. プレート(板金)が裏がえして凹形状になっていることを確認してください。(6項参照)
2. パイプバンドは、室内ユニット付属部品のパイプバンド(大)⑤を使用してください。(製品に取付けてあるパイプバンドは使用しません)
3. 配管カバーの接続配管出口がロックアウト(切り込み)になっています。ラインにそって切り取ってください。
4. 配管カバーを取付けてください。



## 7. 据付工事後の確認

据付が終了したら、下記にしたがってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。

1. 電気系統チェック
  - 専用回路を設けてありますか？
  - 電源電圧は規定通りですか？
  - 内外接続電線の端子台への挿入は確実ですか？
  - 内外接続電線の固定は確実ですか？
  - 電源電線および内外接続電線の中間接続は行っていませんか？
  - アース線の接続は確実ですか？
2. ガス漏れおよび露たれ防止チェック
  - リークテストを行いましたか？
  - 真空引きを行いましたか？
  - ストップバルブの弁棒は全開ですか？
  - ドレン排水のチェックを行いましたか？
  - パイプバンドの取付けは確実ですか？
  - 配管カバーの取付けは確実ですか？
  - ドレン配管接続部の接着は確実ですか？
3. 強度
  - 据付場所の強度は十分ですか？

## 8. 試運転 (必ず実施してください。)

できるかぎり、お客さま立会いで試運転を実施してください。

応急運転スイッチを押すと30分間は温度調節がはたらかず連続運転の状態になり、30分以降は応急運転(冷暖房共設定温度24℃)となります。

応急運転スイッチを押す

- ① 1回押すと冷房試運転を開始します。

この時、約5秒から約6分後に運転モニターランプ左側が点滅する場合は内外接続電線⑩の誤配線、電源電圧を点検してください。

- ② もう1回押すと暖房試運転を開始します。

- ③ もう1回押すと運転を停止します。(応急運転スイッチを押すごとに① ② ③ を繰り返します。)

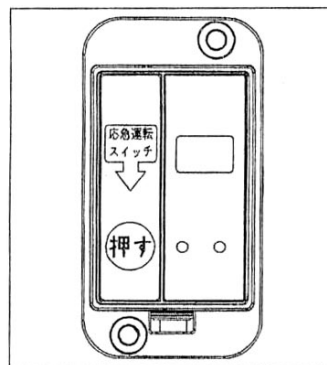
### リモコンの送信確認

リモコンの入/切ボタンを押して、室内ユニット本体が「ピッ」と鳴るのを確認してください。もう一度ボタンを押して「切」にしてください。

リモコンで操作した場合は、リモコンの指令にしたがい試運転、応急運転とも解除されます。

一旦、圧縮機が停止しますと、機器の保護のため3分間再起動防止機構が作動し3分間は圧縮機が再運転しないようになっています。

	モード	運転モニターランプ
①	冷房 試運転	(点灯)(消灯)
②	暖房 試運転	
③	停止	



## 据付時の注意事項

### <冷媒配管に関する注意事項>

#### 1.配管長・高低差

	許容値
配管長	3m以上30m以内
高低差	20m以内
曲げ箇所	10カ所以内

#### ご 注 意

配管長が7mを超える場合は、冷媒の追加充てんが必要です。追加冷媒量は $30 \times (\text{延長配管長} - 7) \text{g}$ 、です。また延長配管30mが許容長ですので、この長さを越える工事を行わないでください。延長配管の最小配管長は3mです。

#### 2.配管準備

1.市販の銅管を使用する場合は下表の仕様のものを使用してください。

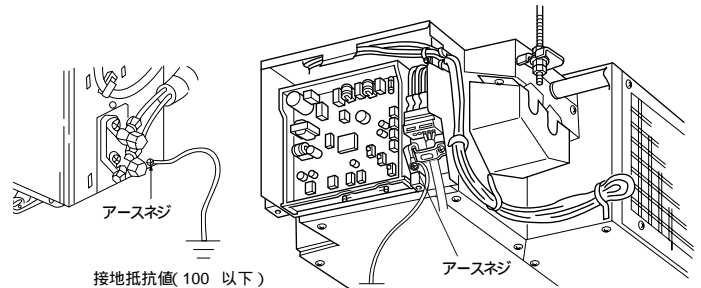
	外径	肉厚	材料及び規格
液管	6.35mm( 1/4 )	0.8mm	リン脱酸銅
ガス管	9.52mm( 3/8 )	0.8mm	C1220T JISH3300

- 2.断熱材は、耐熱発泡ポリエチレン、比重0.045・肉厚14mm以上相当品を使用してください。
- 3.冷媒配管は露付防止のために2本とも確実に断熱してください。
- 4.冷媒配管の曲げ半径は10cm以上にしてください。

### <アース工事に関する注意事項>

エアコン回路のアース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事士の方が実施してください。

電源の条件	据付場所 エアコンの種類	接地の基準		
		水気のある場所	湿気の多い場所	乾燥した場所
交流対地電圧が150V以下の 場合	単相100Vの機種 単相200V(単相3線 式200V電線)の機種	漏電遮断器を取付 けさらにD種接地 工事が要です。	D種接地工事が必 要です。	D種接地工事は法的に は除外されていますが 安全のため接地工事を してください。



#### D種接地工事について

接地工事は電気工事士の方が実施してください。

接地抵抗値は100Ω以下であることを確かめてください。

(漏電遮断器を取付けた場合は500Ω以下であることを確かめてください。)

室内ユニットからアースをとる際には、右図の位置にアースネジM4×8で固定してください。

アース線(1.6mmまたは断面積2mm<sup>2</sup>以上)  
アース線は付属されていません。(現地手配)

## <アフターメンテナンスに関する注意事項>

室内ユニットの点検および後日のサービスが、容易に行えるように必ず点検口を設けてください。

室内ユニットが取り出し可能な点検口を設けてください。

- ・天袋設置の場合、室内ユニット下面に点検口を設けてください。
- ・地袋設置の場合、押入底板を上げ蓋方式とするなど室内ユニット上面に点検口を設けてください。
- ・天井埋込設置の場合、室内ユニット下面に点検口を設けてください。
- ・下がり天井設置や天井埋込設置にて、別売部品 下吸込パネル (MAC-530UP) を使用する場合、下吸込パネル取付用の天井開口が点検口となります。

点検口の仕上げについては、建築・内装業者と打合せしてください。

ダクト吸込ボックス (MAC-510SB)、ダクト大吹出ボックス (MAC-517FB)、ダクト小吹出ボックス (MAC-520FB) を使用する場合、所定の開口を必ず設けてください。

室内ユニット収納室は、外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

別売部品 吹出チャンパー (MAC-500FC) には方向性があります。

- ・天袋設置/下がり天井設置の場合、風向が下向 (フランジが上) になるように取り付けてください。
- ・地袋設置の場合、風向が上向 (フランジが下) になるように取り付けてください。

また風漏れしないよう、別売部品 吹出チャンパー (MAC-500FC) と吹出ボックス (MAC-503FB) を密着してください。

高温多湿の場所に別売部品 フレキシブルダクト (MAC-515FD/516FD) を使用する場合、フレキシブルダクト (MAC-515FD/516FD) 外周に断熱材 (エーテル系ポリウレタン 比重0.063 肉厚20mm以上相当品) を必ず巻きつけてください。使用しないと、露付きにより天井材を汚損します。

カテキンフィルターの清掃

下記の別売部品にカテキンフィルターを付属していますので、必ず定期的に清掃してください。

吸込グリル (MAC-504SG/505SG)、下吸込パネル (MAC-530UP)、ダクト吸込ボックス (MAC-510SB) 一面グリル (MAC-525TG/526TG)

別売部品 フレキシブルダクト (MAC-515FD/516FD) は、天井施工前に接続してください。

別売部品 吹出チャンパー (MAC-500FC)、ダクト吸込チャンパー (MAC-509SC)、ダクト吹出チャンパー (MAC-514FC) は、室内ユニット吊り込み前に必ず室内ユニットに取り付けてください。

冷媒配管/ドレン配管/電気配線のとりまわしにご注意ください。

吸込ボックス (MAC-506SB) には方向性が有りますのでご注意ください。

天地を示すスタンプ印を表示しています。

吹出ボックス (MAC-503FB) に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。

室内ユニット、各別売部品は、確実に固定してください。

下吸込パネル(MAC-530UP)に取付けられているヒモは、内側パネル開閉作業の安全のため取外さないでください。

下吸込パネル(MAC-530UP)とダクト吸込グリル(MAC-511SG/512SG)の内側パネル(ダクト吸込グリルの場合は、内側グリル)は、左右ツマミをスライドすることにより開閉できます。

内側パネルを開く時に左右ツマミをスライドさせると内側パネルがいきおいよく開いてケガをする恐れがありますので両手で支えながらゆっくり開いてください。

一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)には、方向性が有りますので、ご注意ください。

また、天袋設置と地袋設置の場合で、受信装置の取付位置を変更してください。

出荷状態は、天袋設置用としています。



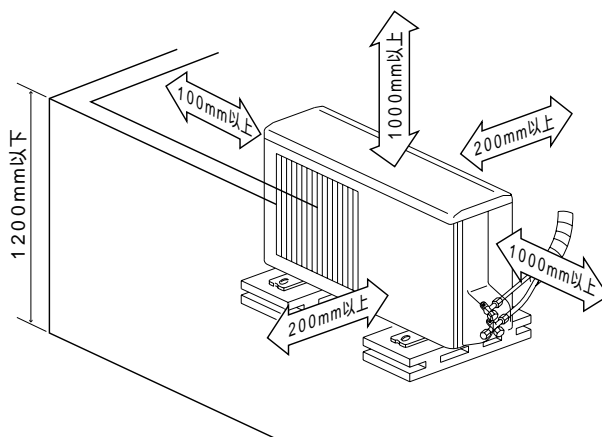
## 室外ユニット据付設置例

周囲必要空間は、エアコンの性能を保証するために必要な空間です。また後々のサービス、補修なども考慮してできるだけ周囲空間が大きくとれる場所に設置してください。

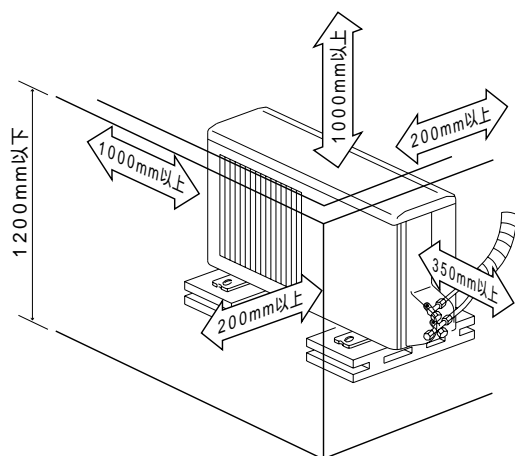
### 形名

MBZ-28RAS  
MBZ-36RAS  
MBZ-40RAS  
MBZ-50RAS

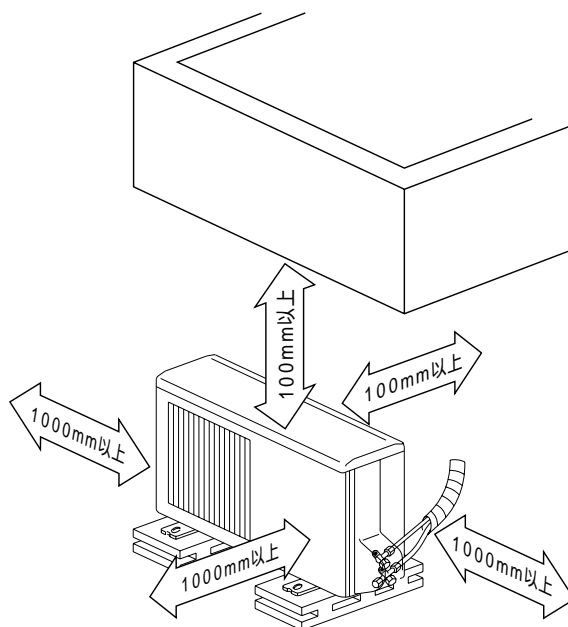
正面 / 左側面に障害物がある場合  
(マンションのベランダなど)



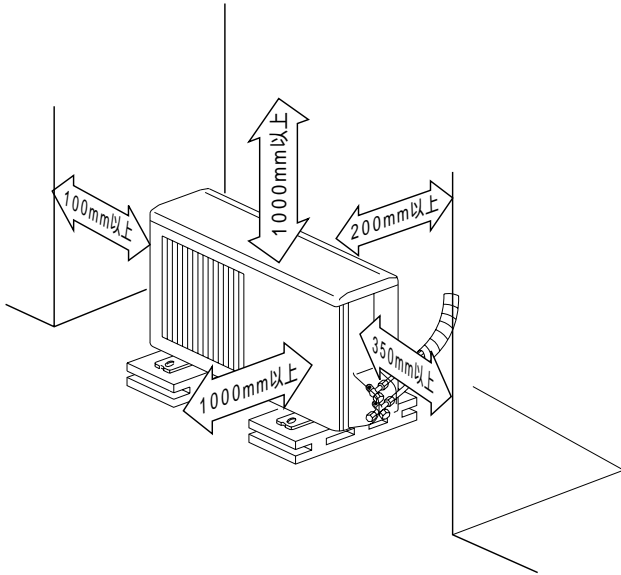
正面 / 右側面に障害物がある場合  
(マンションのベランダなど)



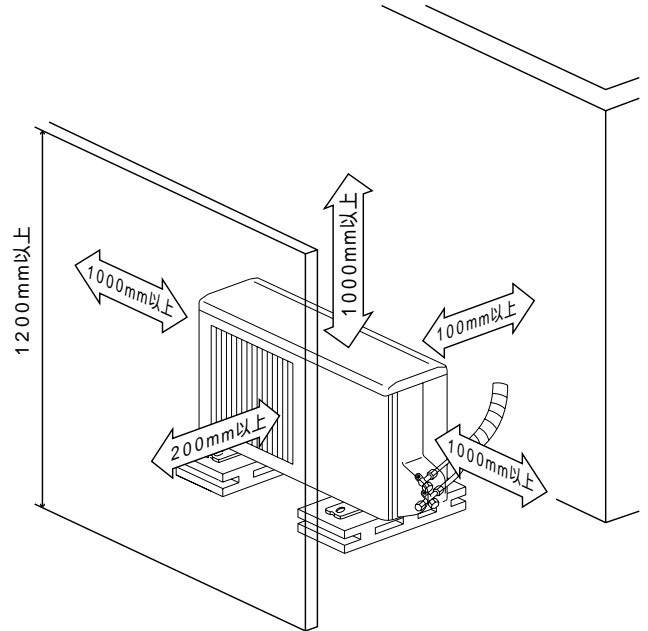
上面に障害物がある場合  
(出窓の下など)



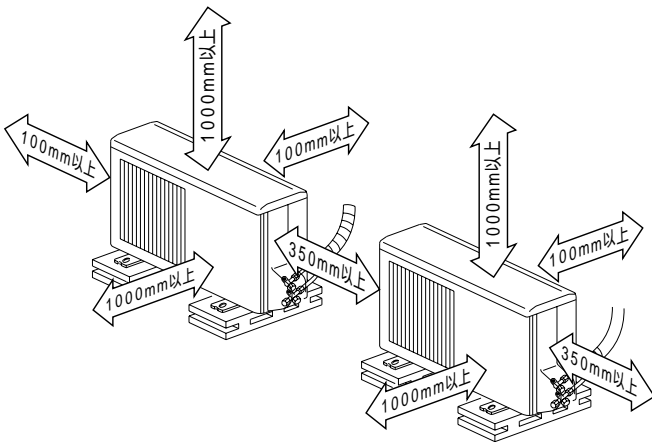
左右側面 / 背面に障害物がある場合



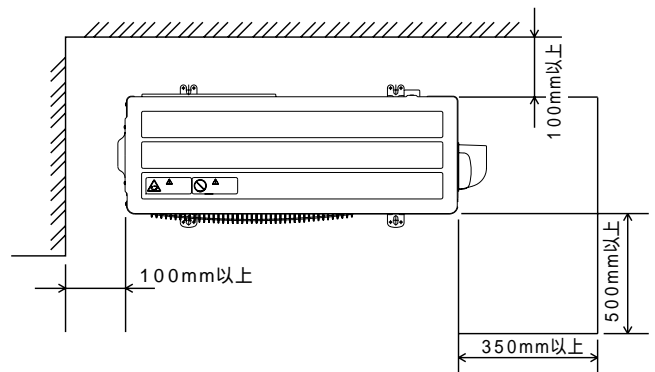
正面 / 背面に障害物がある場合  
(正面の障害物の高さが、1200mm以上の場合)



横連続設置の場合



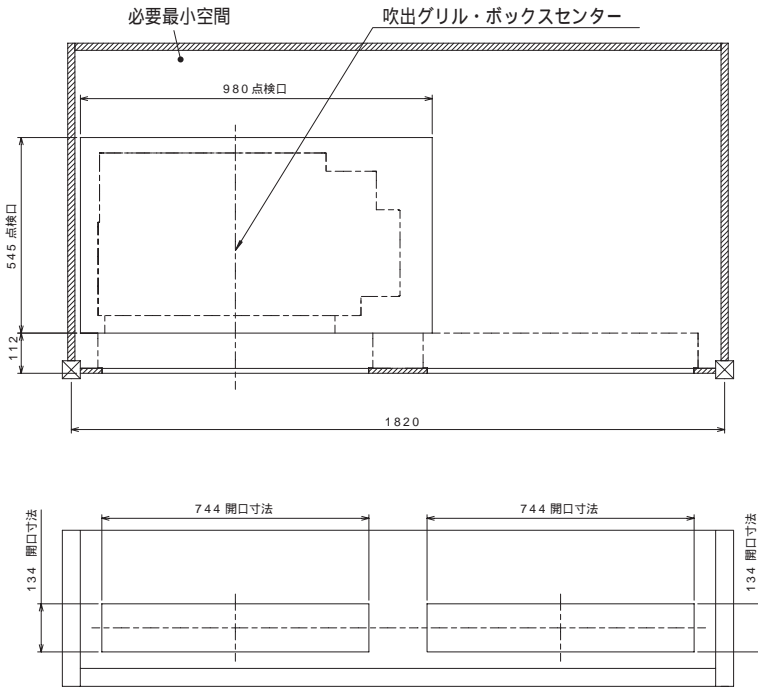
サービススペース



# 設置パターン別施工要領

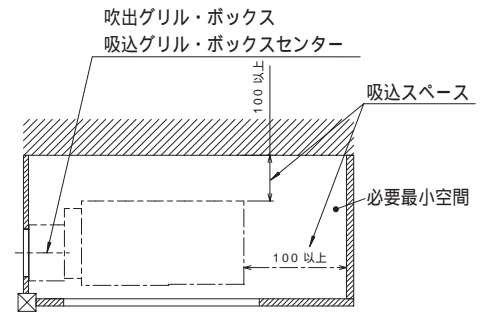
## < 開口穴と点検口の位置および必要最小空間 > 一間幅天袋吊り設置

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



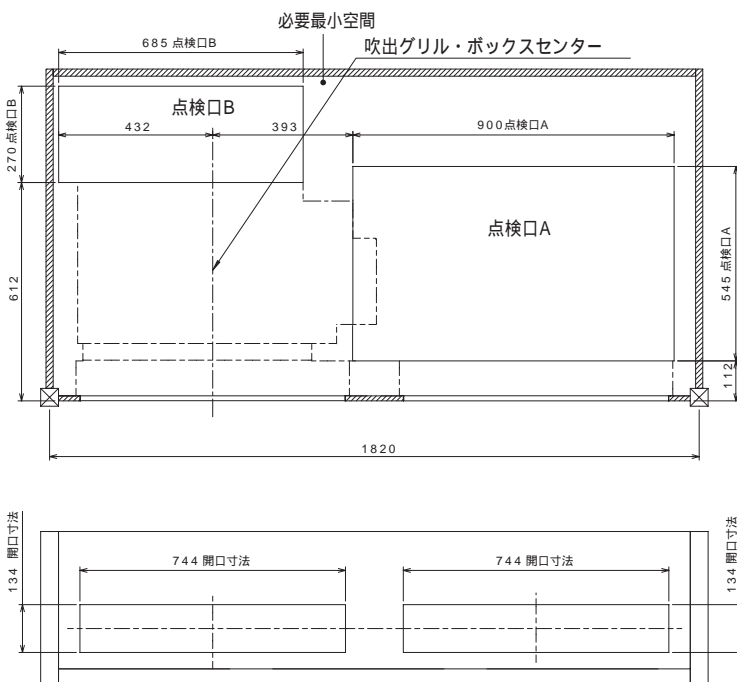
### 支柱：現地調達

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
据付枠は必ず水平にセットしてください。  
室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
点検口は必ず設けてください。  
室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



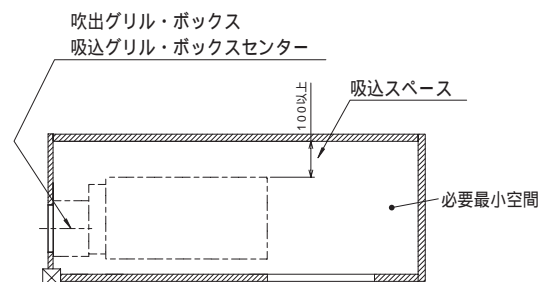
## 一間幅天袋置き設置

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



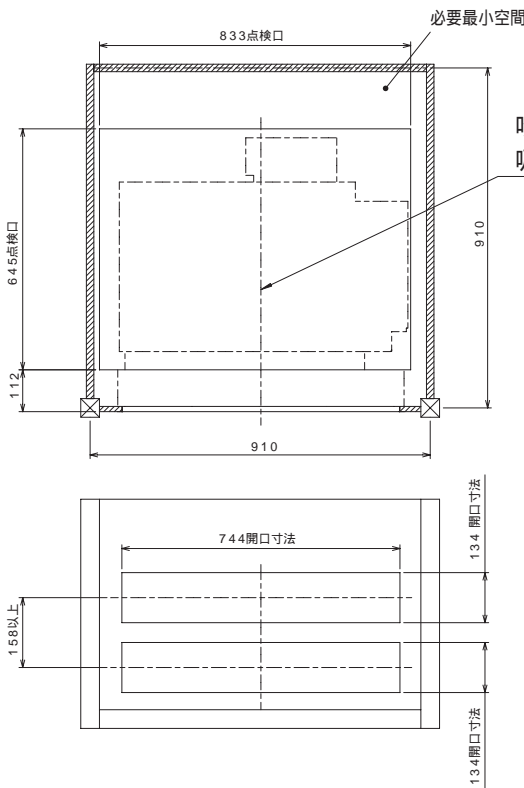
### 支柱：現地調達

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
据付枠は必ず水平にセットしてください。  
室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
点検口A,Bは必ず設けてください。  
室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。





### 半間幅天袋吊り設置 < グリル縦置き >



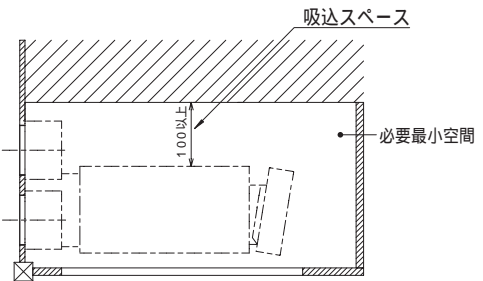
吹出グリル・ボックス  
吸込グリル・ボックスセンター

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

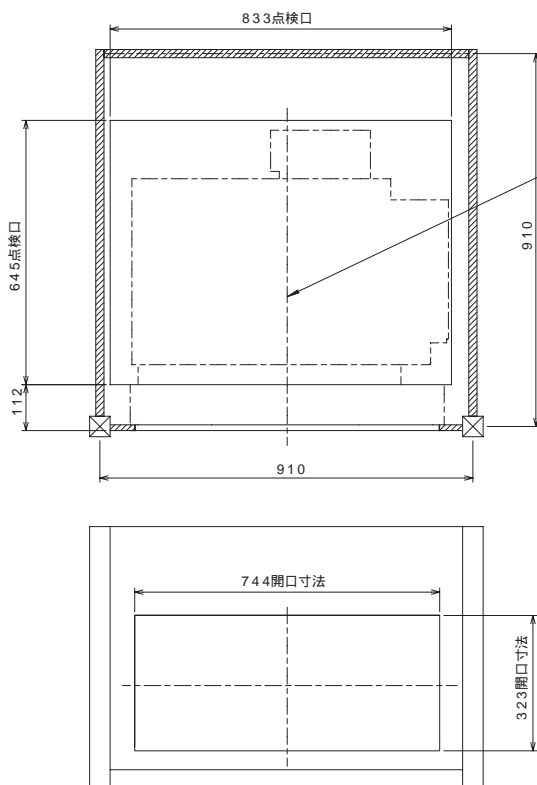
支柱：現地調達

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
据付枠は必ず水平にセットしてください。  
室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
点検口は必ず設けてください。  
室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。

吸込グリル  
ボックスセンター  
吹出グリル  
ボックスセンター



### 半間幅天袋吊り設置 < 一面グリル >



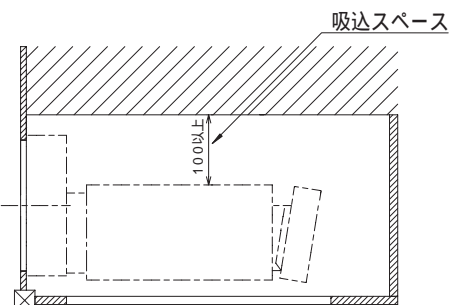
一面グリル  
据付ボックスセンター

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

支柱：現地調達

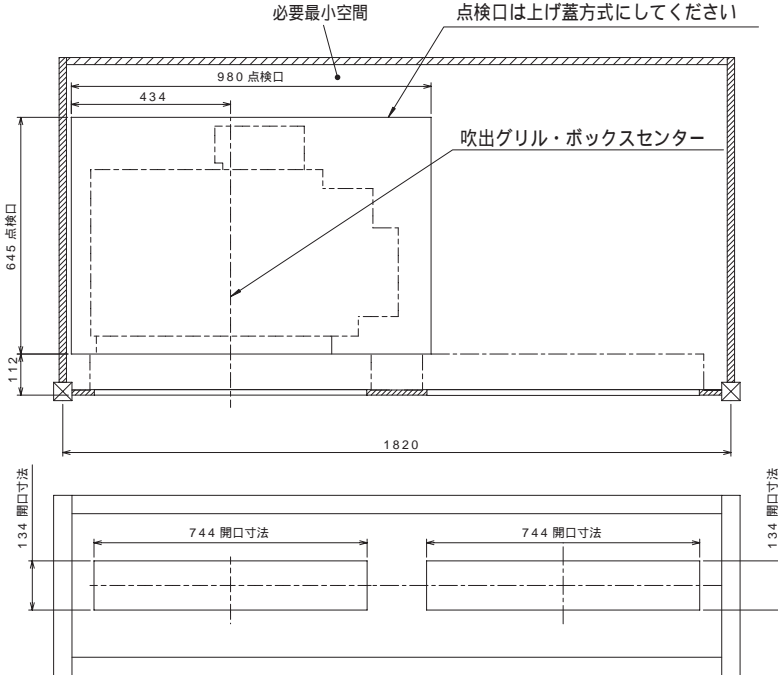
据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
据付枠は必ず水平にセットしてください。  
室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
点検口は必ず設けてください。  
室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。

一面グリル・  
据付ボックスセンター



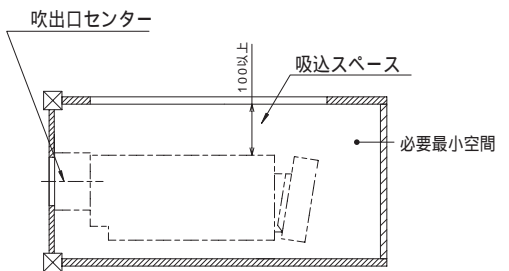
一間幅地袋置き設置

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



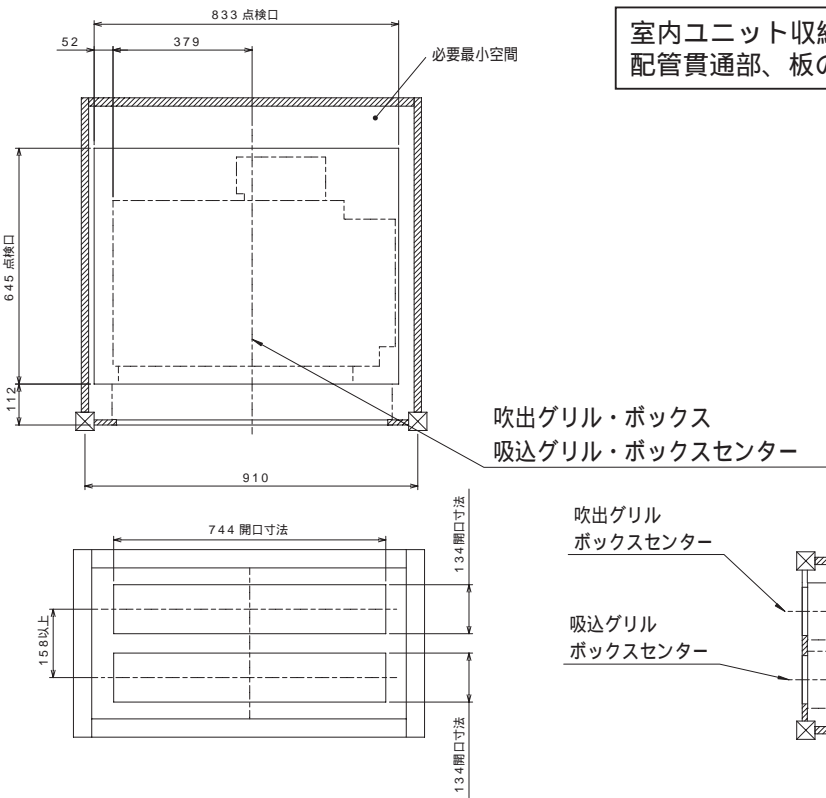
支柱：現地調達

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
 据付枠は必ず水平にセットしてください。  
 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
 点検口は必ず設けてください。  
 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



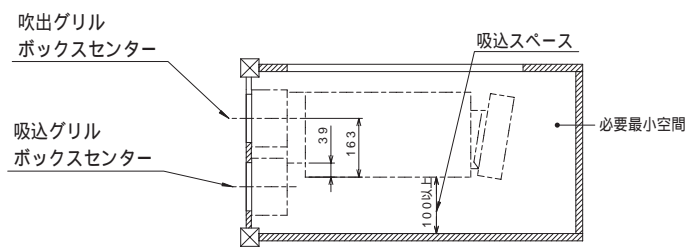
半間幅地袋置き設置<グリル縦置き>

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

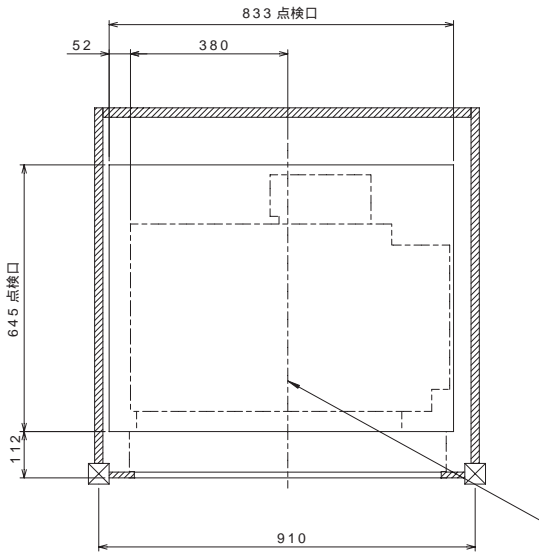


支柱：現地調達

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
 据付枠は必ず水平にセットしてください。  
 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
 点検口は必ず設けてください。  
 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。

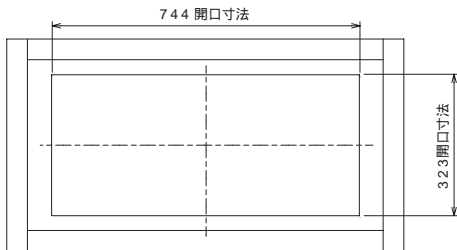


### 半間幅地袋置き設置<一面グリル>

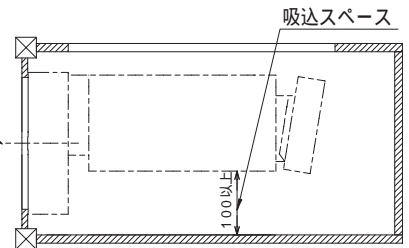


室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

一面グリル・  
据付ボックスセンター

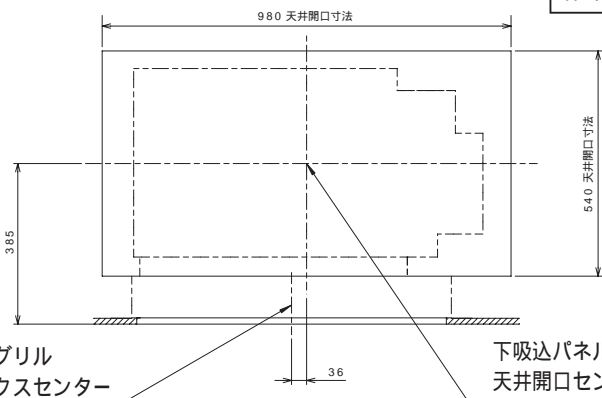


一面グリル・  
据付ボックスセンター

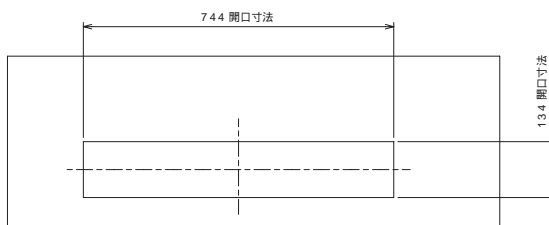


### 下がり天井設置<キャンバダクトなし>

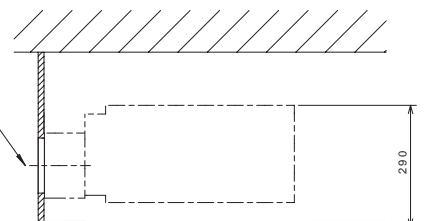
室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



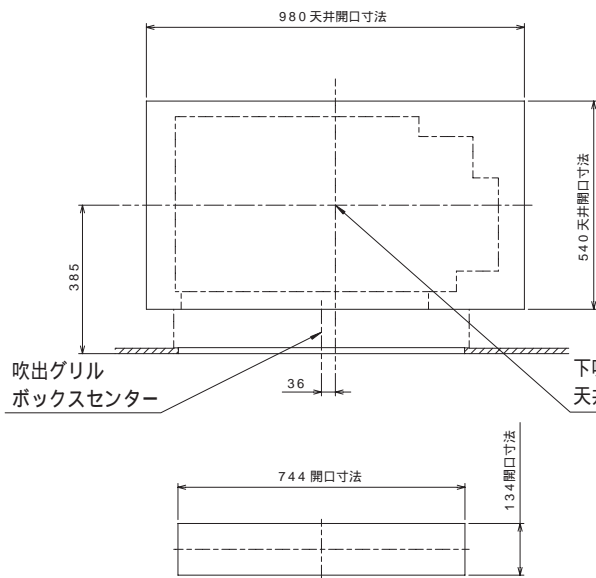
支柱：現地調達  
据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
据付枠は必ず水平にセットしてください。  
室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
下吸込パネル取付け用の天井開口が点検口になります。



吹出グリル  
ボックスセンター



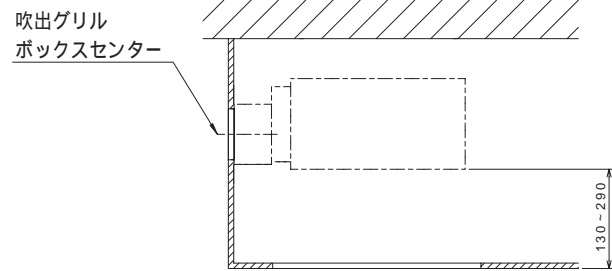
下がり天井設置<キャンバスダクトあり>



室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

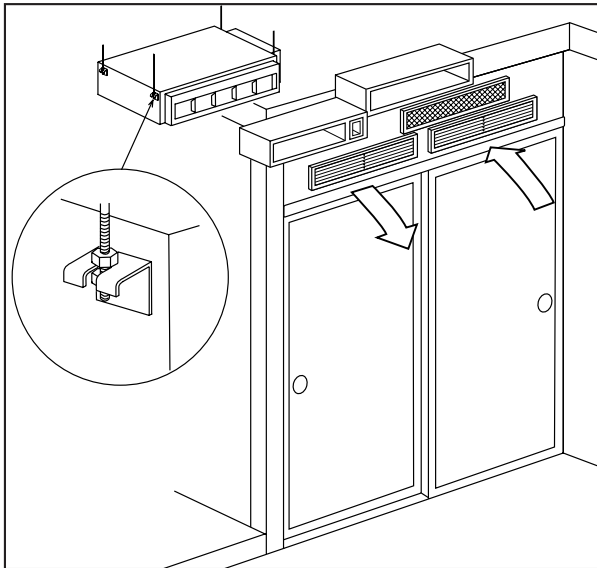
支柱：現地調達

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
 据付枠は必ず水平にセットしてください。  
 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
 下吸込パネル取付け用の天井開口が点検口になります。



## 一間幅天袋吊り設置

### (1) 設置イメージ図

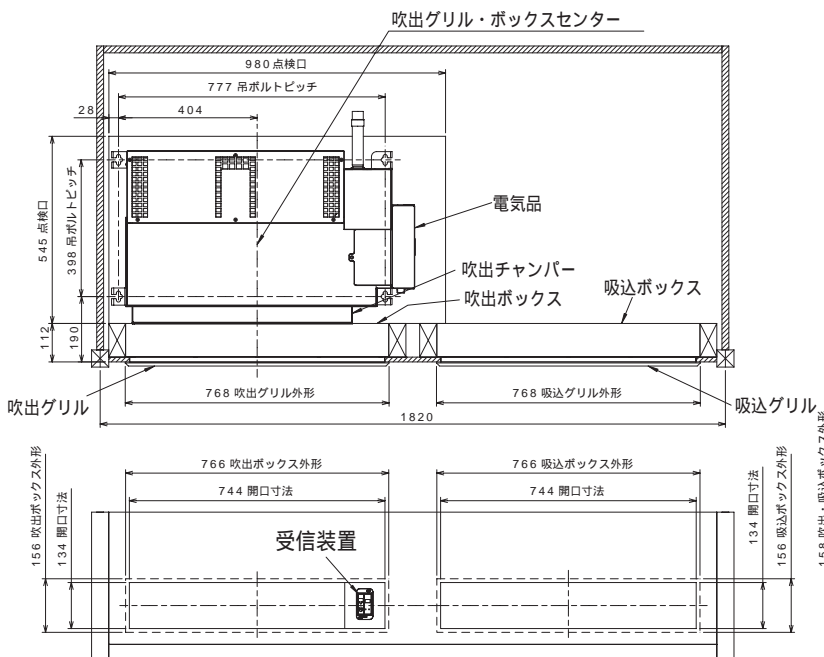


### (2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

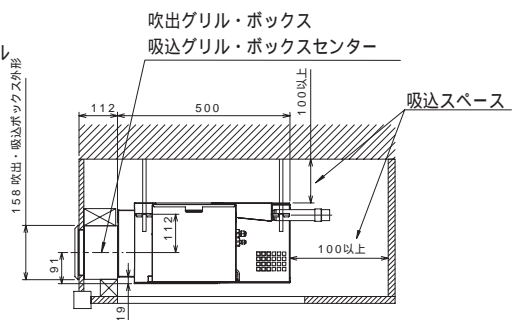
### (3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P38、P39を参照ください。)

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



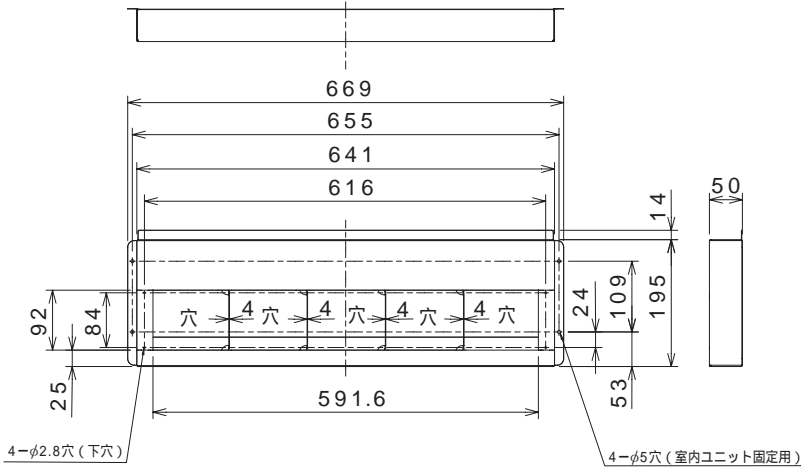
#### 支柱：現地調達

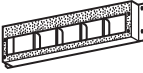

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
据付枠は必ず水平にセットしてください。  
室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
点検口は必ず設けてください。  
室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



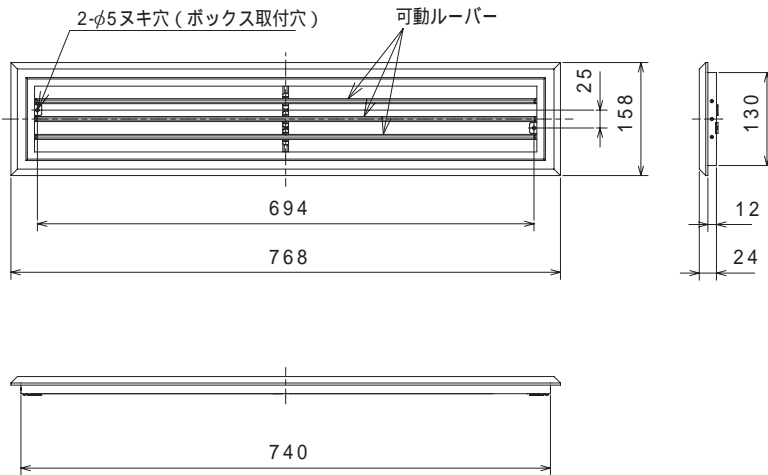
(4) 別売部品 外形図

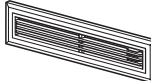

吹出チャンバー MAC-500FC



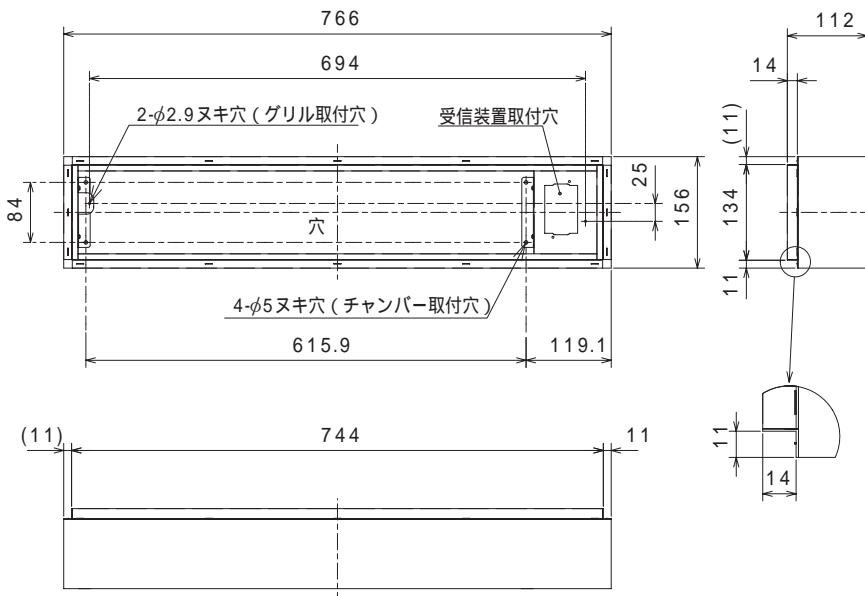
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

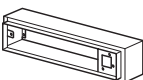



吹出グリル MAC-501FG (白木) MAC-502FG (ホワイト)



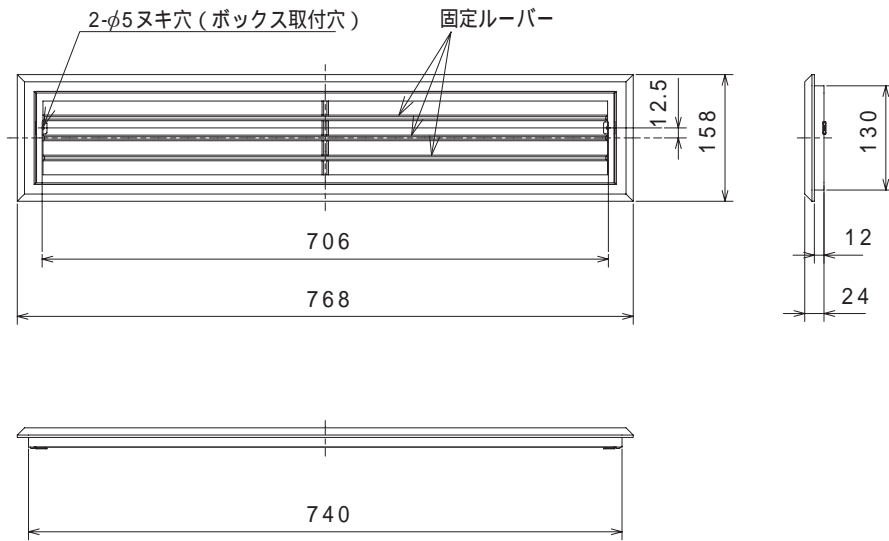
MAC-501FG 構成部品 MAC-502FG	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10 (黒)	

吹出ボックス MAC-503FB



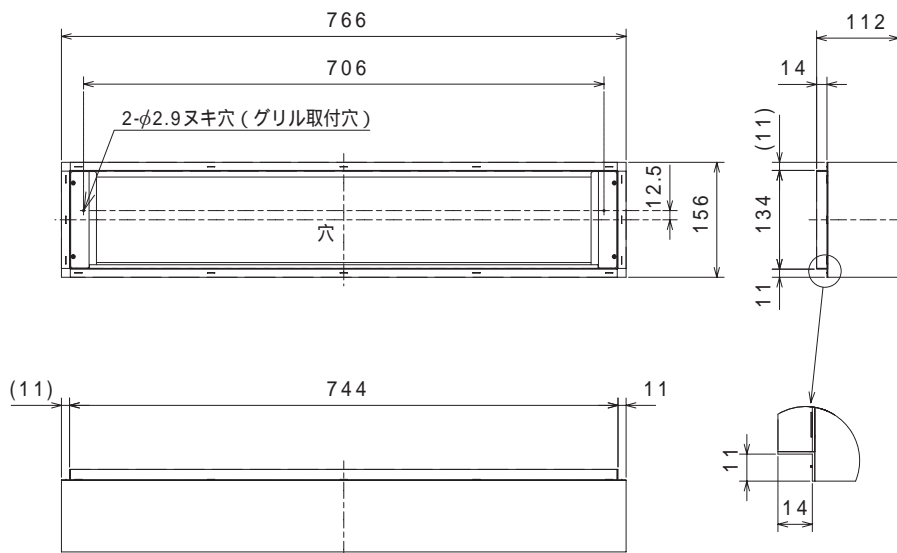
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材(大・小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×12 (黒)	

吸込グリル MAC-504SG (白木) MAC-505SG (ホワイト)



MAC-504SG MAC-505SG 構成部品			
① 吸込グリル (外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル (内枠)	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		2
タッピングネジ 4×10 (黒)			

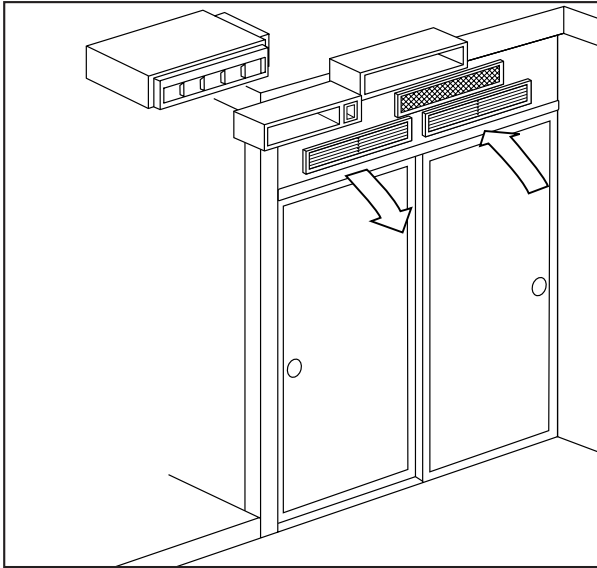
吸込ボックス MAC-506SB



MAC-506SB 構成部品	
① 吸込ボックス	数量
	1

## 一間幅天袋置き設置

### (1) 設置イメージ図

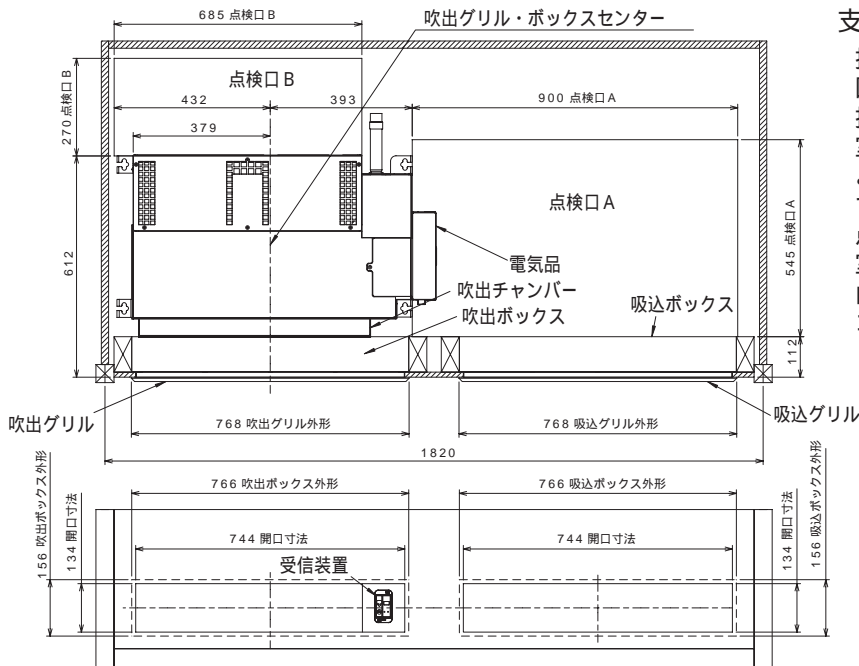


### (2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

### (3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P38、P39を参照ください。)

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



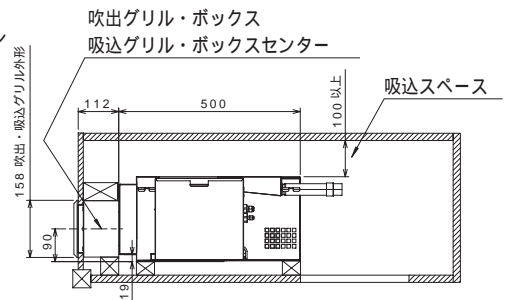
#### 支柱：現地調達

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。

据付枠は必ず水平にセットしてください。室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。

点検口A,Bは必ず設けてください。

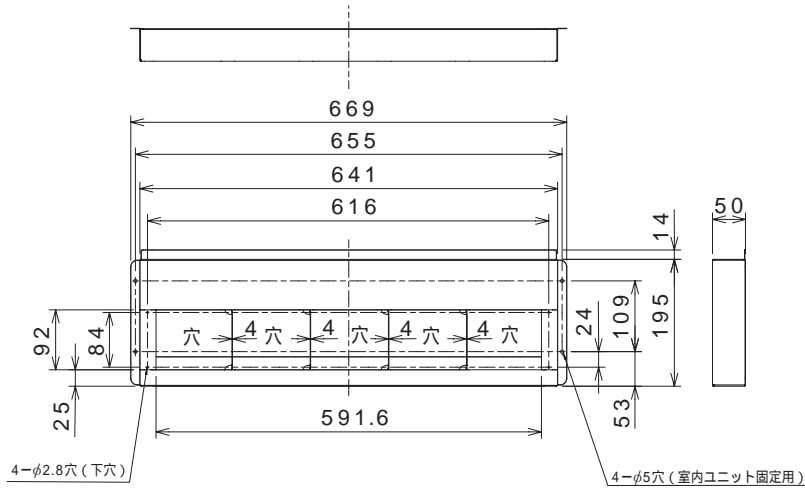
室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。

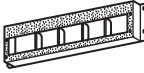





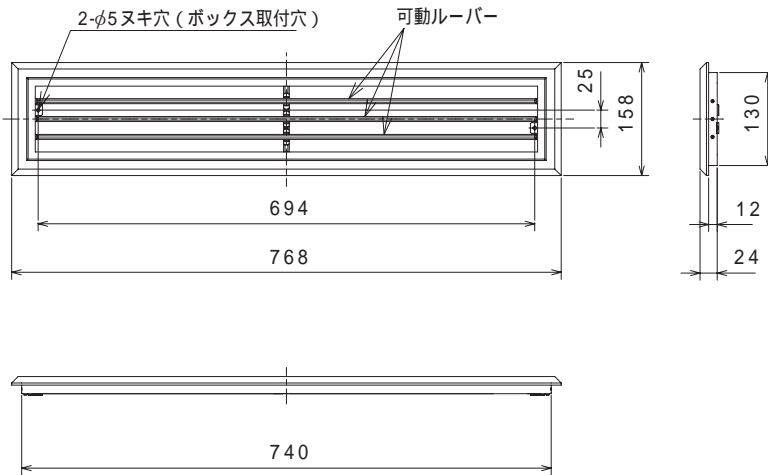
(4) 別売部品 外形図

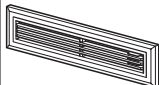

吹出チャンパー MAC-500FC



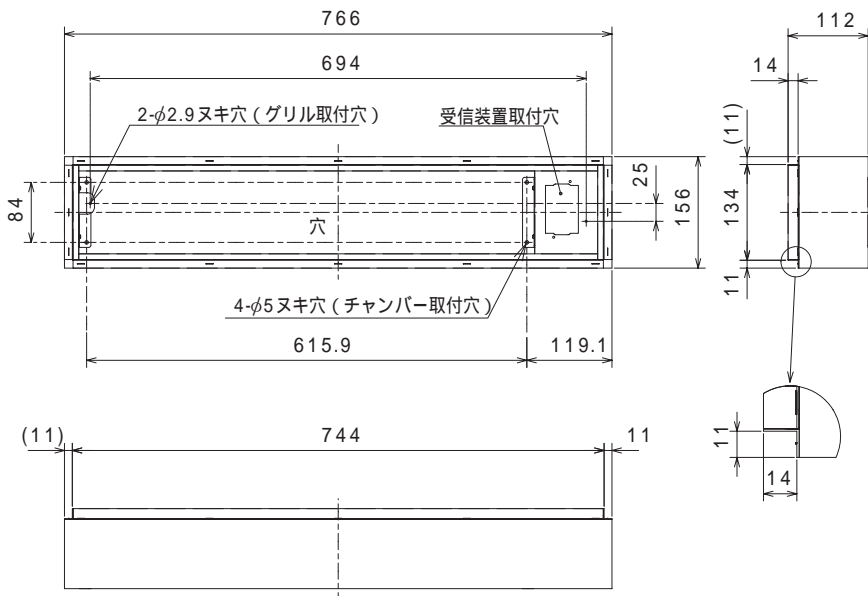
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンパー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

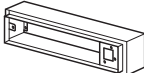



吹出グリル MAC-501FG (白木) MAC-502FG (ホワイト)



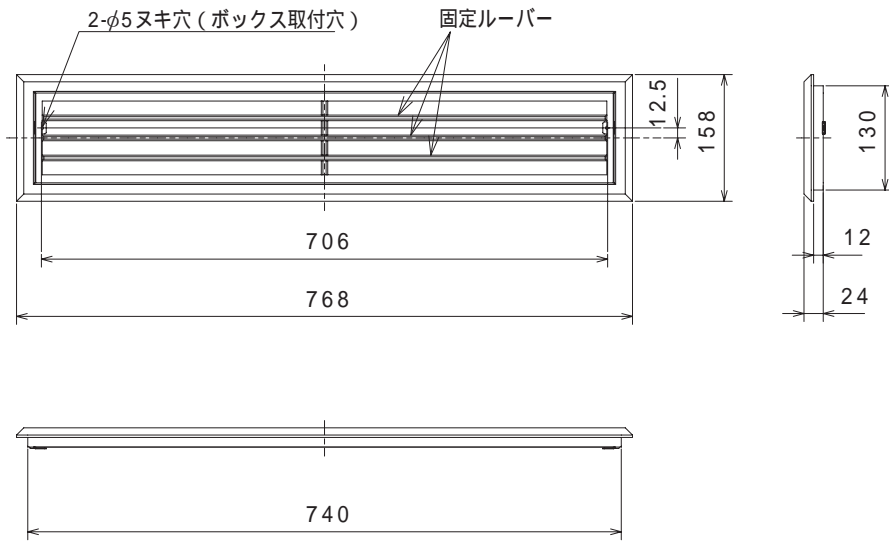
MAC-501FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10 (黒)	

吹出ボックス MAC-503FB



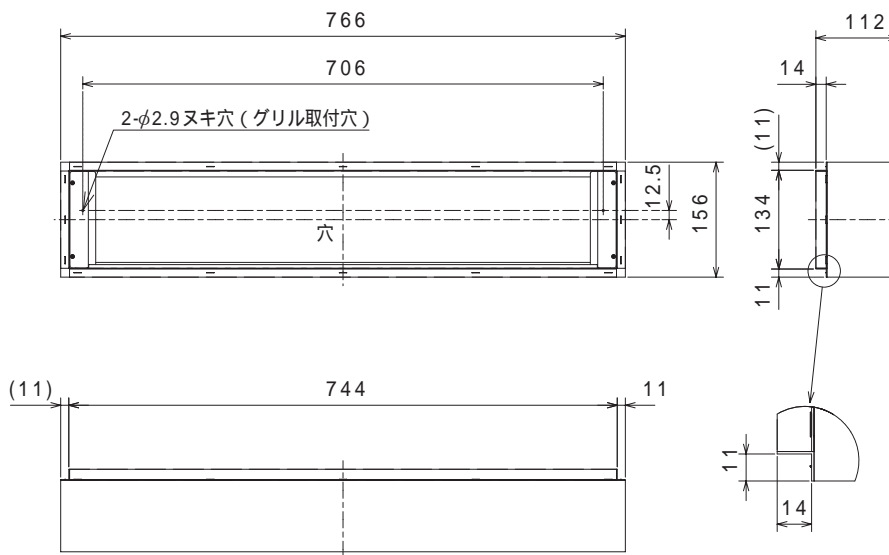
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材 (大・小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×12 (黒)	

吸込グリル MAC-504SG (白木) MAC-505SG (ホワイト)



MAC-504SG MAC-505SG 構成部品			
① 吸込グリル (外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル (内枠)	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		2
タッピングネジ 4×10 (黒)			

吸込ボックス MAC-506SB



MAC-506SB 構成部品	
① 吸込ボックス	数量
	1

## 据付要領(一間幅天袋吊り・置き設置)

### 1.室内ユニット点検口と開口穴の設定

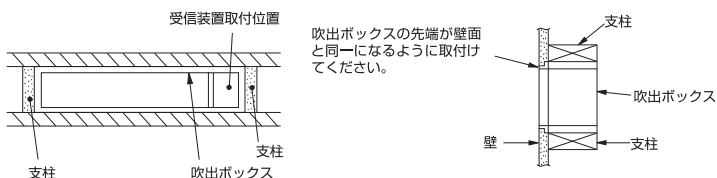
室内ユニット点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

### 2.吹出ボックス/吸込ボックスの取付

吹出ボックス(MAC-503FB)には方向性がありますのでご注意ください。

吹出ボックス(MAC-503FB)に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。

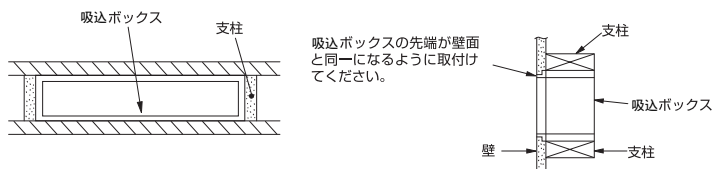
吹出ボックス(MAC-503FB)は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



吸込ボックス(MAC-506SB)には方向性がありますのでご注意ください。

「天」の文字が表示されている方を天面側になるように取付けてください。

吸込ボックス(MAC-506SB)は柱等重量を支える部材を通して固定してください。



各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法とP116のMAC-503FB、P119のMAC-506SBの据付要領にしたがって取付けてください。

### 3.室内ユニットの先行準備

#### (1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

室内ユニットの各接続部位置は、前頁の位置にあります。

設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。

ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管VP20が室内ユニットのドレン口と接続できます。

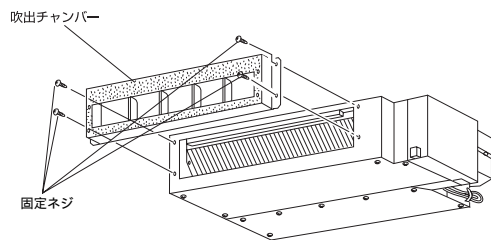
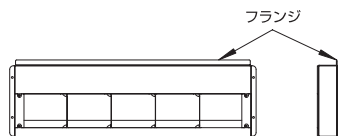
内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内ユニット近傍で余裕をもたせておいてください。

#### (2) 別売部品 吹出チャンパー(MAC-500FC)の取付

吹出チャンパー(MAC-500FC)を室内ユニットの吹出側に取付けます。(固定ネジ4本)

吹出チャンパーには、方向性がありますのでご注意ください。

天袋設置の場合は、風向が下(フランジが上)になるよう取付けてください。



#### (3) 電気品箱の移動：電気品箱を室内ユニット背面に移動したい場合にのみ実施してください。

室内ユニット付属部品の電気品背面取付金具⑦

を室内ユニットの背面に2個取付けます

電気品箱を室内ユニット側面から取外します。

(ネジ3本)

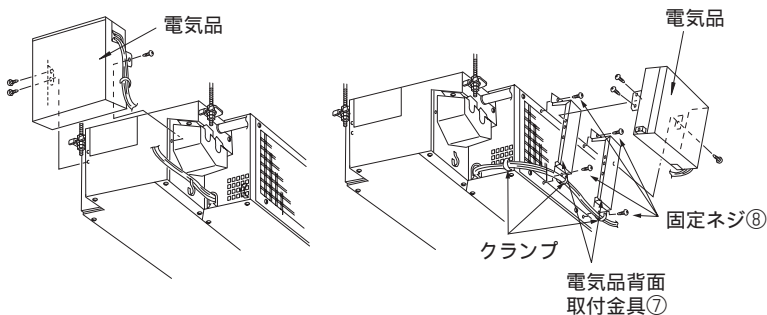
右図のようにリード線を接続したまま電気品背面

固定金具に取付けます。(ネジ3本)

リード線は右図のように室内ユニットと電気品

箱背面固定金具のクランプ(3カ所)にて固定し

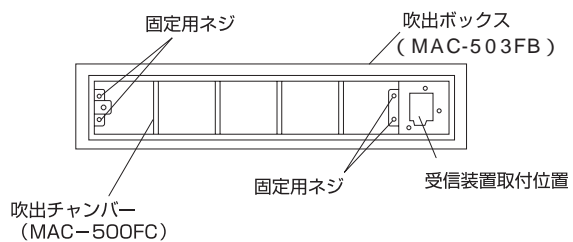
てください。



#### 4. 据付工事

P17の据付手順にしたがってください。

#### 5. 吹出ボックス(MAC-503FB)と室内ユニットの固定



吹出ボックスの左右各2カ所を、吹出チャンバー(MAC-500FC)に固定用ネジで固定します。

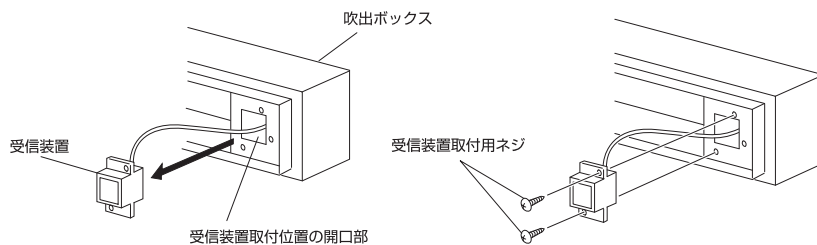
次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材(小)を、内側の上下面に断熱材(大)をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス(MAC-503FB)、吸込ボックス(MAC-506SB)の取付確認をしてください。

#### 6. 受信装置の取付

受信装置は、吹出ボックス(MAC-503FB)の右端に取付けます。

受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。



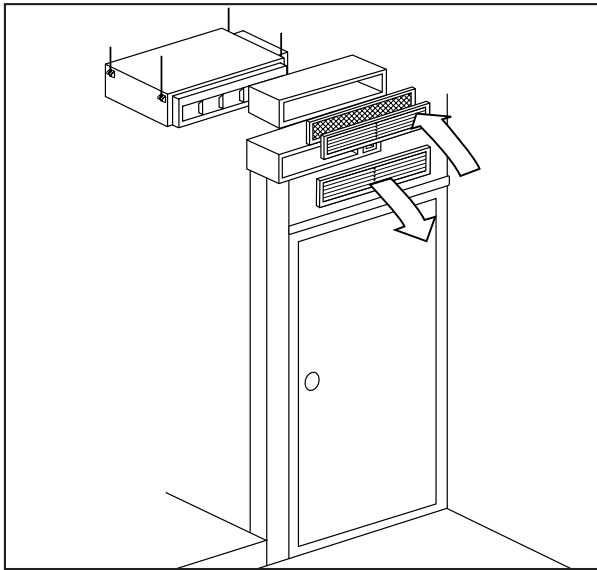
#### 7. 吹出グリル(MAC-501FG/502FG) / 吸込グリル(MAC-504SG/505SG)の取付

P115、P118の据付説明書にしたがって取付けてください。

吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

半間幅天袋吊り設置<グリル縦置き>

(1) 設置イメージ図

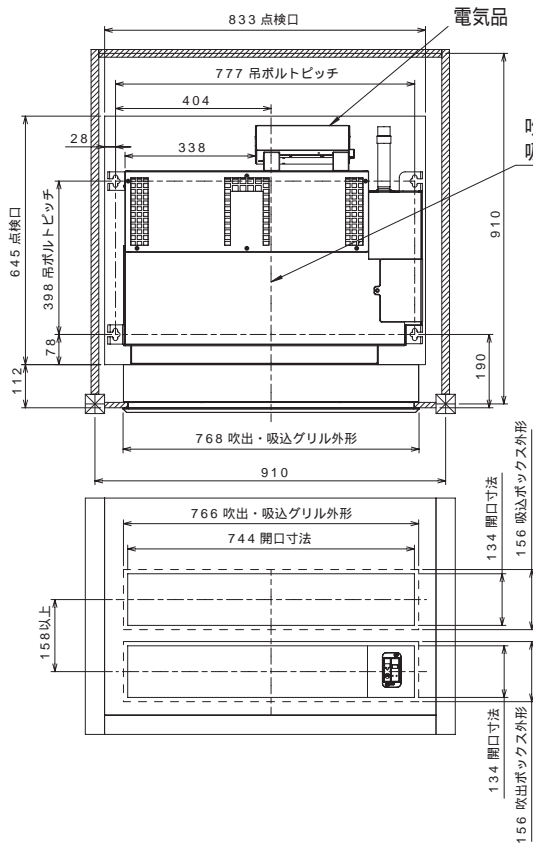


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

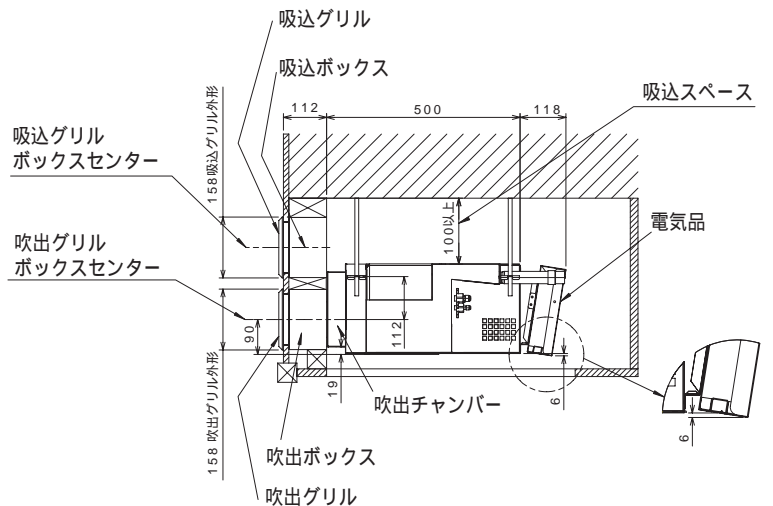
(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P43、P44を参照ください。)

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



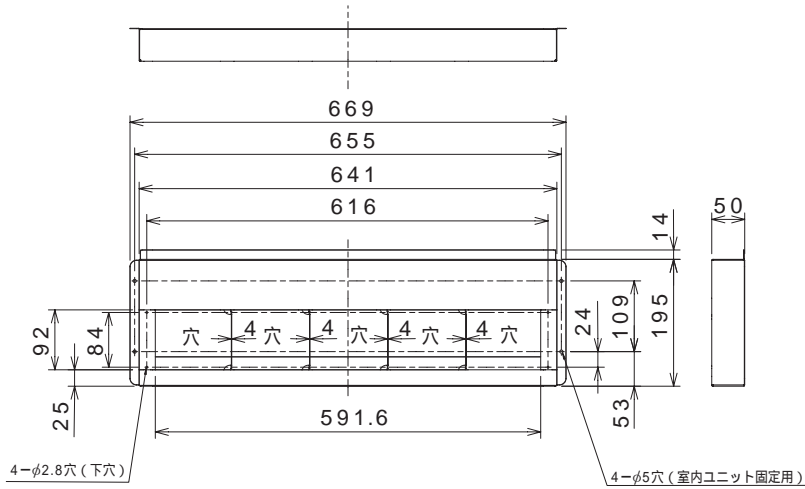
支柱：現地調達

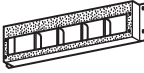

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
 据付枠は必ず水平にセットしてください。  
 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
 点検口は必ず設けてください。  
 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



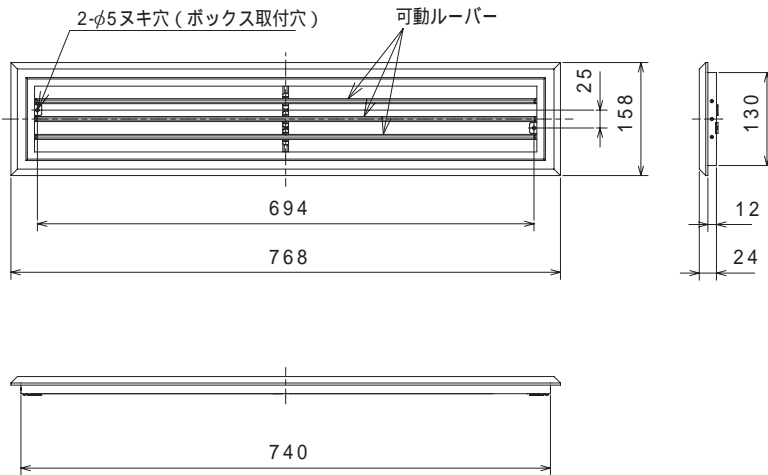
(4) 別売部品 外形図

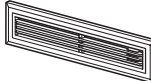

吹出チャンパー MAC-500FC



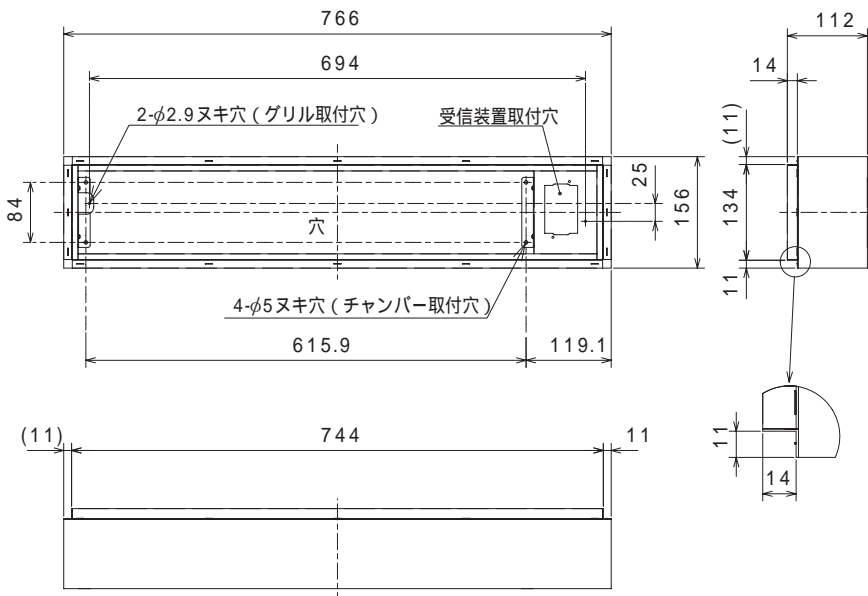
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンパー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

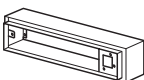



吹出グリル MAC-501FG (白木) MAC-502FG (ホワイト)



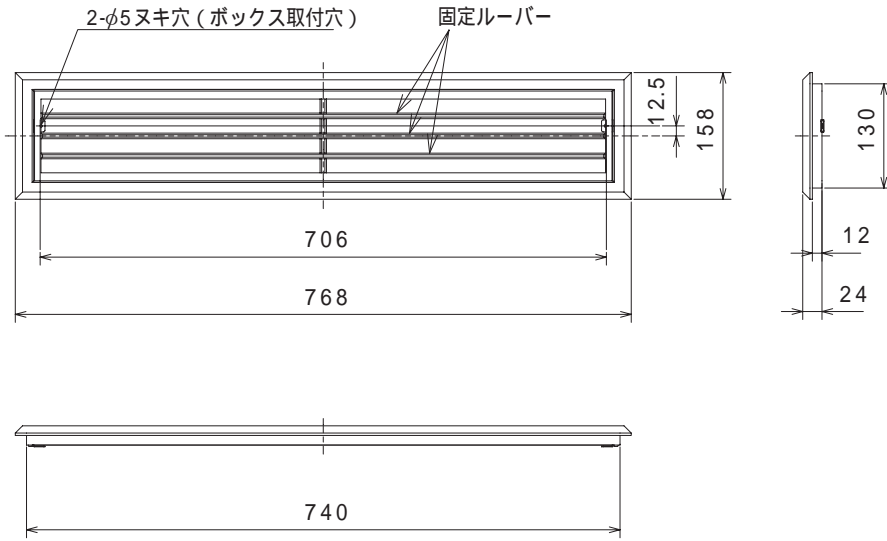
MAC-501FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10 (黒)	

吹出ボックス MAC-503FB



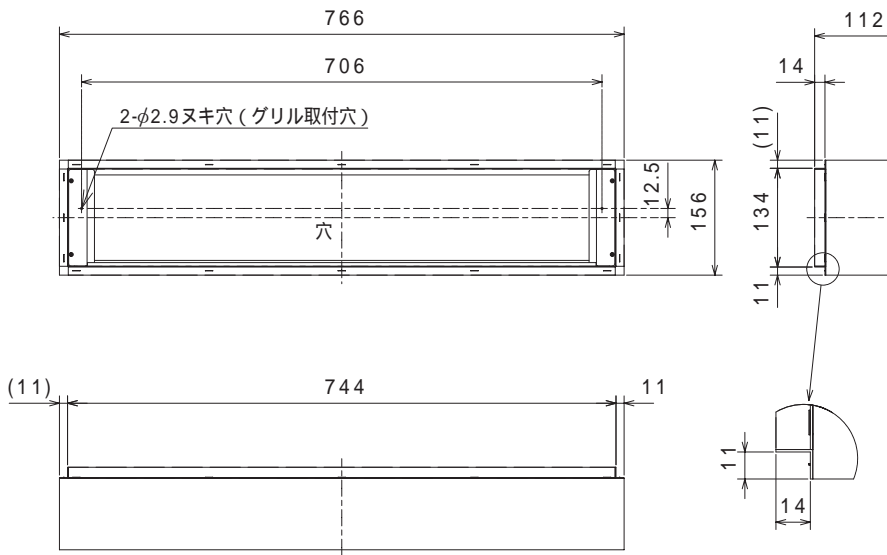
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材 (大・小)	各 2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×12 (黒)	

吸込グリル MAC-504SG (白木) MAC-505SG (ホワイト)



MAC-504SG MAC-505SG 構成部品			
① 吸込グリル (外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル (内枠)	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		2
タッピングネジ 4×10 (黒)			

吸込ボックス MAC-506SB



MAC-506SB 構成部品	
① 吸込ボックス	数量
	1



## 据付要領(半間幅天袋吊り設置)

### 1.室内ユニット点検口と開口穴の設定

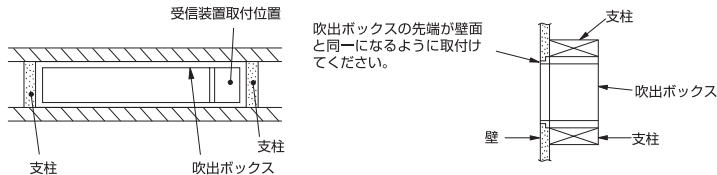
室内ユニット点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

### 2.吹出ボックス/吸込ボックスの取付

吹出ボックス(MAC-503FB)には方向性がありますのでご注意ください。

吹出ボックス(MAC-503FB)に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。

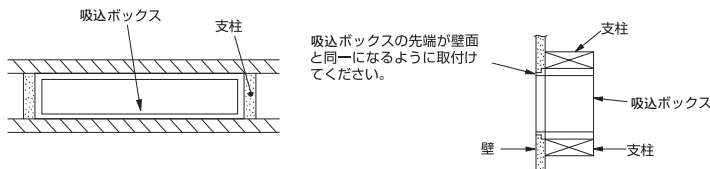
吹出ボックス(MAC-503FB)は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



吸込ボックス(MAC-506SB)には方向性がありますのでご注意ください。

「天」の文字が表示されている方を天面側になるように取付けてください。

吸込ボックス(MAC-506SB)は柱等重量を支える部材を通して固定してください。



各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法とP116のMAC-503FB、P119のMAC-506SBの据付要領にしたがって取付けてください。

### 3.室内ユニットの先行準備

#### (1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

室内ユニットの各接続部位置は、前頁の位置にあります。

設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。

ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管VP20が室内ユニットのドレン口と接続できます。

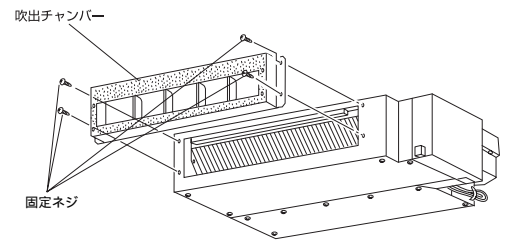
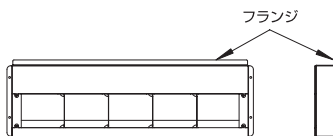
内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内ユニット近傍で余裕をもたせておいてください。

#### (2) 別売部品 吹出チャンバー(MAC-500FC)の取付

吹出チャンバー(MAC-500FC)を室内ユニットの吹出側に取付けます。(固定ネジ4本)

吹出チャンバーには、方向性がありますのでご注意ください。

天袋設置の場合は、風向が下(フランジが上)になるよう取付けてください。



#### (3) 電気品箱の移動：電気品箱を室内ユニット背面に移動します。

室内ユニット付属部品の電気品背面取付金具⑦

を室内ユニットの背面に2個取付けます

電気品箱を室内ユニット側面から取外します。

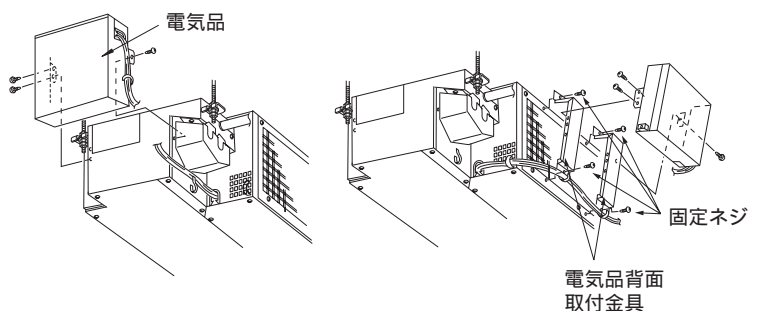
(ネジ3本)

右図のようにリード線を接続したまま電気品背面

固定金具に取付けます。(ネジ3本)

リード線は右図のように室内ユニットと電気品

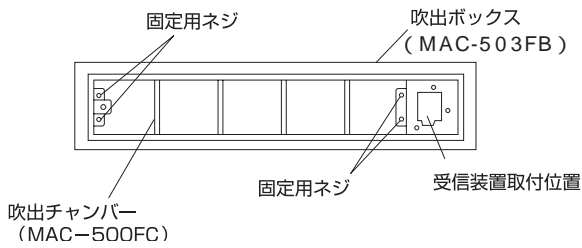
箱背面固定金具のクランプ(3カ所)にて固定してください。



#### 4. 据付工事

P17の据付手順にしたがってください。

#### 5. 吹出ボックス(MAC-503FB)と室内ユニットの固定



吹出ボックスの左右各2カ所を、吹出チャンバー(MAC-500FC)に固定用ネジで固定します。

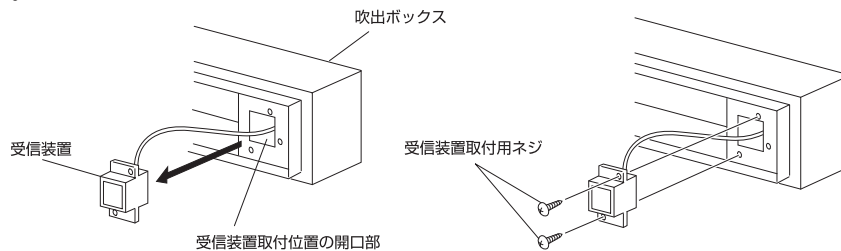
次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材(小)を、内側の上下面に断熱材(大)をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス(MAC-503FB)、吸込ボックス(MAC-506SB)の取付確認をしてください。

#### 6. 受信装置の取付

受信装置は、吹出ボックス(MAC-503FB)の右端に取付けます。

受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。



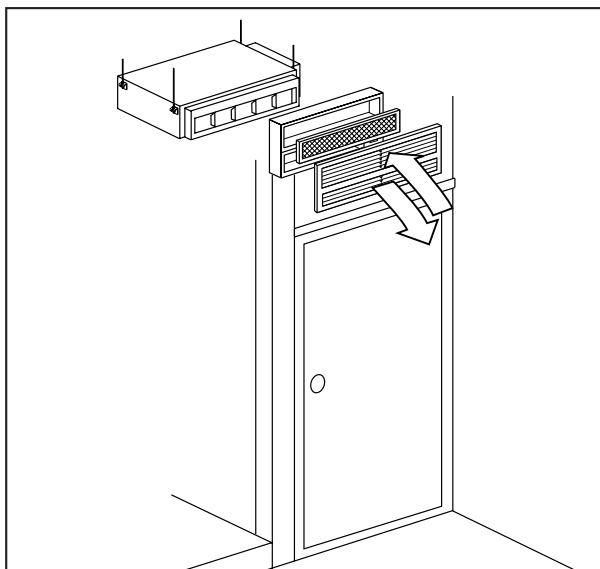
#### 7. 吹出グリル(MAC-501FG/502FG) / 吸込グリル(MAC-504SG/505SG)の取付

P115、P118の据付説明書にしたがって取付けてください。

吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

## 半間幅天袋吊り設置<一面グリル>

### (1) 設置イメージ図

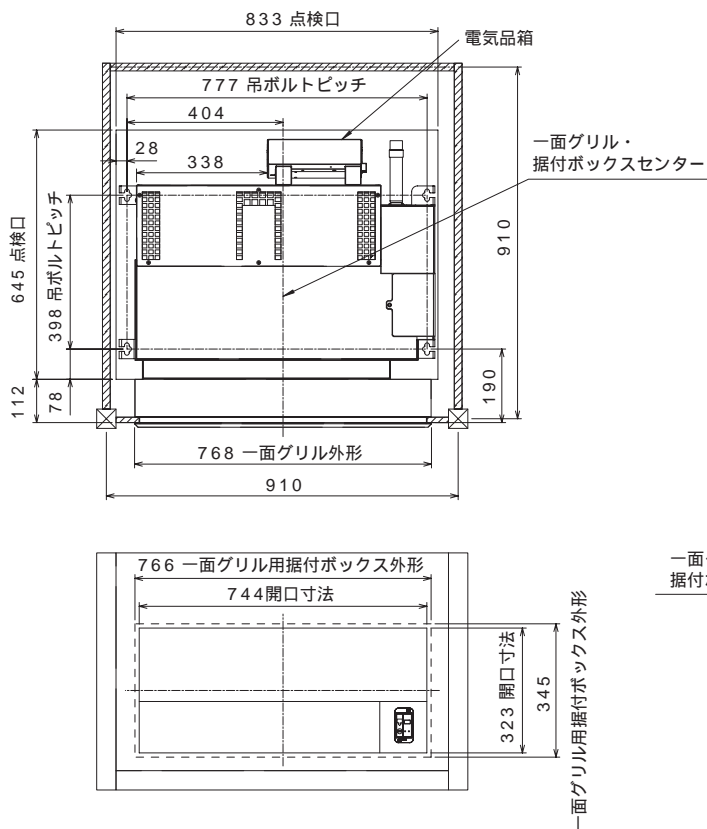


### (2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
一面グリル(白木)	MAC-525TG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
一面グリル(ホワイト)	MAC-526TG	
一面グリル用据付ボックス	MAC-529TB	

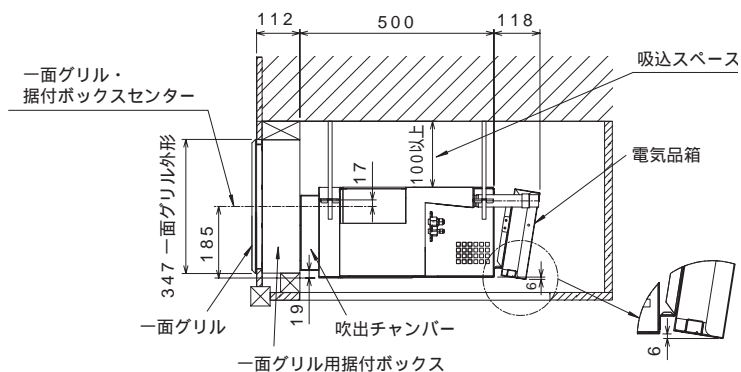
### (3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P49~P51を参照ください。)

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



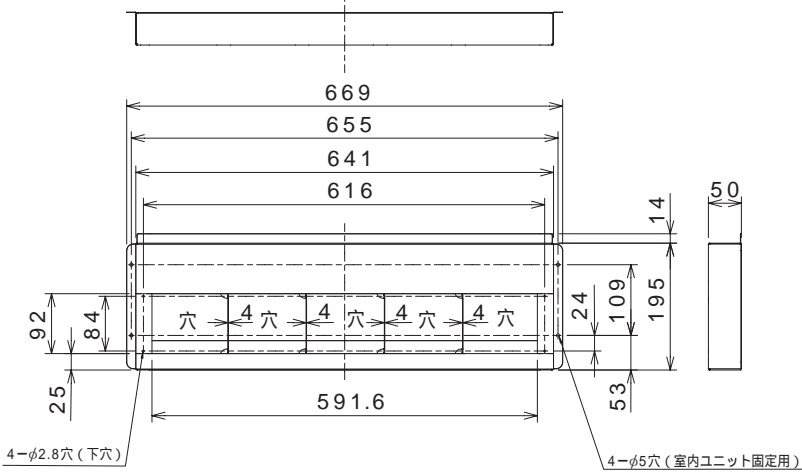
#### 支柱：現地調達

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
据付枠は必ず水平にセットしてください。室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
点検口は必ず設けてください。  
室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



(4) 別売部品 外形図

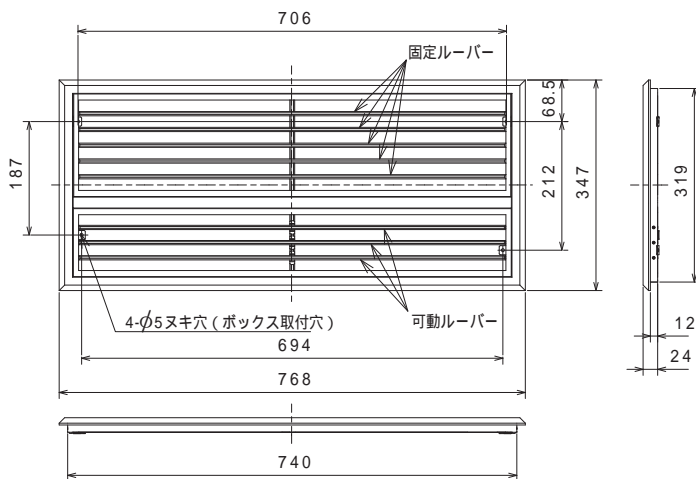
吹出チャンパー MAC-500FC



MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンパー	数量 1
② ①の固定用ネジ	数量 4
六角頭タッピングネジ 4×12	

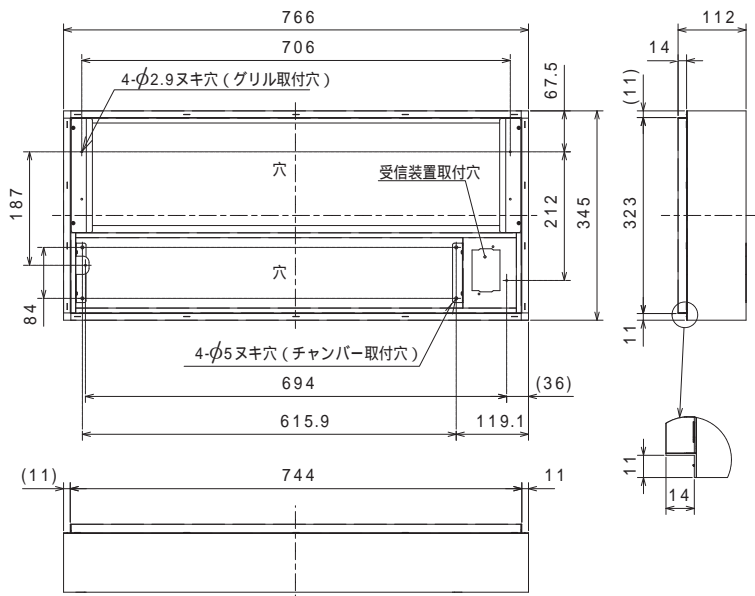
一面グリル MAC-525TG (白木) MAC-526TG (ホワイト)

出荷状態(天袋設置)を示す。



MAC-525TG,526TG構成部品			
① 一面グリル (外枠)	数量 1	④ スペース (両面テープ付)	数量 1
② 一面グリル (内枠)	数量 1	⑤ ①の固定用ネジ	数量 4
		タッピングネジ 4×10 (黒)	
③ エアフィルター	数量 1	—	数量 —

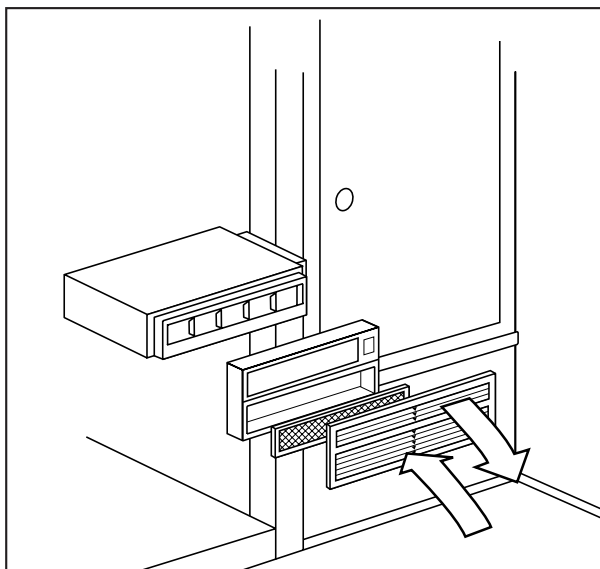
一面グリル用据付ボックス MAC-529TB 出荷状態(天袋設置)を示す。



MAC-529TB構成部品			
① 一面グリル用 据付ボックス	数量 1	④ シール材 (黒色)	数量 大・小 1
② 断熱材 (大・小)	大・小各 2	⑤ ①の固定用ネジ	数量 4
		タッピングネジ 4×12	
③ クッション材	数量 1	⑥ 受信装置取付用ネジ	数量 2
		タッピングネジ 4×10 (黒)	

## 半間幅地袋置き設置<一面グリル>

### (1) 設置イメージ図

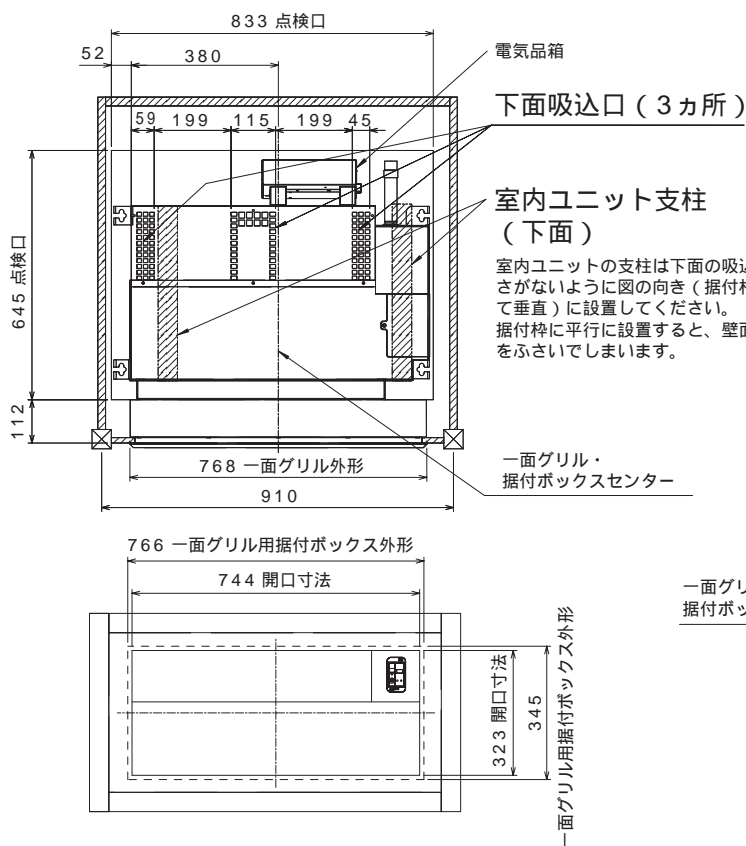


### (2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
一面グリル(白木)	MAC-525TG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
一面グリル(ホワイト)	MAC-526TG	
一面グリル用据付ボックス	MAC-529TB	

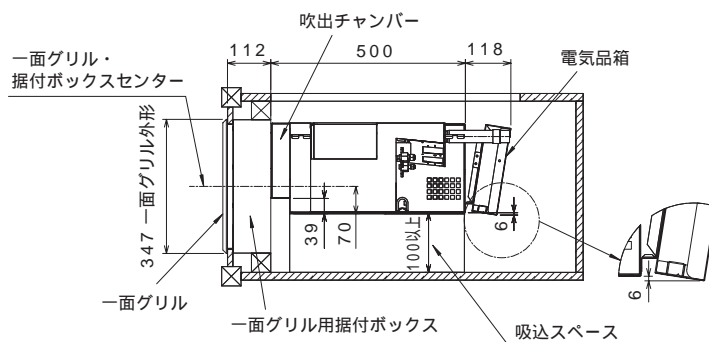
### (3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P49~P51を参照ください。)

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



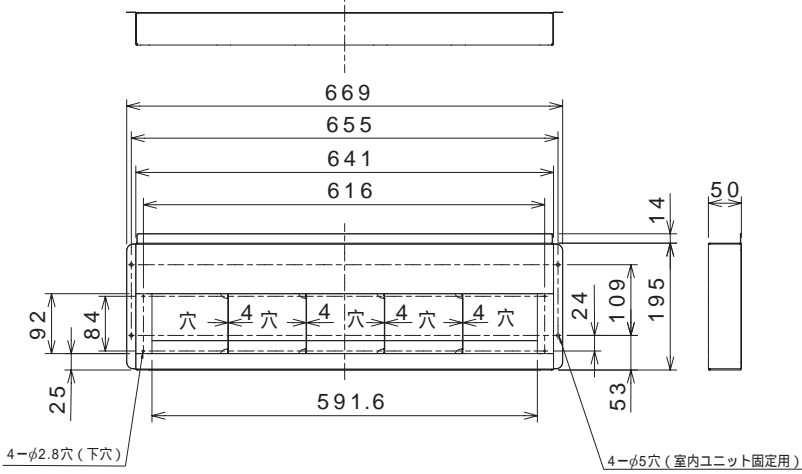
#### 支柱：現地調達

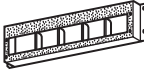

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
据付枠は必ず水平にセットしてください。室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
点検口は必ず設けてください。  
室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



(4) 別売部品 外形図

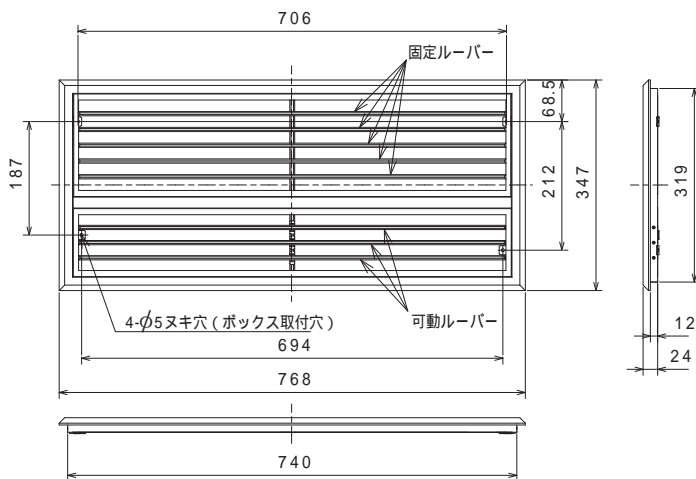
吹出チャンパー MAC-500FC

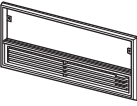



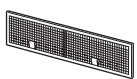


MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンパー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

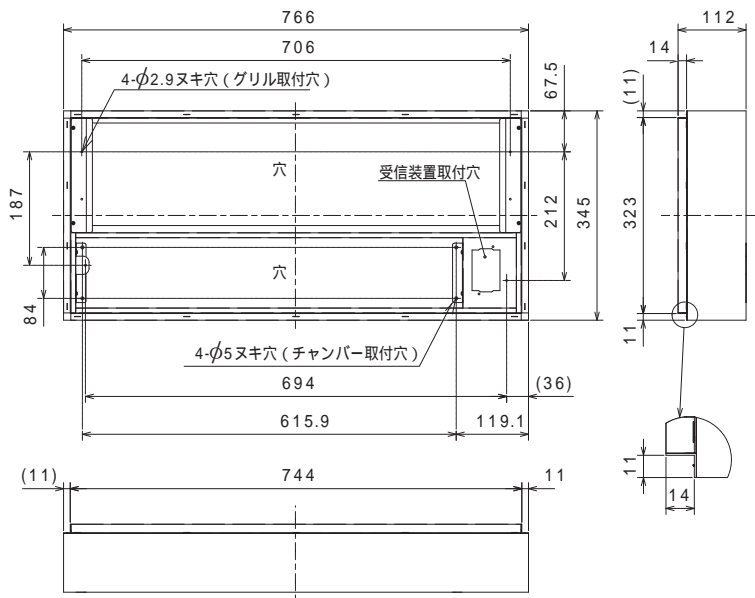
一面グリル MAC-525TG (白木) MAC-526TG (ホワイト)

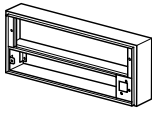





出荷状態(天袋設置)を示す。



MAC-525TG,526TG構成部品			
① 一面グリル (外枠)	数量	④ スパースー (両面テープ付)	数量
	1		1
② 一面グリル (内枠)	数量	⑤ ①の固定用ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×10 (黒)	
③ エアフィルター	数量	—	—
	1		

一面グリル用据付ボックス MAC-529TB 出荷状態(天袋設置)を示す。



MAC-529TB構成部品			
① 一面グリル用 据付ボックス	数量	④ シール材	数量
	1		大 2 ・ 小 1
		(黒色)	
② 断熱材 (大・小)	大・小各 2	⑤ ①の固定用ネジ	数量
			4
		タッピングネジ 4×12	
③ クッション材	数量	⑥ 受信装置取付用ネジ	数量
	1		2
		タッピングネジ 4×10 (黒)	

# 据付要領(半間幅天袋吊り、半間幅地袋置き設置<一面グリル>)

## 1.室内ユニット点検口と開口穴の設定

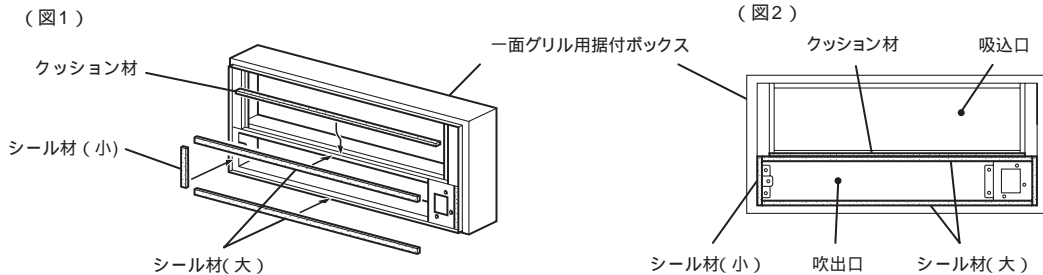
室内ユニット点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

## 2.取付前の準備

この一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)は、開梱状態では、『天袋設置』用に組付けられています。

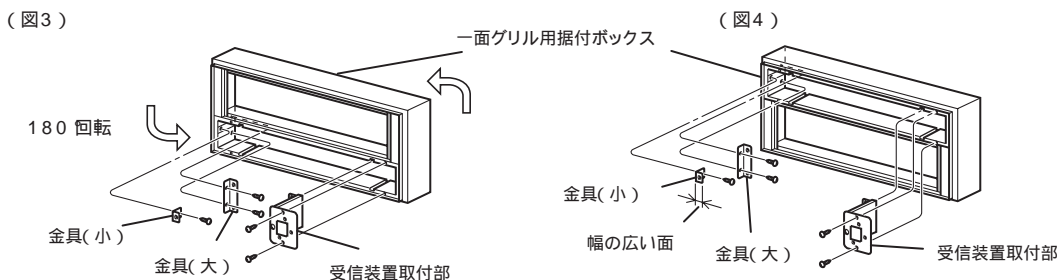
### 天袋設置の場合

- 一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)の吸込口下の段差部にクッション材を、吹出口周辺の長手方向にシール材(大)と同じく短手方向にシール材(小)をそれぞれ貼付けます。(図1,2参照)

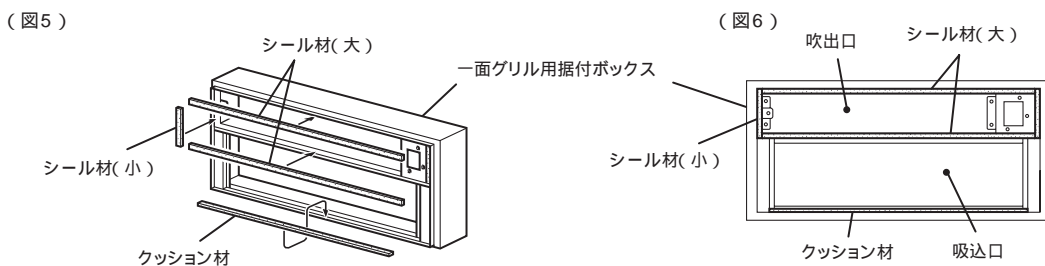


### 地袋設置の場合

- 受信装置取付部と反対側の金具(大)および金具(小)を取外し、一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)を180°回転させます。(図3参照)
- 受信装置取付部と反対側の金具(大)および金具(小)を外した時と逆の要領で取付けます。(図4参照)



- 一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)の吸込口下の段差部にクッション材を、吹出口周囲の長手方向にシール材(大)と同じく短手方向にシール材(小)をそれぞれ貼付けます。(図5,6参照)



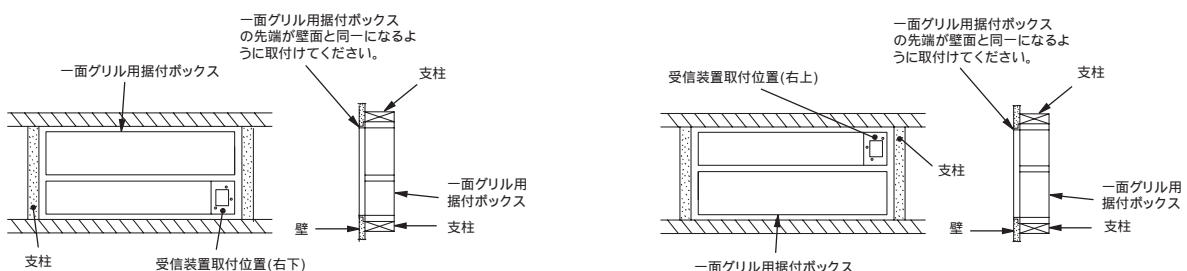
## 3.一面グリル用据付ボックスの取付

一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)には方向性がありますので取付けの際、ご注意ください。

### 天袋設置の場合

### 地袋設置の場合

- 受信装置取付位置が部屋から見て右下になるように取付けて下さい。\* 受信装置取付位置が部屋から見て右上になるように取付けて下さい。



一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法とP123 MAC-529TBの据付工事説明にしたがって取付けてください。



#### 4.室内ユニットの先行準備

##### (1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

室内ユニットの各接続部位置は、前頁の位置にあります。

設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。

ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管VP20が室内ユニットのドレン口と接続できます。

内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内ユニット近傍で余裕をもたせておいてください。

##### (2) 別売部品 吹出チャンバー(MAC-500FC)の取付

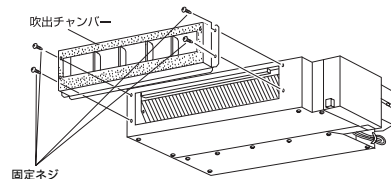
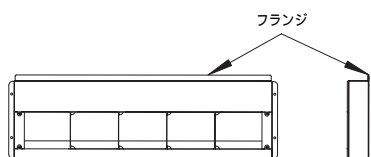
吹出チャンバー(MAC-500FC)を室内ユニットの吹出側に取付けます。(固定ネジ4本)

吹出チャンバーには、方向性がありますのでご注意ください。

天袋設置の場合は、風向きが下(フランジが上)になるように取り付けてください。

地袋設置の場合は、風向が上(フランジが下)になるよう取付けてください。

下図は天袋設置の場合を示します。



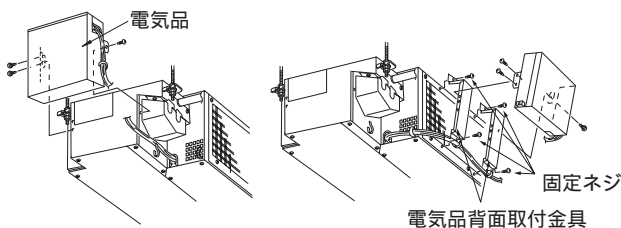
##### (3) 電気品箱の移動：電気品箱を室内ユニット背面に移動します。

室内ユニット付属部品の電気品背面取付金具を室内ユニットの背面に2個取付けます。

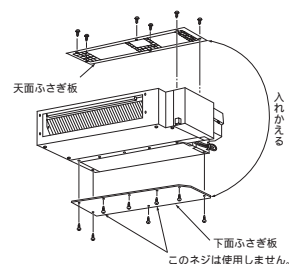
電気品箱を室内ユニット側面から取外します。(ネジ3本)

右図のようにリード線を接続したまま電気品背面固定金具に取り付けます。(ネジ3本)

リード線は下図のように室内ユニットと電気品箱背面固定金具のクランプ(3カ所)にて固定してください。



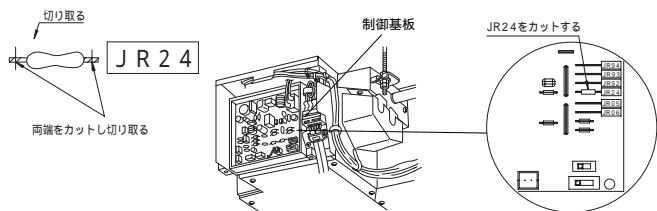
##### (4) 半間幅地袋設置の場合のみ、室内ユニット天面と下面のふさぎ板の入れかえ。



##### (5) 半間幅地袋設置の場合のみ設置場所切換えの設定：温度補正のため

右図のJR24の抵抗をカットしてください。

左右の端をニッパー等でカットし線を切り取ってください。



#### 5.据付工事

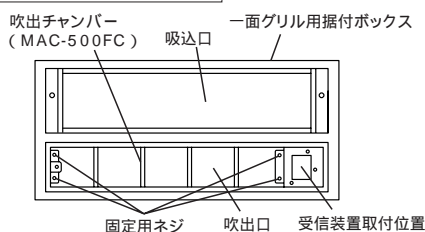
P17の据付手順にしたがってください。

#### 6.一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)と室内ユニットの固定

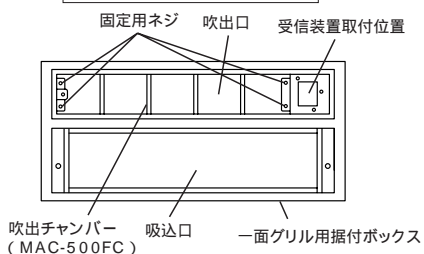
一面グリル用据付ボックスの吹出口左右各2ヶ所を、吹出チャンバー(MAC-500FC)に固定用ネジで固定します。

次に一面グリル用据付ボックスの吹出口内側の左右面に断熱材(小)を、内側上下面に断熱材(大)をそれぞれ貼付けます。

##### 天袋設置の場合

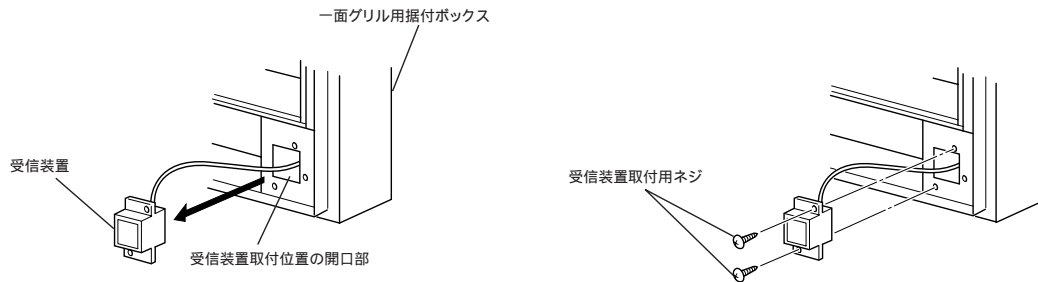


##### 地袋設置の場合



## 7. 受信装置の取付

一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)に取付けます。天袋設置の場合は右下に、地袋設置の場合は右上になります。受信装置を受信装置取付位置の開口部に通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付用ネジで固定します。

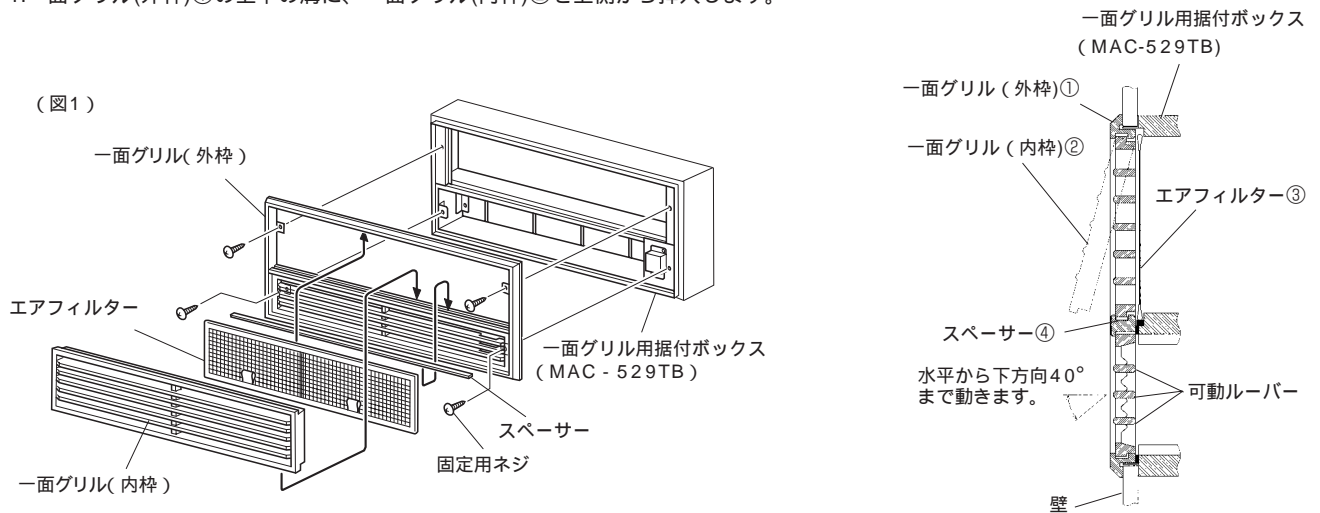


## 8. 一面グリル(MAC-525TG/526TG)の取付

下記にしたがって取り付けてください。

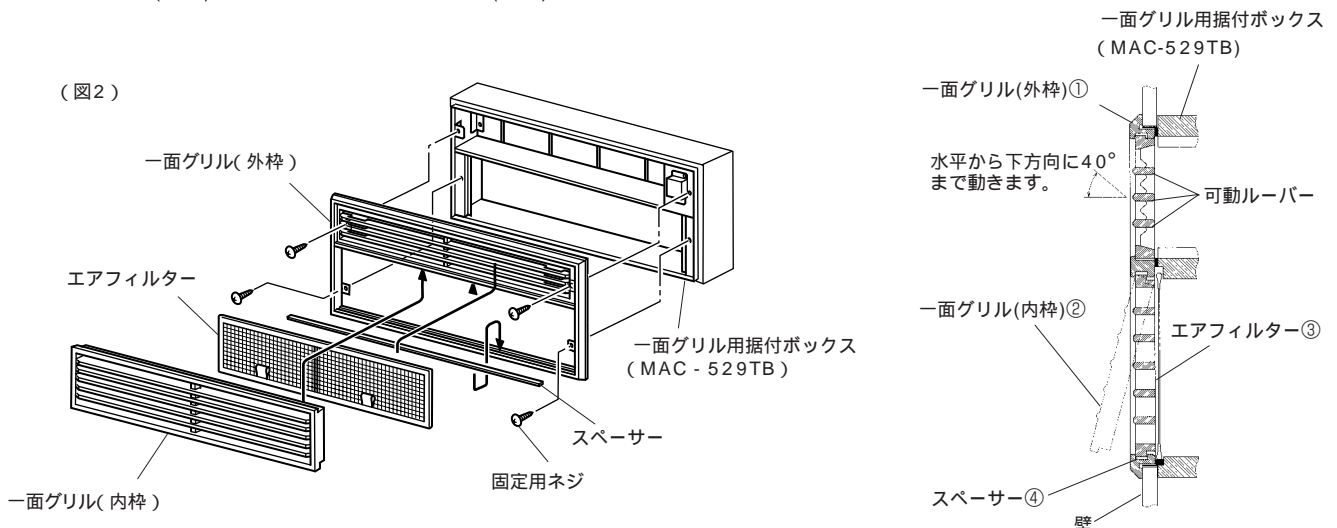
### 天袋設置の場合

1. 一面グリル(外枠)①の上下左右4カ所を、固定用ネジ⑤で一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)に固定します。
2. 一面グリル(外枠)①の下側の溝に、スペーサ④を両面テープで貼り付けます。
3. 一面グリル(外枠)①と一面グリル用据付ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。
4. 一面グリル(外枠)①の上下の溝に、一面グリル(内枠)②を上側から挿入します。



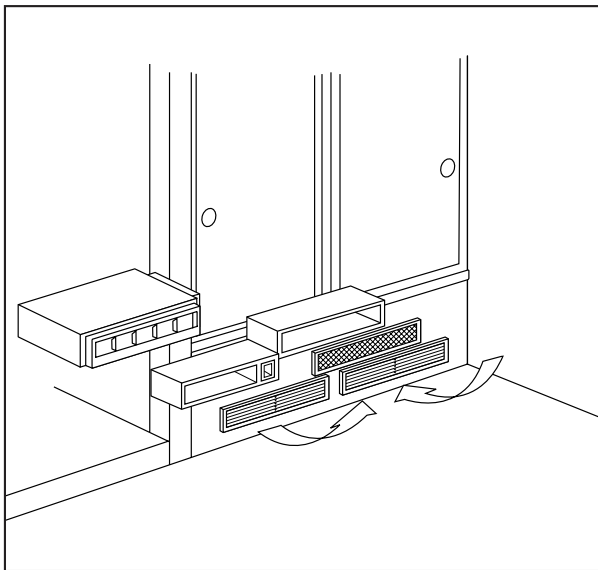
### 地袋設置の場合

1. 一面グリル(外枠)①の上下左右4カ所を、固定用ネジ⑤で一面グリル用据付ボックス(MAC-529TB)に固定します。
2. 一面グリル(外枠)①の下側の溝に、スペーサ④を両面テープで貼り付けます。
3. 一面グリル(外枠)①と一面グリル用据付ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。
4. 一面グリル(外枠)①の上下の溝に、一面グリル(内枠)②を上側から挿入します。



一間幅地袋置き設置

(1) 設置イメージ図

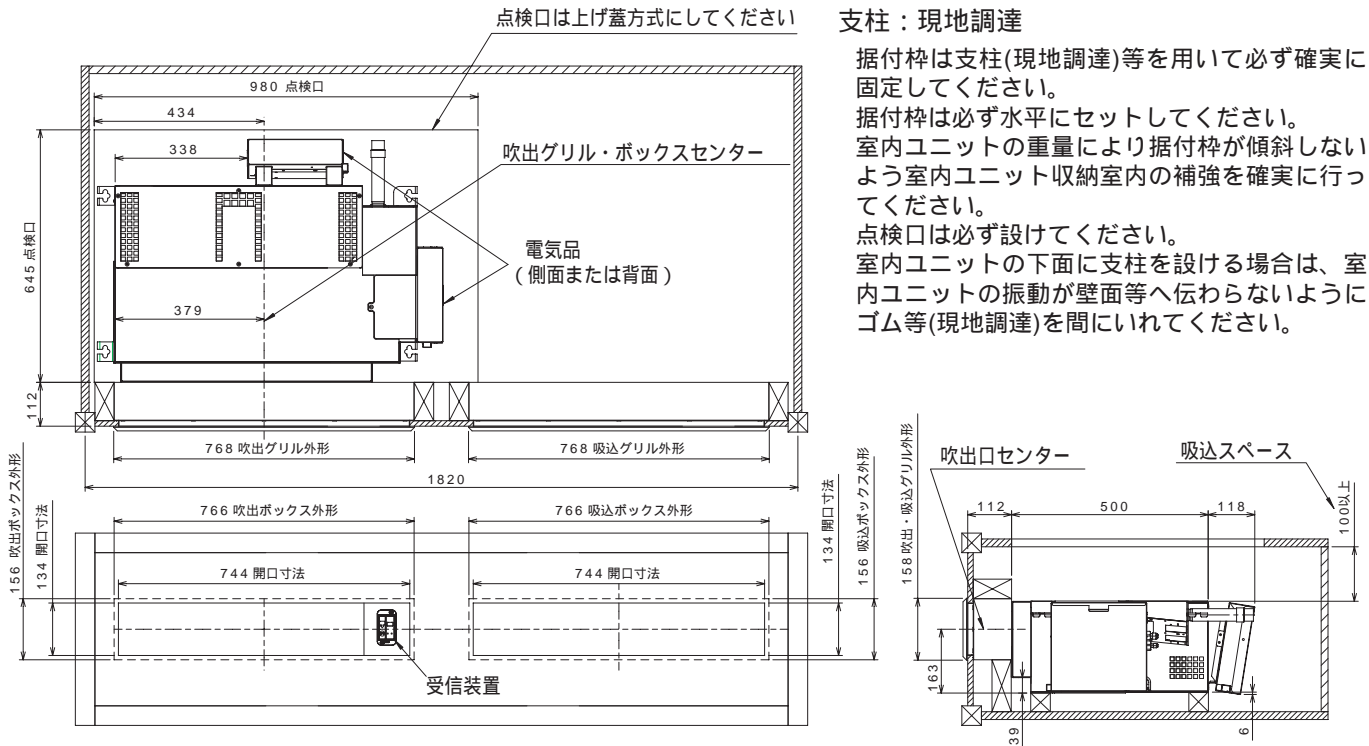


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

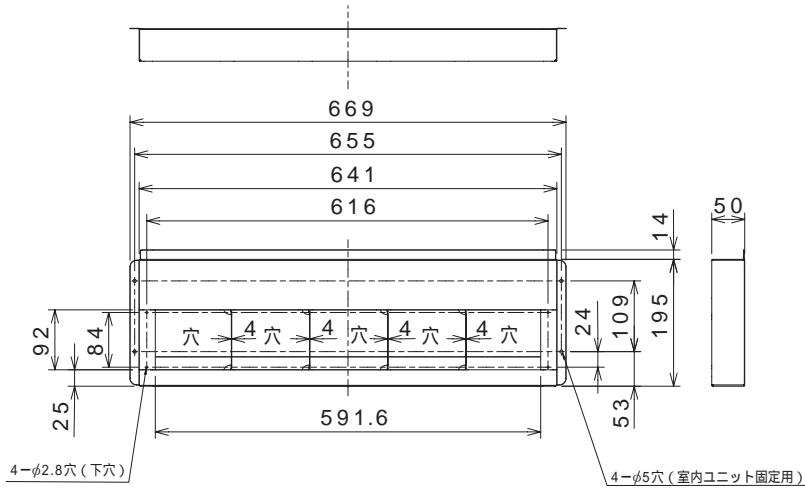
(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P58、P59を参照ください。)

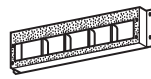

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



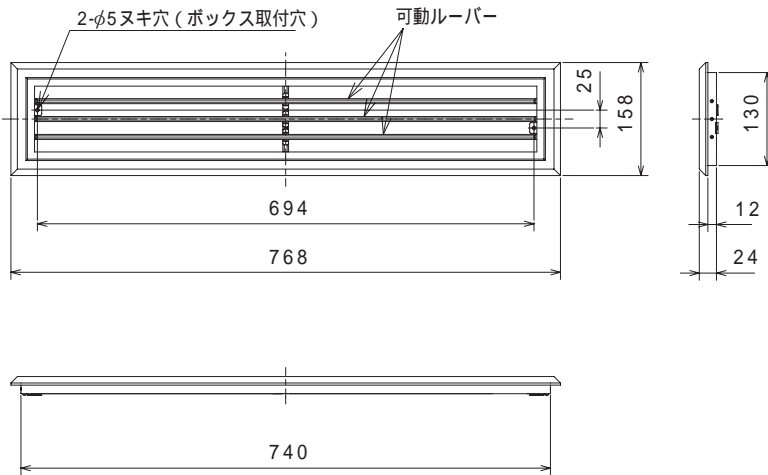
(4) 別売部品 外形図

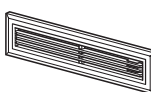

吹出チャンパー MAC-500FC



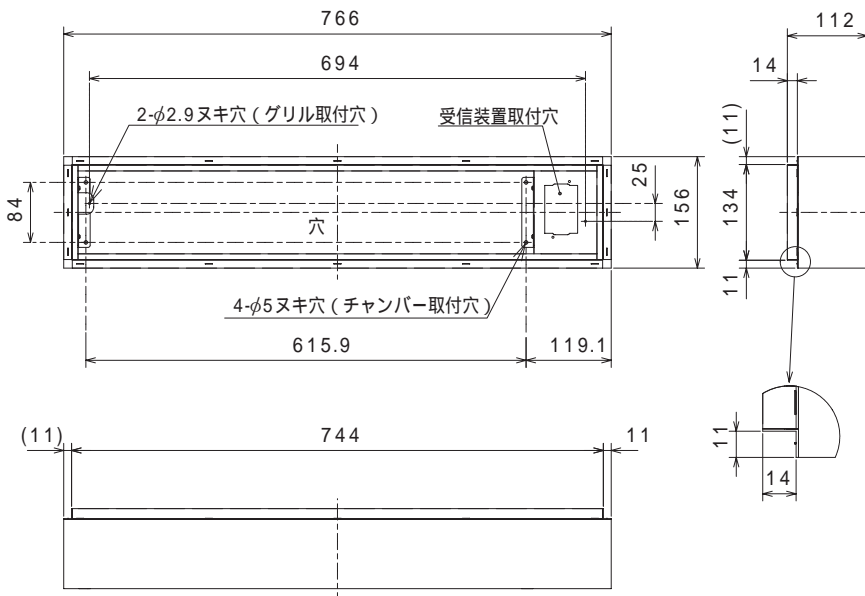
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンパー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

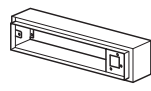

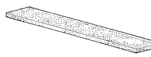

吹出グリル MAC-501FG (白木) MAC-502FG (ホワイト)



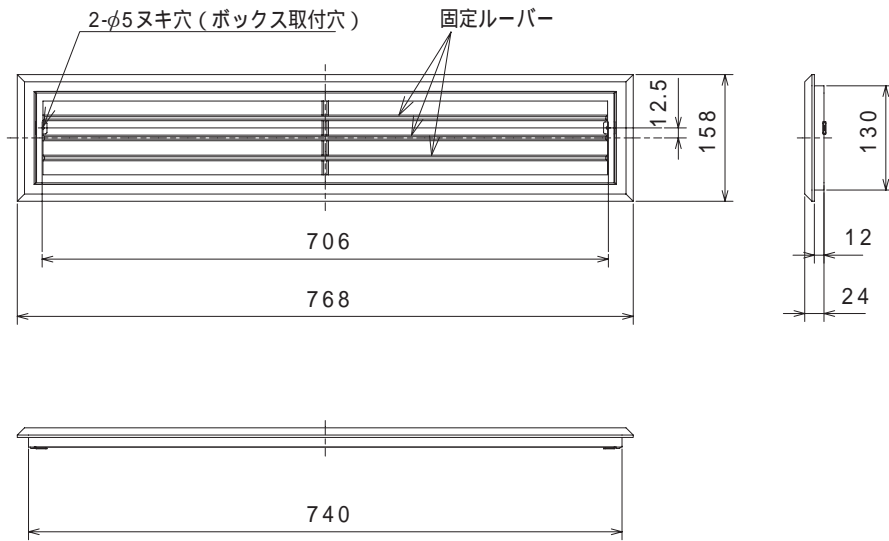
MAC-501FG 構成部品 MAC-502FG	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10 (黒)	

吹出ボックス MAC-503FB



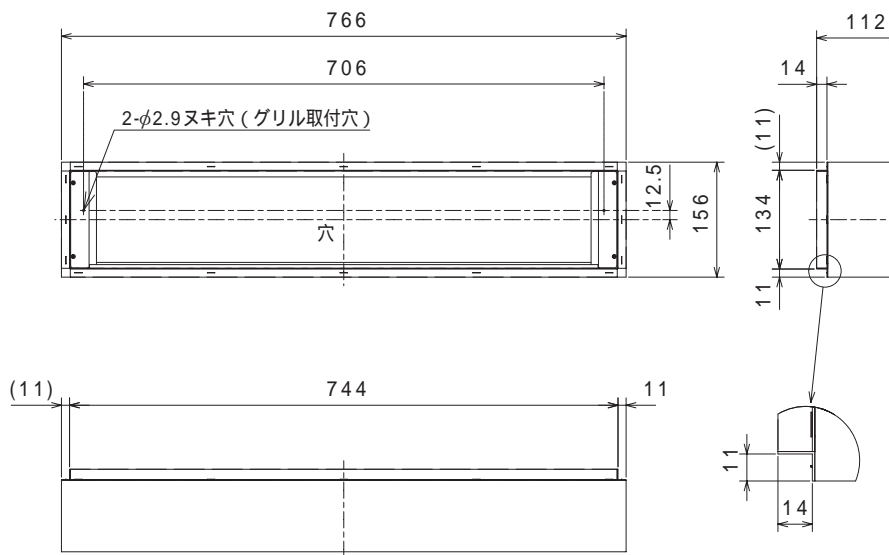
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材 (大・小)	各 2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×12 (黒)	

吸込グリル MAC-504SG (白木) MAC-505SG (ホワイト)



MAC-504SG MAC-505SG 構成部品			
① 吸込グリル (外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル (内枠)	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		2
		タッピングネジ 4×10 (黒)	

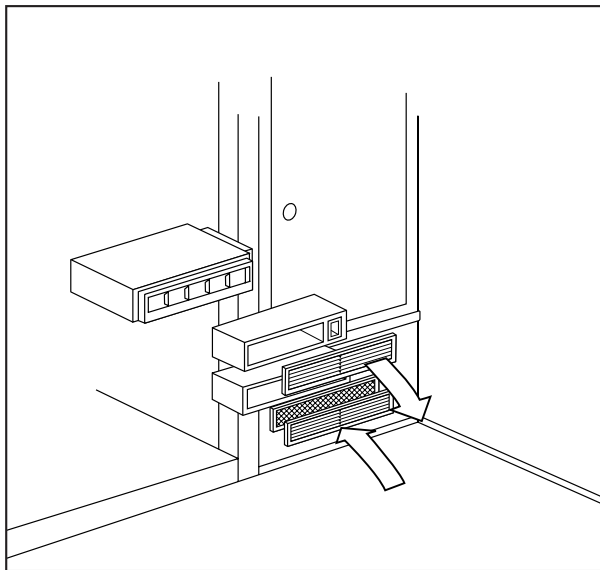
吸込ボックス MAC-506SB



MAC-506SB 構成部品	
① 吸込ボックス	数量
	1

半間幅地袋置き設置<グリル縦置き>

(1) 設置イメージ図

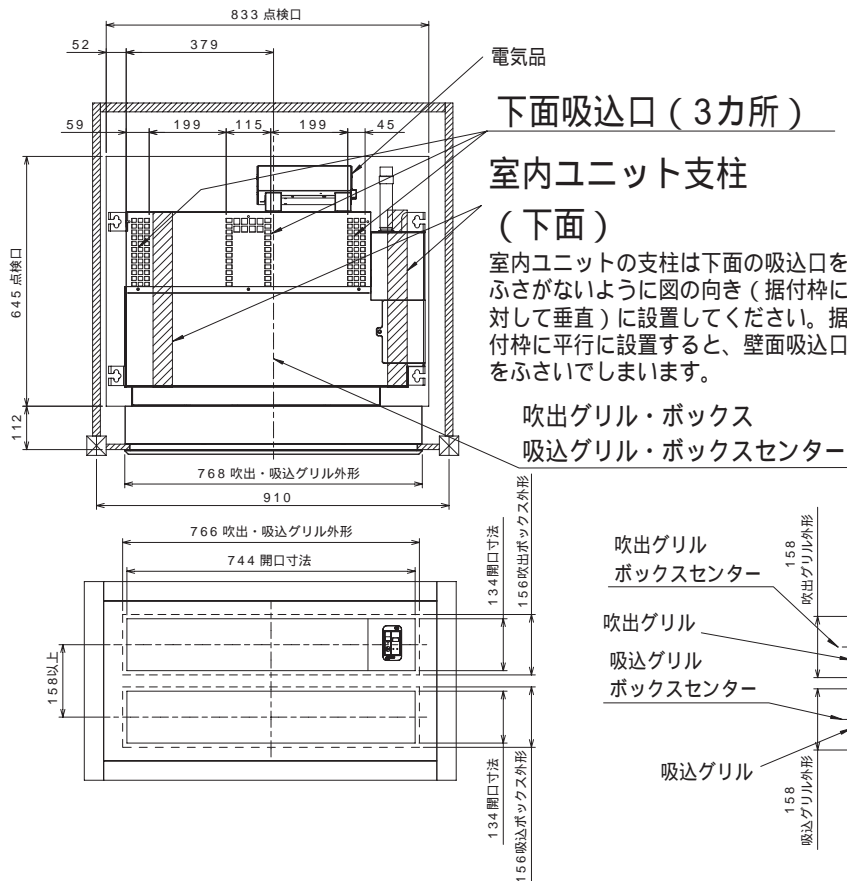


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

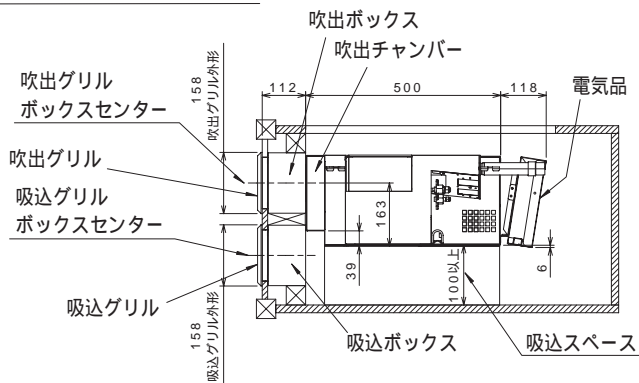
(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P58、P59を参照ください。)

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



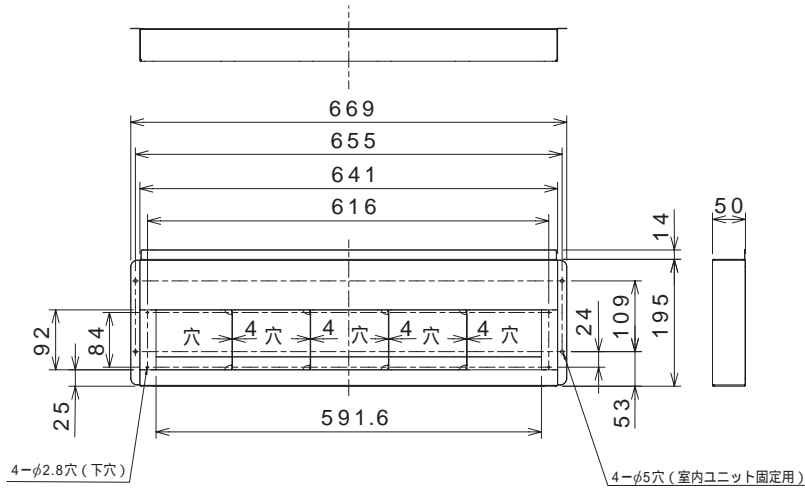
支柱：現地調達

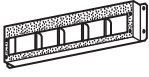

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
 据付枠は必ず水平にセットしてください。  
 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
 点検口は必ず設けてください。  
 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



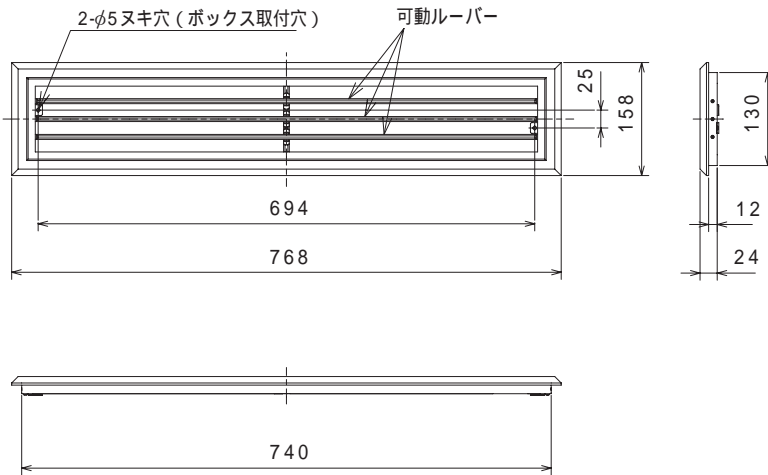
(4) 別売部品 外形図

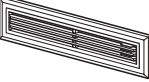

吹出チャンバー MAC-500FC



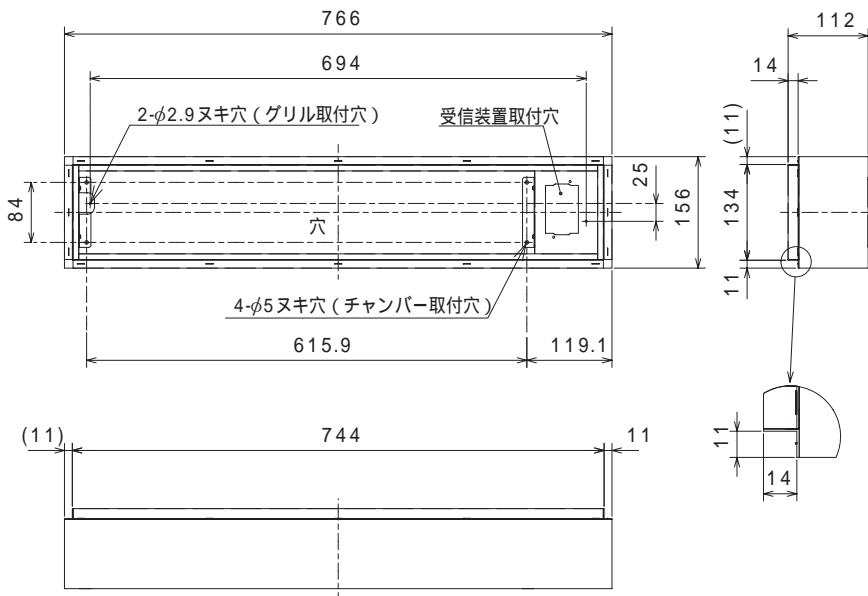
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

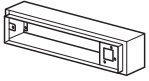



吹出グリル MAC-501FG (白木) MAC-502FG (ホワイト)



MAC-501FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10 (黒)	

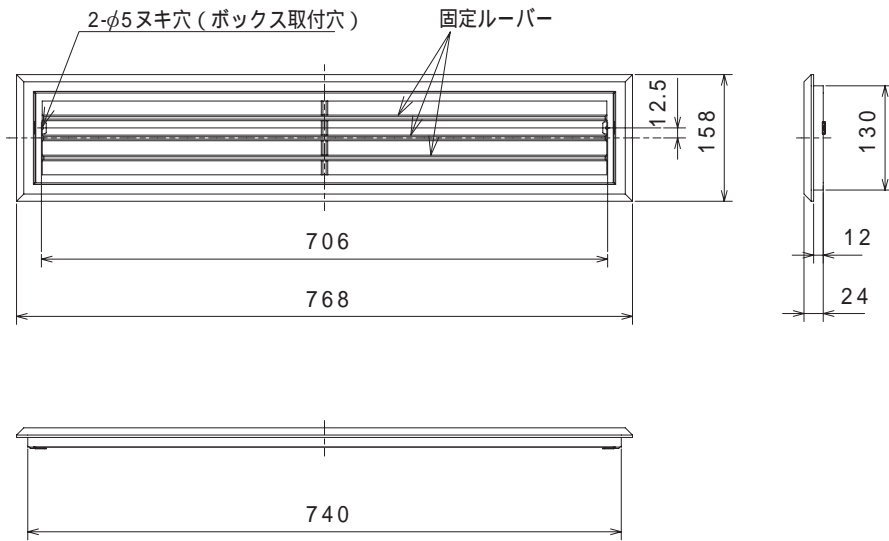
吹出ボックス MAC-503FB

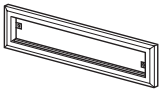
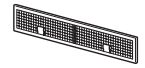
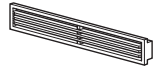



MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材 (大・小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×12 (黒)	

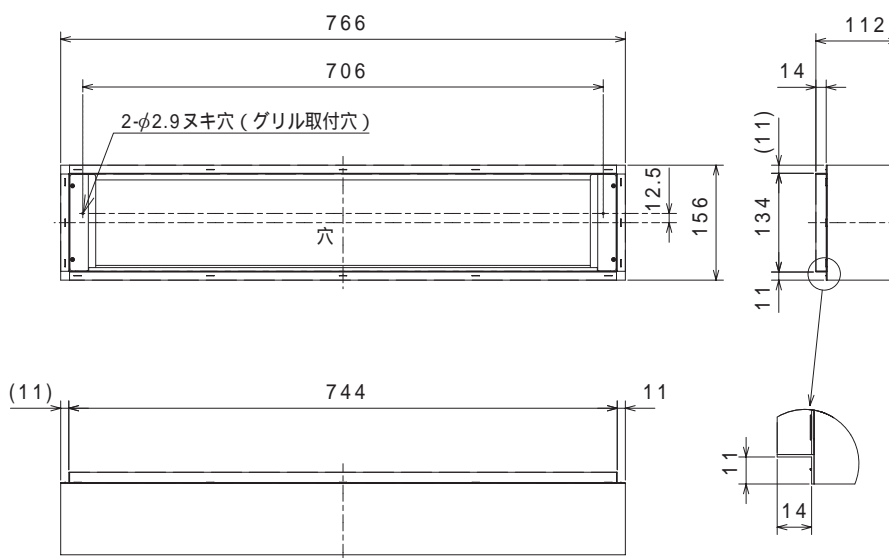


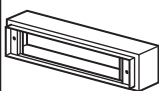
吸込グリル MAC-504SG (白木) MAC-505SG (ホワイト)



MAC-504SG MAC-505SG 構成部品			
① 吸込グリル (外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル (内枠)	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		2
タッピングネジ 4×10 (黒)			

吸込ボックス MAC-506SB



MAC-506SB 構成部品	
① 吸込ボックス	数量
	1

## 据付要領(一間幅地袋置き、半間幅地袋置き設置)

### 1.室内ユニット点検口と開口穴の設定

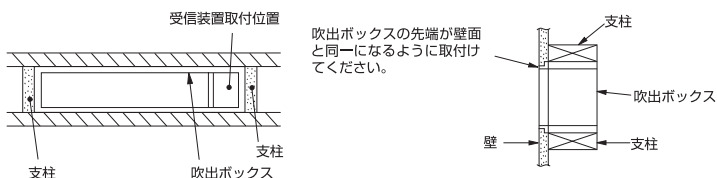
室内ユニット点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

### 2.吹出ボックス/吸込ボックスの取付

吹出ボックス(MAC-503FB)には方向性がありますのでご注意ください。

吹出ボックス(MAC-503FB)に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。

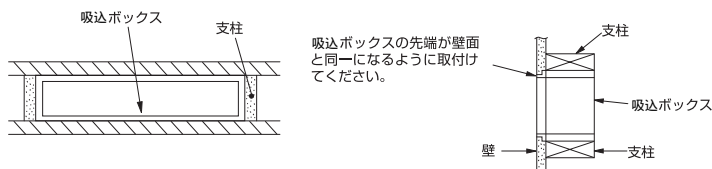
吹出ボックス(MAC-503FB)は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



吸込ボックス(MAC-506SB)には方向性がありますのでご注意ください。

「天」の文字が表示されている方を天面側になるように取付けてください。

吸込ボックス(MAC-506SB)は柱等重量を支える部材を通して固定してください。



各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法とP116のMAC-503FB、P119のMAC-506SBの据付要領にしたがって取付けてください。

### 3.室内ユニットの先行準備

#### (1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

室内ユニットの各接続部位置は、前頁の位置にあります。

設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。

ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管VP20が室内ユニットのドレン口と接続できます。

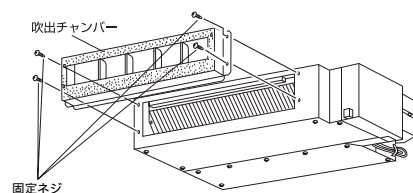
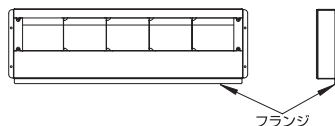
内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内ユニット近傍で余裕をもたせておいてください。

#### (2) 別売部品 吹出チャンパー(MAC-500FC)の取付

吹出チャンパー(MAC-500FC)を室内ユニットの吹出側に取付けます。(固定ネジ4本)

吹出チャンパーには、方向性がありますのでご注意ください。

地袋設置の場合は、風向が上(フランジが下)になるよう取付けてください。



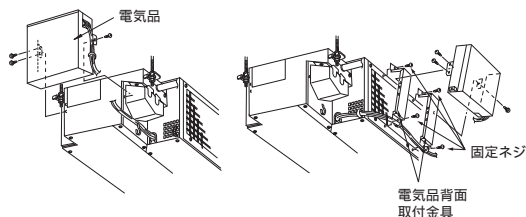
#### (3) 電気品箱の移動：半間幅設置の場合は、必ず電気箱を移動してください。

室内ユニット付属部品の電気品背面取付金具⑦を室内ユニットの背面に2個取付けます。

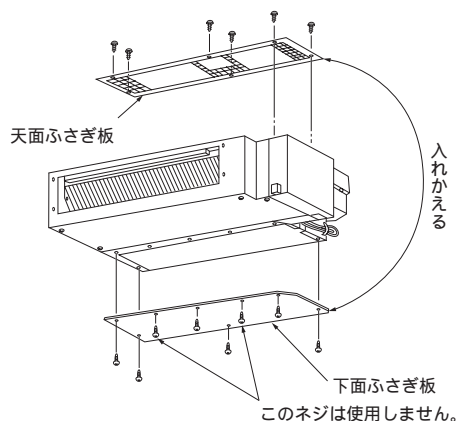
電気品箱を室内ユニット側面から取外します。(ネジ3本)

右図のようにリード線を接続したまま電気品背面固定金具に取付けます。(ネジ3本)

リード線は右図のように室内ユニットと電気品箱背面固定金具のクランプ(3カ所)にて固定してください。



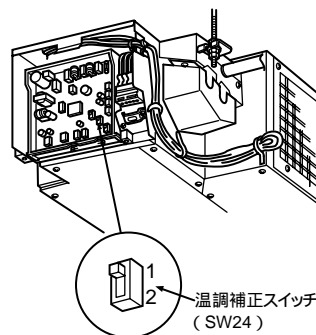
(4) 半間幅地袋設置の場合のみ、室内ユニット天面と下面のふさぎ板の入れかえ。



(5) 設置場所切換えの設定：温度補正のため

温度補正スイッチ(SW24)を1・2へ切換えてください。

**切換方法** 設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。室内ユニットの電気品カバーを外します。右図の位置に風量切換スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ設定を行います。設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。



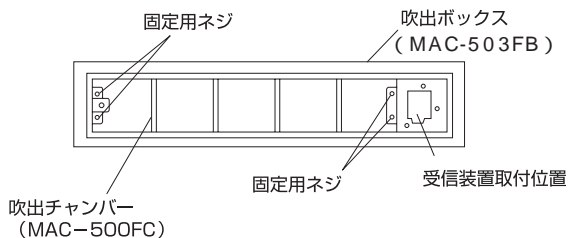
静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

出荷時の設定は“ 1 ”になっています。

#### 4. 据付工事

P17の据付手順にしたがってください。

#### 5. 吹出ボックス(MAC-503FB)と室内ユニットの固定



吹出ボックスの左右各2カ所を、吹出チャンバー(MAC-500FC)に固定用ネジで固定します。

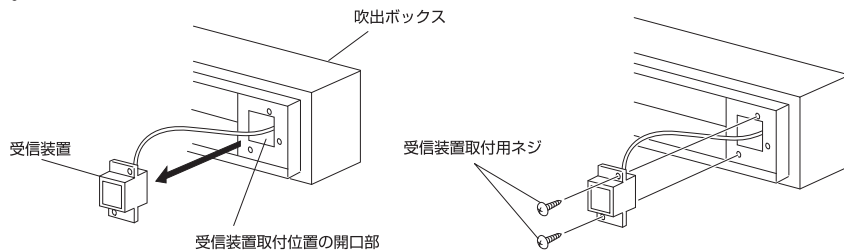
次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材(小)を、内側の上下面に断熱材(大)をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス(MAC-503FB)、吸込ボックス(MAC-506SB)の取付確認をしてください。

#### 6. 受信装置の取付

受信装置は、吹出ボックス(MAC-503FB)の右端に取付けます。

受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。



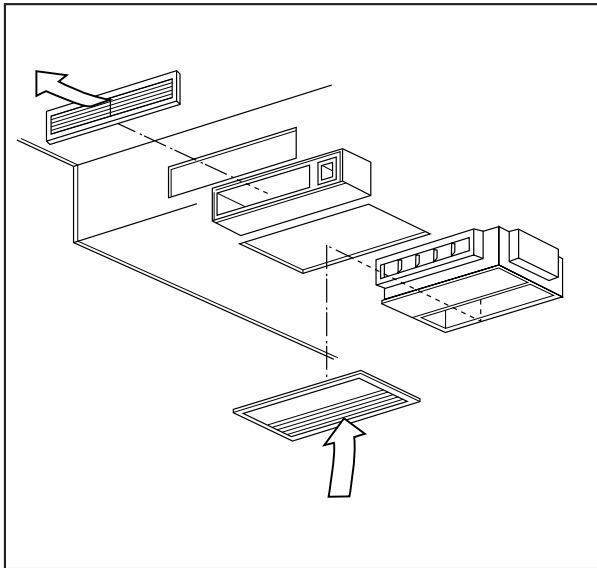
#### 7. 吹出グリル(MAC-501FG/502FG) / 吸込グリル(MAC-504SG/505SG)の取付

P115、P118の据付説明書にしたがって取付けてください。

吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

下がり天井設置<キャンバダクトなし>

(1) 設置イメージ図

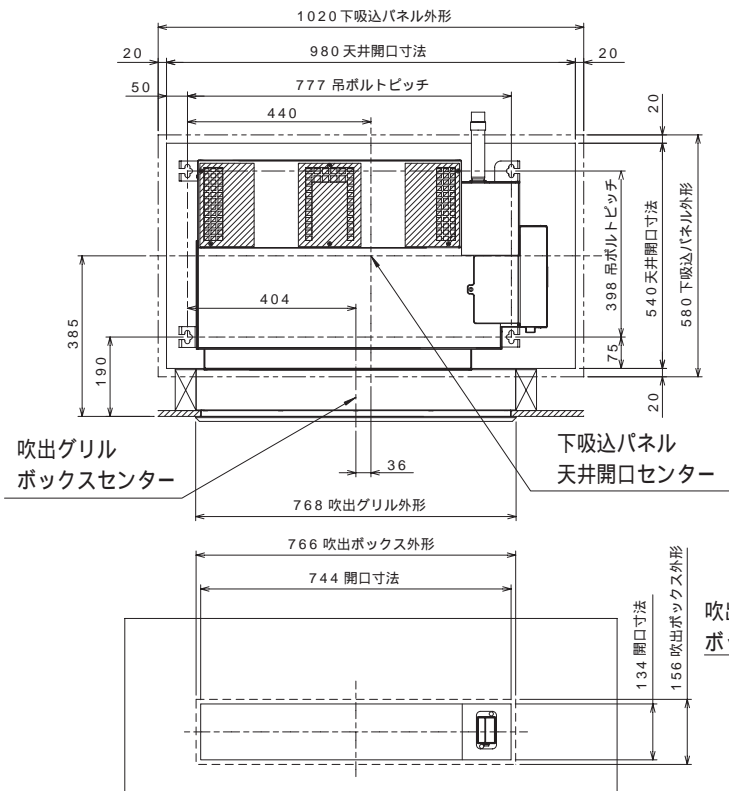


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
下吸込パネル	MAC-530UP	
レーザー取付具	MAC-523RT	受信装置は吹出ボックスMAC-503FBに取付け可能ですが、それ以外の場所 (天井等) に取り付ける場合に使用してください。延長コードの長さ：10m
レーザー延長コード	MAC-524RC	

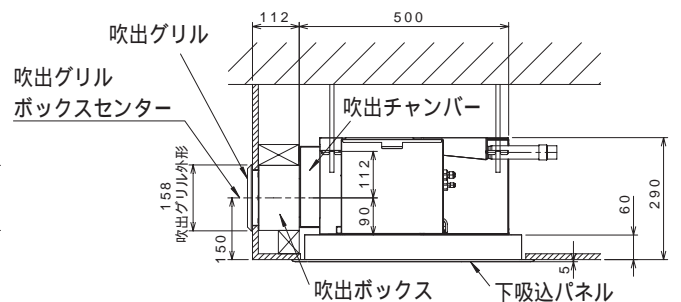
(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P67～P70を参照ください。)

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



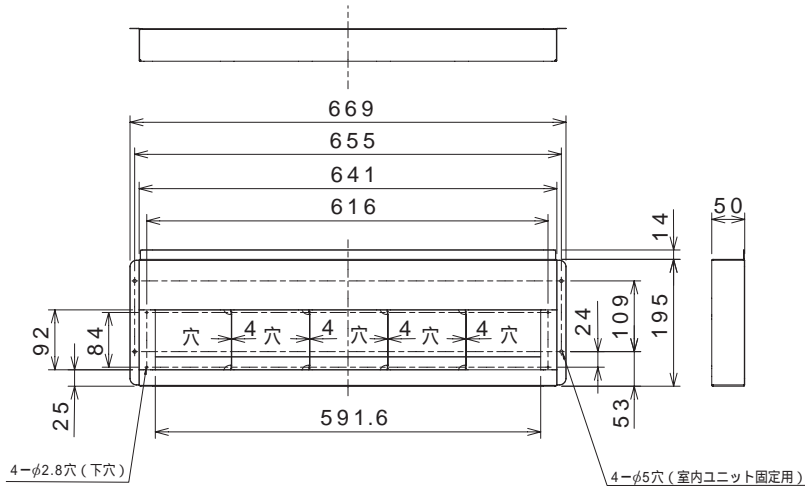
支柱：現地調達

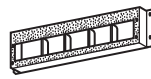

据付枠は支柱 (現地調達) 等を用いて必ず確実に固定してください。  
 据付枠は必ず水平にセットしてください。  
 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
 下吸込パネル取付け用の天井開口が点検口になります。



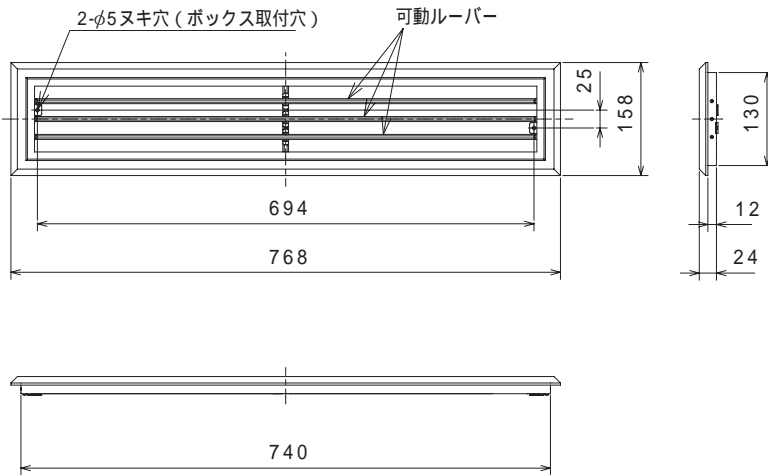
(4) 別売部品 外形図

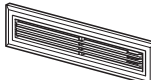

吹出チャンバー MAC-500FC



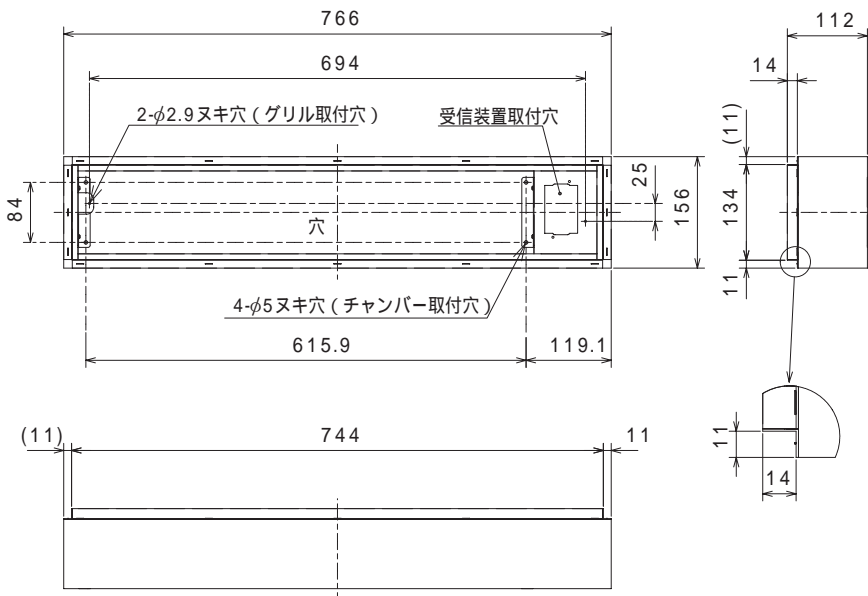
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

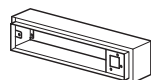

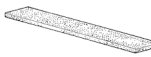

吹出グリル MAC-501FG (白木) MAC-502FG (ホワイト)



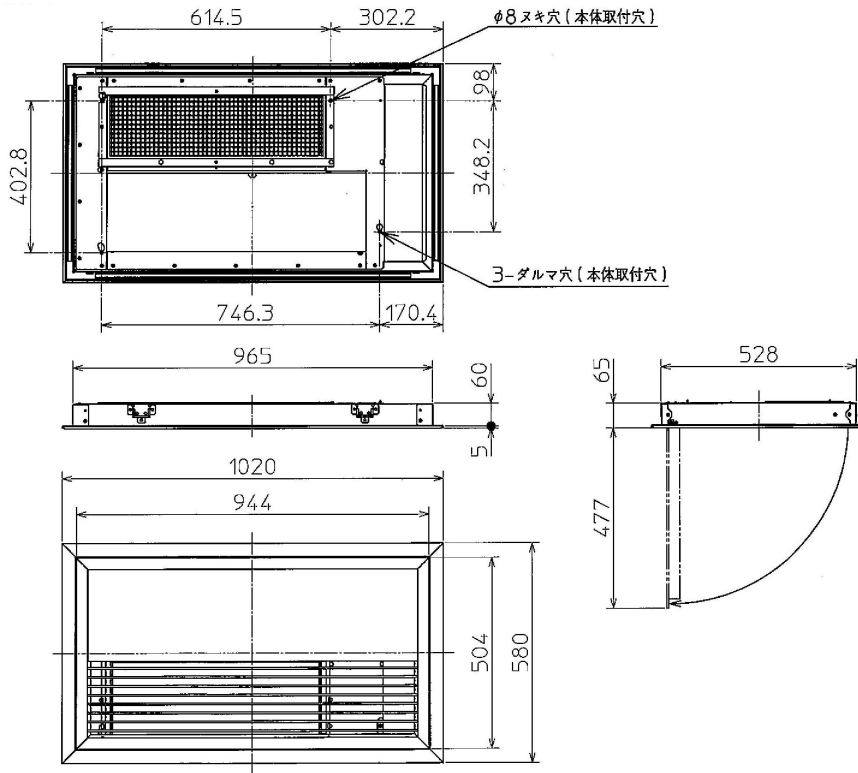
MAC-501FG MAC-502FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10 (黒)	

吹出ボックス MAC-503FB



MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材 (大・小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×12 (黒)	

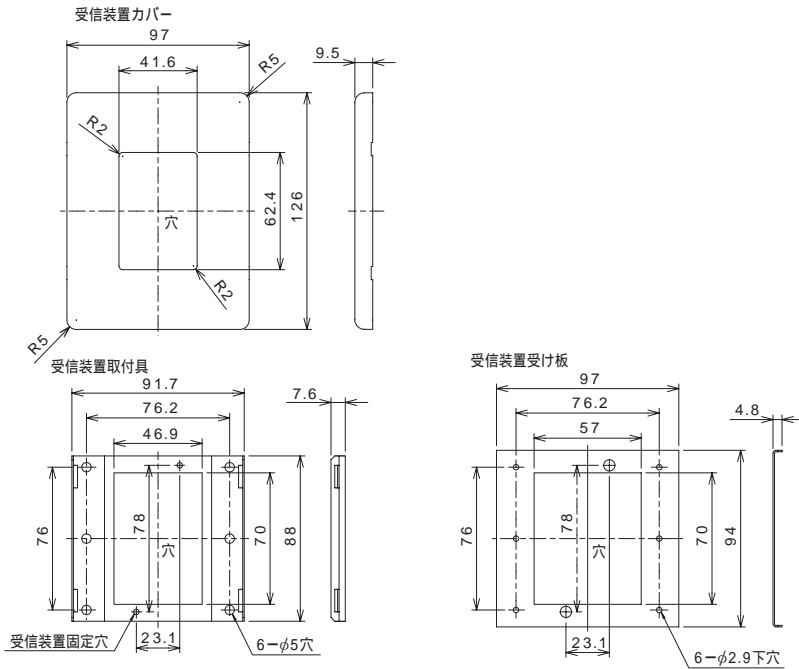
下吸込パネル MAC-530UP



MAC-530UP構成部品

① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	数量
	1
③ ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 × 0.8 × 30	

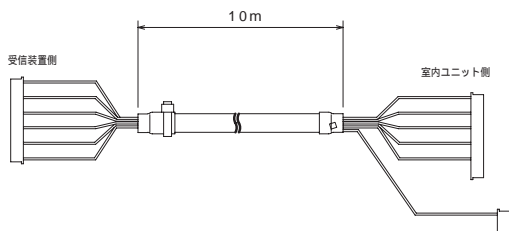
レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品

① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4 × 20	
② 受信装置取付金具	数量	⑤ 受信装置の固定用ネジ	数量
	1		2
		タッピングネジ 4 × 10	
③ 受信装置受け板	数量		
	1	—	—

レシーバー延長コード MAC-524RC

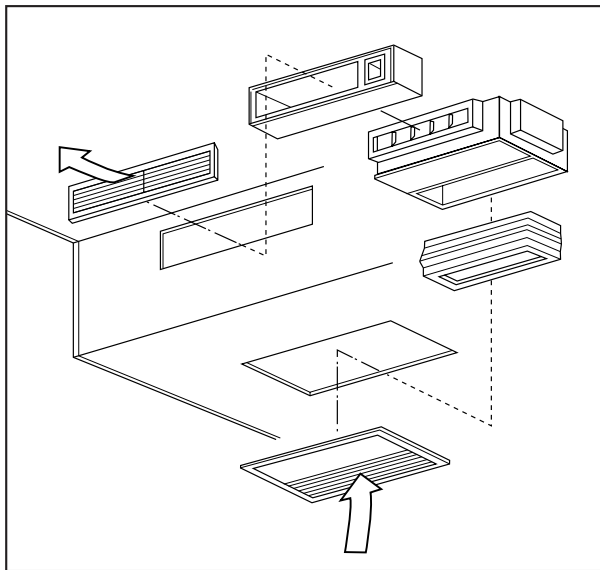


MAC-524RC構成部品

①	数量
受信装置延長コード (10m)	1

下がり天井設置<キャンバスダクトあり>

(1) 設置イメージ図

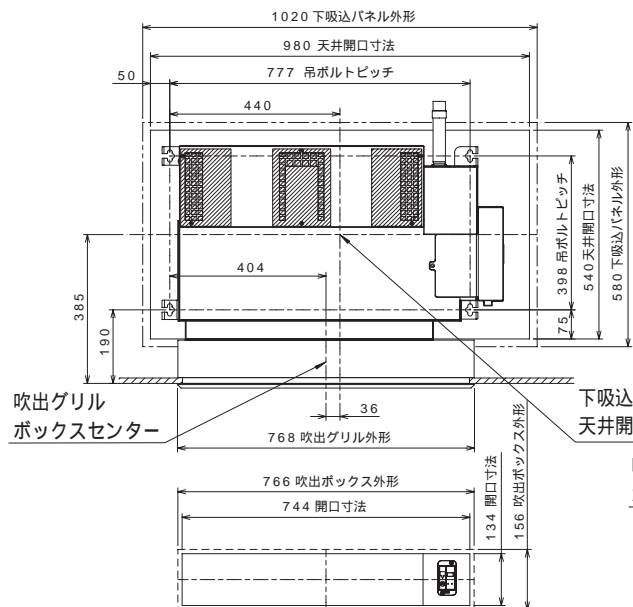


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
下吸込パネル	MAC-530UP	
キャンバスダクト	MAC-508CD	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
レシーバー取付具	MAC-523RT	受信装置は吹出ボックスMAC-503FBに取り付け可能ですが、それ以外の場所(天井等)に取り付ける場合に使用してください。延長コードの長さ：10m
レシーバー延長コード	MAC-524RC	

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P67～P70を参照ください。)

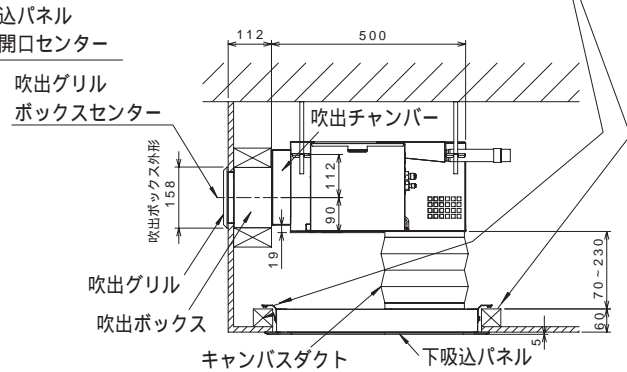
室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



支柱：現地調達

据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。  
 据付枠は必ず水平にセットしてください。  
 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。  
 下吸込パネル取付け用の天井開口が点検口になります。

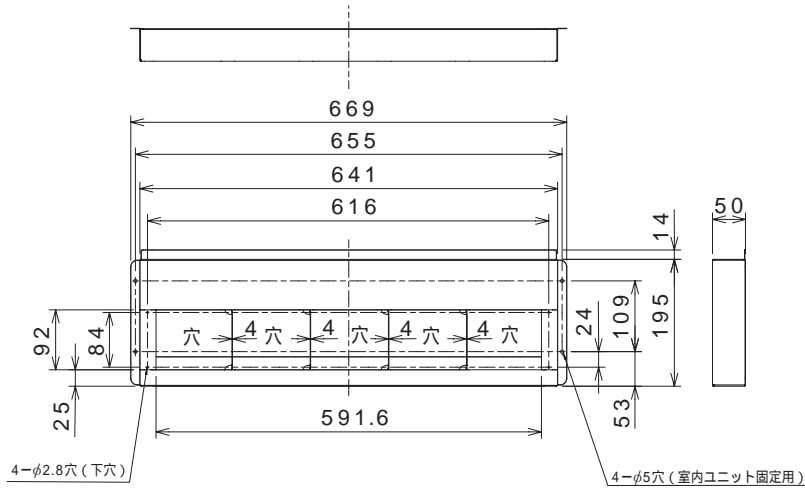
下吸込パネルを天井で支えるため補強を確実に行ってください。

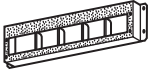





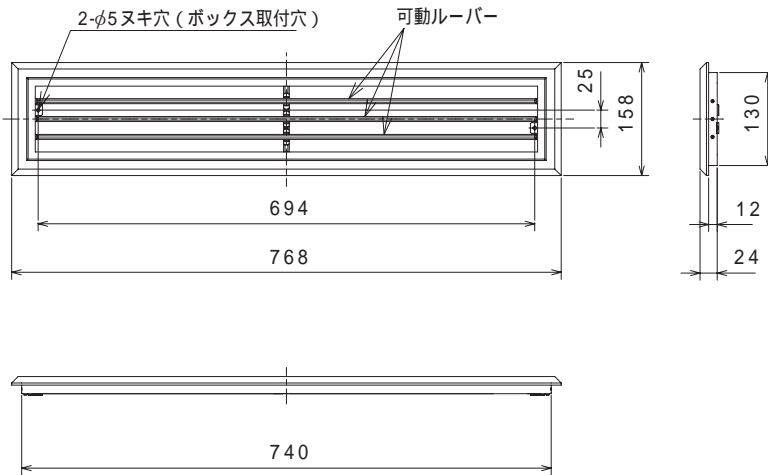
(4) 別売部品 外形図

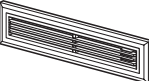

吹出チャンバー MAC-500FC



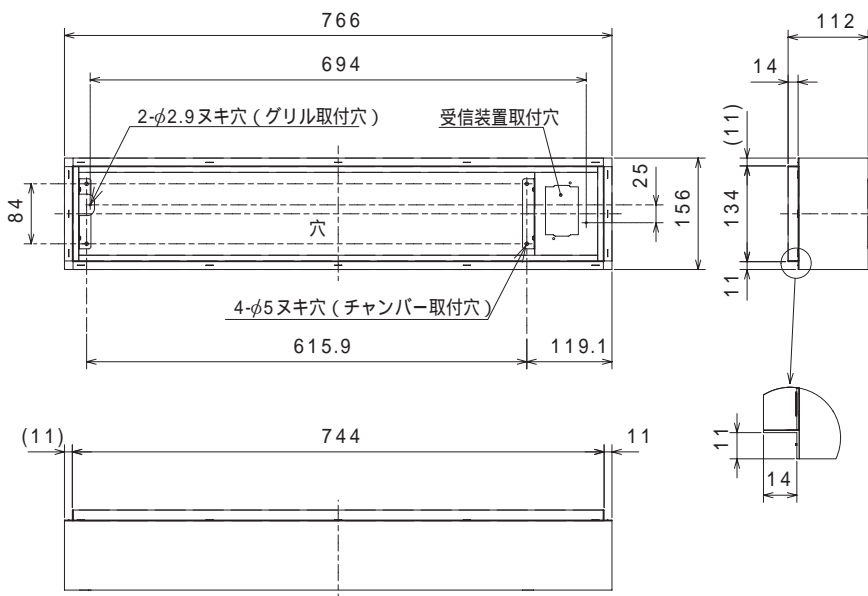
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

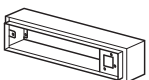



吹出グリル MAC-501FG (白木) MAC-502FG (ホワイト)



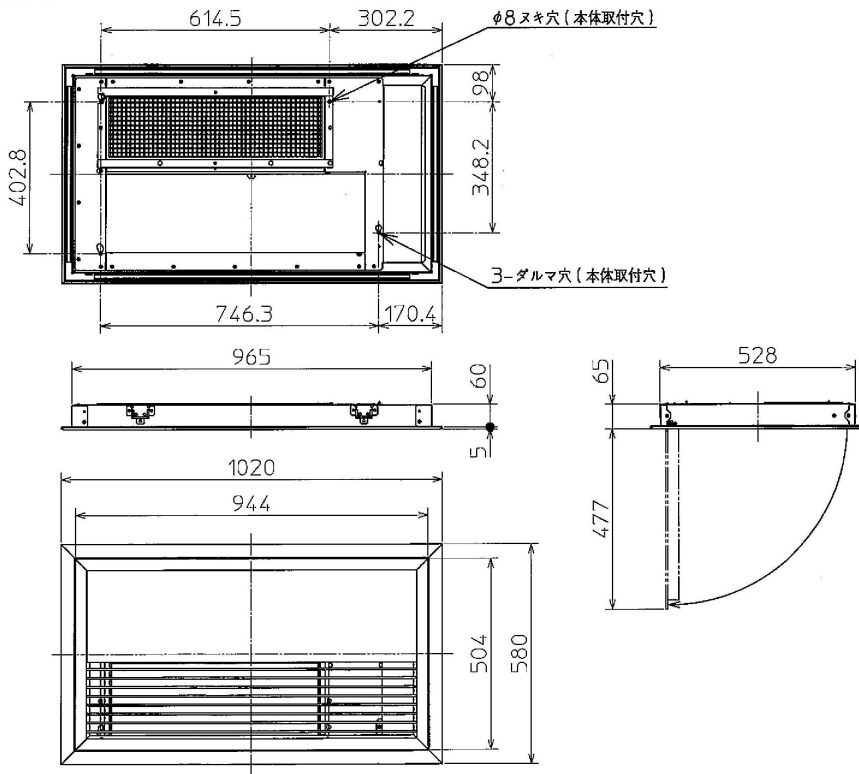
MAC-501FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10 (黒)	

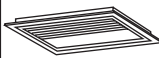
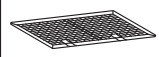

吹出ボックス MAC-503FB



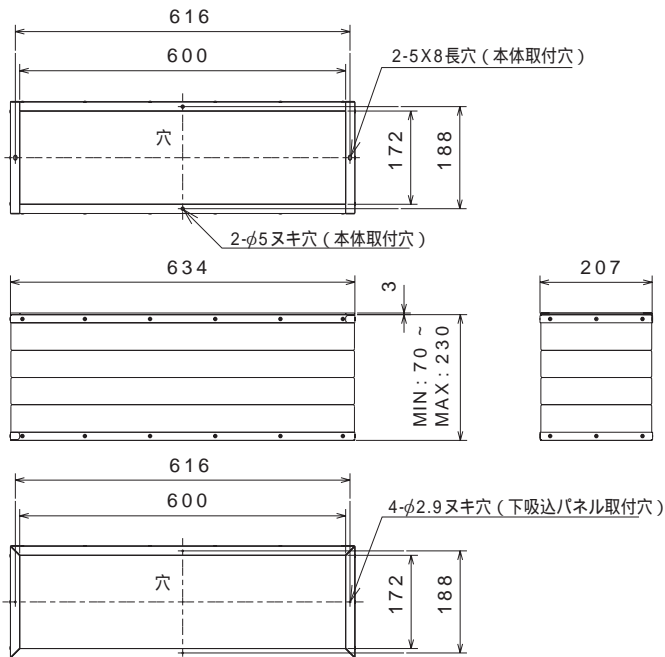
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材 (大・小)	各 2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×12 (黒)	



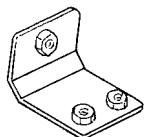

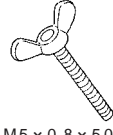
下吸込パネル MAC-530UP



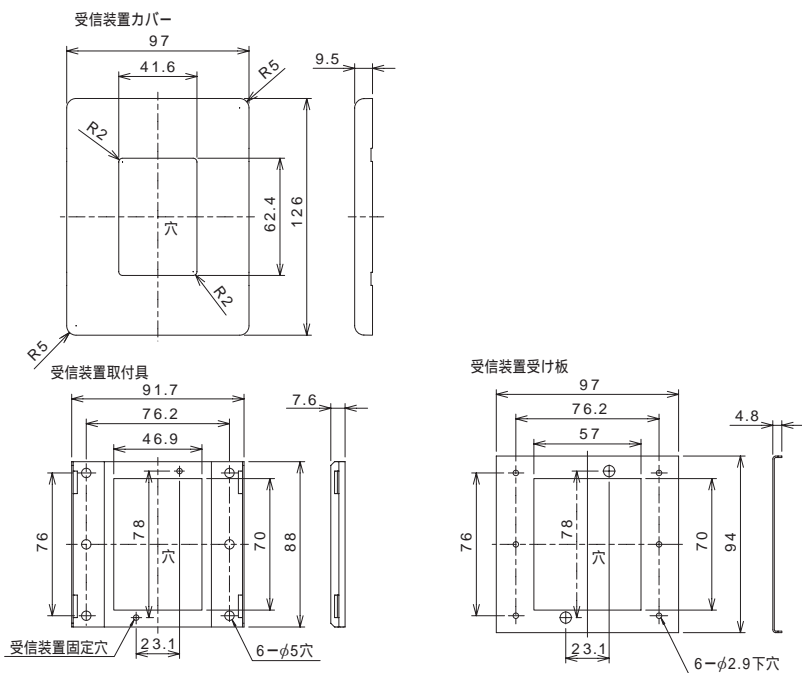
MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	数量
	1
③ ①の固定用ネジ	数量
 M5 × 0.8 × 30	4

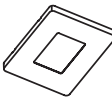

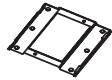

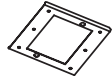
キャンバスダクト MAC-508CD



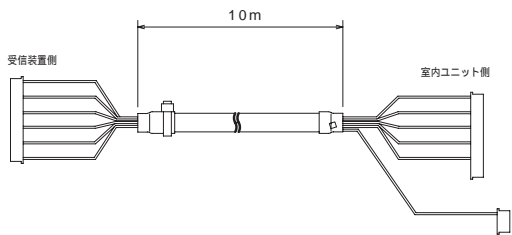
MAC-508CD構成部品			
① キャンバスダクト	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4 × 10	8
② パネルホルダー	数量	⑤ ②の固定ネジ	数量
	4	 M5 × 0.8 × 10	8
③ ちょうボルト	数量		
 M5 × 0.8 × 50	4	—	—

レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
	1	 タッピングネジ 4×10	2
	1	—	—

レシーバー延長コード MAC-524RC



MAC-524RC構成部品	
①	数量
受信装置延長コード (10m)	1

## 据付要領(下がり天井設置<キャンバスダクトなし・あり>)

### 1.室内ユニット点検口と開口穴の設定

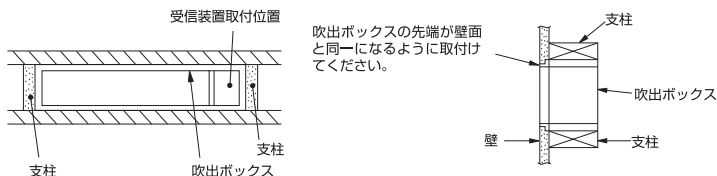
室内ユニット点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

### 2.吹出ボックスの取付

吹出ボックス(MAC-503FB)には方向性がありますのでご注意ください。

吹出ボックス(MAC-503FB)に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。

吹出ボックス(MAC-503FB)は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法とP116のMAC-503FBの据付要領にしたがって取付けてください。

### 3.室内ユニットの先行準備

#### (1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

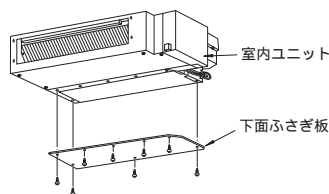
室内ユニットの各接続部位置は、前頁の位置にあります。

設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。

ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管VP20が室内ユニットのドレン口と接続できます。

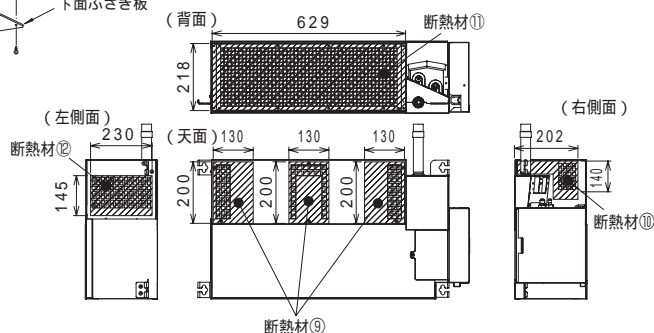
内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内ユニット近傍で余裕をもたせておいてください。

#### (2) 室内ユニットの下面ふさぎ板の取り外し



#### (3) 室内ユニットへの断熱材の貼付

室内ユニットの天面(3カ所)、左右側面(各1カ所)、背面(1カ所)の吸込口を付属の断熱材⑨、⑩、⑪、⑫にてふさいでください。(右図参照)

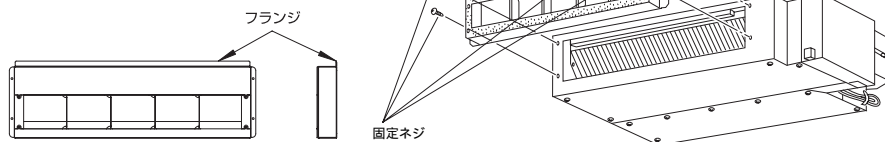


#### (4) 別売部品 吹出チャンパー(MAC-500FC)の取付

吹出チャンパー(MAC-500FC)を室内ユニットの吹出側に取付けます。(固定ネジ4本)

吹出チャンパーには、方向性がありますのでご注意ください。

風向が下(フランジが上)になるよう取付けてください。



#### (5) 別売部品 レシーバー延長コード(MAC-524RC)への交換

受信装置は吹出ボックス(MAC-503FB)に取付け可能ですが、それ以外の場所(天井等)に取り付ける場合に使用してください。

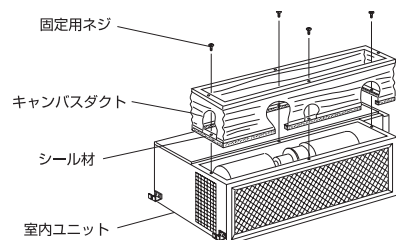
延長コードの長さ：10m

P122の据付説明書にしたがって実施してください。

#### (6) 別売部品キャンバスダクト(MAC-508CD)の取付

室内ユニットを吊り込む前に、キャンバスダクトを室内ユニットに固定用ネジで4カ所固定します。この時、キャンバスダクトのシール材側を室内ユニットに合わせてください。

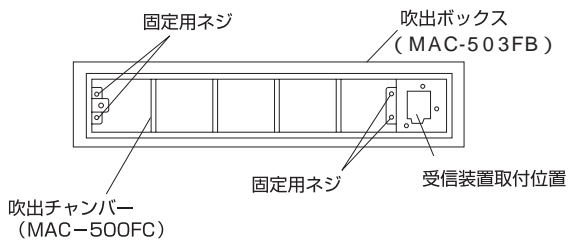
また、キャンバスダクトと室内ユニットにすき間がないことを確認してください。(すき間があると、風もれ等の原因となります。)



#### 4. 据付工事

P17の据付手順にしたがってください。

#### 5. 吹出ボックス(MAC-503FB)と室内ユニットの固定



吹出ボックスの左右各2カ所を、吹出チャンバー(MAC-500FC)に固定用ネジで固定します。

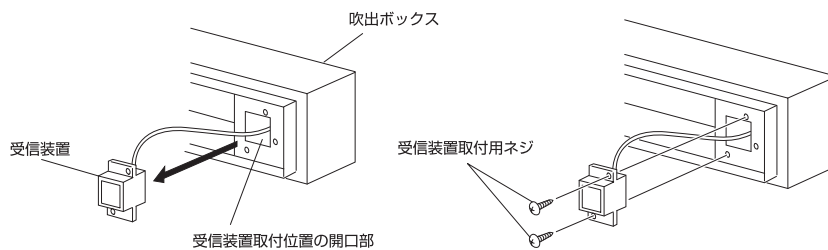
次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材(小)を、内側の上下面に断熱材(大)をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス(MAC-503FB)の取付確認をしてください。

#### 6. 受信装置の取付

受信装置は、吹出ボックス(MAC-503FB)の右端に取付けます。

受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。



レーザー取付具(MAC-523RT)に取付ける場合は、P137の据付説明書にしたがってください。

#### 7. 吹出グリル(MAC-501FG/502FG)の取付

P115の据付説明書にしたがって取付けてください。

吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

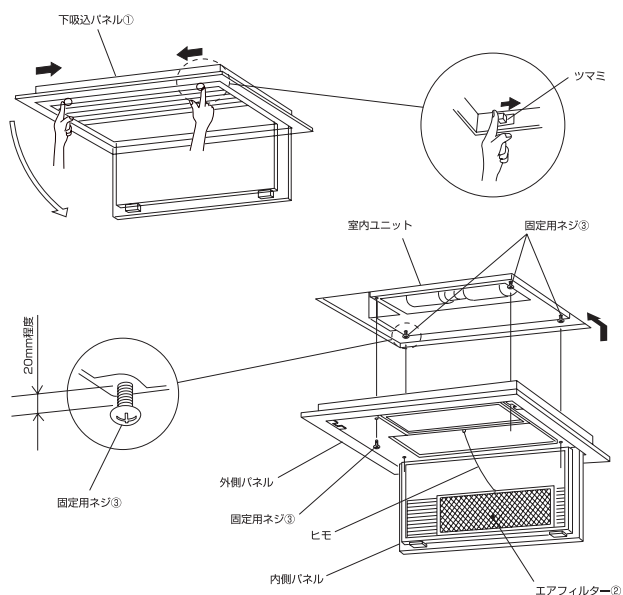
## 8. 下吸込パネルの取付

### (1) 下吸込パネルの取付(キャンバスダクトを使用しない場合)

1. 下図のように室内ユニット下面の3カ所に、固定用ネジ③を20mm程度すき間をあけて取付けます。
2. 下吸込パネル①の風路内にある左右のツマミを、下図のようにスライドさせて内側パネルを開き、外側パネルのダルマ穴に先程取付けた固定用ネジ③を通してスライドさせます。  
これで下吸込パネルが、室内ユニットに仮止めされます。

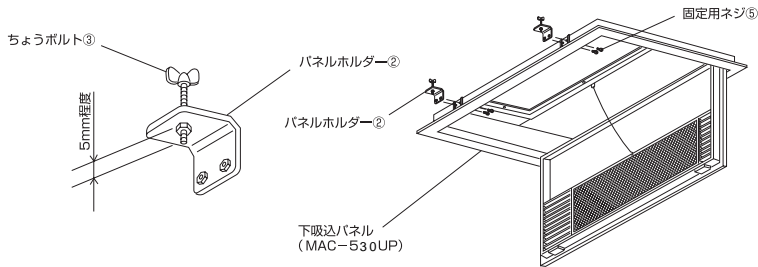
**ご注意** 左右のツマミをスライドさせると、内側パネルがいきおいよく開いてケガをする恐れがありますので両手で支えながらゆっくり開いてください。

3. 次に残りの1カ所を、残りの固定用ネジ③で室内ユニットに少しゆるく取付けます。
4. 最後に下吸込パネル①を天井の目地と合うように調整しながら、4カ所の固定用ネジ③を締め込んでください。  
この時、下吸込パネル①と天井面および室内ユニットにすき間がないことを確認してください。  
(すき間があると、風もれ等の原因となります。)
5. エアフィルター②が、内側パネルのフィルターレールにしっかりと装着されているか確認してください。  
もし、エアフィルター②が、フィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。
6. 下吸込パネル①に取付けられているヒモは、内側パネル開閉作業の安全のため取外さないでください。
7. 内側パネルを、開いた時と逆の要領で閉じてください。

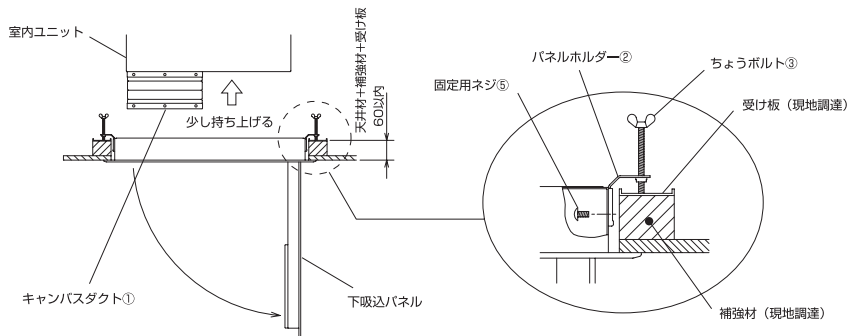


(2) 下吸込パネルの取付(キャンバスダクトを使用する場合)

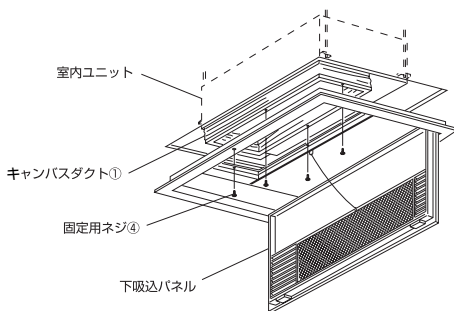
- 1.各パネルホルダー②にちょうボルト③を、下から5mm程度出るまでねじ込みます。
- 2.下吸込パネル(MAC-530UP)のホルダー固定部に、ちょうボルト③をセットしたパネルホルダー②を2カ所(下図参照)挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。



- 3.下吸込パネルを天井にはめ込み、反対側のホルダー固定部にも上記2.と同様に、残りのパネルホルダー②を2カ所挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。
- 4.ちょうボルト③と天井との間に受け板(現地調達)および補強材(現地調達)を挟み込み、下吸込パネルを固定します。この時、キャンバスダクト①が邪魔になる時は、下図のように少し持ち上げて作業してください。



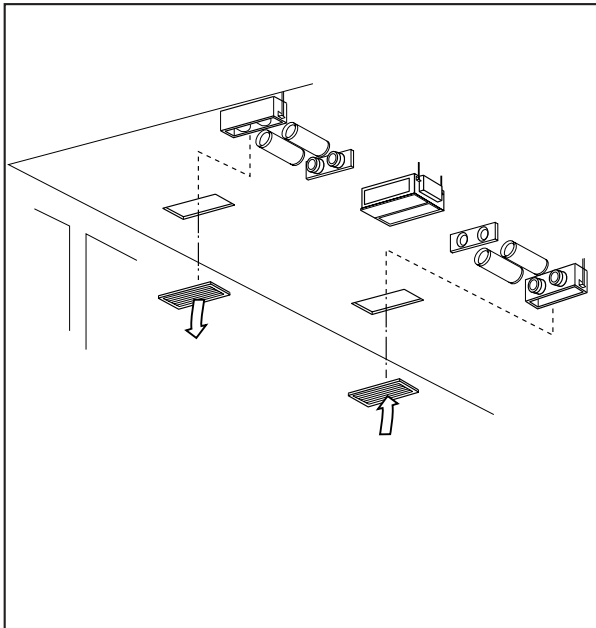
- 5.最後に、キャンバスダクト①を下吸込パネルに固定用ネジ④で4カ所固定します。この時、下吸込パネルと天井面およびキャンバスダクト①にすき間がないことを確認してください。(すき間があると、風もれ等の原因となります。)





天井設置吸吹両ダクトタイプ<1方向吹出>

(1) 設置イメージ図

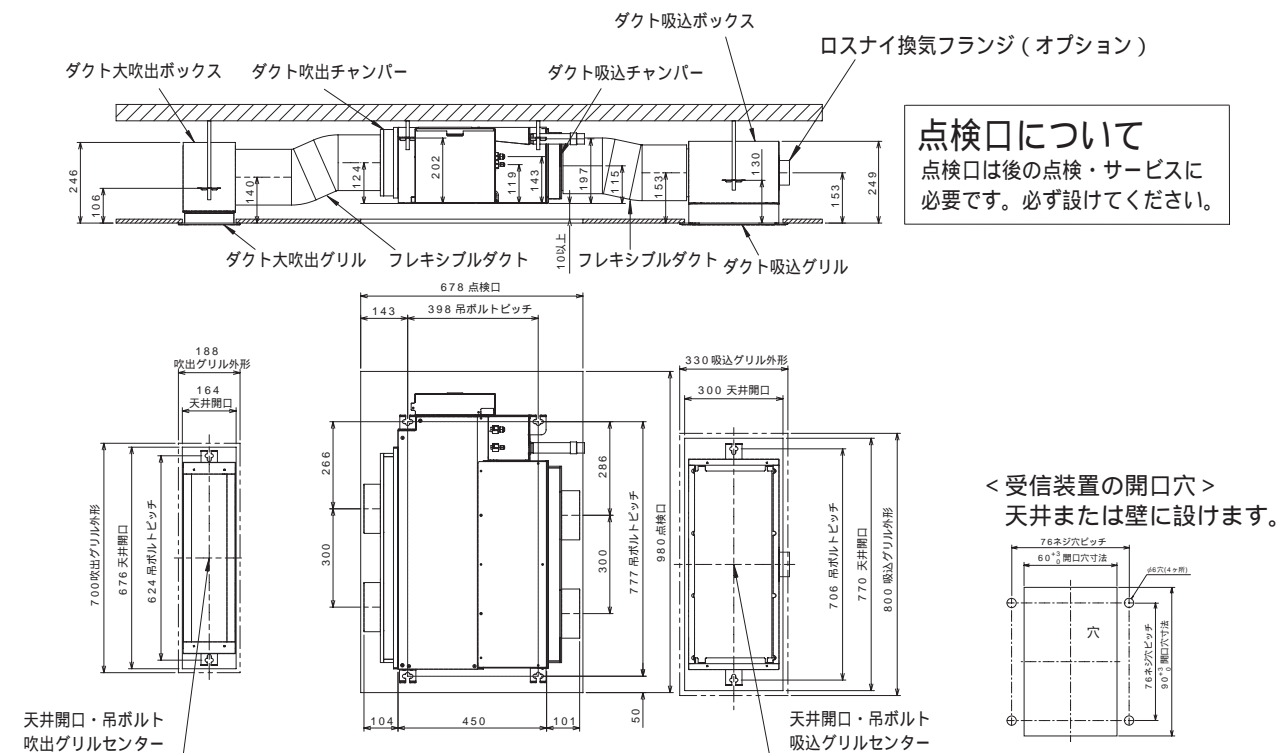


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
ダクト吸込チャンパー	MAC-509SC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
ダクト吸込ボックス	MAC-510SB	
ダクト吸込グリル(ホワイト)	MAC-511SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト吸込グリル(ベージュ)	MAC-512SG	
ロスナイ給気フランジ	MAC-513LK	ロスナイ接続時のみ使用してください。
ダクト吹出チャンパー	MAC-514FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
フレキシブルダクト(φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト(φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	
ダクト大吹出グリル(ホワイト)	MAC-518FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト大吹出グリル(ベージュ)	MAC-519FG	
レシーバー取付具	MAC-523RT	
レシーバー延長コード	MAC-524RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。延長コードの長さ：10m

ドレンポンプは室内ユニットに内蔵しています。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P83~P88を参照ください。)



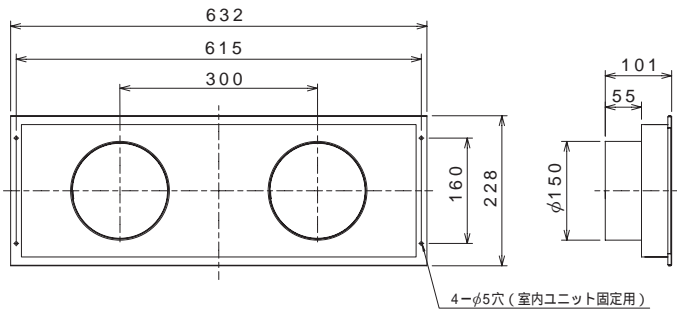
フレキシブルダクト仕様制限

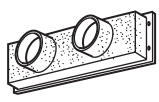

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	吸込側と合わせて7m以下	90°以下1カ所
吸込側ダクト	1m以下	45°以下1カ所

ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。

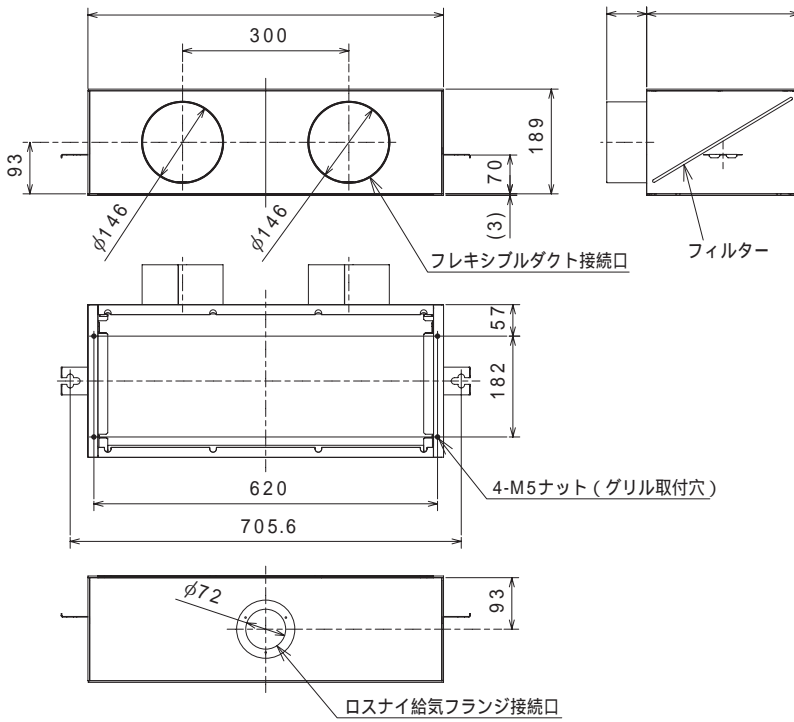
(4) 別売部品 外形図

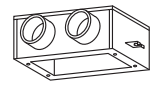
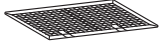

ダクト吸込チャンバー MAC-509SC



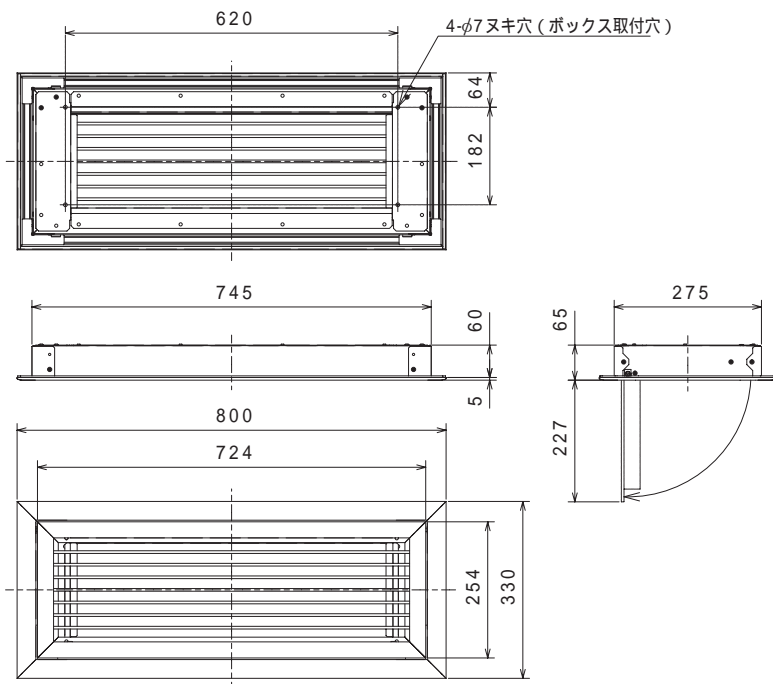
MAC-509SC構成部品	
① ダクト吸込チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	
	4
タッピングネジ 4×16	



ダクト吸込ボックス MAC-510SB



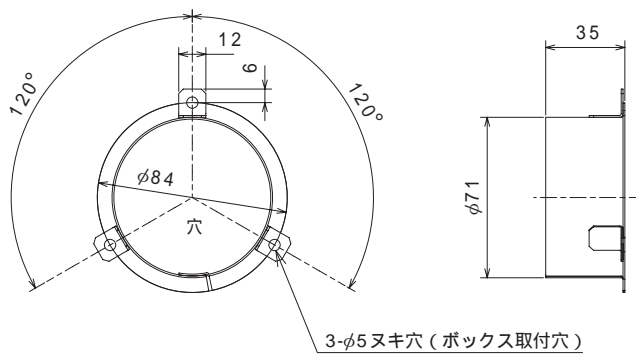
MAC-510SB構成部品	
① ダクト吸込ボックス	数量
	1
② エアフィルター	
	1
③ 断熱材	
	1

ダクト吸込グリル MAC-511SG (ホワイト) MAC-512SG (ベージュ)



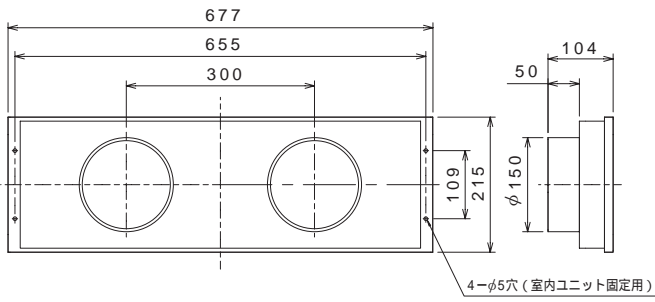
MAC-511SG 構成部品 MAC-512SG	
① ダクト吸込グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 x 0.8 x 12	

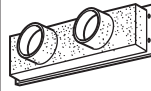

ロスナイ給気フランジ MAC-513LK



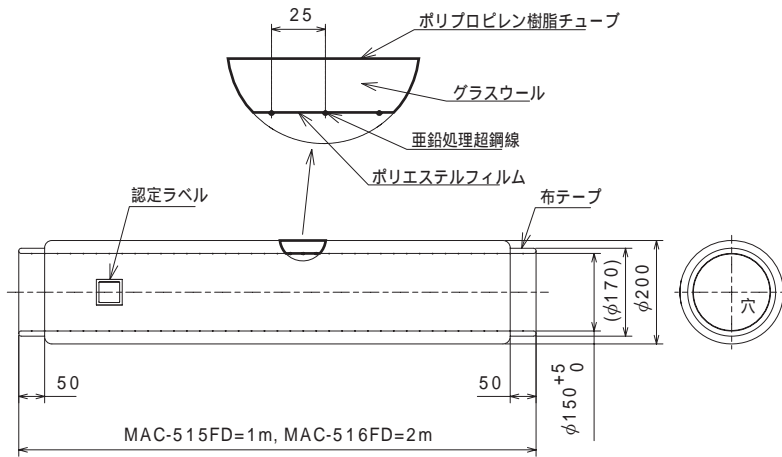
MAC-513LK 構成部品			
① ロスナイ給気フランジ	数量	③ 断熱材B	数量
	1		1
② 断熱材A	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		3
		タッピングネジ 4 x 10	


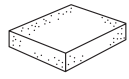
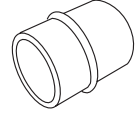
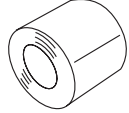

ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



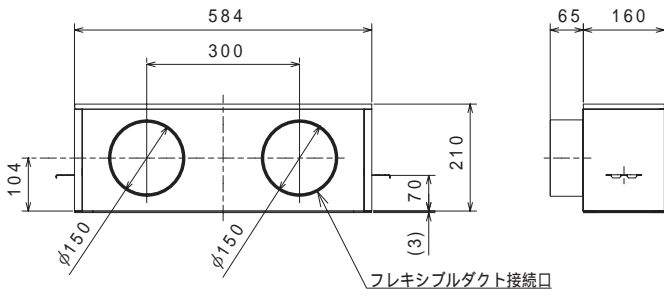
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
タッピングネジ 4 x 16	

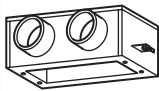
フレキシブルダクト MAC-515FD(φ150,1m)、MAC-516FD(φ150,2m)

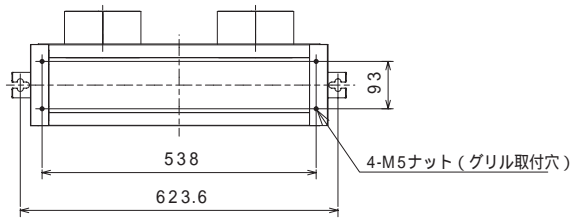


MAC-515FD 構成部品 MAC-516FD			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量	—	—
	2		

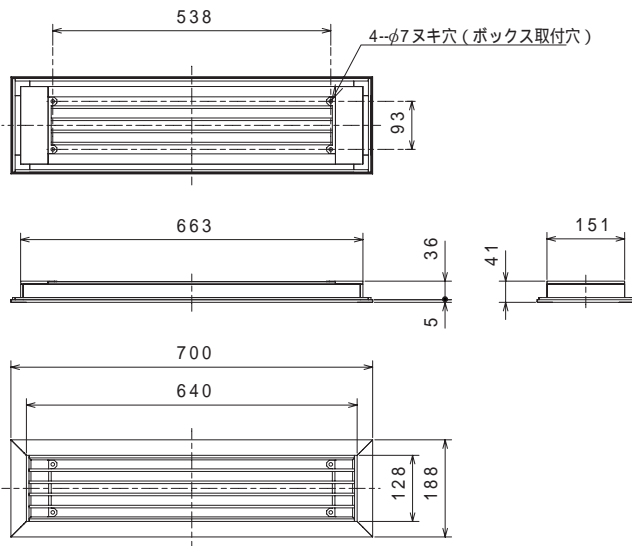
ダクト大吹出ボックス MAC-517FB

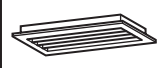



MAC-517FB構成部品	
① ダクト大吹出ボックス	数量
	1

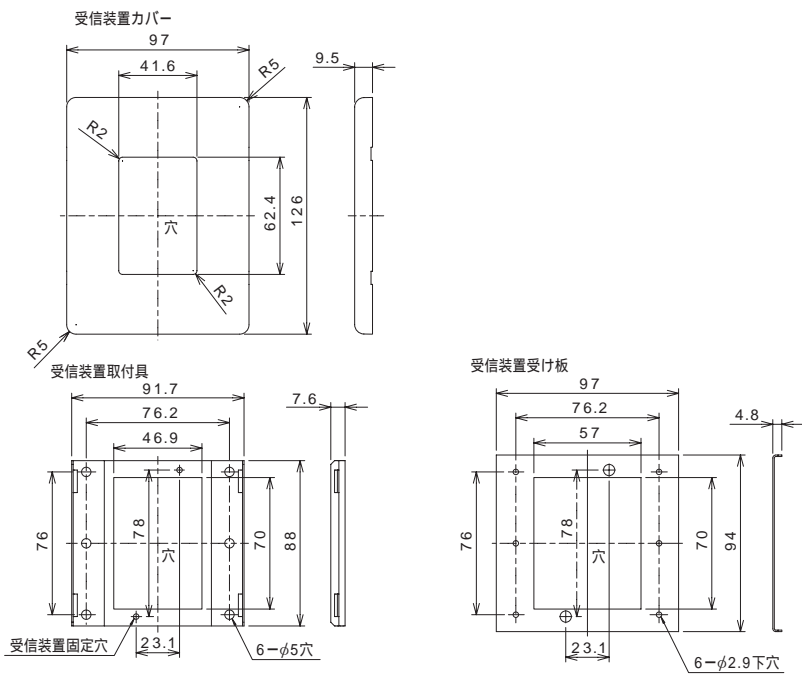


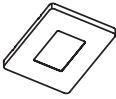


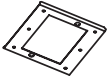
ダクト大吹出グリル MAC-518FG (ホワイト) MAC-519FG (ベージュ)



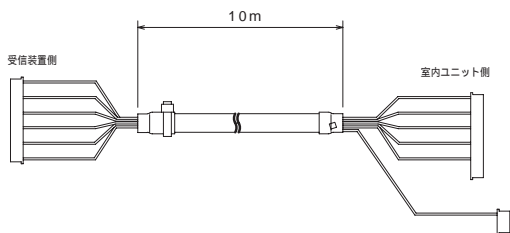
MAC-518FG MAC-519FG構成部品	
① ダクト大吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 × 0.8 × 12	

### レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
	1	 タッピングネジ 4×10	2
	1	—	—

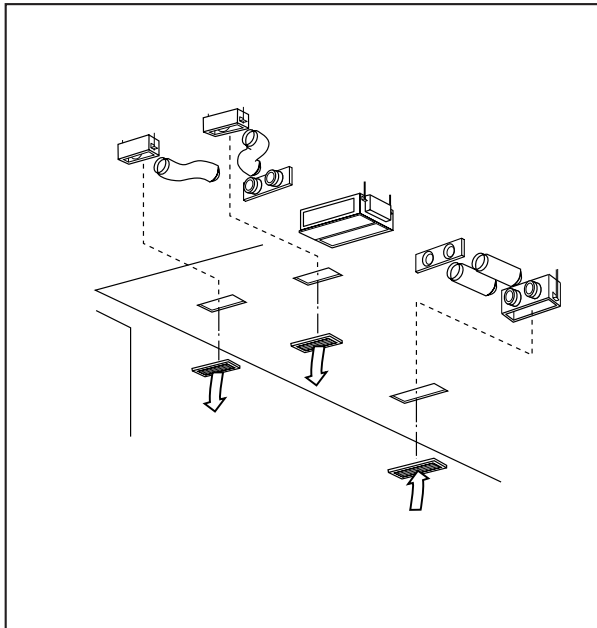
### レシーバー延長コード MAC-524RC



MAC-524RC構成部品	
①	数量
受信装置延長コード (10m)	1

天理設置吸吹両ダクトタイプ<2方向吹出>

(1) 設置イメージ図

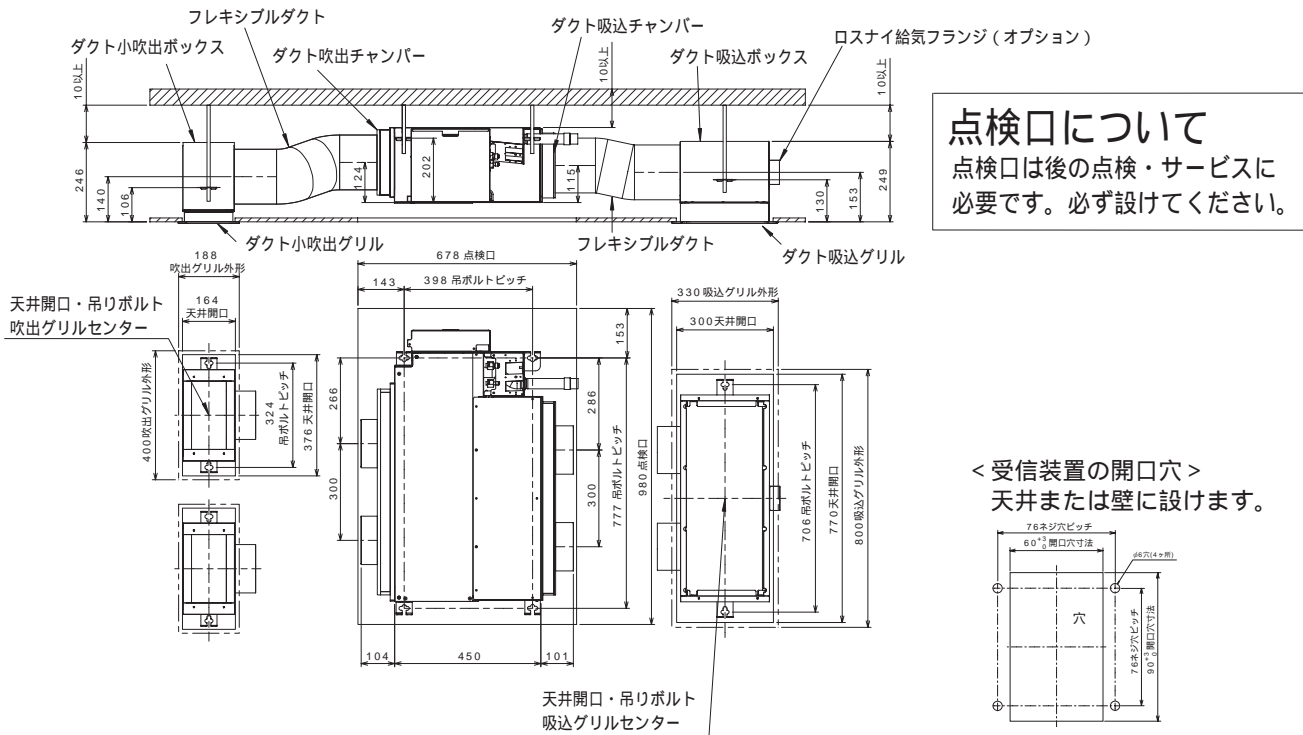


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
ダクト吸込チャンパー	MAC-509SC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
ダクト吸込ボックス	MAC-510SB	
ダクト吸込グリル(ホワイト)	MAC-511SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト吸込グリル(ベージュ)	MAC-512SG	
ロスナイ給気フランジ	MAC-513LK	ロスナイ接続時のみ使用してください。
ダクト吹出チャンパー	MAC-514FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
フレキシブルダクト(φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト(φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	
ダクト小吹出グリル(ホワイト)	MAC-521FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト小吹出グリル(ベージュ)	MAC-522FG	
レシーバー取付具	MAC-523RT	
レシーバー延長コード	MAC-524RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。延長コードの長さ：10m

ドレンポンプは室内ユニットに内蔵しています。  
ダクト小吹出ボックスとダクト小吹出グリルは2セット必要です。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P83～P88を参照ください。)



フレキシブルダクト仕様制限

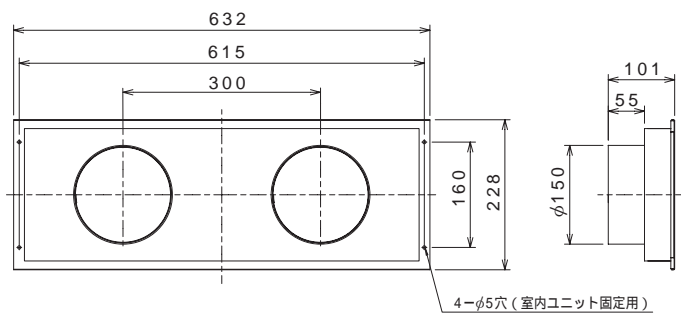
	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	吸込側と合わせて7m以下	90°以下1カ所
吸込側ダクト	1m以下	45°以下1カ所

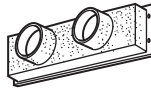

ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。



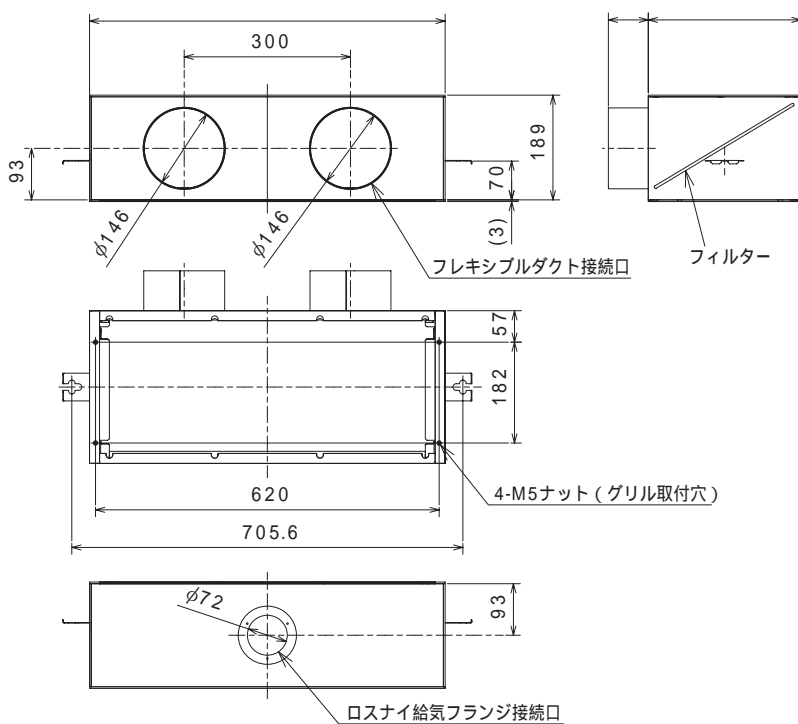
(4) 別売部品 外形図

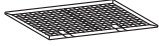
ダクト吸込チャンバー MAC-509SC



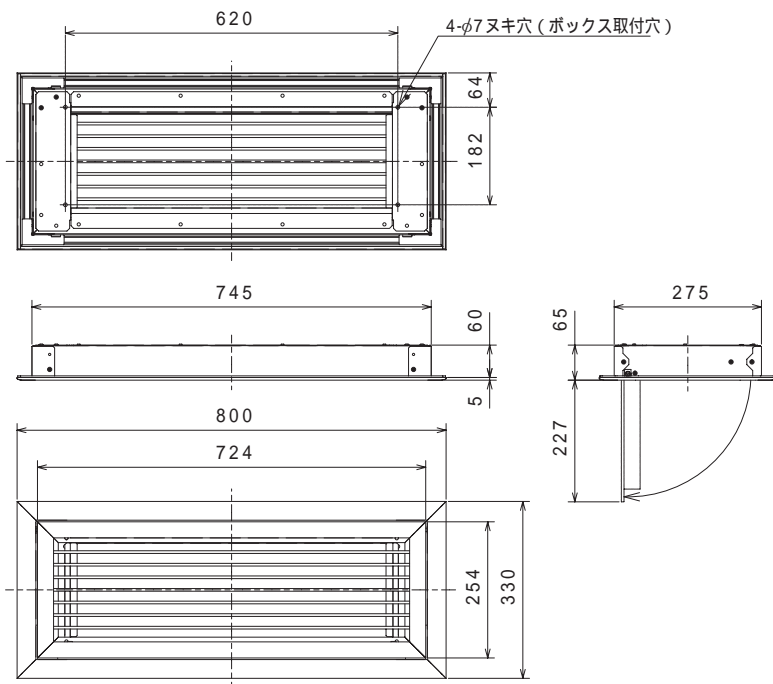
MAC-509SC構成部品	
① ダクト吸込チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
タッピングネジ 4 x 16	

ダクト吸込ボックス MAC-510SB



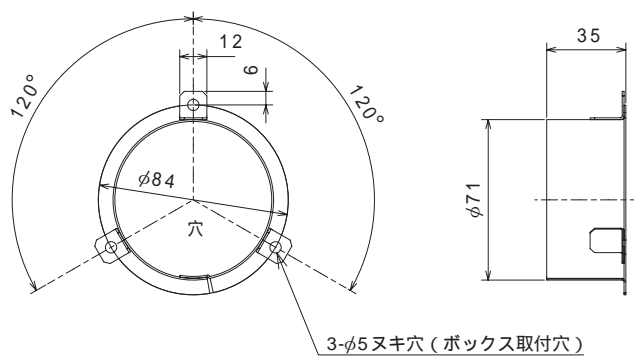
MAC-510SB構成部品	
① ダクト吸込ボックス	数量
	1
② エアフィルター	数量
	1
③ 断熱材	数量
	1

ダクト吸込グリル MAC-511SG (ホワイト) MAC-512SG (ベージュ)



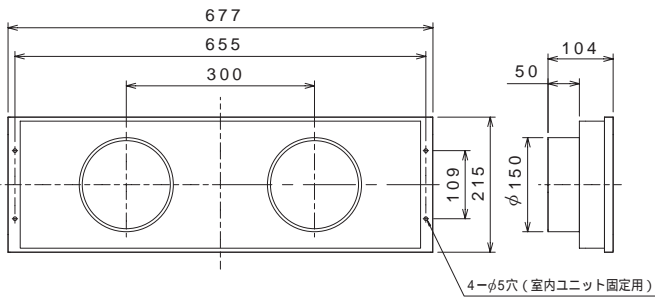
MAC-511SG 構成部品 MAC-512SG	
① ダクト吸込グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 x 0.8 x 12	

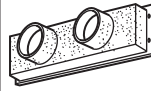

ロスナイ給気フランジ MAC-513LK



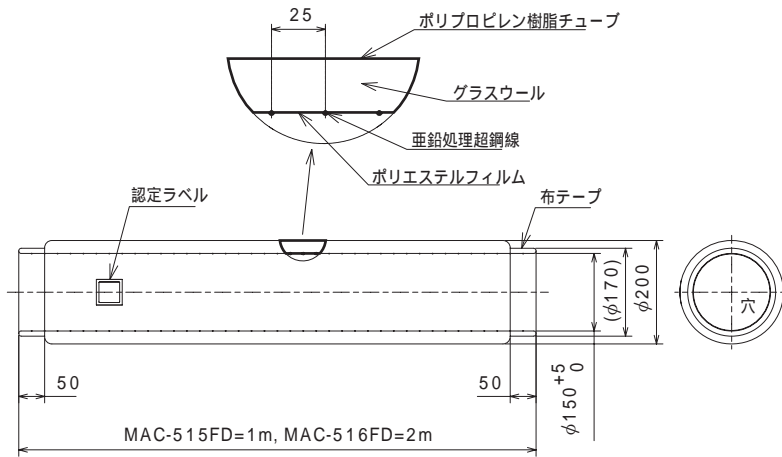
MAC-513LK 構成部品			
① ロスナイ給気フランジ	数量	③ 断熱材B	数量
	1		1
② 断熱材A	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		3
		タッピングネジ 4 x 10	


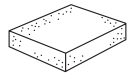
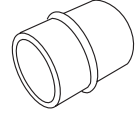
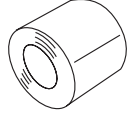

ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



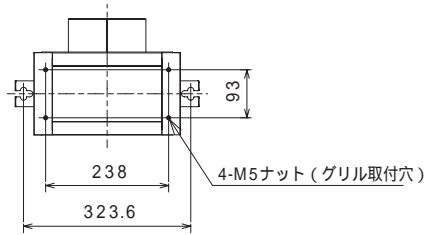
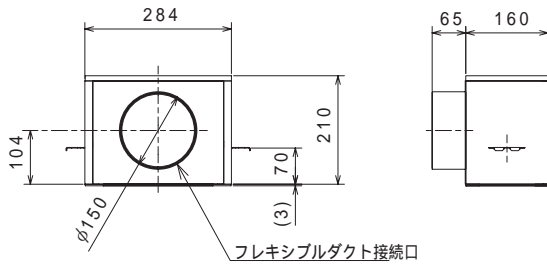
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
タッピングネジ 4 x 16	

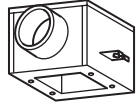
フレキシブルダクト MAC-515FD(φ150,1m)、MAC-516FD(φ150,2m)



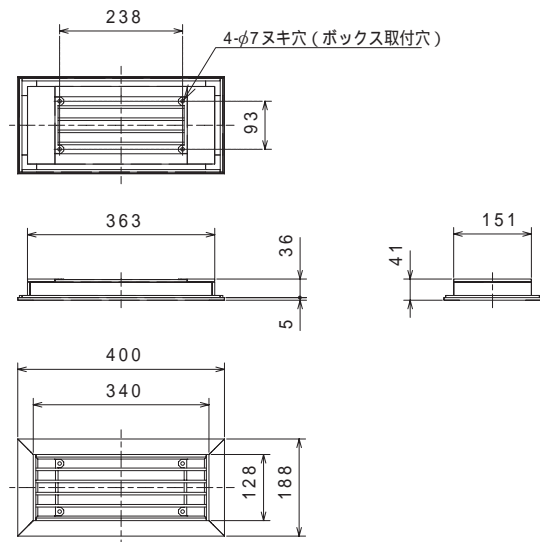
MAC-515FD 構成部品			
MAC-516FD			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量	—	—
	2		

ダクト小吹出ボックス MAC-520FB



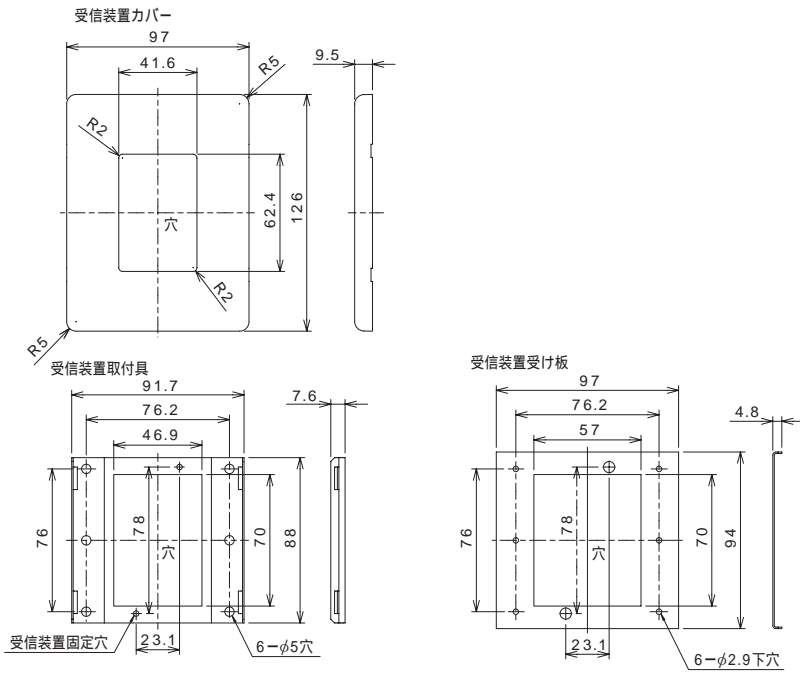
MAC-520FB構成部品	
① ダクト小吹出ボックス	数量
	1

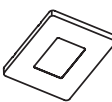



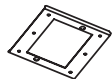
ダクト小吹出グリル MAC-521FG (ホワイト) MAC-522FG (ベージュ)



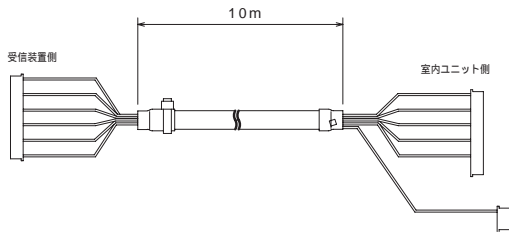
MAC-521FG MAC-522FG 構成部品	
① ダクト小吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 × 0.8 × 12	

### レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
② 受信装置取付金具	1	⑤ 受信装置の固定用ネジ	2
	1	 タッピングネジ 4×10	2
③ 受信装置受け板	1	—	—
	1	—	—

### レシーバー延長コード MAC-524RC



MAC-524RC構成部品	
①	数量
受信装置延長コード (10m)	1

## 据付要領(天埋設置吸吹両ダクトタイプ<1方向吹出・2方向吹出>)

### 1.室内ユニット点検口と開口穴の設定

室内ユニット点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

本据付パターンにおいては、吹出グリル/吸込グリルに受信装置を取付ける箇所がありません。

別売部品 レシーバー取付具MAC-523RTを使用して取付けます。またこの時に天井または壁に開口部が必要です。

詳細はP137の据付説明書を参照してください。

### 2.室内ユニットの先行準備

#### (1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

室内ユニットの各接続部位置は、前頁の位置にあります。

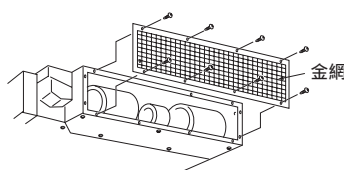
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。

ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管VP20が室内ユニットのドレン口と接続できます。

内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内ユニット近傍で余裕をもたせておいてください。

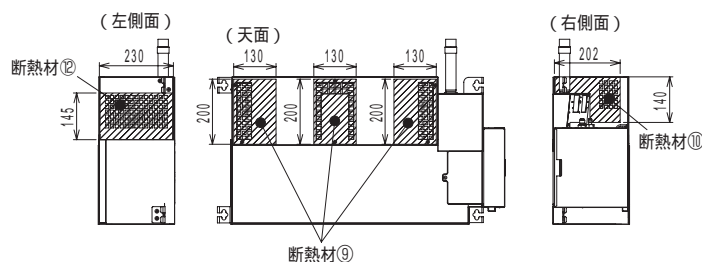
#### (2) 室内ユニットの背面金網の取外

室内ユニット背面の金網を外します。(ネジ8本)



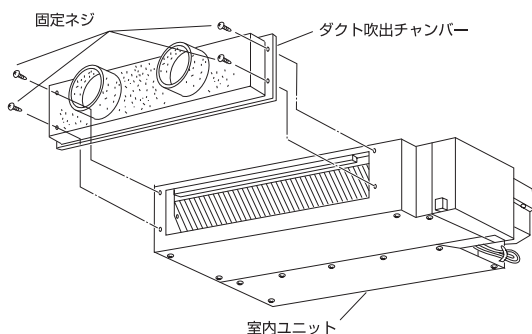
#### (3) 室内ユニットへの断熱材の貼付

室内ユニットの天面(3カ所)、左右側面(各1カ所)の角穴を付属の断熱材⑨、⑩、⑫でふさぎます。

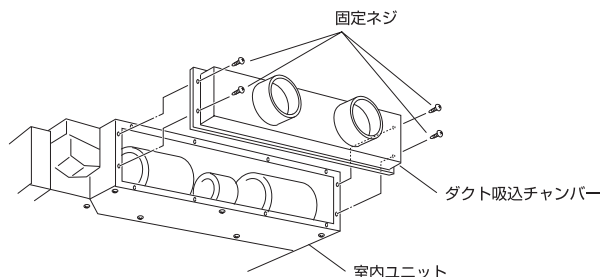


#### (4) ダクト吹出チャンバー(MAC-514FC)/ダクト吸込チャンバー(MAC-509SC)の取付

ダクト吹出チャンバーを室内ユニット吹出口に取付けます。(固定ネジ4本)



ダクト吸込チャンバーを室内ユニット背面吸込口に取付けます。(固定ネジ4本)



#### (5) 別売部品 レシーバー延長コード(MAC-524RC)への交換

室内ユニット付属の長さで不足する場合に行ってください。

延長コードの長さ：10m

P138の据付説明書にしたがって実施してください。

(6) 風量切換スイッチの切換：ダクト長が3mを越える場合に行ってください。

風量切換スイッチ(SW3)の切換は、天井高さにより通常または風量UPに設置してください。

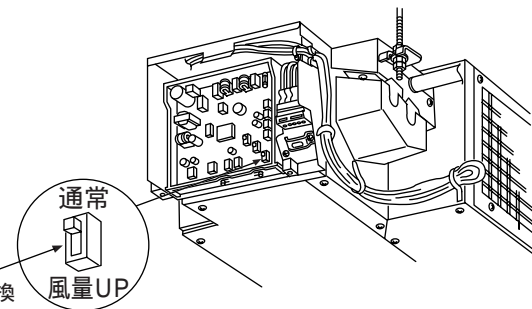
	通常	風量UP
天井高さ	2.4m以下	2.4mを超え2.7m以下
ダクト長(吸込+吹出)	3m以下	3mを超え7m以下(吸込1m+吹出6m)

切換方法 設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。  
室内ユニットの電気品カバーを外します。  
右図の位置に風量切換スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ設定を行います。  
設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。

静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

**出荷時の設定は“通常”になっています。**

風量切換  
スイッチ  
(SW3)



3. 据付工事

P17の据付手順にしたがってください。

4. ダクト吸込ボックス(MAC-510SB)/ダクト大吹出ボックス(MAC-517FB)/ダクト小吹出ボックス(MAC-520FB)の取付

(1) ダクト吸込ボックス(MAC-510SB)

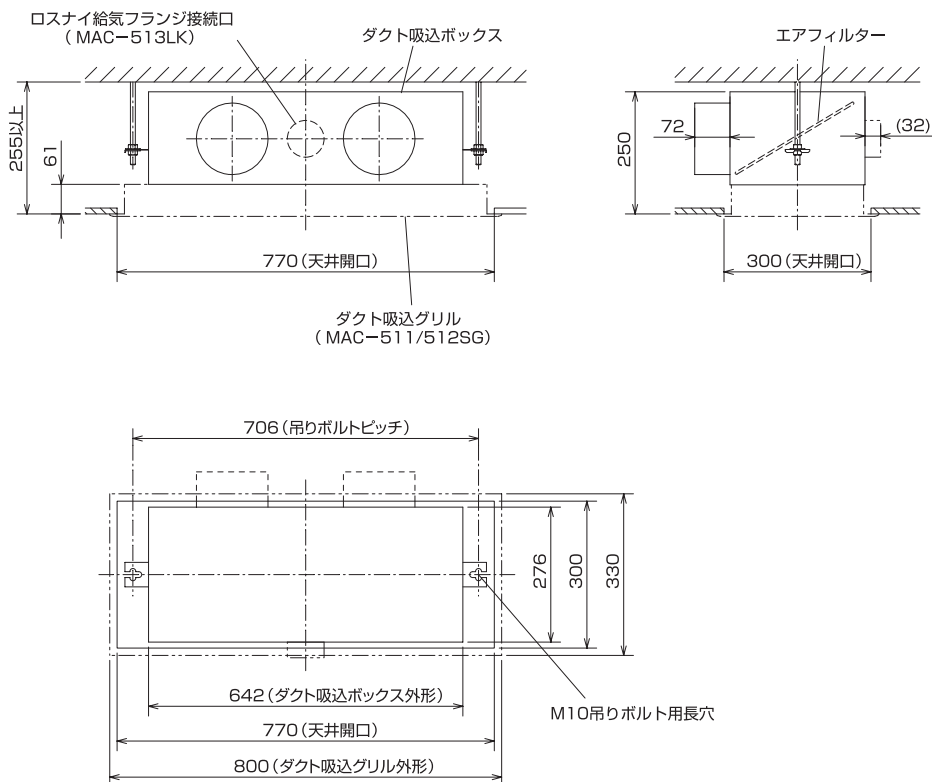
このダクト吸込ボックスは、ダクト吸込グリル(MAC-511/512SG)用です。

天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。

ダクト吸込グリル(MAC-511/512SG)を取付けるため、天井面に300mm×770mmの開口が必要です。

天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

**設置スペースと必要寸法**



エアフィルターが、ダクト吸込ボックスのフィルターレールにしっかりと装着されているか確認してください。  
もし、エアフィルターがフィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。



(2) ダクト大吹出ボックス(MAC-517FB)

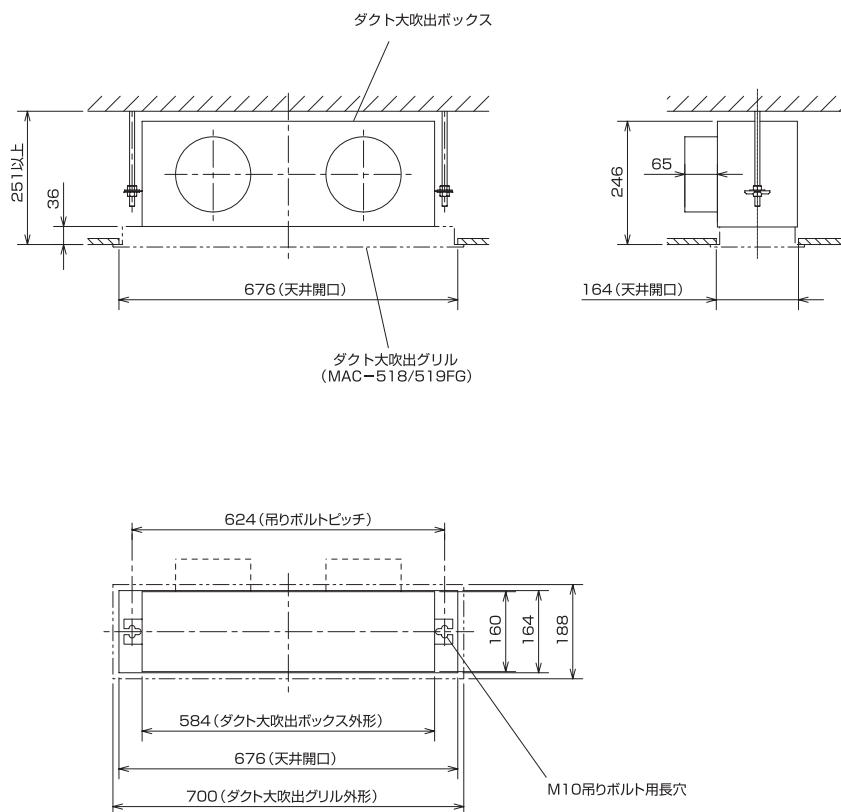
このダクト大吹出ボックスは、ダクト大吹出グリル(MAC-518/519FG)用です。

天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。

ダクト大吹出グリル(MAC-518/519FG)を取付けるため、天井面に164mm×676mmの開口が必要です。

天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

設置スペースと必要寸法



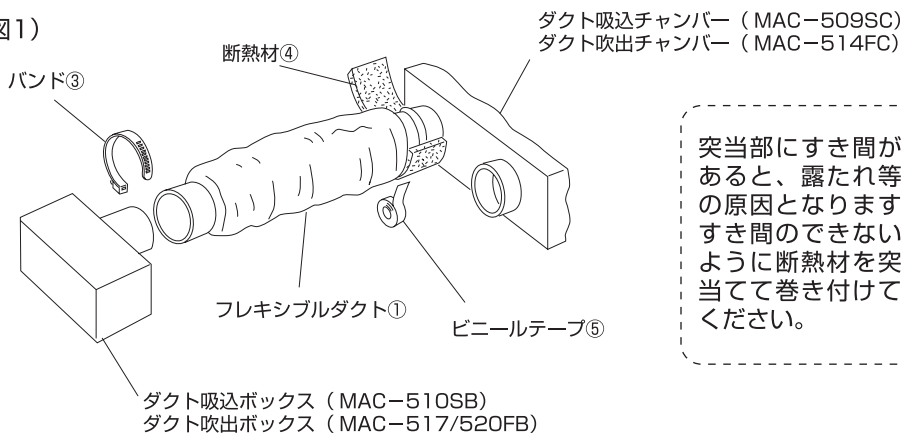


## 5.フレキシブルダクト(MAC-515FD/516FD)の取付

### フレキシブルダクトとダクト吸込・吹出チャンバーおよびダクト吸込・吹出ボックスとの接続

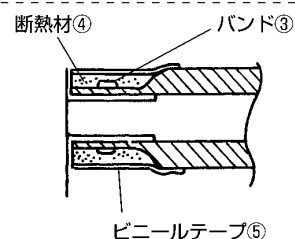
- 1.フレキシブルダクト①を室内ユニット側に取付けられたダクト吸込・吹出チャンバー(MAC-509SC/514FC)および反対側に取付けられたダクト吸込・吹出ボックス(MAC-510SB・517FB/520FB)のフランジにそれぞれはめ込んで、バンド③で締付けます。(図1、2参照)
- 2.断熱材④で、バンド③を覆うように巻き付けます。  
この時、断熱材④は長手方向で半分に切断して、ダクト吸込・吹出チャンバー側とダクト吸込・吹出ボックス側の両端にそれぞれご使用ください。(図3参照)
- 3.断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤ですき間なく巻き付けます。

(図1)



接続部断面図

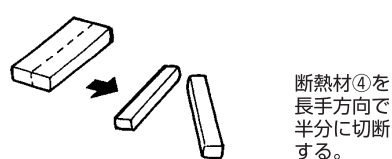
突当部にすき間があると、露たれ等の原因となります。すき間のできないように断熱材を突当てて巻き付けてください。



(図2)



(図3)



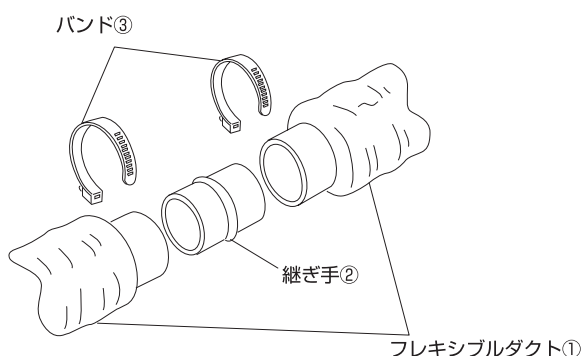
ご注意

断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

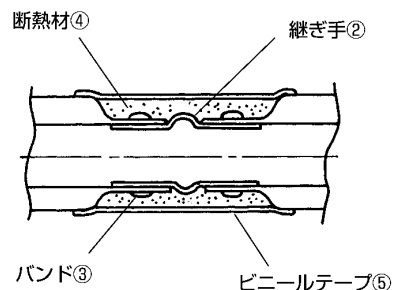
### フレキシブルダクトどうしの接続

- 1.継ぎ手②にフレキシブルダクト①をはめ込み、バンド③で締付けます。(図4参照)
- 2.断熱材④でバンド③を覆うように巻き付けます。(断熱材④は切断しないでご使用ください。)
- 3.断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤ですき間なく巻き付けます。

(図4)



接続部断面図



ご注意

断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

## 6.受信装置の取付

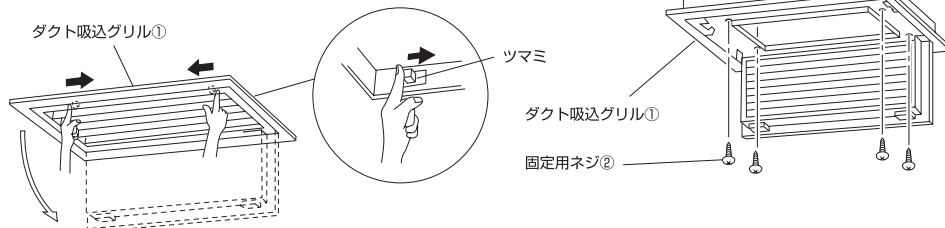
吸込グリル/吹出グリルに受信装置を取付ける箇所がありません。

レーザー取付具(MAC-523RT)に取付けます。P137の据付説明書にしたがって実施してください。

## 7.ダクト吸込グリル(MAC-511/512SG)/ダクト大吹出グリル(MAC-518FG/519FG)/ダクト小吹出グリル(MAC-521FG/522FG)の取付

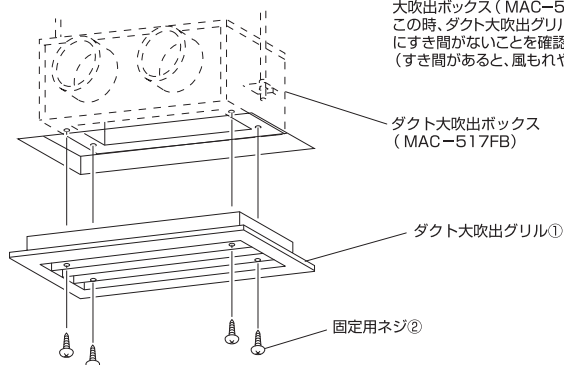
### (1) ダクト吸込グリル(MAC-511SG/512SG)

- 1.ダクト吸込グリル①の風路内にある左右のツマミを、下図のようにスライドさせて、内側グリルを開きます。
- 2.ダクト吸込グリル①の前後左右4ヶ所を、固定用ネジ②でダクト吸込ボックス (MAC-510SB) に固定します。  
この時、ダクト吸込グリル①と天井面およびダクト吸込ボックスにすき間がないことを確認してください。  
(すき間があると、風もれや露たれの原因となります。)
- 3.内側グリルを、開いた時と逆の要領で閉じてください。



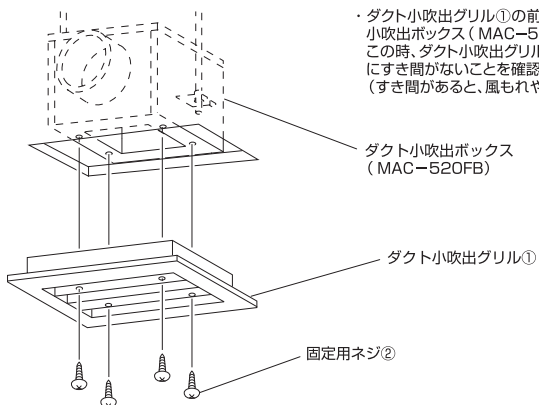
### (2) ダクト大吹出グリル(MAC-518FG/519FG)

- ・ダクト大吹出グリル①の前後左右4ヶ所を、固定用ネジ②でダクト大吹出ボックス (MAC-517FB) に固定します。  
この時、ダクト大吹出グリル①と天井面およびダクト大吹出ボックスにすき間がないことを確認してください。  
(すき間があると、風もれや露たれ等の原因となります。)



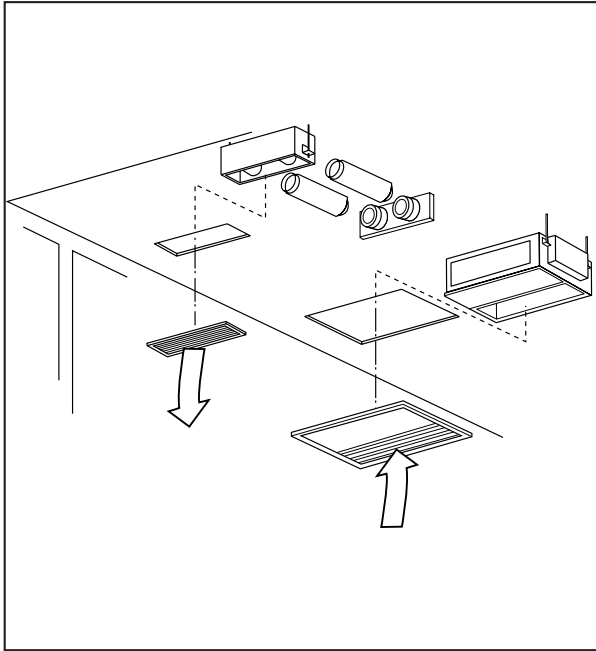
### (3) ダクト小吹出グリル(MAC-521FG/522FG)

- ・ダクト小吹出グリル①の前後左右4ヶ所を、固定用ネジ②でダクト小吹出ボックス (MAC-520FB) に固定します。  
この時、ダクト小吹出グリル①と天井面およびダクト小吹出ボックスにすき間がないことを確認してください。  
(すき間があると、風もれや露たれ等の原因となります。)



天埋設置下吸込パネルタイプ<1方向吹出・キャンバスダクトなし>

(1) 設置イメージ図

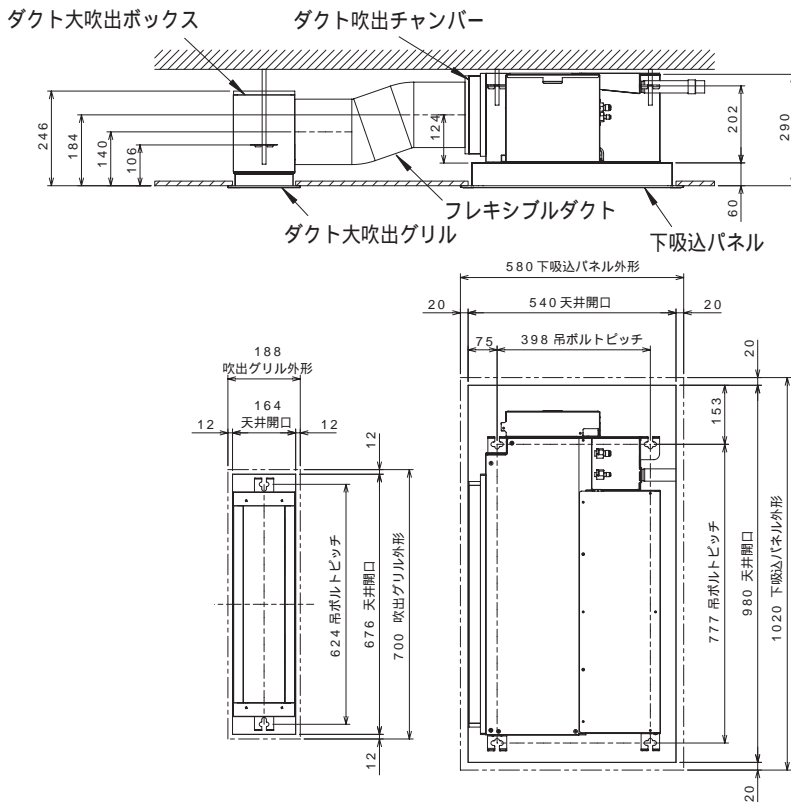


(2) 使用別売部品

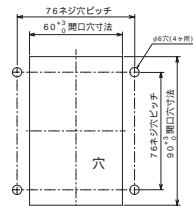
品名	形名	備考
下吸込パネル	MAC-530UP	
ダクト吹出チャンパー	MAC-514FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	
ダクト大吹出グリル (ホワイト)	MAC-518FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト大吹出グリル (ベージュ)	MAC-519FG	
レシーバー取付具	MAC-523RT	
レシーバー延長コード	MAC-524RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。 延長コードの長さ：10m

ドレンポンプは室内ユニットに内蔵しています。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P107~P113を参照ください。)



<受信装置の開口穴>  
天井または壁に設けます。



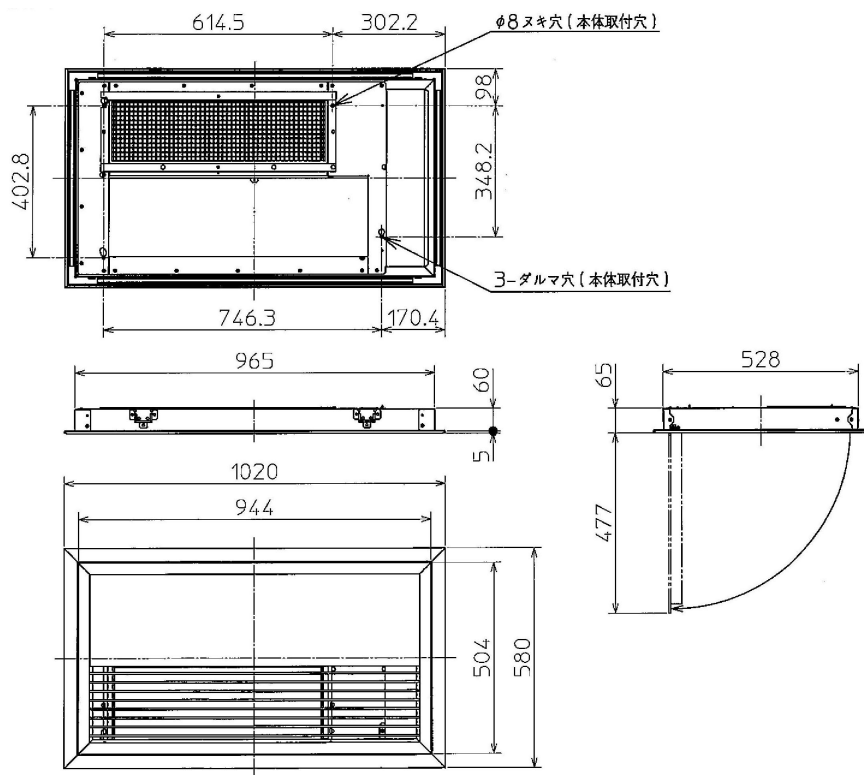
フレキシブルダクト仕様制限

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。

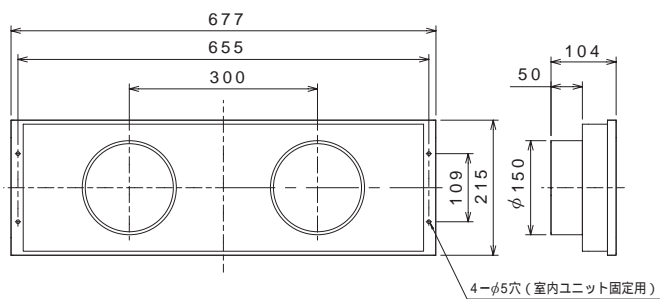
(4) 別売部品 外形図

下吸込パネル MAC-530UP



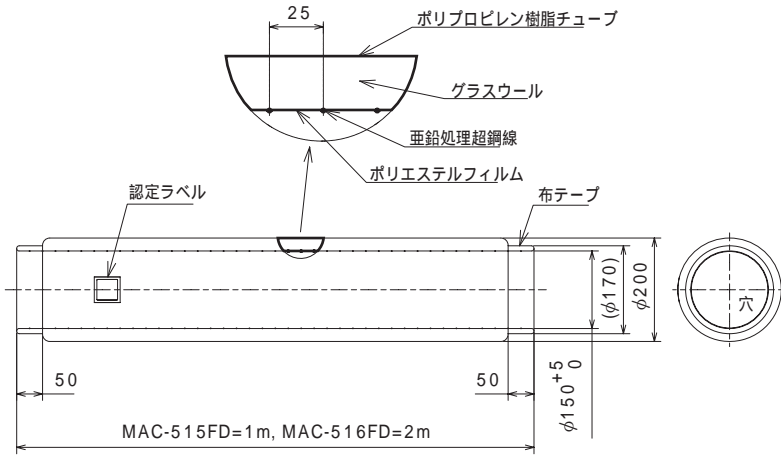
MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	1
	1
③ ①の固定用ネジ	4
M5 × 0.8 × 30	

ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



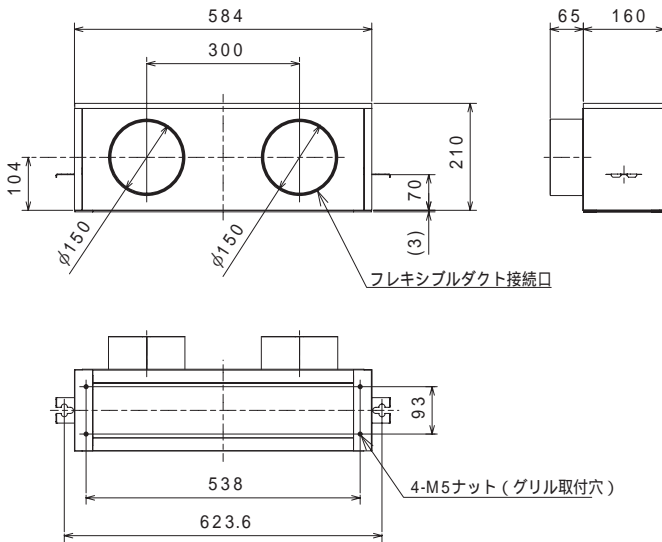
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	4
タッピングネジ 4 × 16	

フレキシブルダクト MAC-515FD(φ150,1m)、MAC-516FD(φ150,2m)、



MAC-515FD MAC-516FD 構成部品			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量	—	—
	2		

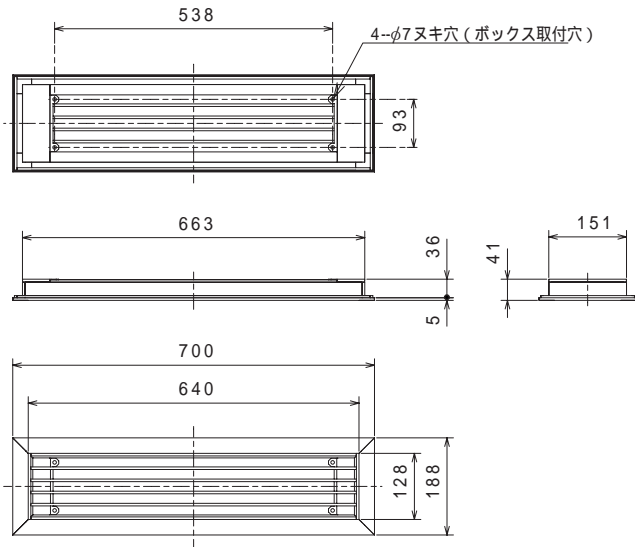
ダクト大吹出ボックス MAC-517FB





MAC-517FB構成部品	
① ダクト大吹出ボックス	数量
	1

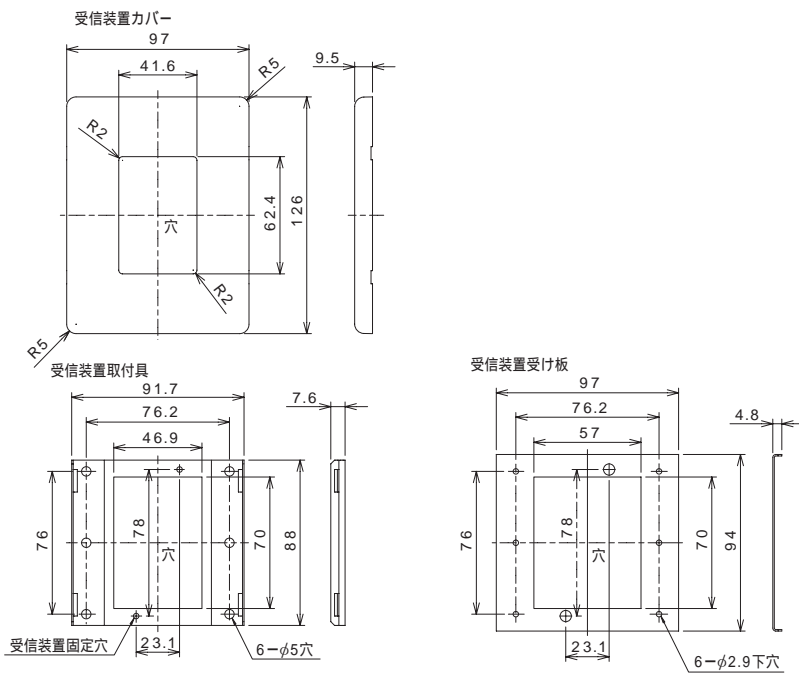


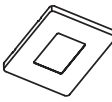



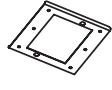
ダクト大吹出グリル MAC-518FG (ホワイト) MAC-519FG (ベージュ)



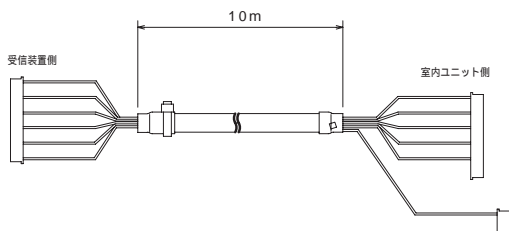
MAC-518FG MAC-519FG構成部品	
① ダクト大吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 x 0.8 x 12	

レーザー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4 x 20	
② 受信装置取付金具	数量	⑤ 受信装置の固定用ネジ	数量
	1		2
		タッピングネジ 4 x 10	
③ 受信装置受け板	数量	—	—
	1		

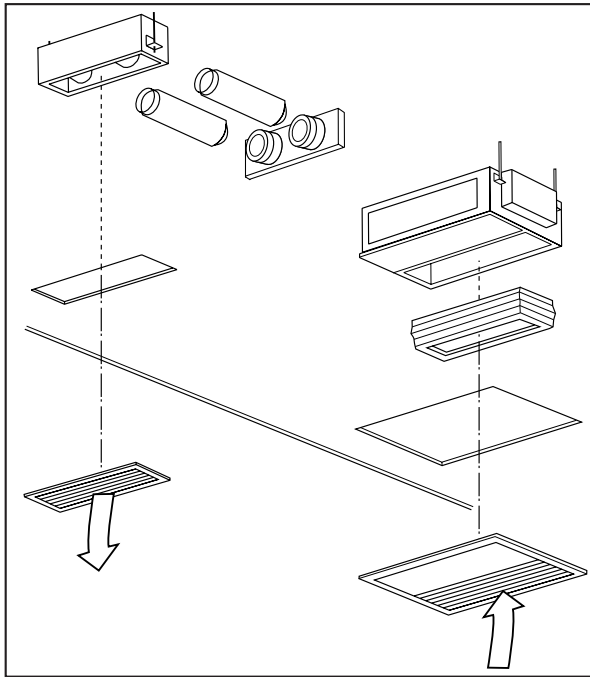
レーザー延長コード MAC-524RC



MAC-524RC構成部品	
①	数量
受信装置延長コード (10m)	1

天井設置下吸込パネルタイプ < 1方向吹出・キャンバスダクトあり >

(1) 設置イメージ図

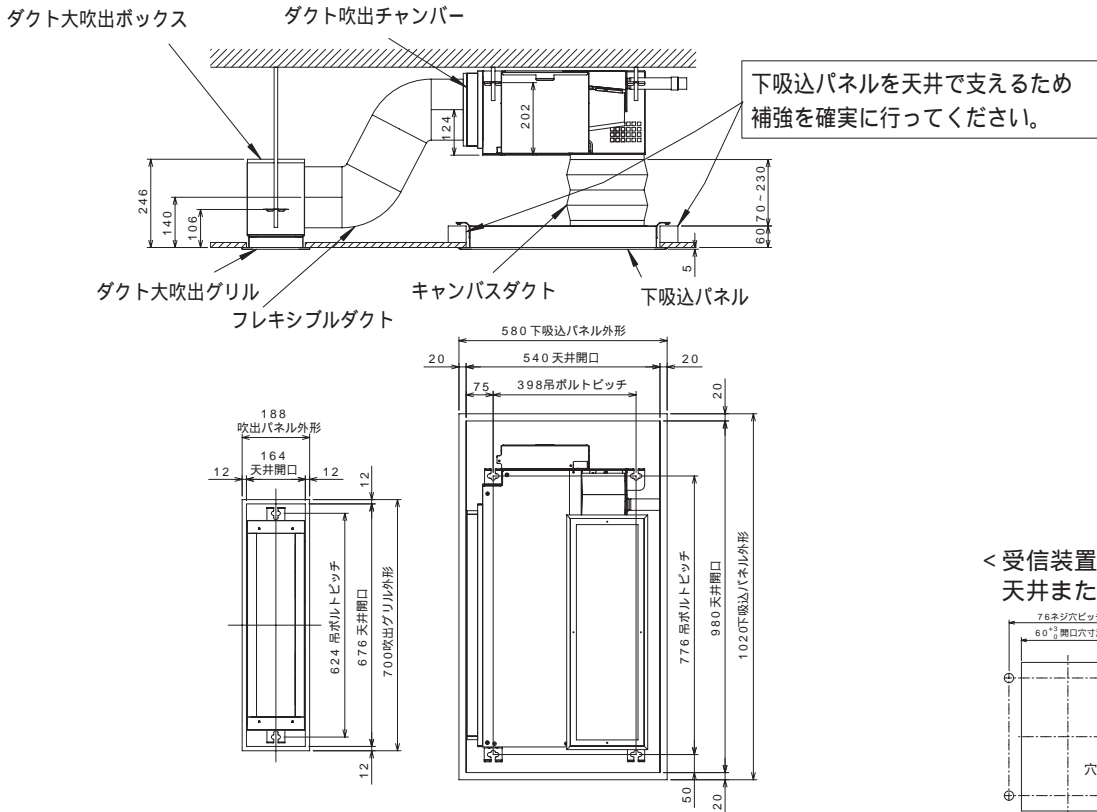


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
下吸込パネル	MAC-530UP	
キャンバスダクト	MAC-508CD	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	
ダクト大吹出グリル (ホワイト)	MAC-518FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト大吹出グリル (ベージュ)	MAC-519FG	
レーザー取付具	MAC-523RT	
レーザー延長コード	MAC-524RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。延長コードの長さ：10m

ドレンポンプは室内ユニットに内蔵しています。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P107~P113を参照ください。)



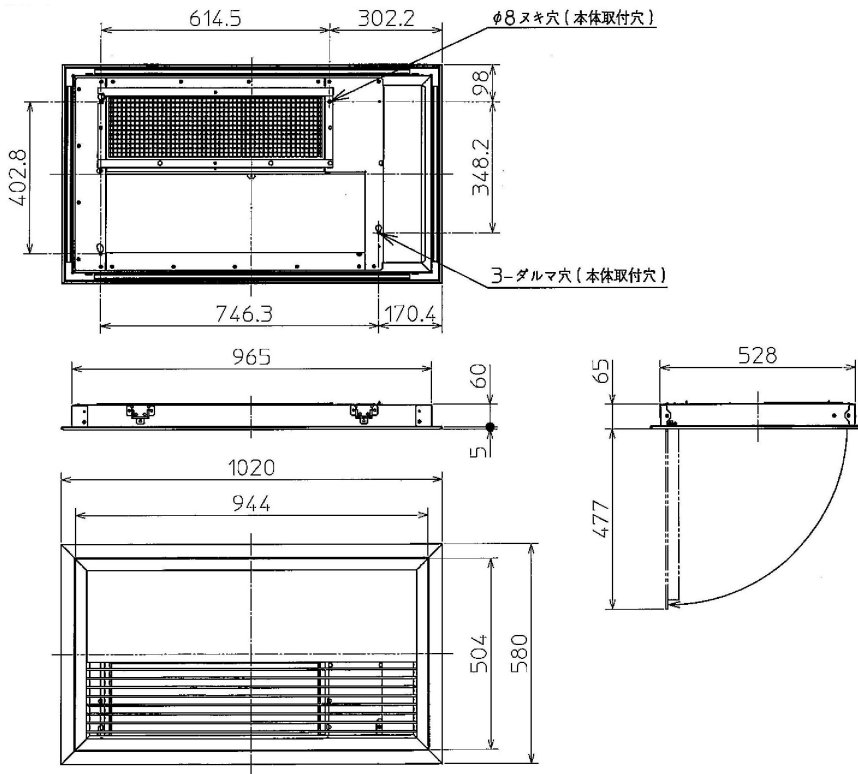
フレキシブルダクト仕様制限

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。

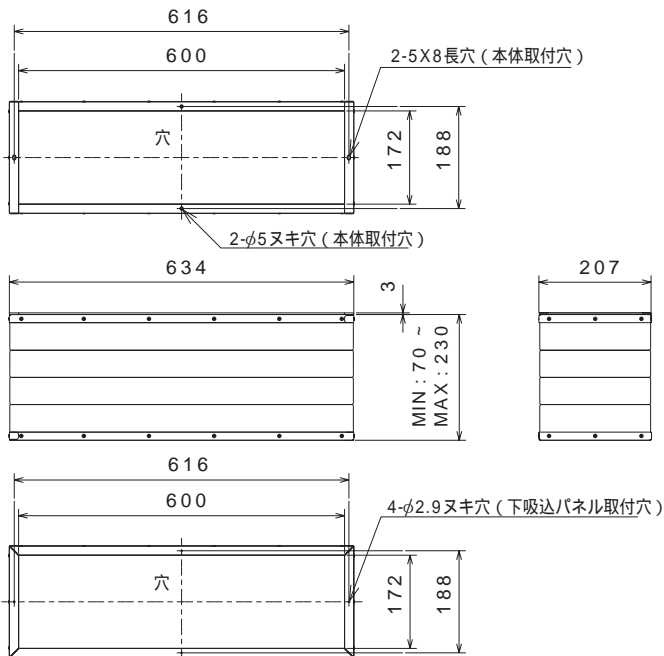
(4) 別売部品 外形図

下吸込パネル MAC-530UP



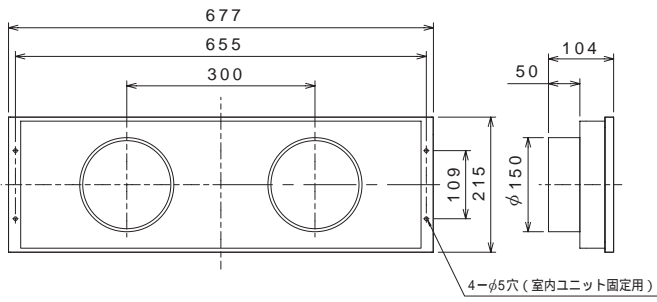
MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	数量
	1
③ ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 × 0.8 × 30	

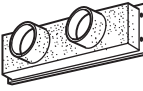

キャンバスダクト MAC-508CD



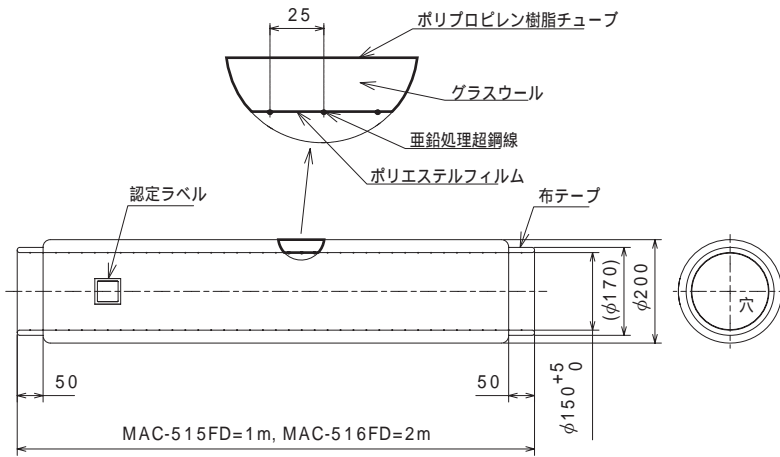
MAC-508CD構成部品			
① キャンバスダクト	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		8
		タッピングネジ 4 × 10	
② パネルホルダー	数量	⑤ ②の固定ネジ	数量
	4		8
		M5 × 0.8 × 10	
③ ちょうボルト	数量	—	—
	4		
		M5 × 0.8 × 50	


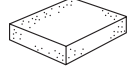
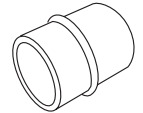
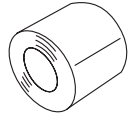

ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



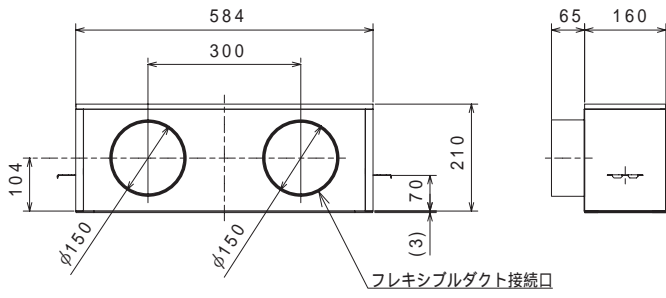
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
タッピングネジ 4 x 16	

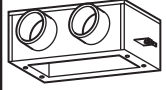
フレキシブルダクト MAC-515FD(φ150,1m)、MAC-516FD(φ150,2m)

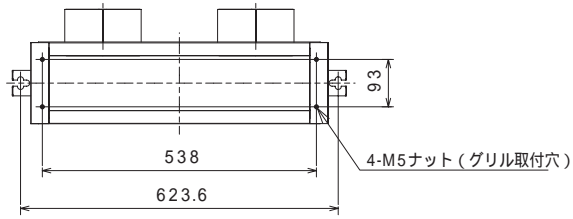


MAC-515FD MAC-516FD 構成部品			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量		数量
	2	—	—

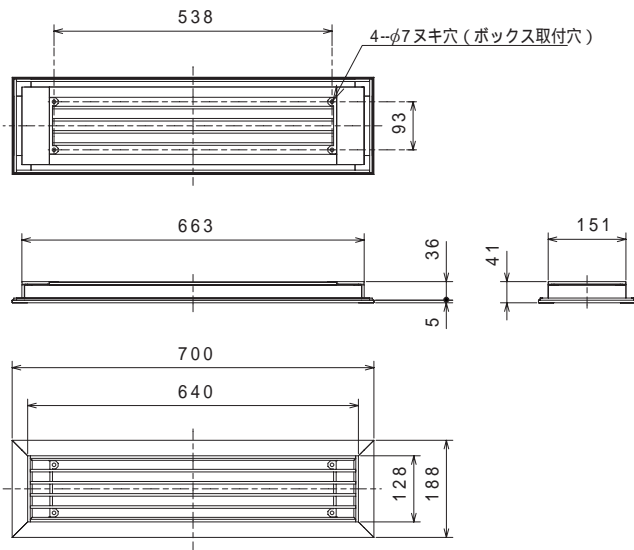
ダクト大吹出ボックス MAC-517FB





MAC-517FB構成部品	
① ダクト大吹出ボックス	数量
	1

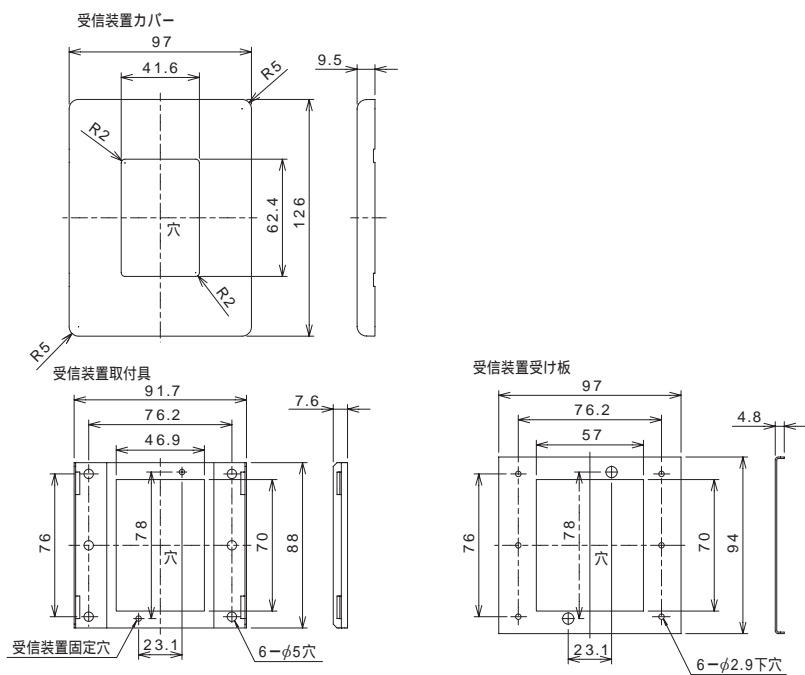


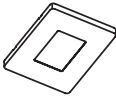

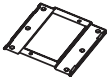

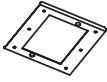
ダクト大吹出グリル MAC-518FG (ホワイト) MAC-519FG (ベージュ)



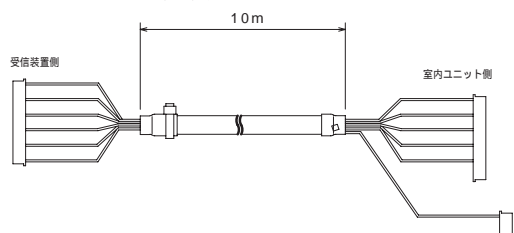
MAC-518FG MAC-519FG構成部品	
① ダクト大吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 × 0.8 × 12	

### レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
② 受信装置取付金具	1	⑤ 受信装置の固定用ネジ	2
	1	 タッピングネジ 4×10	2
③ 受信装置受け板	1	—	—
	1	—	—

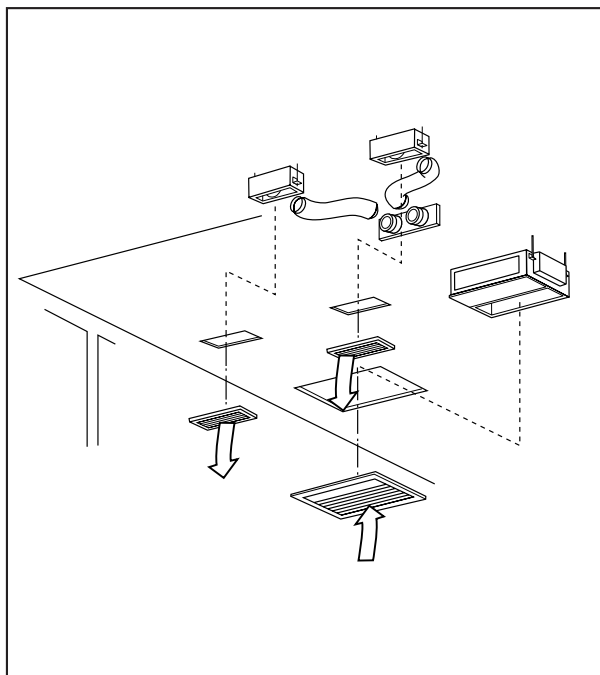
### レシーバー延長コード MAC-524RC



MAC-524RC構成部品	
①	数量
受信装置延長コード (10m)	1

天埋設置下吸込パネルタイプ<2方向吹出・キャンバスダクトなし>

(1) 設置イメージ図

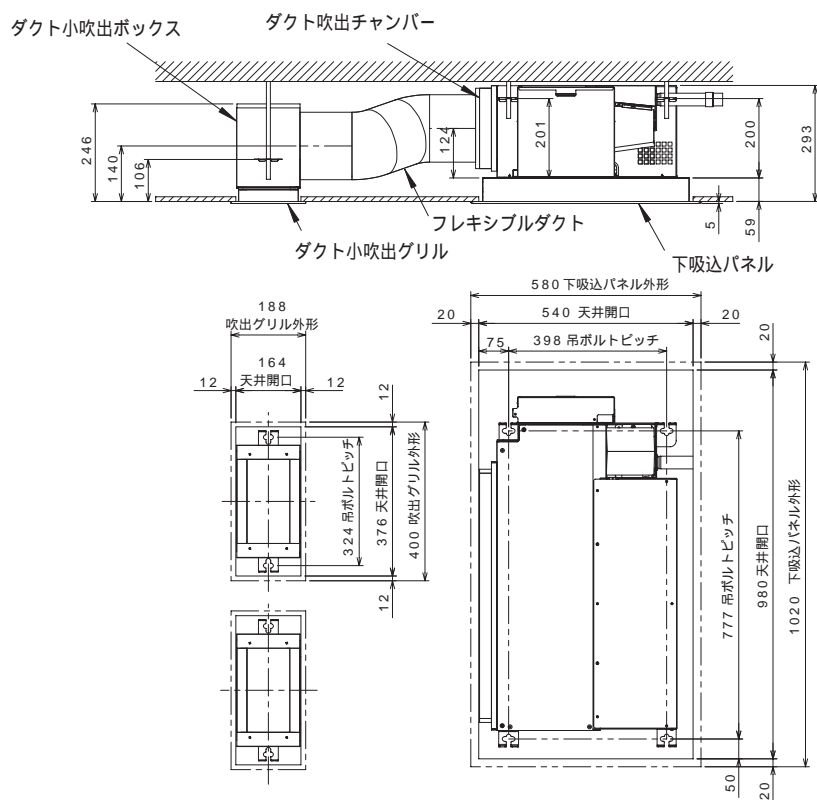


(2) 使用別売部品

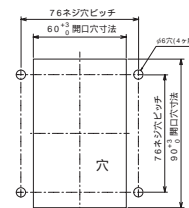
品名	形名	備考
下吸込パネル	MAC-530UP	
ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	
ダクト小吹出グリル (ホワイト)	MAC-521FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト小吹出グリル (ベージュ)	MAC-522FG	
レシーバー取付具	MAC-523RT	
レシーバー延長コード	MAC-524RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。延長コードの長さ：10m

ドレンポンプは室内ユニットに内蔵しています。  
ダクト小吹出ボックスとダクト小吹出グリルは2セット必要です。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P107~P113を参照ください。)



<受信装置の開口穴>  
天井または壁に設けます。



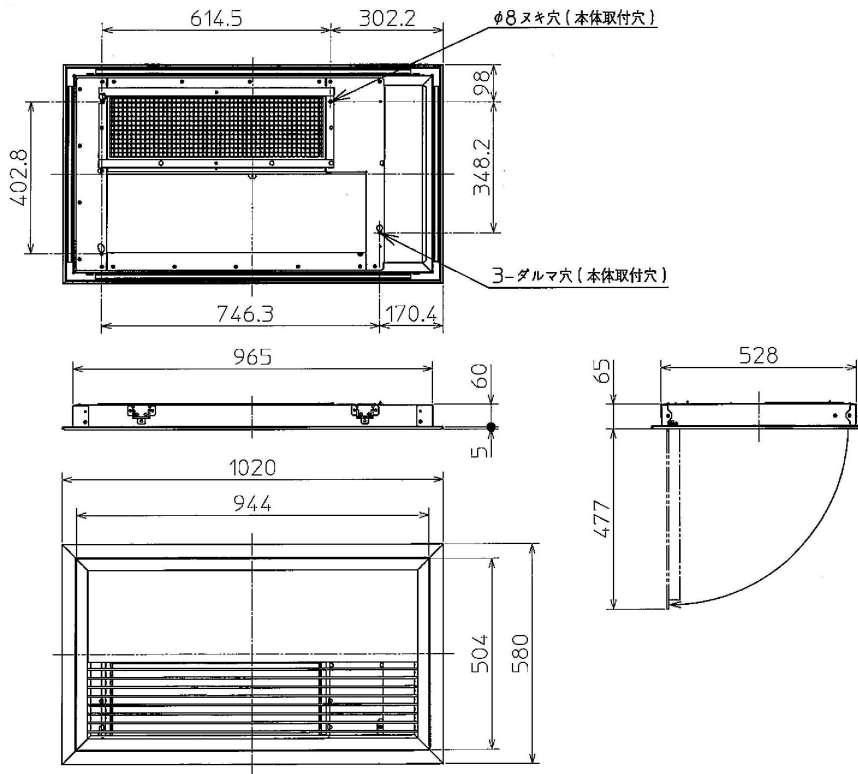
フレキシブルダクト仕様制限

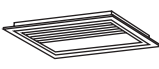
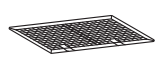

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。

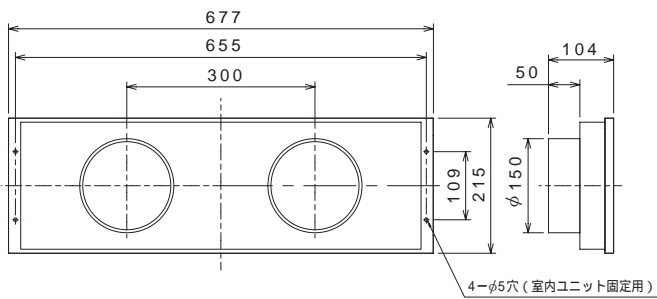
(4) 別売部品 外形図

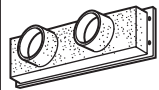

下吸込パネル MAC-530UP



MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	
	1
③ ①の固定用ネジ	
	4
M5 × 0.8 × 30	

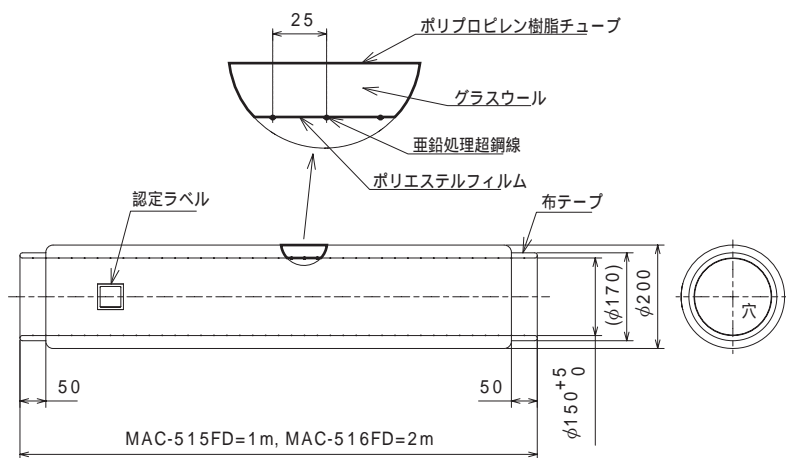
ダクト吹出チャンパー MAC-514FC



MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンパー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	
	4
タッピングネジ 4 × 16	

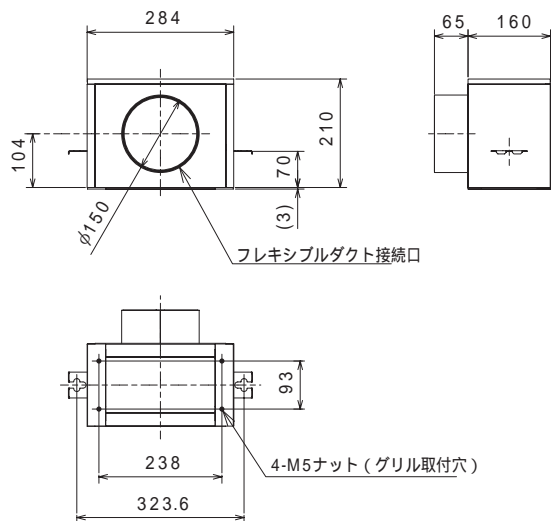


フレキシブルダクト MAC-515FD(φ150,1m)、MAC-516FD(φ150,2m)



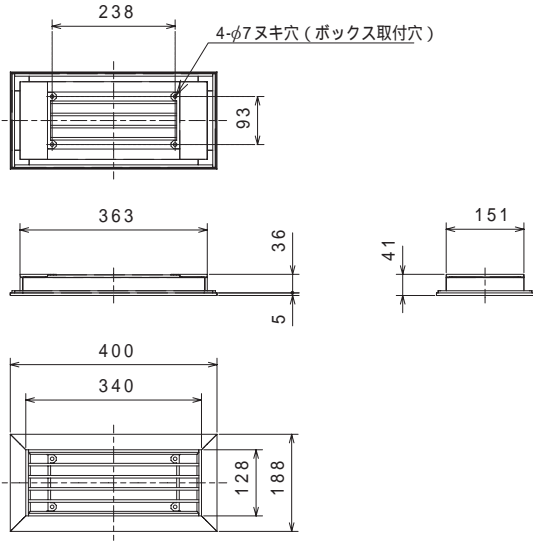
MAC-515FD MAC-516FD 構成部品			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量	—	—
	2	—	—

ダクト小吹出ボックス MAC-520FB



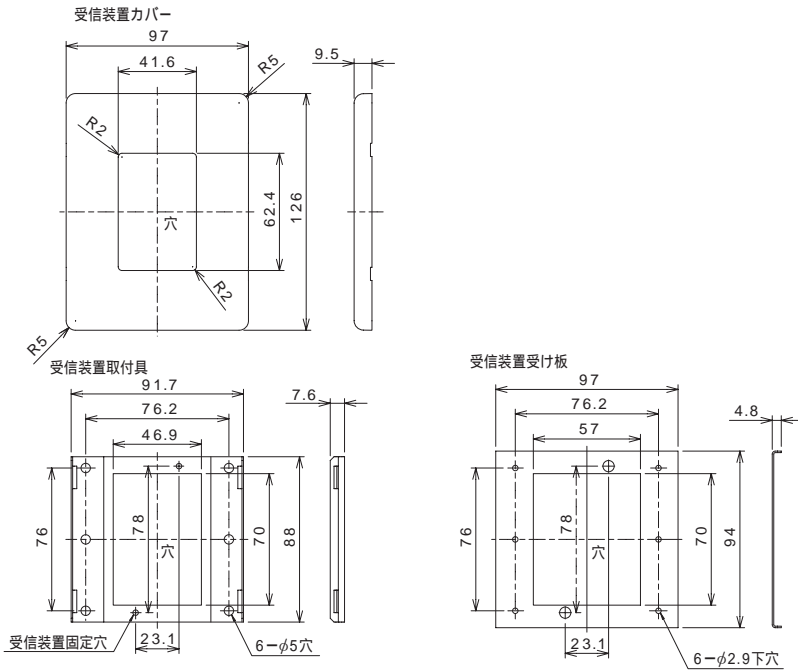
MAC-520FB構成部品	
① ダクト小吹出ボックス	数量
	1

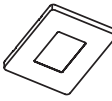

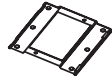

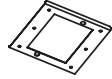
ダクト小吹出グリル MAC-521FG (ホワイト) MAC-522FG (ベージュ)



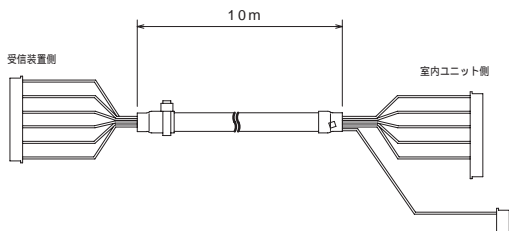
MAC-521FG MAC-522FG 構成部品	
① ダクト小吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 x 0.8 x 12	

レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT 構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4 x 20	
② 受信装置取付金具	数量	⑤ 受信装置の固定用ネジ	数量
	1		2
		タッピングネジ 4 x 10	
③ 受信装置受け板	数量	—	—
	1		

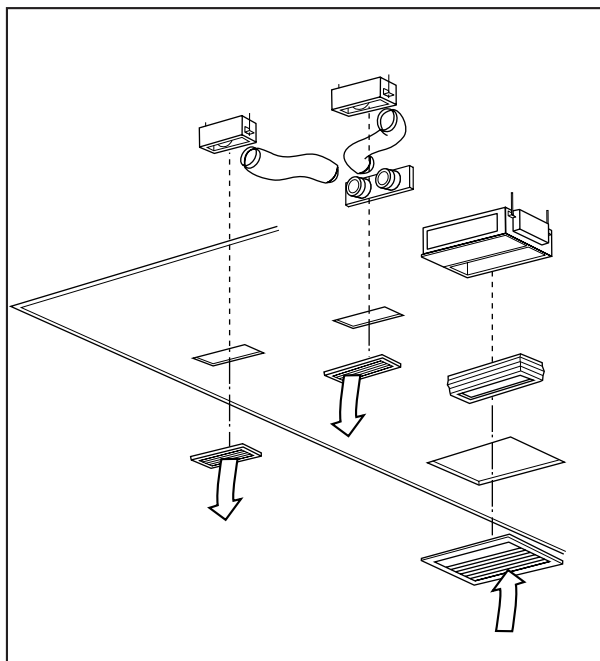
レシーバー延長コード MAC-524RC



MAC-524RC 構成部品	
①	数量
受信装置延長コード (10m)	1

天埋設置下吸込パネルタイプ<2方向吹出・キャンバスダクトあり>

(1) 設置イメージ図



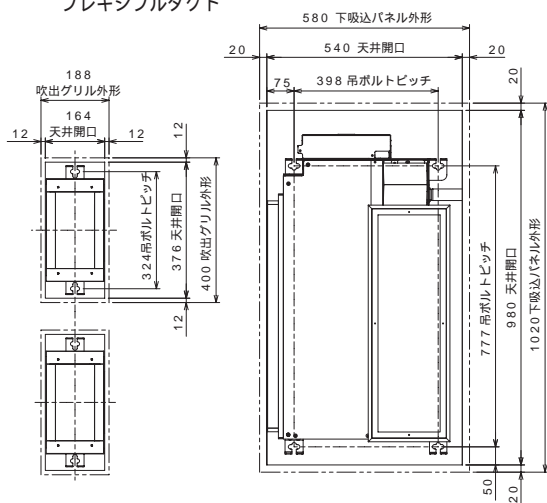
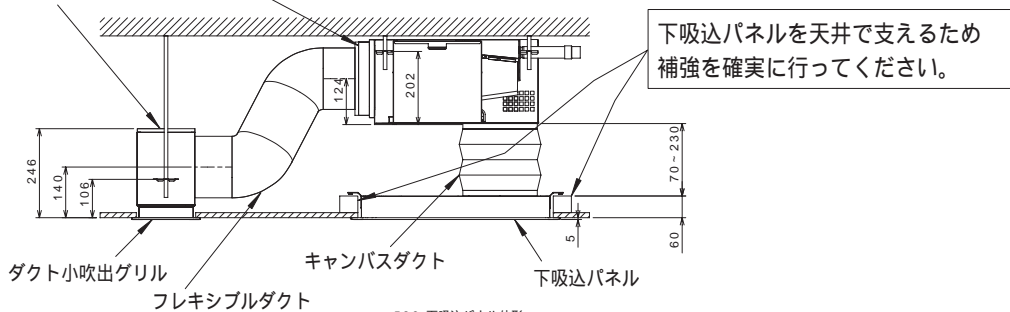
(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
下吸込パネル	MAC-530UP	
キャンバスダクト	MAC-508CD	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
ダクト吹出チャンパー	MAC-514FC	
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	
ダクト小吹出グリル (ホワイト)	MAC-521FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト小吹出グリル (ベージュ)	MAC-522FG	
レーザー取付具	MAC-523RT	
レーザー延長コード	MAC-524RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。延長コードの長さ：10m

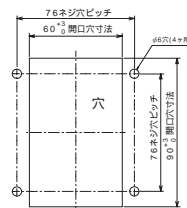
ドレンポンプは室内ユニットに内蔵しています。  
ダクト小吹出ボックスとダクト小吹出グリルは2セット必要です。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法(据付要領につきましては、P107~P113を参照ください。)

ダクト小吹出ボックス ダクト吹出チャンパー



<受信装置の開口穴>  
天井または壁に設けます。



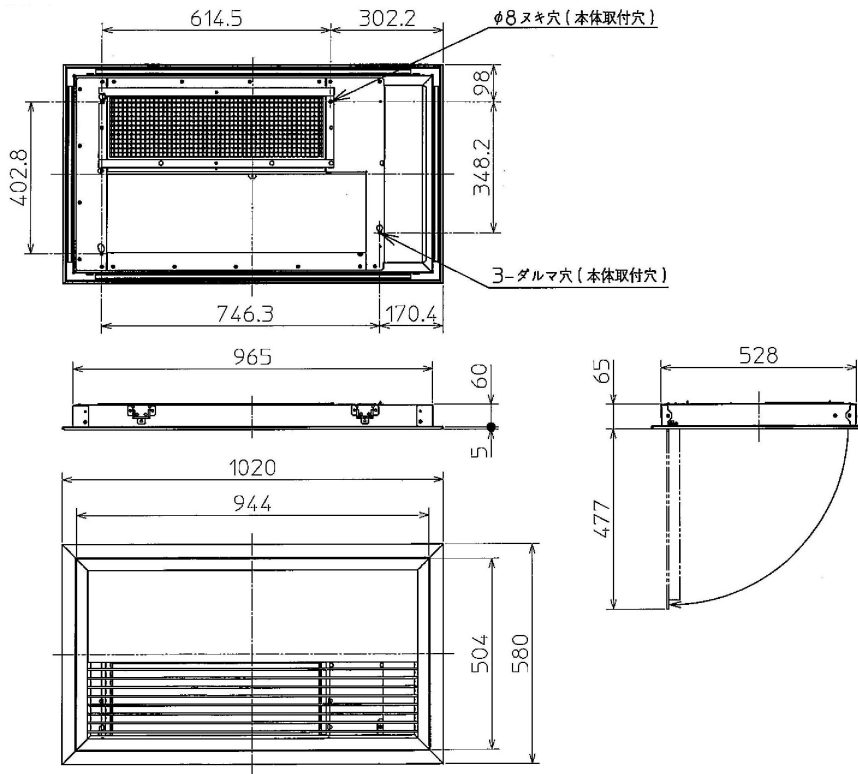
フレキシブルダクト仕様制限

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

ダクト長が3mを超える場合は、風量切替スイッチの切替を行ってください。

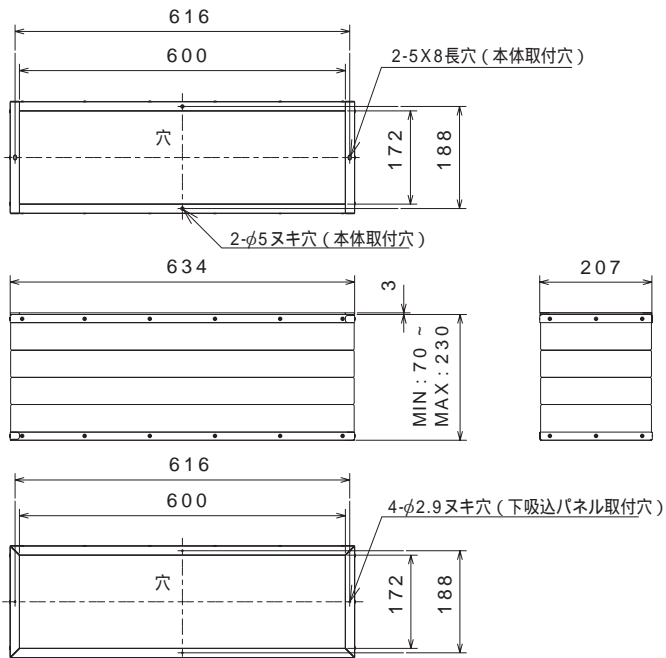
(4) 別売部品 外形図

下吸込パネル MAC-530UP



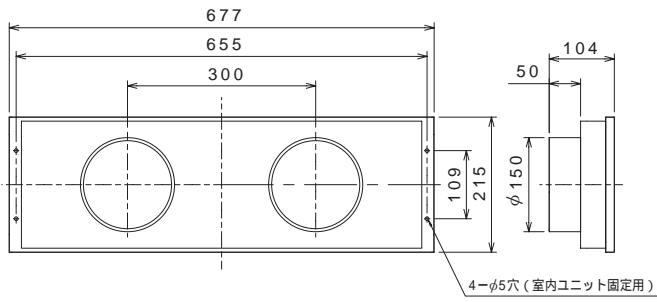
MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	数量
	1
③ ①の固定用ネジ	数量
	4
M5 × 0.8 × 30	

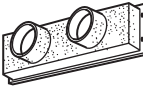

キャンバスダクト MAC-508CD



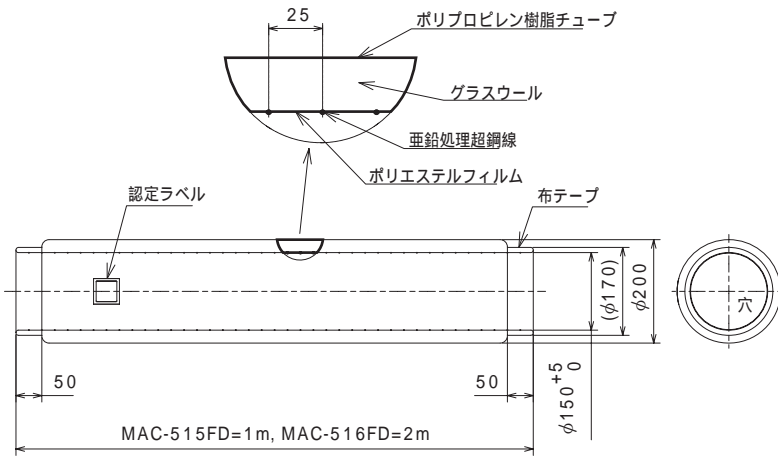
MAC-508CD構成部品			
① キャンバスダクト	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		8
		タッピングネジ 4 × 10	
② パネルホルダー	数量	⑤ ②の固定ネジ	数量
	4		8
		M5 × 0.8 × 10	
③ ちょうボルト	数量	—	—
	4		
		M5 × 0.8 × 50	


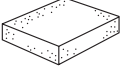
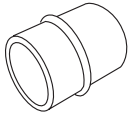
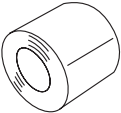

ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



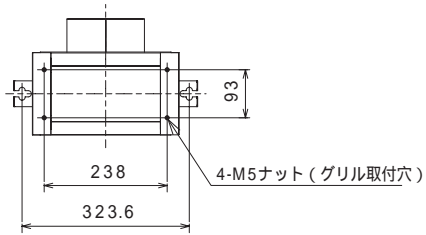
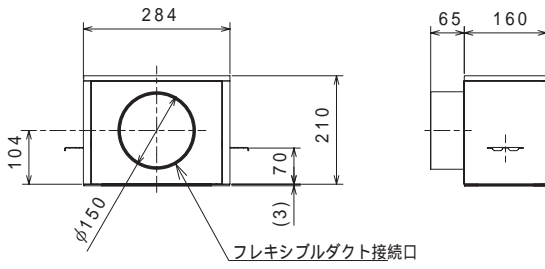
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
タッピングネジ 4 x 16	

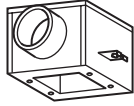
フレキシブルダクト MAC-515FD(φ150,1m)、MAC-516FD(φ150,2m)



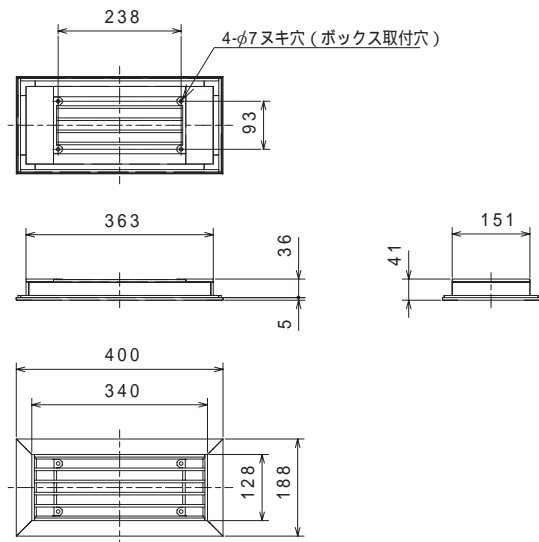
MAC-515FD MAC-516FD 構成部品			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量		数量
	2	—	—

ダクト小吹出ボックス MAC-520FB



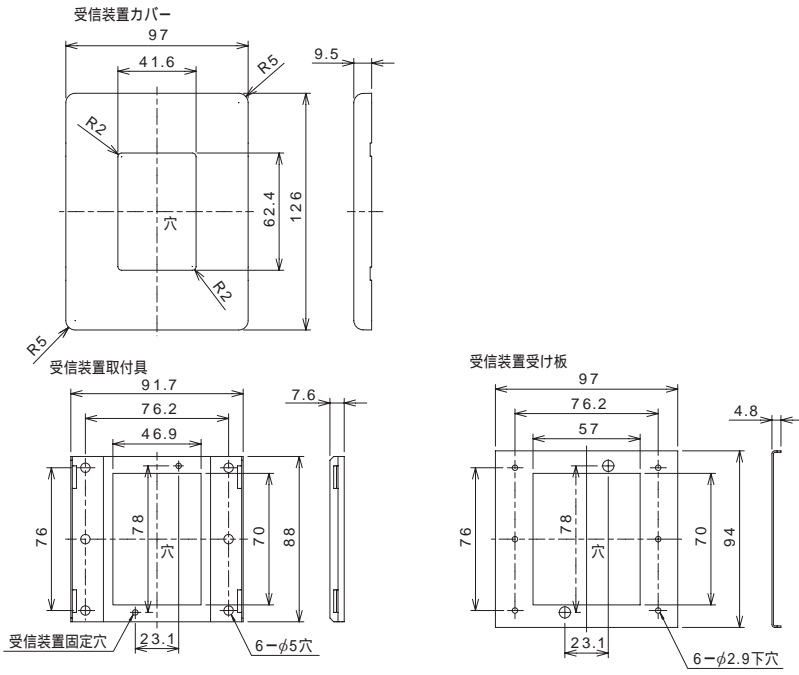
MAC-520FB構成部品	
① ダクト小吹出ボックス	数量
	1

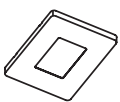

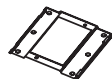

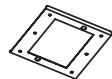
ダクト小吹出グリル MAC-521FG (ホワイト) MAC-522FG (ベージュ)



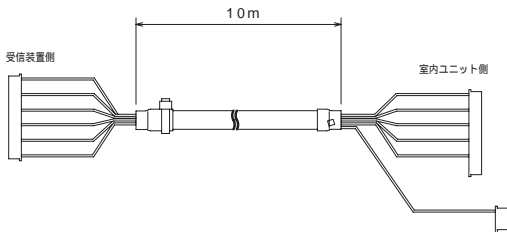
MAC-521FG MAC-522FG構成部品	
① ダクト小吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	
	4
M5 × 0.8 × 12	

### レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
② 受信装置取付金具	数量	⑤ 受信装置の固定用ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×10	2
③ 受信装置受け板	数量	—	—
	1	—	—

### レシーバー延長コード MAC-524RC



MAC-524RC構成部品	
①	数量
受信装置延長コード (10m)	1

## 据付要領(天埋設置下吸込パネルタイプ)

< 1方向吹出・キャンバスダクトなし/1方向吹出・キャンバスダクトあり >

< 2方向吹出・キャンバスダクトなし/2方向吹出・キャンバスダクトあり >

### 1.室内ユニット点検口と開口穴の設定

室内ユニット点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

本据付パターンにおいては、吹出グリル/吸込グリルに受信装置を取付ける箇所がありません。

別売部品 レシーバー取付具MAC-523RTを使用して取付けます。またこの時に天井または壁に開口部が必要です。

詳細はP137の据付説明書を参照してください。

### 2.室内ユニットの先行準備

#### (1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

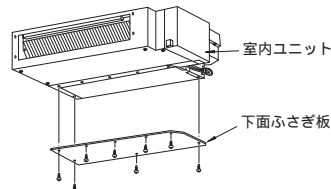
室内ユニットの各接続部位置は、前頁の位置にあります。

設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。

ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管VP20が室内ユニットのドレン口と接続できます。

内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内ユニット近傍で余裕をもたせておいてください。

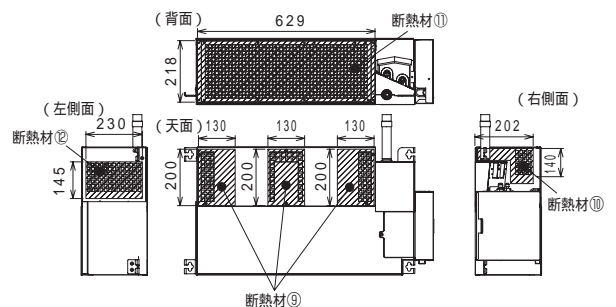
#### (2) 室内ユニットの下面ふさぎ板の取外



#### (3) 室内ユニットへの断熱材の貼付

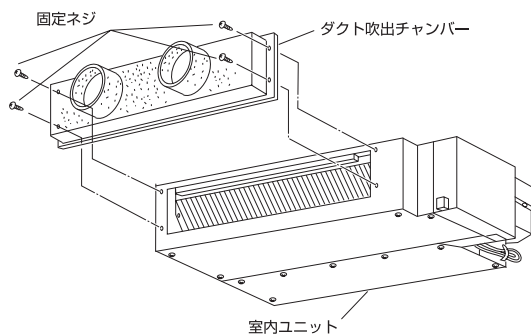
室内ユニットの天面(3カ所)、左右側面(各1カ所)、背面(1カ所)の吸込口を付属の断熱材⑨、⑩、⑪、⑫にてふさいでください。

(右図参照)



#### (4) 別売部品 吹出チャンバー(MAC-514FC)の取付

ダクト吹出チャンバーを室内ユニット吹出口に取付けます。(固定ネジ4本)



#### (5) 別売部品 レシーバー延長コードへの交換(MAC-524RC)

室内ユニット付属の長さで不足する場合は行ってください。

延長コードの長さ：10m

P138の据付説明書にしたがって実施してください。



(6) 風量切換スイッチの切換：ダクト長が3mを越える場合に行ってください。

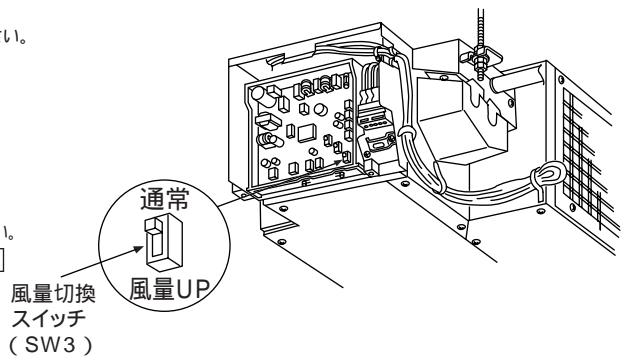
風量切換スイッチ( SW3 )の切換は、天井高さにより通常または風量UPに設置してください。

	通常	風量UP
天井高さ	2.4m以下	2.4mを超え2.7m以下
ダクト長( 吸込+吹出 )	3m以下	3mを超え7m以下( 吸込1m+吹出6m )

切換方法 設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。  
 室内ユニットの電気品カバーを外します。  
 右図の位置に風量切換スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ設定を行います。  
 設定が完了したら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。

静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

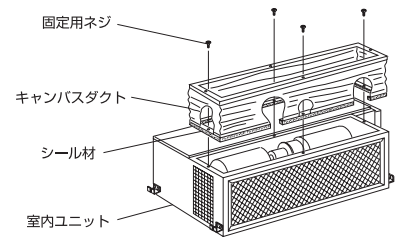
出荷時の設定は「通常」になっています。



(7) 別売部品キャンバスダクト(MAC-508CD)の取付

室内ユニットを吊り込む前に、キャンバスダクトを室内ユニットに固定用ネジで4カ所固定します。この時、キャンバスダクトのシール材側を室内ユニットに合わせてください。

また、キャンバスダクトと室内ユニットにすき間がないことを確認してください。(すき間があると、風もれ等の原因となります。)



3. 据付工事

P17の据付手順にしたがってください。

4. ダクト大吹出ボックス(MAC-517FB)/ダクト小吹出ボックス(MAC-520FB)の取付

(1) ダクト大吹出ボックス(MAC-517FB)

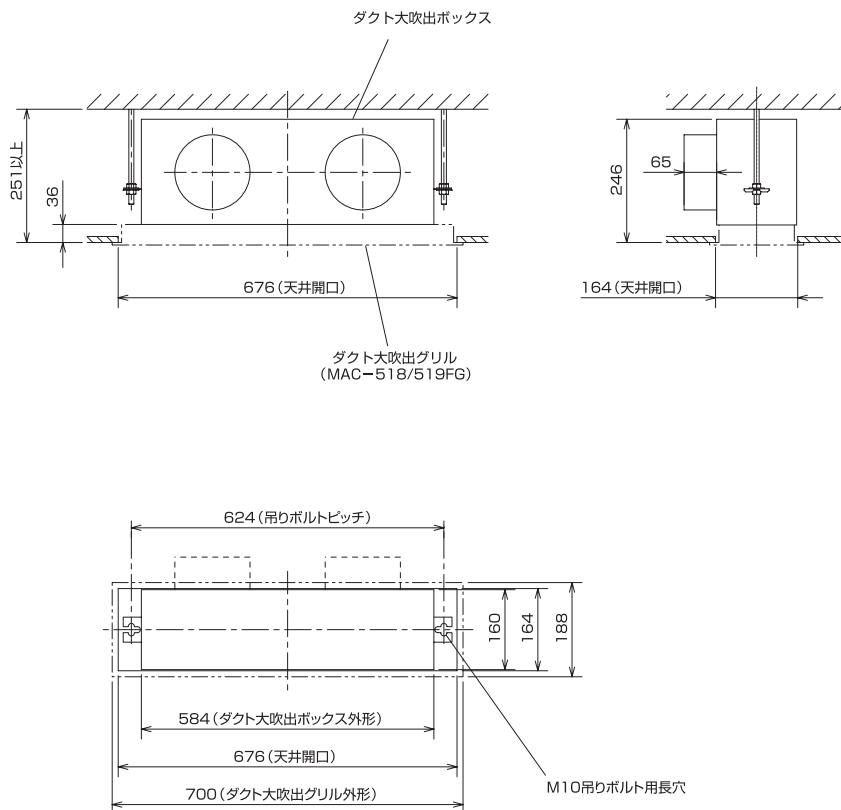
このダクト大吹出ボックスは、ダクト大吹出グリル(MAC-518/519FG)用です。

天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。

ダクト大吹出グリル(MAC-518/519FG)を取付けるため、天井面に164mm×676mmの開口が必要です。

天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

設置スペースと必要寸法



(2) ダクト小吹出ボックス(MAC-520FB)

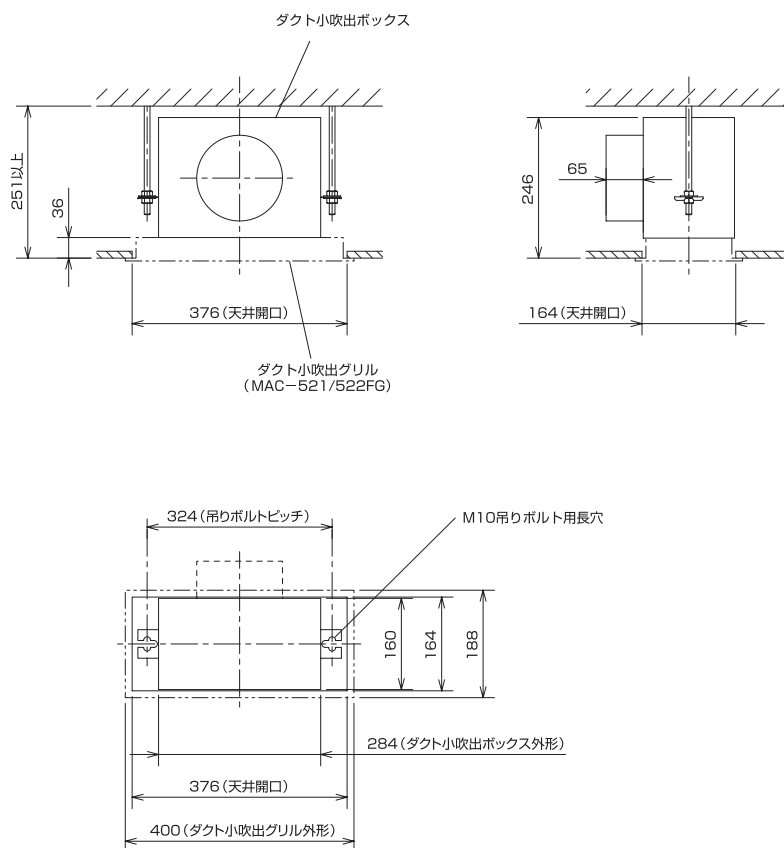
このダクト小吹出ボックスは、ダクト小吹出グリル(MAC-521/522FG)用です。

天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。

ダクト小吹出グリル(MAC-521/522FG)を取付けるため、天井面に164mm×376mmの開口が必要です。

天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

設置スペースと必要寸法

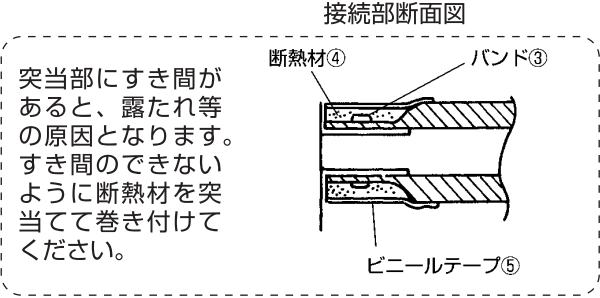
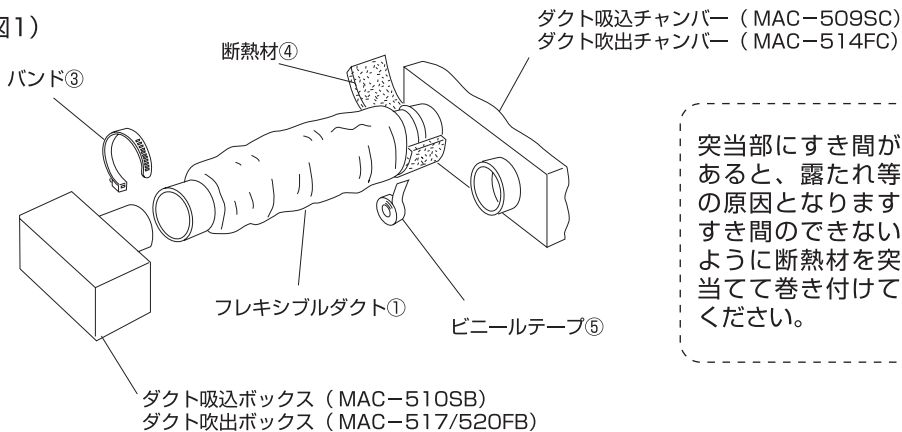


5.フレキシブルダクト(MAC-515FD/516FD)の取付

**フレキシブルダクトとダクト吸込・吹出チャンバーおよびダクト吸込・吹出ボックスとの接続**

- 1.フレキシブルダクト①を室内ユニット側に取付けられたダクト吸込・吹出チャンバー (MAC-509SC/514FC) および反対側に取付けられたダクト吸込・吹出ボックス (MAC-510SB・517FB/520FB) のフランジにそれぞれはめ込んで、バンド③で締付けます。(図1、2参照)
- 2.断熱材④で、バンド③を覆うように巻き付けます。  
この時、断熱材④は長手方向で半分に切断して、ダクト吸込・吹出チャンバー側とダクト吸込・吹出ボックス側の両端にそれぞれご使用ください。(図3参照)
- 3.断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤ですき間なく巻き付けます。

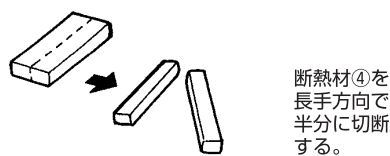
(図1)



(図2)



(図3)

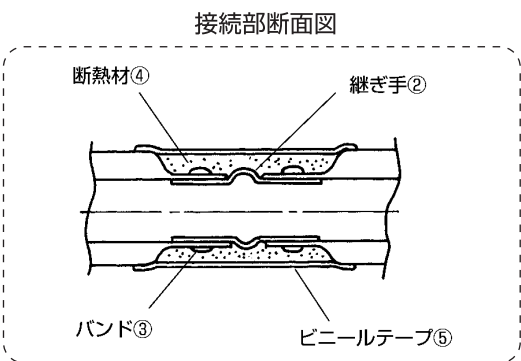
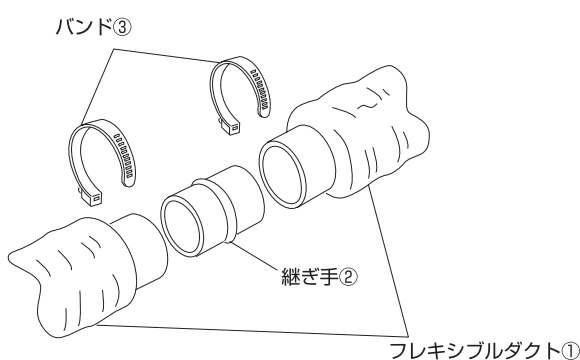


**ご注意** 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

**フレキシブルダクトどうしの接続**

- 1.継ぎ手②にフレキシブルダクト①をはめ込み、バンド③で締付けます。(図4参照)
- 2.断熱材④でバンド③を覆うように巻き付けます。(断熱材④は切断しないでご使用ください。)
- 3.断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤ですき間なく巻き付けます。

(図4)



**ご注意** 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

## 6. 受信装置の取付

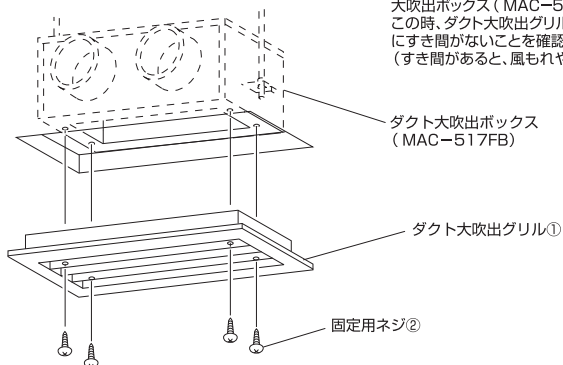
下吸込パネル/吹出グリルに受信装置を取付ける箇所がありません。

レシーバー取付具(MAC-523RT)に取付けます。P137の据付説明書にしたがって実施してください。

## 7. ダクト大吹出グリル(MAC-518FG/519FG)/ダクト小吹出グリル(MAC-521FG/522FG)の取付

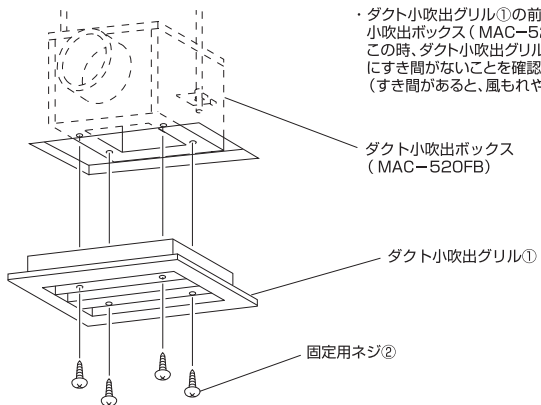
### (1) ダクト大吹出グリル(MAC-518FG/519FG)

- ・ダクト大吹出グリル①の前後左右4ヶ所を、固定用ネジ②でダクト大吹出ボックス (MAC-517FB) に固定します。  
この時、ダクト大吹出グリル①と天井面およびダクト大吹出ボックスにすき間がないことを確認してください。  
(すき間があると、風もれや露たれ等の原因となります。)



### (2) ダクト小吹出グリル(MAC-521FG/522FG)

- ・ダクト小吹出グリル①の前後左右4ヶ所を、固定用ネジ②でダクト小吹出ボックス (MAC-520FB) に固定します。  
この時、ダクト小吹出グリル①と天井面およびダクト小吹出ボックスにすき間がないことを確認してください。  
(すき間があると、風もれや露たれ等の原因となります。)



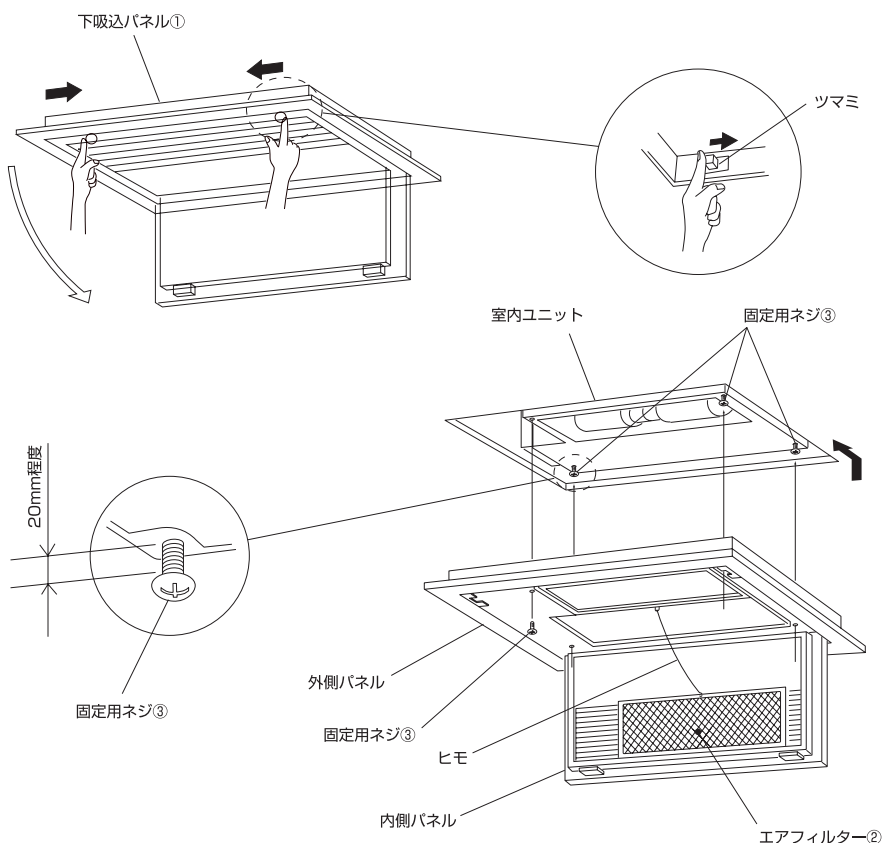
## 8. 下吸込パネルの取付

### (1) 下吸込パネルの取付(キャンバスダクトを使用しない場合)

1. 下図のように室内ユニット下面の3カ所に、固定用ネジ③を20mm程度すき間をあけて取付けます。
2. 下吸込パネル①の風路内にある左右のツマミを、下図のようにスライドさせて内側パネルを開き、外側パネルのダルマ穴に先程取付けた固定用ネジ③を通してスライドさせます。  
これで下吸込パネルが、室内ユニットに仮止めされます。

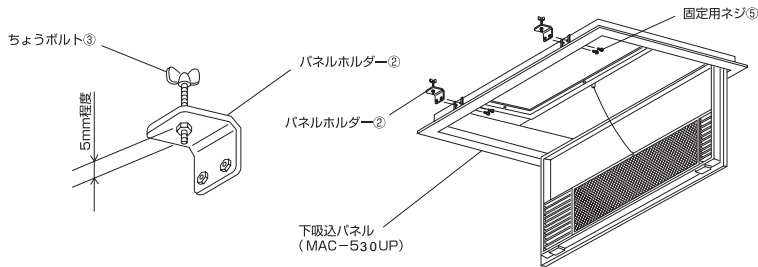
**ご注意** 左右のツマミをスライドさせると、内側パネルがいきおいよく開いてケガをする恐れがありますので両手で支えながらゆっくり開いてください。

3. 次に残りの1カ所を、残りの固定用ネジ③で室内ユニットに少しゆるく取付けます。
4. 最後に下吸込パネル①を天井の目地と合うように調整しながら、4カ所の固定用ネジ③を締め込んでください。  
この時、下吸込パネル①と天井面および室内ユニットにすき間がないことを確認してください。  
(すき間があると、風もれ等の原因となります。)
5. エアフィルター②が、内側パネルのフィルターレールにしっかりと装着されているか確認してください。  
もし、エアフィルター②が、フィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。
6. 下吸込パネル①に取付けられているヒモは、内側パネル開閉作業の安全のため取外さないでください。
7. 内側パネルを、開いた時と逆の要領で閉じてください。

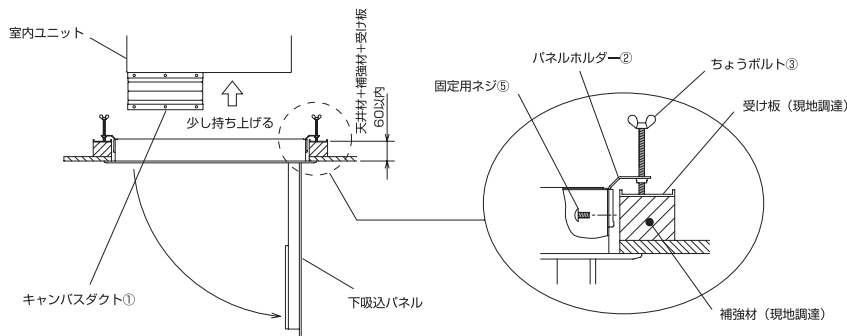


(2) 下吸込パネルの取付(キャンバスダクトを使用する場合)

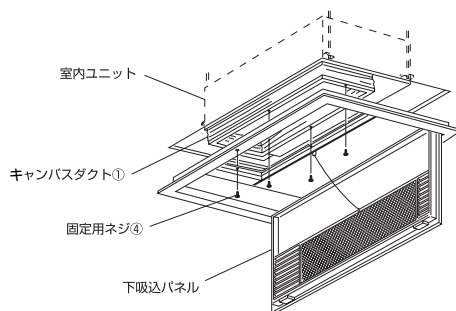
- 1.各パネルホルダー②にちょうボルト③を、下から5mm程度出るまでねじ込みます。
- 2.下吸込パネル(MAC-530UP)のホルダー固定部に、ちょうボルト③をセットしたパネルホルダー②を2カ所(下図参照)挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。



- 3.下吸込パネルを天井にはめ込み、反対側のホルダー固定部にも上記2.と同様に、残りのパネルホルダー②を2カ所挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。
- 4.ちょうボルト③と天井との間に受け板(現地調達)および補強材(現地調達)を挟み込み、下吸込パネルを固定します。この時、キャンバスダクト①が邪魔になる時は、下図のように少し持ち上げて作業してください。



- 5.最後に、キャンバスダクト①を下吸込パネルに固定用ネジ④で4カ所固定します。この時、下吸込パネルと天井面およびキャンバスダクト①にすき間がないことを確認してください。(すき間があると、風もれ等の原因となります。)



## 別売部品据付要領

SG79J984H01

# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売吹出チャンバー  
形名 MAC-500FC

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

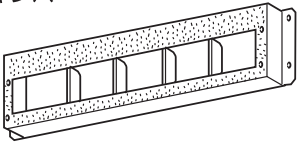

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

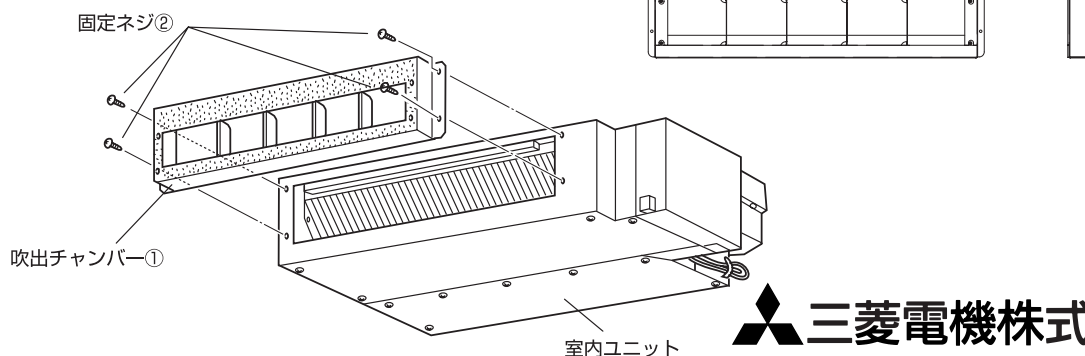
### 使用部品

	①	②
部品	吹出チャンバー 	①の固定用ネジ  六角頭タッピングネジ4×12
個数	1	4

### 吹出チャンバーの取付

- 吹出チャンバー①を室内ユニット吹出口に取付けます。(ネジ②4本)

吹出チャンバーには方向性があります。  
 <天袋設置の場合>  
 風向が下(フランジが上)になるように取付けてください。  
 <地袋設置の場合>  
 風向が上(フランジが下)になるように取付けてください。



 三菱電機株式会社

# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売吹出グリル (白木・ホワイト)  
形名 MAC-501FG・502FG

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

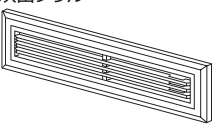

■お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。

■据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。

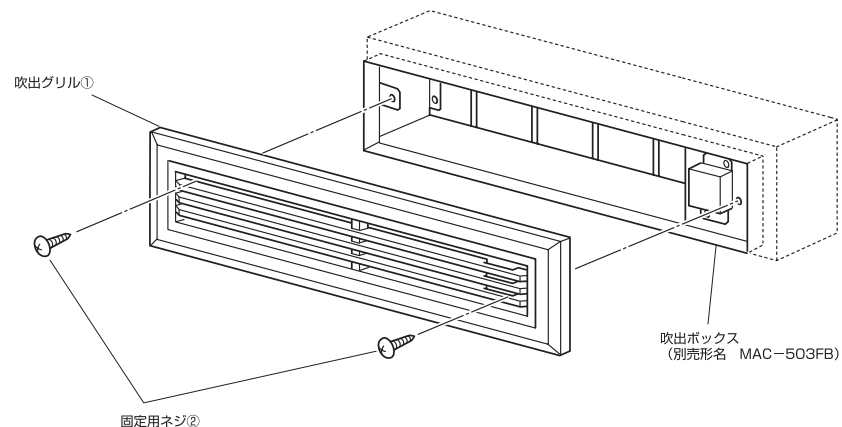
■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

	①	②
部品	吹出グリル 	①の固定用ネジ 
個数	1	2

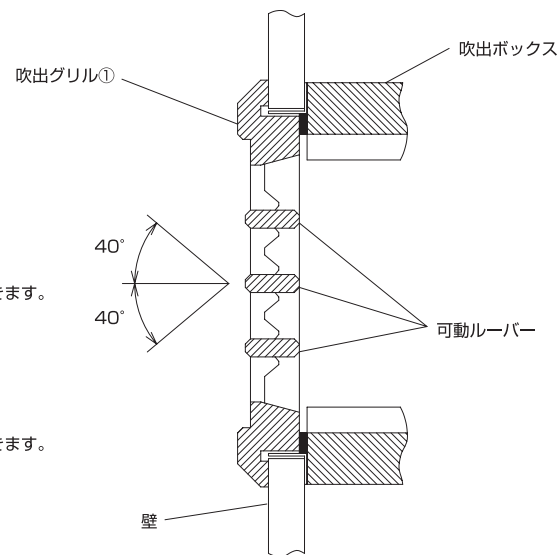
### 吹出グリルの取付

- ・吹出グリル①の左右2ヶ所を、固定用ネジ②で吹出ボックス (別売形名 MAC-503FB) に固定します。



### 天袋・地袋設置について

- ・吹出グリルの可動ルーバーは3枚別々に手で動かすことができます。



#### 地袋設置の場合

水平から上方向に40°まで動きます。

#### 天袋設置の場合

水平から下方向に40°まで動きます。



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売吹出ボックス  
形名 MAC-503FB

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

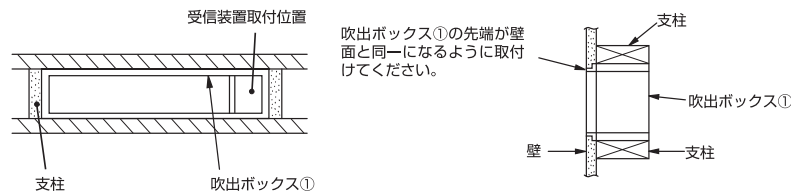
- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

部品	① 吹出ボックス	② 断熱材(大・小)	③ ①の固定用ネジ	④ 受信装置取付用ネジ
個数	1	大・小各2	タッピングネジ 4×12 4	タッピングネジ 4×10(黒) 2

### 1 吹出ボックスの取付

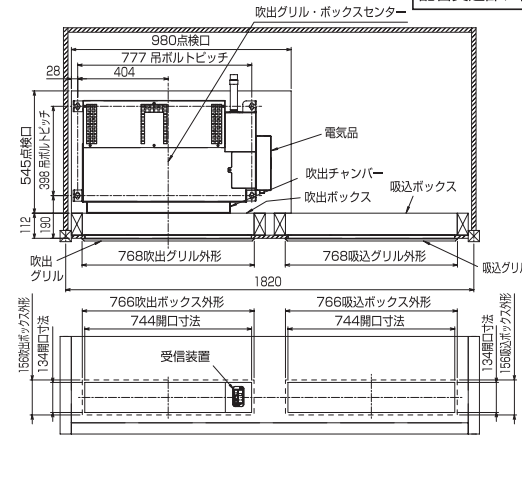
- ・この吹出ボックスは、吹出グリル (MAC-501/502FG) 用です。
- ・吸出ボックス①には方向性がありますので取付けの際、ご注意ください。(受信装置取付位置が部屋内から見て右側になるように取付けてください。)
- ・吹出ボックス①は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



・下図の据付設置スペースの必要寸法を参考に支柱(現地調達)を取付けてください。

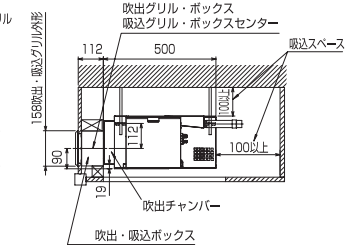
### 一間幅天袋設置(吊り)の場合

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



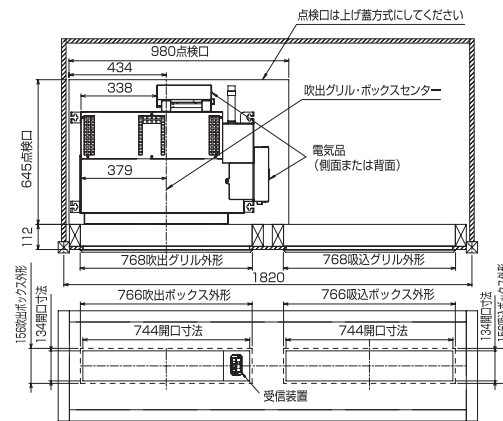
#### 支柱：現地調達

- 据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



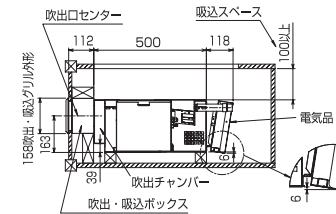
### 一間幅地袋設置の場合

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

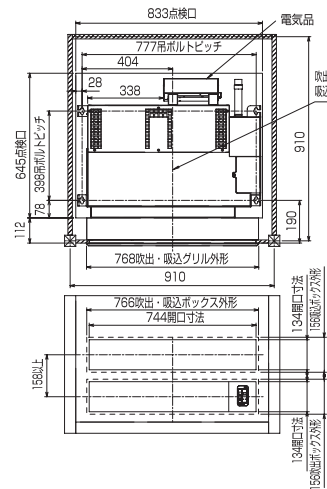


#### 支柱：現地調達

- 据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



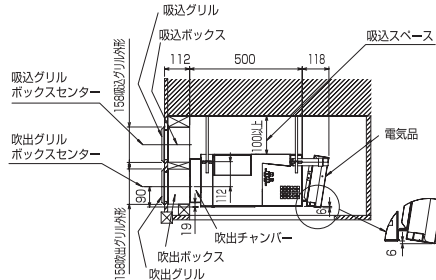
### 半間幅天袋設置 (グリル縦置き) の場合



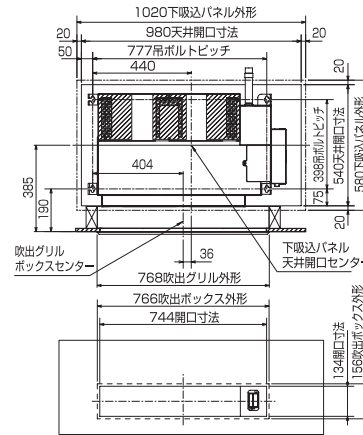
室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

#### 支柱：現地調達

- 据付枠は支柱（現地調達）等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等（現地調達）を間にしてください。



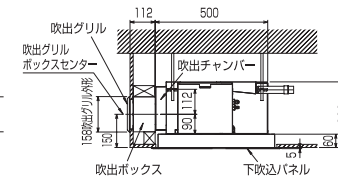
### 下り天井設置 (キャンバスダクトなし) の場合



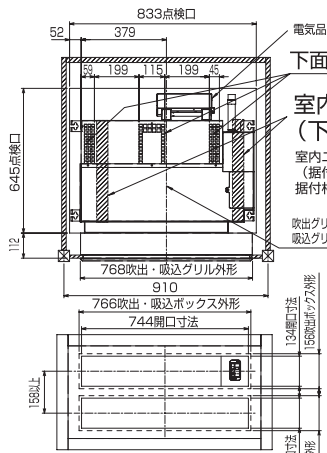
室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

#### 支柱：現地調達

- 据付枠は支柱（現地調達）等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。
- 下吸込パネル取付け用の天井開口が点検口になります。



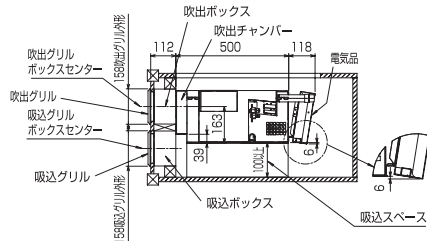
### 半間幅地袋設置 (グリル縦置き) の場合



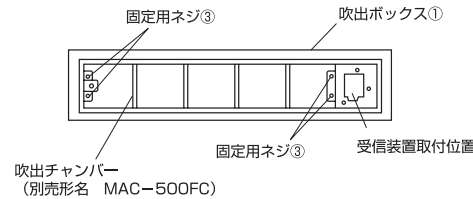
下面吸込口 (3カ所)

室内ユニット支柱 (下面)

室内ユニットの支柱は下面の吸込口をふさがないように図の向き（据付枠に対して垂直）に設置してください。  
据付枠に平行に設置すると、壁面吸込口をふさいでしまいます。



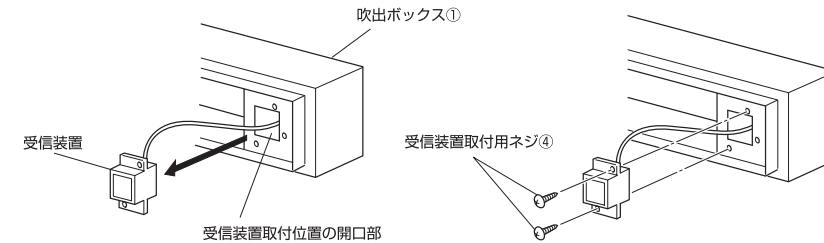
### ② 室内ユニットへの固定



- ・ 吹出ボックス①の左右各2ヶ所を、吹出チャンバー（別売形名 MAC-500FC）に固定用ネジ③で固定します。
- ・ 次に吹出ボックス①の内側の左右面に断熱材（小）②を、内側上下面に断熱材（大）②をそれぞれ貼付けます。

### ③ 受信装置の取付

- ・ 吹出ボックス①の右端に取付けます。
- ・ 受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2ヶ所を、受信装置取付用ネジ④で固定します。



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売吸込グリル (白木・ホワイト)  
形名 MAC-504SG・505SG

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**△警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)


■お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。

■据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。

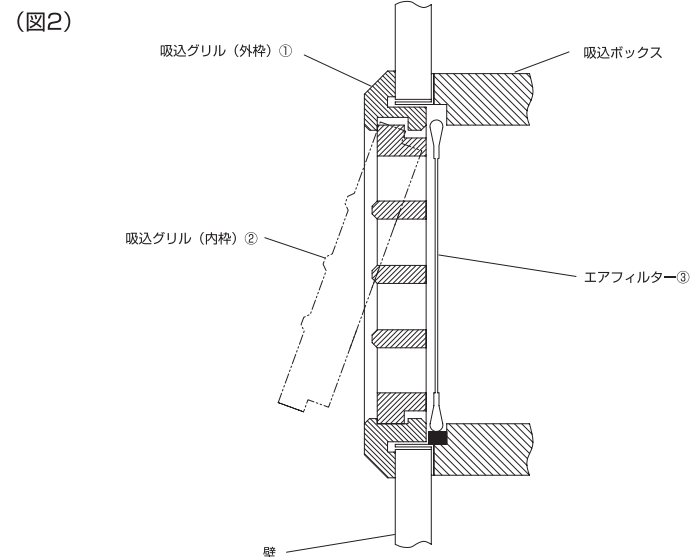
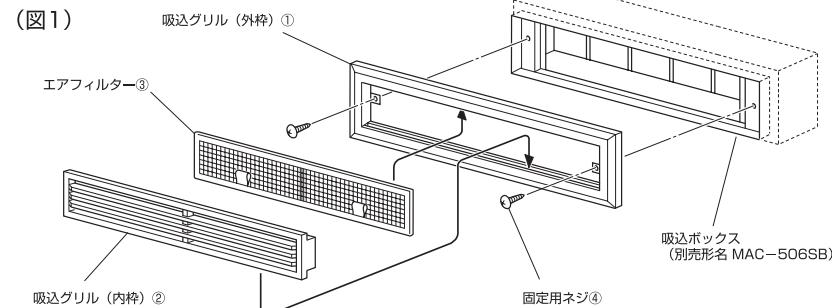
■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

	①	②	③	④
部品	吸込グリル(外枠)	吸込グリル(内枠)	エアフィルター	①の固定用ネジ 
個数	1	1	1	2 タッピングネジ 4×10(黒)

### 吸込グリルとエアフィルターの取付

- 1.吸込グリル(外枠)①の左右2ヶ所を、固定用ネジ④で吸込ボックス(別売形名 MAC-506SB)に固定します。(図1参照)
- 2.吸込グリル(外枠)①と吸込ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。(図2参照)
- 3.吸込グリル(外枠)①の上下の溝に、吸込グリル(内枠)②を上側から挿入します。(図2参照)



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売吸込ボックス  
 形名 MAC-506SB

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよく読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

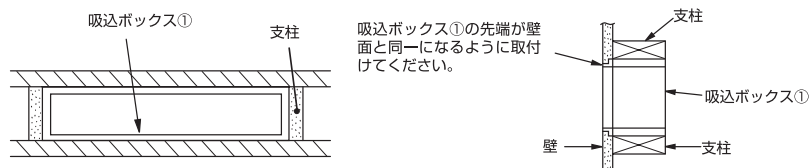
- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

部品	① 吸込ボックス
個数	1

#### ① 吸込ボックスの取付

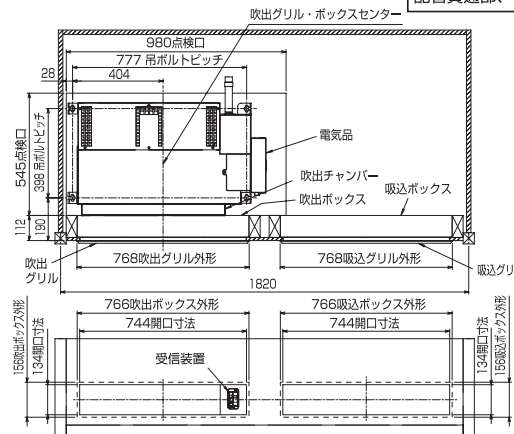
- ・この吸込ボックスは、吸込グリル (MAC-504/505SG) 用です。
- ・吸込ボックス①には方向性がありますので取付けの際、ご注意ください。  
(「天」の文字が表示されている方を天面側になるように取付けてください。)
- ・吸込ボックス①は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



・下図の据付設置スペースの必要寸法を参考に支柱 (現地調達) を取付けてください。

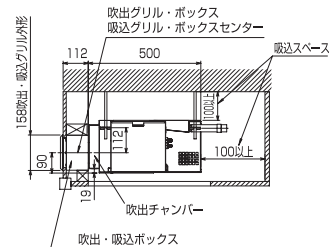
#### 一間幅天袋設置 (吊り) の場合

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



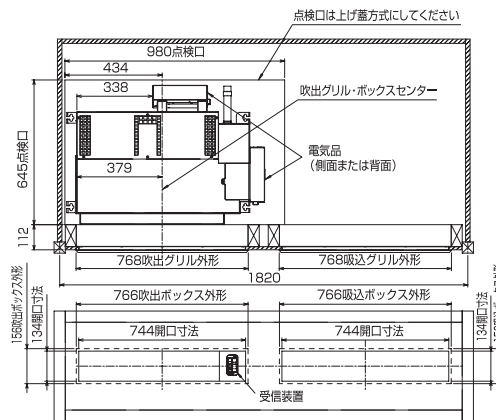
#### 支柱：現地調達

- 据付枠は支柱 (現地調達) 等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等 (現地調達) を間にいれてください。



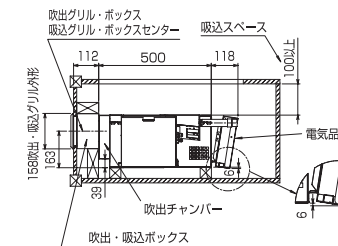
#### 一間幅地袋設置の場合

室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



#### 支柱：現地調達

- 据付枠は支柱 (現地調達) 等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等 (現地調達) を間にいれてください。







# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売一面グリル (白木・ホワイト)  
 形名 MAC-525TG・526TG

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること


- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。

- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

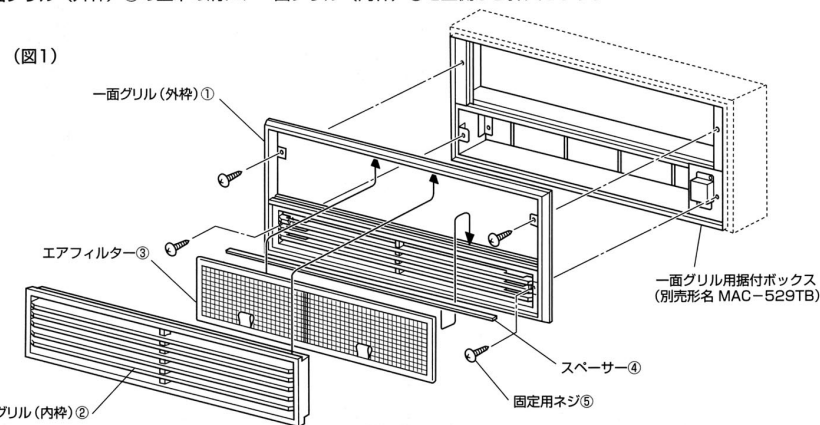
### 使用部品

	①	②	③
部品	一面グリル (外枠)	一面グリル (内枠)	エアフィルター
個数	1	1	1
	④	⑤	
部品	スペーサー (両面テープ付)	①の固定用ネジ 	
個数	1	タッピングネジ 4×10 (黒) 4	

### 一面グリルとエアフィルターの取付

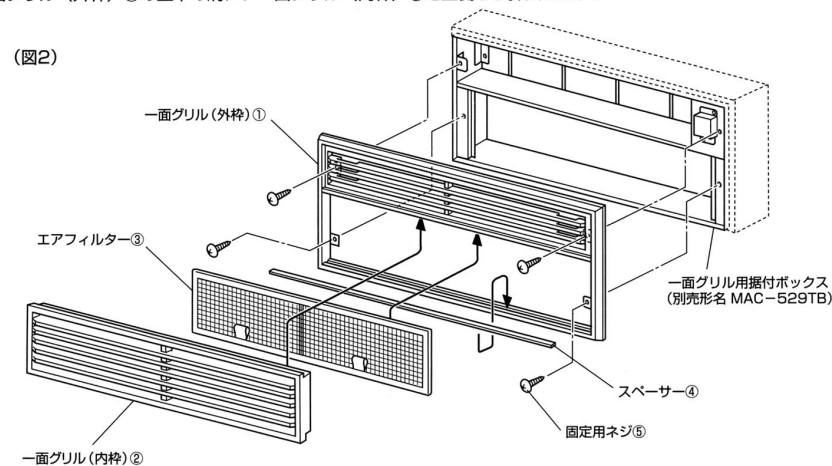
#### 天袋設置の場合 (図1参照)

1. 一面グリル (外枠) ①の上下左右4ヶ所を、固定用ネジ⑤で一面グリル用据付ボックス (別売形名 MAC-529TB) に固定します。
2. 一面グリル (外枠) ①の下側の溝に、スペーサー④を両面テープで貼り付けます。
3. 一面グリル (外枠) ①と一面グリル用据付ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。
4. 一面グリル (外枠) ①の上下の溝に、一面グリル (内枠) ②を上側から挿入します。



#### 地袋設置の場合 (図2参照)

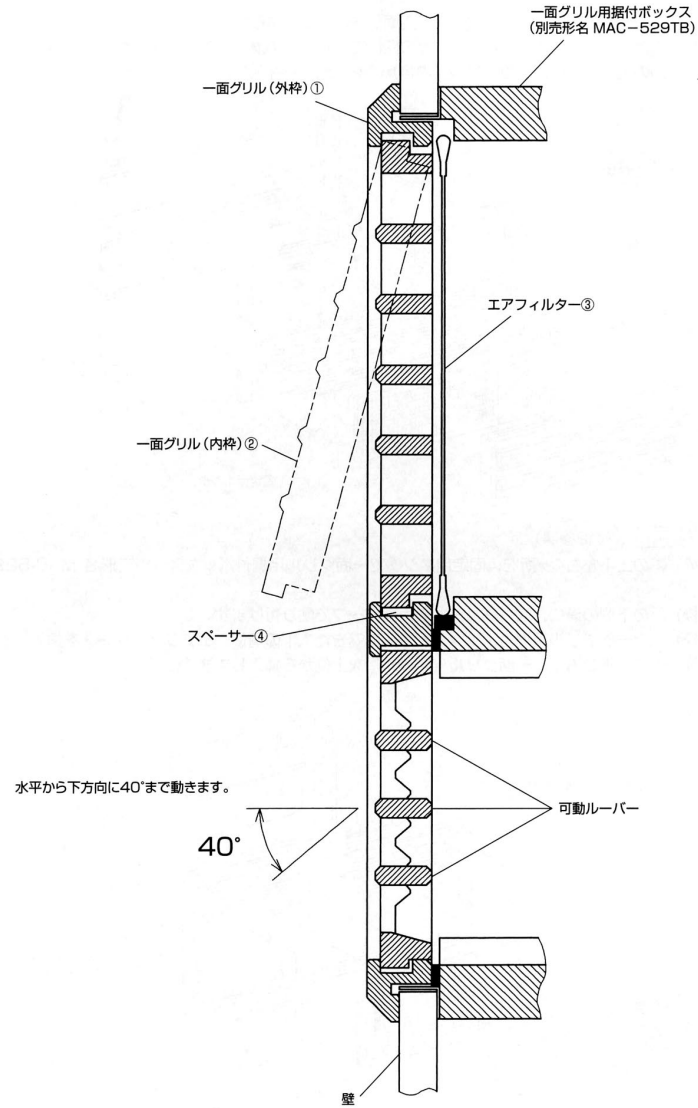
1. 一面グリル (外枠) ①の上下左右4ヶ所を、固定用ネジ⑤で一面グリル用据付ボックス (別売形名 MAC-529TB) に固定します。
2. 一面グリル (外枠) ①の下側の溝に、スペーサー④を両面テープで貼り付けます。
3. 一面グリル (外枠) ①と一面グリル用据付ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。
4. 一面グリル (外枠) ①の上下の溝に、一面グリル (内枠) ②を上側から挿入します。



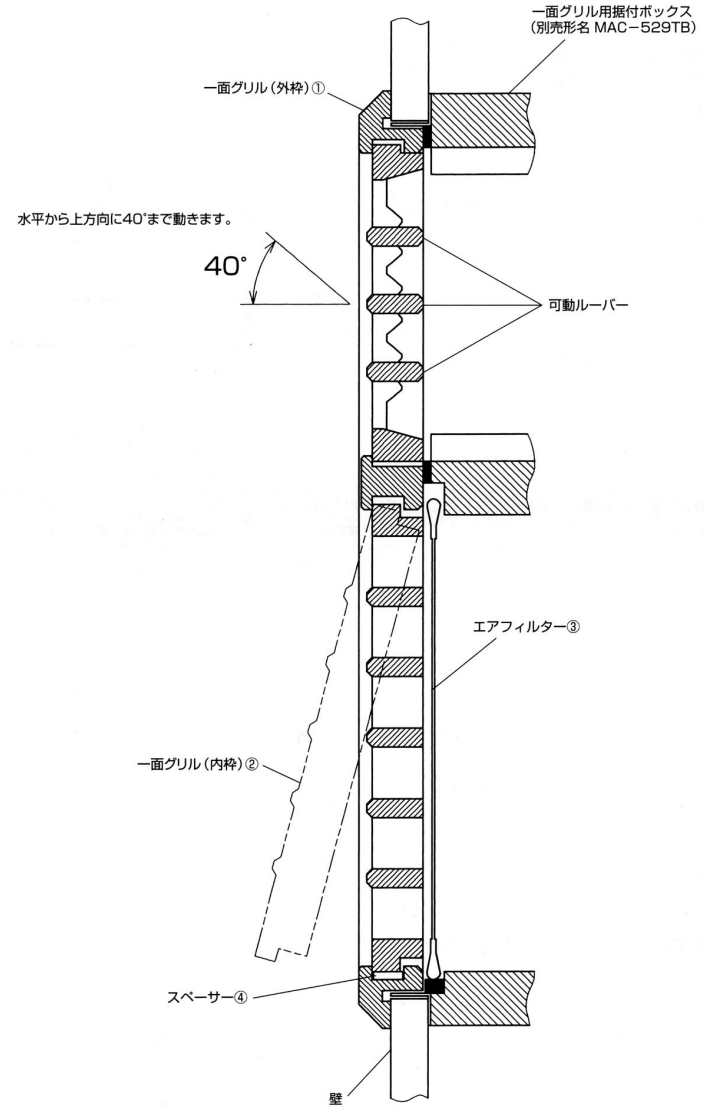
天袋・地袋設置について

・吹出グリルの可動ルーバーは3枚別々に手で動かすことができます。

天袋設置の場合



地袋設置の場合



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売一面グリル用据付ボックス  
 形名 MAC-529TB

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性のあるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

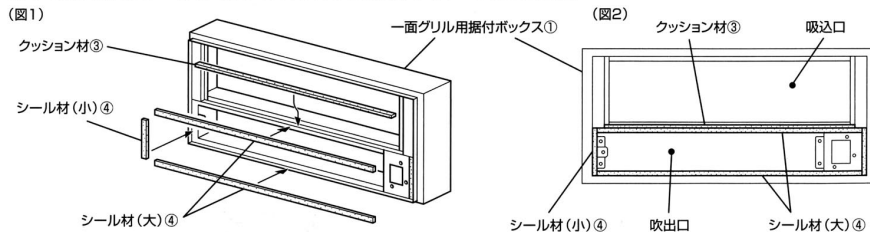
	①	②	③	④	⑤	⑥
部品	一面グリル用据付ボックス	断熱材(大・小) (灰色)	クッション材 (灰色)	シール材 (黒色)	①の固定用ネジ タッピングネジ 4×12	受信装置 取付用ネジ タッピングネジ 4×10(黒)
個数	1	大・小各2	1	大2・小1	4	2

### 1 取付前の準備

**ご注意** この一面グリル用据付ボックスは、開梱状態では『天袋設置』用に組付けられています。

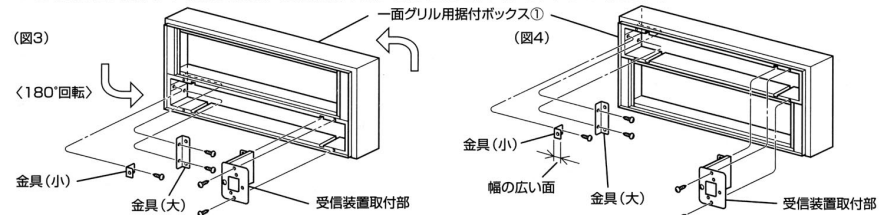
#### 天袋設置の場合

一面グリル用据付ボックス①の吸込口下の段差部にクッション材③を、吹出口周囲の長手方向にシール材(大)④と同じく短手方向にシール材(小)④をそれぞれ貼付けます。(図1, 2参照)

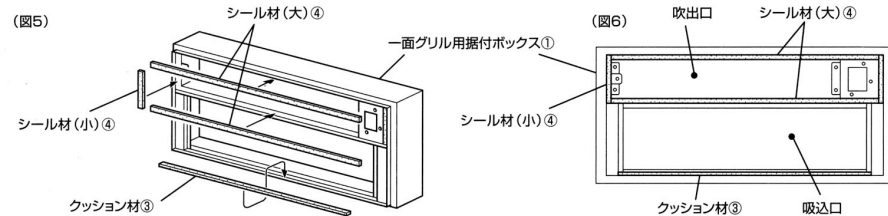


#### 地袋設置の場合

1. 受信装置取付部と反対側の金具(大)および金具(小)を外し、一面グリル用据付ボックス①を180°回転させます。(図3参照)
2. 受信装置取付部と反対側の金具(大)および金具(小)を外した時と逆の要領で取付けます。(図4参照)  
※この時、金具(小)の取付け方向に注意(幅の広い面が正面を向くように)してください。



3. 一面グリル用据付ボックス①の吸込口下の段差部にクッション材③を、吹出口周囲の長手方向にシール材(大)④と同じく短手方向にシール材(小)④をそれぞれ貼付けます。(図5, 6参照)

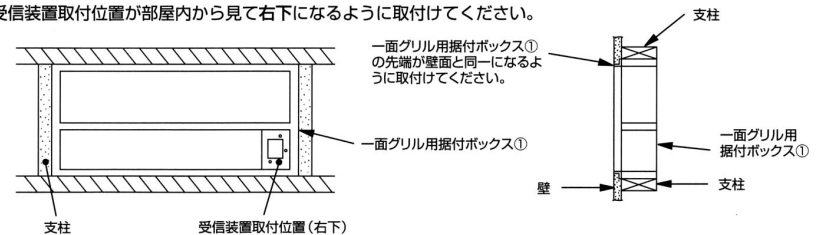


### 2 一面グリル用据付ボックスの取付

- ・この一面グリル用据付ボックスは、一面グリル(MAC-525/526TG)用です。
- ・一面グリル用据付ボックス①には方向性がありますので取付けの際、ご注意ください。
- ・一面グリル用据付ボックス①は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。

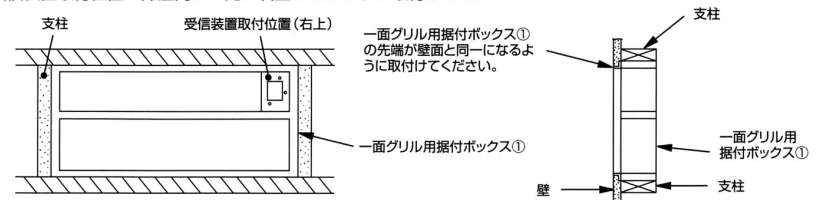
#### 天袋設置の場合

- ・受信装置取付位置が部屋内から見て右下になるように取付けてください。



#### 地袋設置の場合

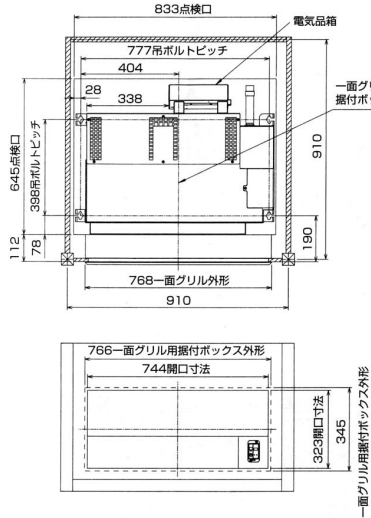
- ・受信装置取付位置が部屋内から見て右上になるように取付けてください。





- ・下図の据付設置スペースの必要寸法を参考に支柱（現地調達）を取付けてください。
- ・一間幅設置の場合の点検口寸法及び室内ユニットの先行準備については、室内ユニットの据付工事説明書（一間幅設置）を参照してください。

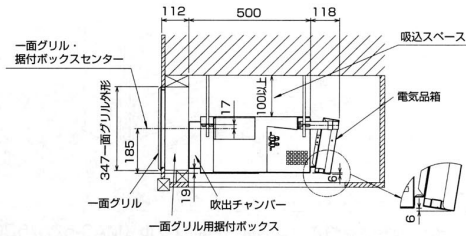
### 半間幅天袋設置の場合



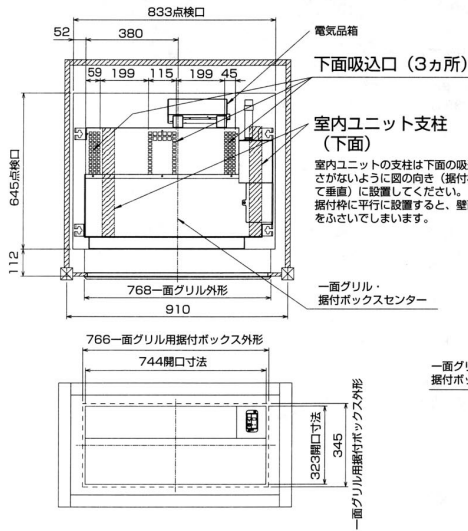
室内ユニット収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

#### 支柱：現地調達

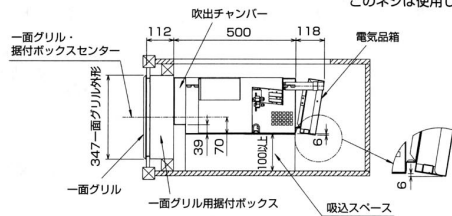
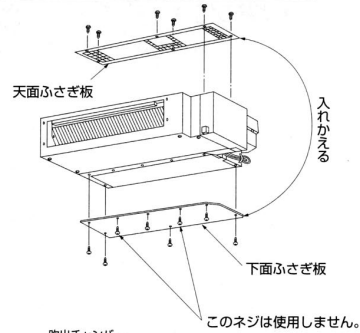
- 据付枠は支柱（現地調達）等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内ユニットの重量により据付枠が傾斜しないよう室内ユニット収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内ユニットの下面に支柱を設ける場合は、室内ユニットの振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等（現地調達）を間に入れてください。



### 半間幅地袋設置の場合



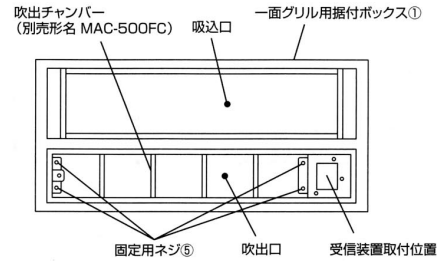
半間幅地袋設置の場合のみ室内ユニットの天板と底板を下図のように入れ替えてください。



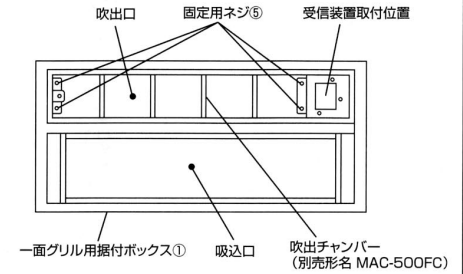
### 3 室内ユニットへの固定

1. 一面グリル用据付ボックス①の吹出口左右各2ヶ所を、吹出チャンバー（別売形名 MAC-500FC）に固定用ネジ⑤で固定します。
2. 次に一面グリル用据付ボックス①の吹出口内側の左右面に断熱材（小）②を、内側の上下面に断熱材（大）②をそれぞれ貼付けます。

#### 天袋設置の場合

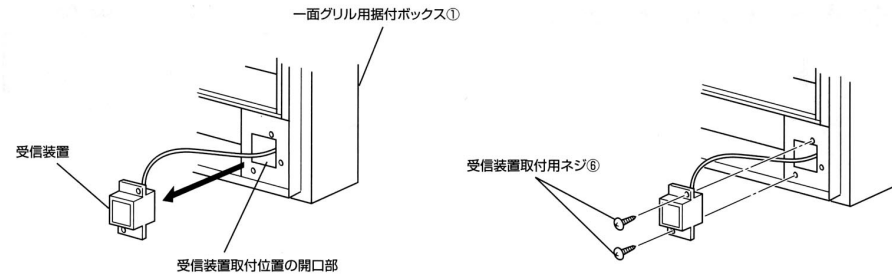


#### 地袋設置の場合



### 4 受信装置の取付

- ・一面グリル用据付ボックス①に取付けます。
- ※天袋設置の場合は右下に、地袋設置の場合は右上になります。
- ・受信装置を受信装置取付位置の開口部に通してセットした後、受信装置の上下2ヶ所を、受信装置取付用ネジ⑥で固定します。



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売下吸込パネル  
 形名 MAC-530UP

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、本説明書をお客さまにお渡しください。お客さまに、室内機の「取扱説明書」とともに大切に保管していただくように依頼してください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不足な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

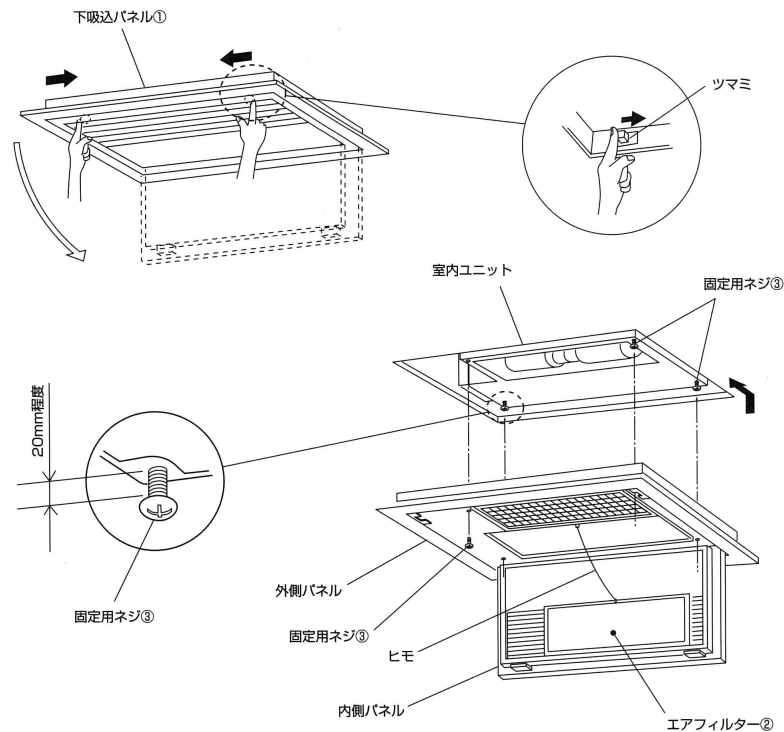
	①	②	③
部品	下吸込パネル	エアフィルター	①の固定用ネジ
個数	1	1	M5×0.8×30 4

### 1 設置スペースと必要寸法

- ・設置スペースと必要寸法および室内ユニットの先行準備については、室内ユニットの据付工事説明書（下り天井設置の場合）を参照してください。
- ・天井開口寸法（540×980）は点検口となり、アフターサービス用としても必要となります。
- ・天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

### 2 下吸込パネルの取付け

1. 下図のように室内ユニット下面の3ヶ所に、固定用ネジ③を20mm程度すき間をあけて取付けます。
  2. 下吸込パネル①の風路内にある左右のツマミを、下図のようにスライドさせて内側パネルを開き、外側パネルのダルマ穴に先程取付けた固定用ネジ③を通してスライドさせます。  
これで下吸込パネルが、室内ユニットに仮止めされます。
- ご注意** 左右のツマミをスライドさせると内側パネルがいきおいよく開いてケガをする恐れがありますので、両手で支えながらゆっくりと開いてください。
3. 次に残りの1ヶ所を、残りの固定用ネジ③で室内ユニットに少しゆるく取付けます。
  4. 最後に下吸込パネル①を天井の目地と合うように調整しながら、4ヶ所の固定用ネジ③を締め込んでください。  
この時、下吸込パネル①と天井面および室内ユニットにすき間がないことを確認してください。  
(すき間があると、風もれ等の原因となります。)
  5. エアフィルター②が、内側パネルのフィルターレールにしっかりと装着されているか確認してください。  
もし、エアフィルター②がフィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。
  6. 下吸込パネル①に取付けられているヒモは、内側パネル開閉作業の安全のため取外さないでください。
  7. 内側パネルを、開いた時と逆の要領で閉じてください。



# mitsubishi

三菱 ルームエアコン 別売キャンバスダクト  
形名 MAC-508CD

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

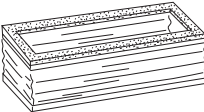
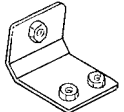



- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

#### 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があります。

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

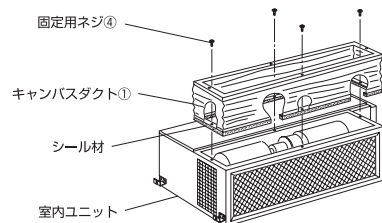
部品	①	②	③	④	⑤
	キャンバスダクト	パネルホルダー	ちょうボルト	①の固定用ネジ	②の固定用ネジ
					
個数	1	4	4	8	8
			M5×0.8×50	タッピングネジ 4×10	M5×0.8×10

### ① 設置スペースと必要寸法

- ・設置スペースと必要寸法および室内ユニットの先行準備については、室内ユニットの据付工事説明書（下り天井設置の場合）を参照してください。
- ・天井開口寸法（540×980）は点検口となり、アフターサービス用としても必要となります。
- ・天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

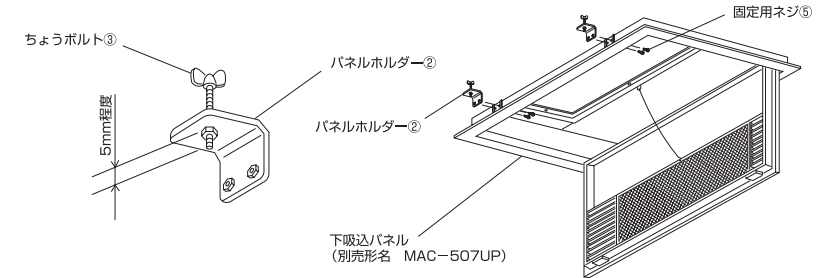
### ② キャンバスダクトの取付

- ・室内ユニットを吊り込む前に、キャンバスダクト①を室内ユニットに固定用ネジ④で4ヶ所固定します。この時、キャンバスダクト①のシール材側を室内ユニットに合わせてください。また、キャンバスダクト①と室内ユニットにすき間がないことを確認してください。（すき間があると、風もれ等の原因となります。）

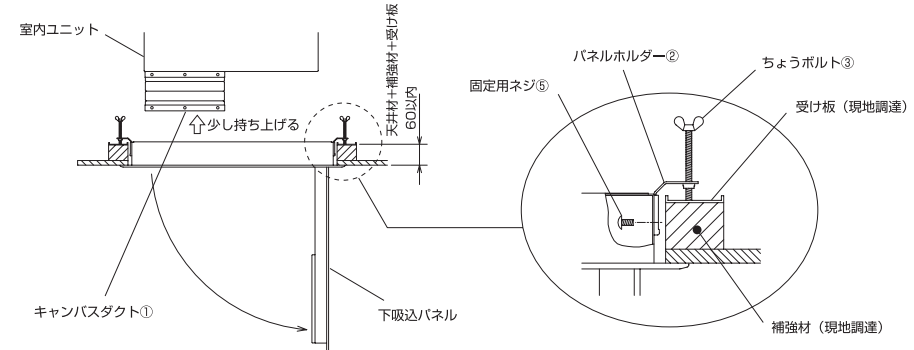


### ③ 下吸込パネルの取付

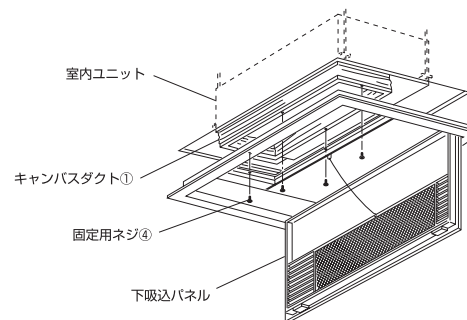
- 1.各パネルホルダー②にちょうボルト③を、下から5mm程度出までねじ込みます。
- 2.下吸込パネル（別売形名 MAC-507UP）のホルダー固定部に、ちょうボルト③をセットしたパネルホルダー②を2ヶ所（下図参照）挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。



- 3.下吸込パネルを天井にはめ込み、反対側のホルダー固定部にも上記2.と同様に、残りのパネルホルダー②を2ヶ所挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。
- 4.ちょうボルト③と天井との間に受け板（現地調達）および補強材（現地調達）を挟み込み、下吸込パネルを固定します。この時、キャンバスダクト①が邪魔になる時は、下図のように少し持ち上げて作業してください。



- 5.最後にキャンバスダクト①を下吸込パネルに固定用ネジ④で4ヶ所固定します。この時、下吸込パネルと天井面およびキャンバスダクト①にすき間がないことを確認してください。（すき間があると、風もれ等の原因となります。）



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売ダクト吸込チャンバー  
形名 MAC-509SC

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよく読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

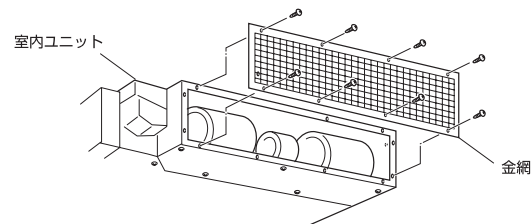
- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

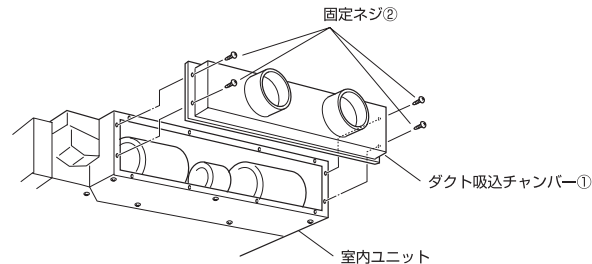
	①	②
部品	ダクト吸込チャンバー	①の固定用ネジ
個数	1	4

### ダクト吸込チャンバーの取付

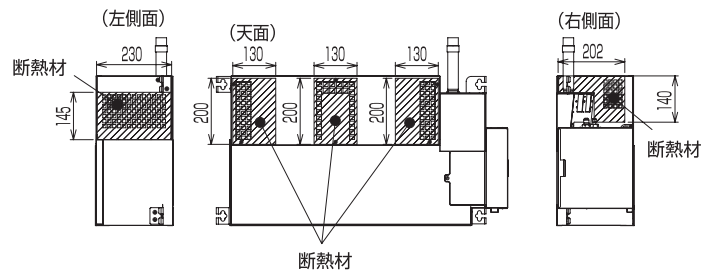
1.室内ユニット背面吸込口の金網をはずします。(金網は使用しません。)



2.ダクト吸込チャンバー①を室内ユニット背面吸込口に取付けます。(固定ネジ②4本)



3.室内ユニット天面、左右側面の吸込口を室内ユニット付属の断熱材を貼り付けてふさぎます。





# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売ダクト吸込ボックス  
形名 MAC-510SB

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

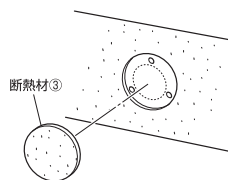
### 使用部品

	①	②	③
部品	ダクト吸込ボックス	エアフィルター	断熱材
個数	1	1	1

### 1 取付前の準備

#### ロスナイセントラルを併設しない場合

- ・ダクト吸込ボックス①側面のロスナイ給気フランチ接続口に断熱材③を貼付けてください。



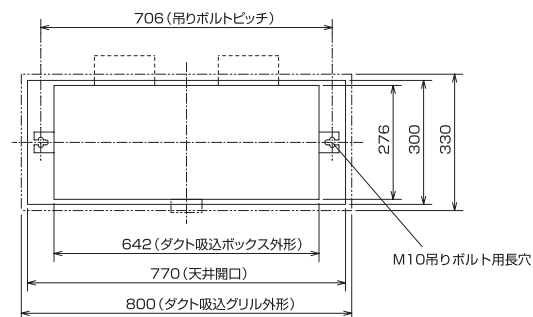
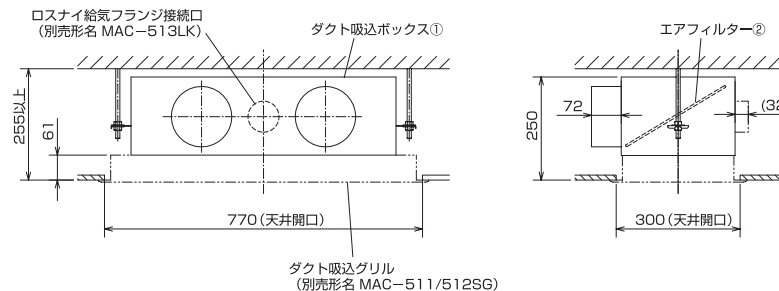
#### ロスナイセントラルを併設する場合

- ・ロスナイセントラルシリーズを併設する場合は、別売のロスナイ給気フランチ (MAC-513LK) を別途お買い求めください。
- ・取付方法については、ロスナイ給気フランチ (MAC-513LK) に付属の据付工事説明書を参照してください。

### 2 ダクト吸込ボックスの取付

- ・このダクト吸込ボックスは、ダクト吸込グリル (別売形名 MAC-511/512SG) 用です。
- ・天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。
- ・ダクト吸込グリルを取付けるため、天井面に300mm×770mmの開口が必要です。
- ・天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

#### 設置スペースと必要寸法



### 3 エアフィルターの確認

- ・エアフィルター②が、ダクト吸込ボックス①のフィルターレールにしっかりと装着されているか確認してください。
- ・もし、エアフィルター②がフィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。

# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売ダクト吸込グリル(ホワイト・ベージュ)  
形名 MAC-511SG・512SG

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。



### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

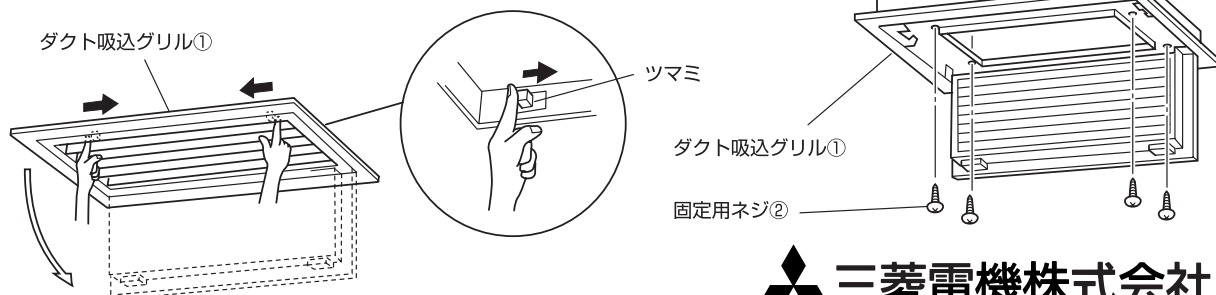
- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実にを行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

	①	②
部品	ダクト吸込グリル 	①の固定用ネジ  M5×0.8×12
個数	1	4

### ダクト吸込グリルの取付

- 1.ダクト吸込グリル①の風路内にある左右のツマミを、下図のようにスライドさせて、内側グリルを開きます。
- 2.ダクト吸込グリル①の前後左右4ヶ所を、固定用ネジ②でダクト吸込ボックス(別売形名 MAC-510SB)に固定します。  
この時、ダクト吸込グリル①と天井面およびダクト吸込ボックスにすき間がないことを確認してください。  
(すき間があると、風もれや露たれの原因となります。)
- 3.内側グリルを、開いた時と逆の要領で閉じてください。



 三菱電機株式会社

# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売ロスナイ給気フランジ  
 形名 MAC-513LK

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。


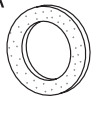
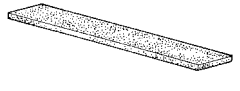

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果) に結びつく可能性があるもの。

- お客さま自身で据付けはしない。  
 不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
 強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
 据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
 部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

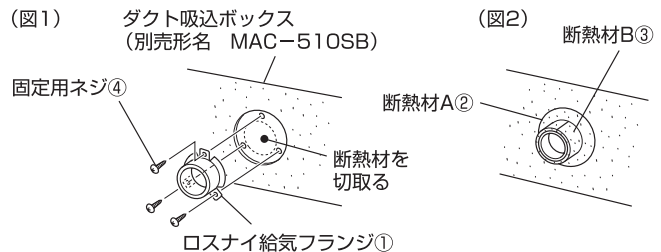
	①	②	③	④
部品	ロスナイ給気フランジ 	断熱材A 	断熱材B 	①の固定用ネジ  タッピングネジ 4×10
個数	1	1	1	3

・このロスナイ給気フランジは、ロスナイセントラルシリーズとフリービルトイン形エアコン (MBZ-\*\*\*PSシリーズ) との併設の際、ロスナイ専用給気グリルを設置しなくても、フリービルトイン形エアコン別売のダクト吸込グリル (別売形名 MAC-511/512SG) から給気を可能にします。

**ご注意** ・ロスナイセントラルを使用せずに直接外気導入には絶対使用しないでください。  
 ・風量は50m<sup>3</sup>/h以下としてください。

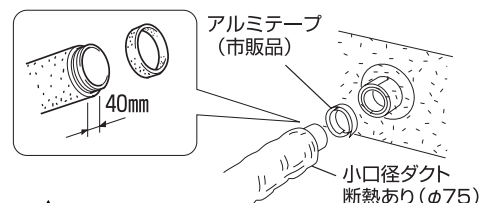
### ロスナイ給気フランジの取付

- 1.ダクト吸込ボックス (別売形名 MAC-510SB) の断熱材をミシン目に沿って切り取ります。
- 2.ロスナイ給気フランジ①をダクト吸込ボックスに固定用ネジ④で3ヶ所固定します。(図1参照)
- 3.断熱材A②および断熱材B③を、ロスナイ給気フランジ①に貼付けます。(図2参照)



### ロスナイ給気フランジと小口径ダクト断熱あり(φ75)との接続

- 1.小口径ダクト断熱あり(φ75)の断熱部分のみを図のように40mm切断します。
- 2.ロスナイ給気フランジ①に小口径ダクト断熱あり(φ75)を差込みます。
- 3.ロスナイ給気フランジ①と小口径ダクト断熱あり(φ75)の合わせ部全周をアルミテープで風もれのないように確実に巻き付けます。(2周以上)



**ご注意** システムの選定、機器配置、小口径ダクト断熱あり(φ75)の仕様はロスナイセントラル換気システム技術マニュアルを参照してください。

**三菱電機株式会社**

# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売ダクト吹出チャンバー  
形名 MAC-514FC

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

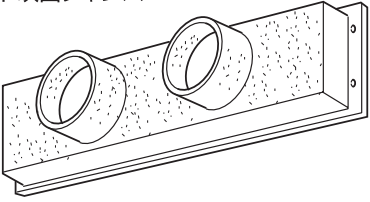

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

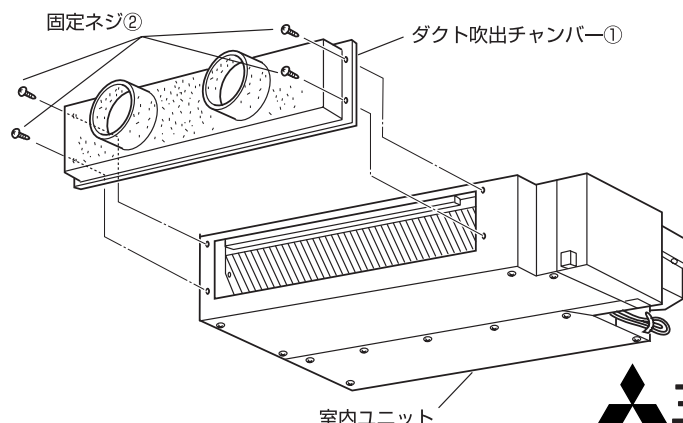
- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実にを行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

	①	②
部品	ダクト吹出チャンバー 	①の固定用ネジ 
個数	1	4

### ダクト吹出チャンバーの取付

- ダクト吹出チャンバー①を室内ユニット吹出口に取付けます。(固定ネジ②4本)



 三菱電機株式会社



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売フレキシブルダクト(φ150、1m・2m)  
形名 MAC-515FD・516FD

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。

- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

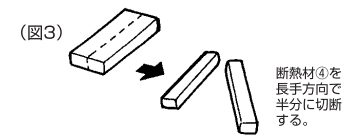
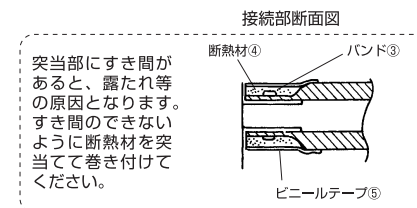
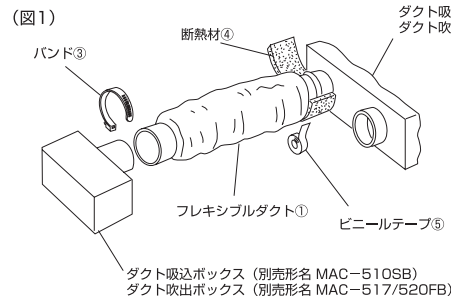
	①	②	③	④	⑤
部品	フレキシブルダクト	継ぎ手	バンド	断熱材	ビニールテープ
個数	1	1	2	1	1

**ご注意** 高温多湿の場合は、断熱材(エーテル系ポリウレタン 比重0.063、肉厚20mm以上相当品)をフレキシブルダクトに必ず巻き付けてください。

### フレキシブルダクトの取付

#### フレキシブルダクトとダクト吸込・吹出チャンパーおよびダクト吸込・吹出ボックスとの接続

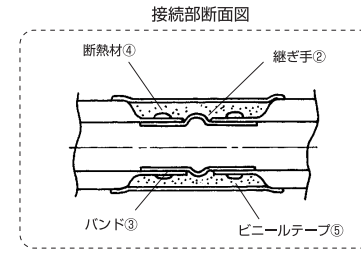
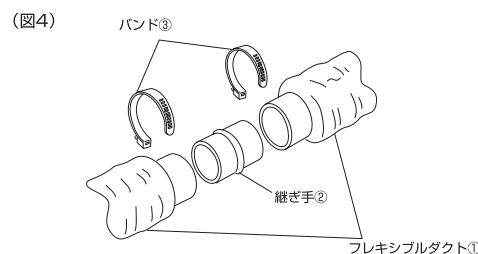
- 1.フレキシブルダクト①を室内ユニット側に取付けられたダクト吸込・吹出チャンパー(別売形名 MAC-509SC/514FC)および反対側に取付けられたダクト吸込・吹出ボックス(別売形名 MAC-510SB・517FB/520FB)のフランジにそれぞれはめ込んで、バンド③で締付けます。(図1、2参照)
- 2.断熱材④で、バンド③を覆うように巻き付けます。この時、断熱材④は長手方向で半分に切断して、ダクト吸込・吹出チャンパー側とダクト吸込・吹出ボックス側の両端にそれぞれご使用ください。(図3参照)
- 3.断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤ですき間なく巻き付けます。



**ご注意** 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

#### フレキシブルダクトどうしの接続

- 1.継ぎ手②にフレキシブルダクト①をはめ込み、バンド③で締付けます。(図4参照)
- 2.断熱材④でバンド③を覆うように巻き付けます。(断熱材④は切断しないでご使用ください。)
- 3.断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤ですき間なく巻き付けます。



**ご注意** 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売ダクト大吹出ボックス  
形名 MAC-517FB

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

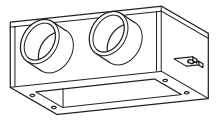
### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**△警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
- 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

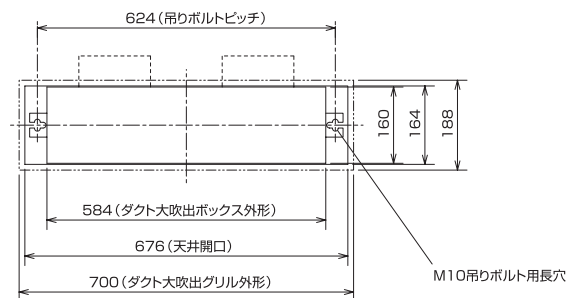
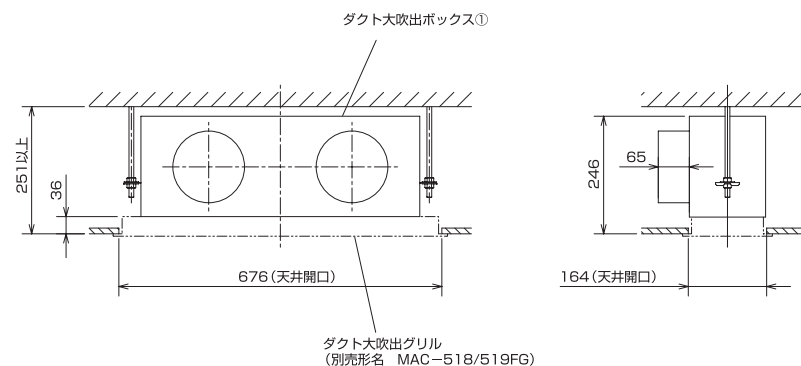
### 使用部品

	① ダクト大吹出ボックス
部品	
個数	1

### ダクト大吹出ボックスの取付

- ・このダクト大吹出ボックスは、ダクト大吹出グリル（別売形名 MAC-518/519FG）用です。
- ・天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。  
ダクト大吹出グリルを取付けるため、天井面に164mm×676mmの開口が必要です。
- ・天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

### 設置スペースと必要寸法



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売ダクト大吹出グリル(ホワイト・ベージュ)  
形名 MAC-518FG・519FG

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

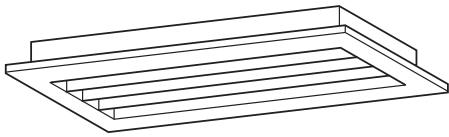

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

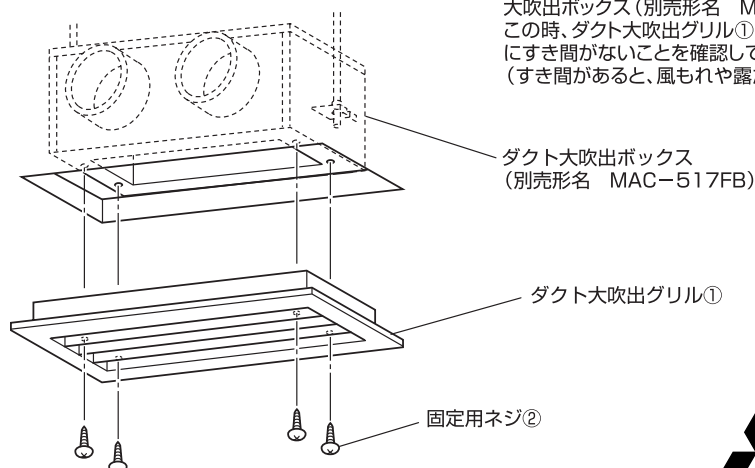
**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実にを行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

	①	②
部品	ダクト大吹出グリル 	①の固定用ネジ 
個数	1	4

### ダクト大吹出グリルの取付



- ・ダクト大吹出グリル①の前後左右4ヶ所を、固定用ネジ②でダクト大吹出ボックス(別売形名 MAC-517FB)に固定します。この時、ダクト大吹出グリル①と天井面およびダクト大吹出ボックスにすき間がないことを確認してください。(すき間があると、風もれや露たれ等の原因となります。)

# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売ダクト小吹出ボックス  
 形名 MAC-520FB

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

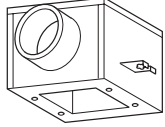
### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**△警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
- 強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

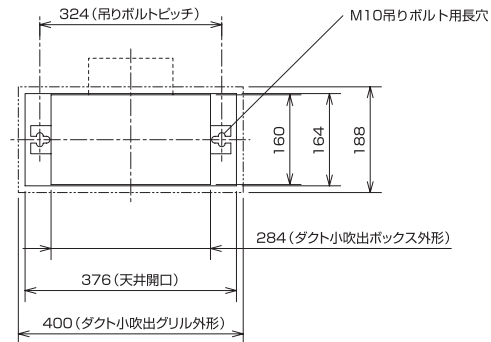
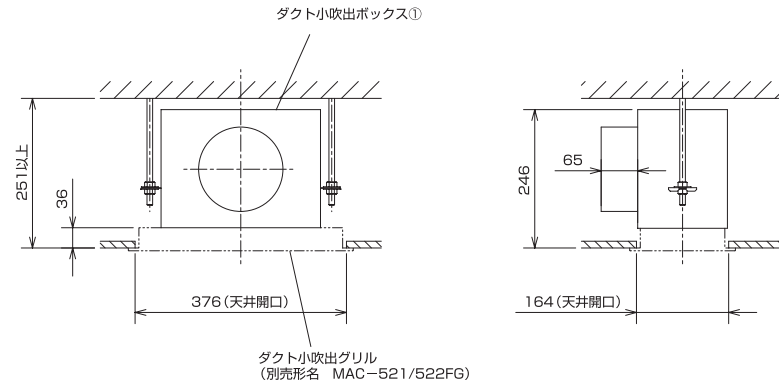
### 使用部品

	①
部品	ダクト小吹出ボックス 
個数	1

### ダクト小吹出ボックスの取付

- ・このダクト小吹出ボックスは、ダクト小吹出グリル（別売形名 MAC-521/522FG）用です。
- ・天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。  
ダクト小吹出グリルを取付けるため、天井面に164mm×376mmの開口が必要です。
- ・天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

### 設置スペースと必要寸法



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売ダクト小吹出グリル(ホワイト・ベージュ)  
 形名 MAC-521FG・522FG

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。  
 据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

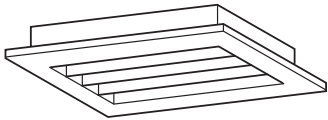

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

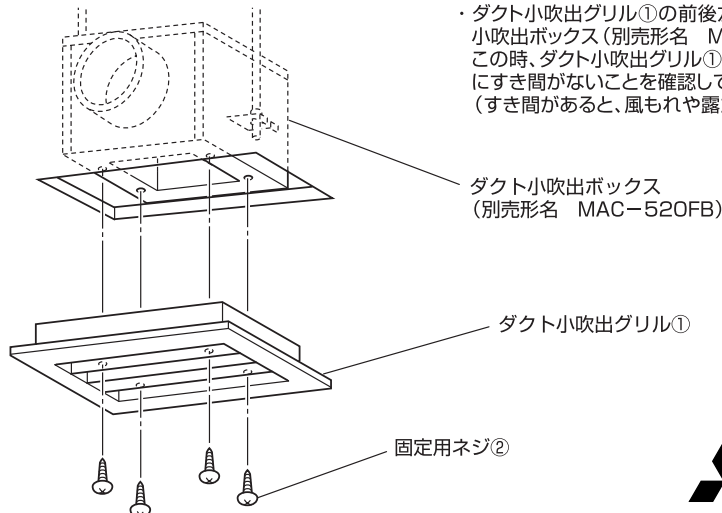
**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。  
 不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。  
 強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実にを行う。  
 据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
 部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

	①	②
部品	ダクト小吹出グリル 	①の固定用ネジ  M5×0.8×12
個数	1	4

### ダクト小吹出グリルの取付



- ・ダクト小吹出グリル①の前後左右4ヶ所を、固定用ネジ②でダクト小吹出ボックス(別売形名 MAC-520FB)に固定します。  
 この時、ダクト小吹出グリル①と天井面およびダクト小吹出ボックスにすき間がないことを確認してください。  
 (すき間があると、風もれや露たれ等の原因となります。)

# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売レシーバー取付具  
形名 MAC-523RT

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

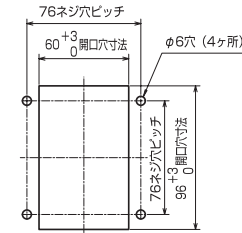
- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

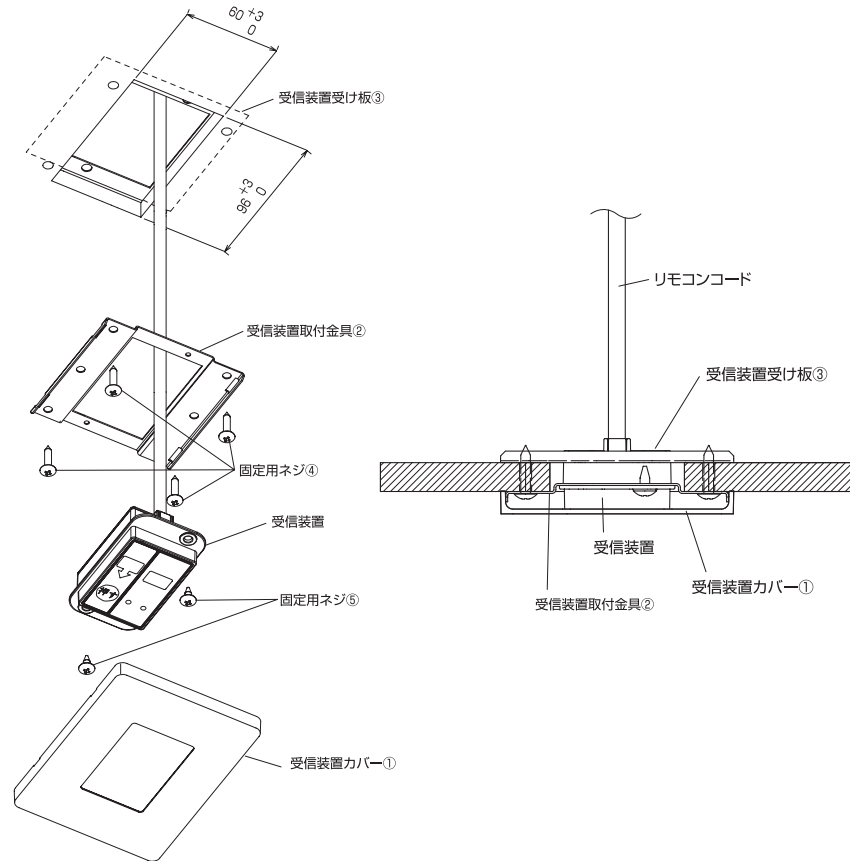
	①	②	③	④	⑤
部品	受信装置カバー	受信装置取付金具	受信装置受け板	②の固定用ネジ	受信装置の固定用ネジ
個数	1	1	1	4	2

### 受信装置の取付

1.天井または壁に開口部を設けます。



- 2.受信装置受け板③を開口部を通して天井裏へ置き、受信装置受け板③と天井面のネジ穴を合わせます。
- 3.下図のように開口部より受信装置を取出し、受信装置取付金具②の開口を通します。
- 4.受信装置取付金具②を天井または壁の開口部へはめ込み、固定用ネジ④で確実に固定します。
- 5.受信装置を受信装置取付金具②に固定用ネジ⑤で確実に固定します。
- 6.受信装置カバー①は内側のツメ(4ヶ所)が受信装置取付金具②に確実にかかるように取付けてください。



# MITSUBISHI

三菱 ルームエアコン 別売レシーバー延長コード  
形名 MAC-524RC

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

#### 警告 (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で据付けはしない。  
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書にしたがって確実に行う。  
据付けに不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

### 使用部品

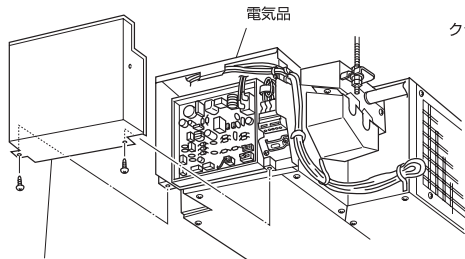
部品	① 受信装置延長コード (10m)
個数	1

### 作業前のお願い

- 室内制御基板、受信基板は静電気により故障する場合がありますので作業前に金属や地面に触れ、体の静電気を放電後作業してください。
- ブレーカーをOFFにしてから作業してください。

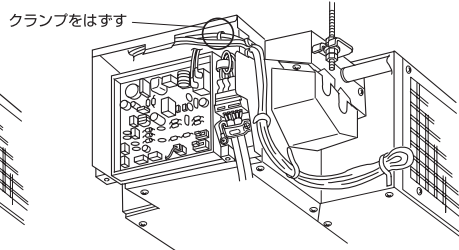
### 受信装置コードの交換

①室内ユニットの電気品カバーをはずします。



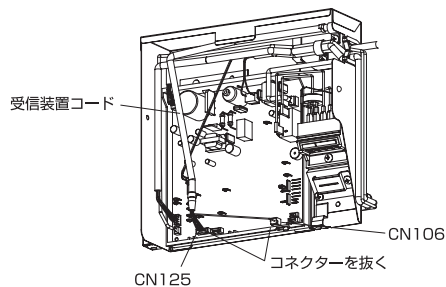
電気品カバー

②室内ユニット電気品内の受信装置コードと室温サーミスターのリード線を固定しているクランプのネジをはずし、クランプをはずします。



クランプをはずす

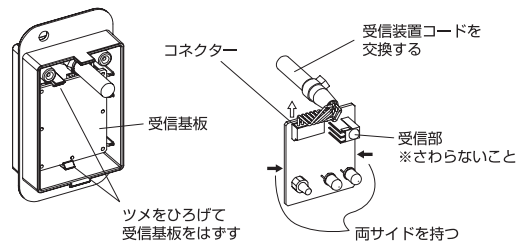
③受信装置コードのコネクタ(2ヶ所)を室内ユニット制御基板から抜きます。



CN125

コネクタを抜く

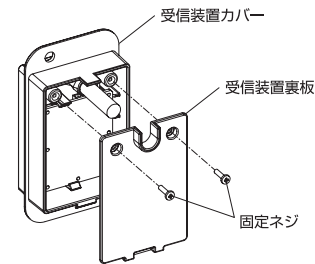
⑤受信基板を受信装置カバーからはずし、受信装置コードのコネクタを抜いて受信装置コードを交換します。



ツメをひろげて  
受信基板をはずす

受信部  
※さわらないこと  
両サイドを持つ

④受信装置裏側のネジ(2ヶ所)をはずし、受信装置裏板をはずします。

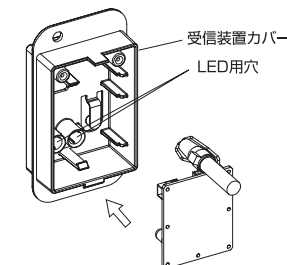


受信装置カバー

受信装置裏板

固定ネジ

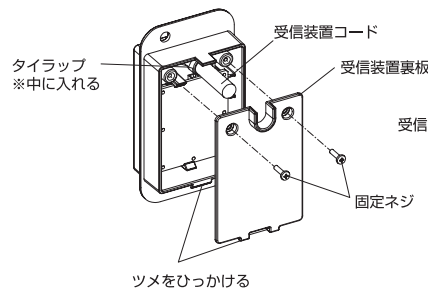
⑥受信基板を受信装置カバーに取付けます。



受信装置カバー

LED用穴

⑦受信装置裏板を元通りに取付けます。  
(このとき、受信装置コードのタイラップが図の位置(受信装置の内側)になるように取付けます。)



タイラップ  
※中に入れる

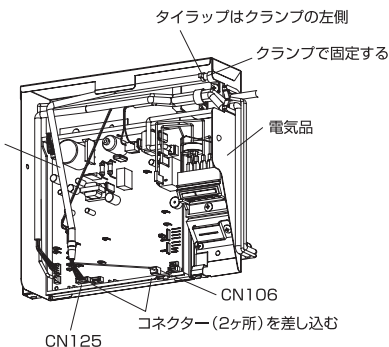
受信装置コード

受信装置裏板

固定ネジ

ツメをひっかける

⑧受信装置コードの室内ユニット側を室内制御基板上に取付け、受信装置コードと室温サーミスターのリード線をクランプにて固定します。



タイラップはクランプの左側

クランプで固定する

電気品

CN106

コネクタ(2ヶ所)を差し込む

CN125

⑨電気品カバーを元通りに取付けます。

### 作業完了後の確認

- 応急運転スイッチでの動作確認を行ってください。
- リモコンの受信確認を行ってください。



# 設置パターン別特性表

(各設置パターンにより運転音・風量は異なります。)

## (1) 運転音曲線(NC曲線)

### 室内ユニット

#### ●MBZ-28RAS

〔周囲温度：(冷)室内27 室外35 測定場所：無響室 測定方法はJISC9612  
(暖)室内20 室外7 暗騒音：15dB  
室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転 室外ユニット：50/60Hz〕

#### ●一間幅天袋吊り設置

#### ●一間幅天袋置き設置

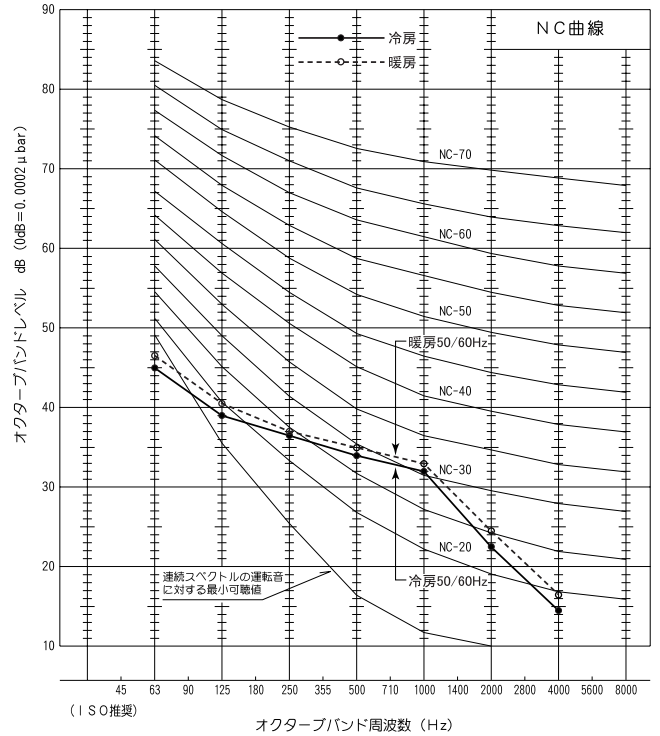
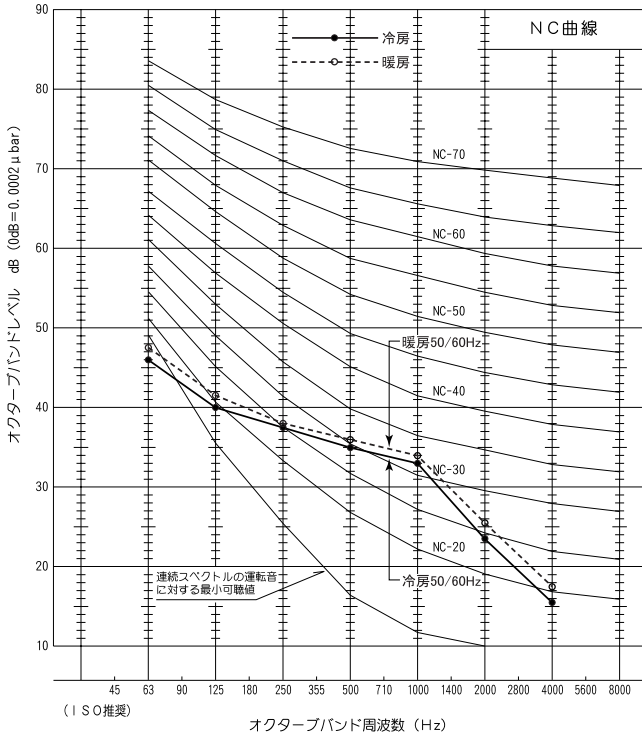
#### ●半間幅天袋吊り設置<一面グリル>

オーバーオールA特性運転音 冷房 37 dB  
暖房 38 dB

#### ●一間幅、半間幅地袋設置

#### ●半間幅地袋設置<一面グリル>

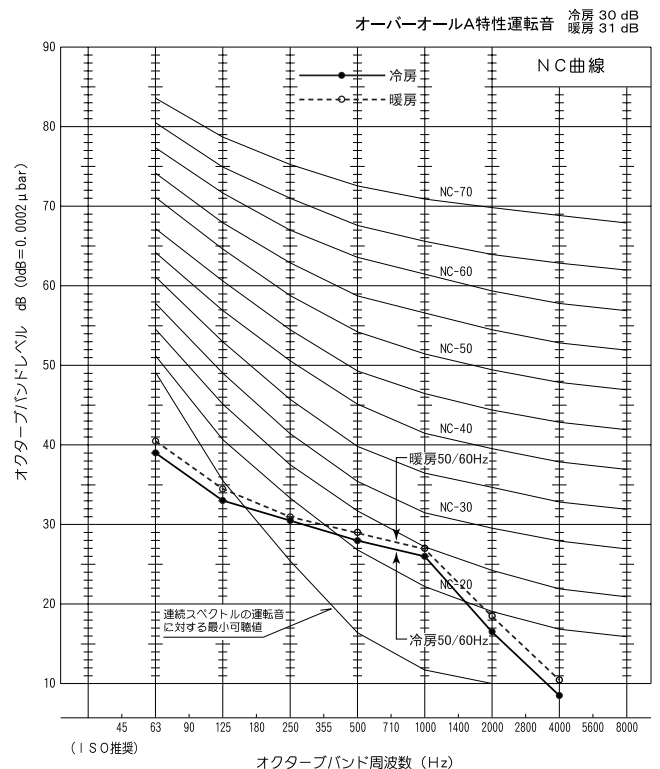
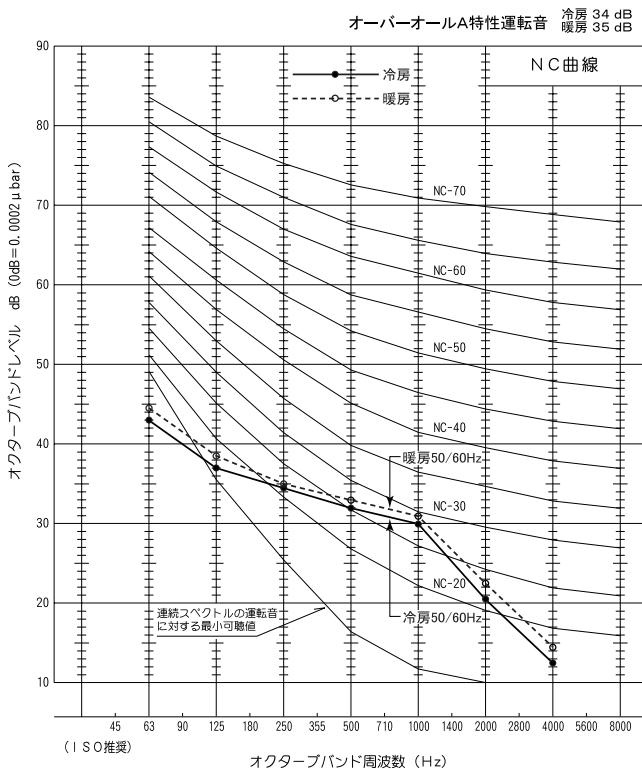
オーバーオールA特性運転音 冷房 36 dB  
暖房 37 dB



〔周囲温度：(冷)室内27 室外35 測定場所：無響室 測定方法はJISC9612  
(暖)室内20 室外7 暗騒音：15dB  
室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転 室外ユニット：50/60Hz〕

#### ●下がり天井設置

#### ●天埋設置





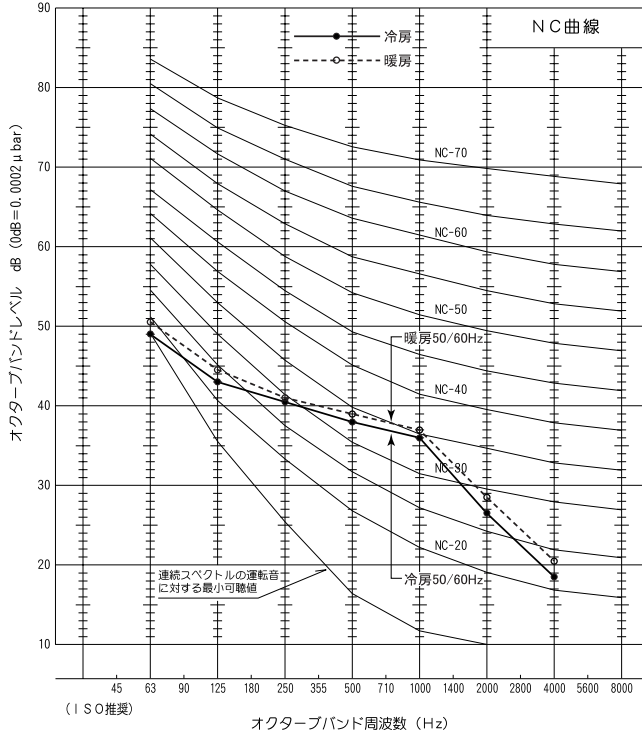
# 室内ユニット

## ●MBZ-36RAS

- 一間幅天袋吊り設置
- 半間幅天袋吊り設置<一面グリル>

- 一間幅天袋置き設置

オーバーオールA特性運転音 冷房 40 dB  
暖房 41 dB

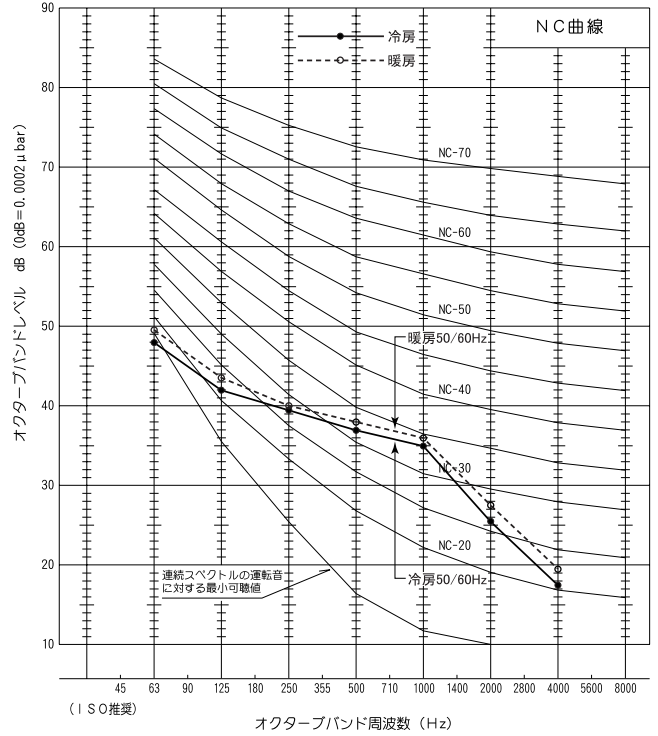


〔周囲温度：(冷)室内27 室外35 測定場所：無響室 測定方法はJISC9612  
(暖)室内20 室外7 暗騒音：15dB  
室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転 室外ユニット：50/60Hz〕

- 一間幅、半間幅地袋設置

- 半間幅地袋設置<一面グリル>

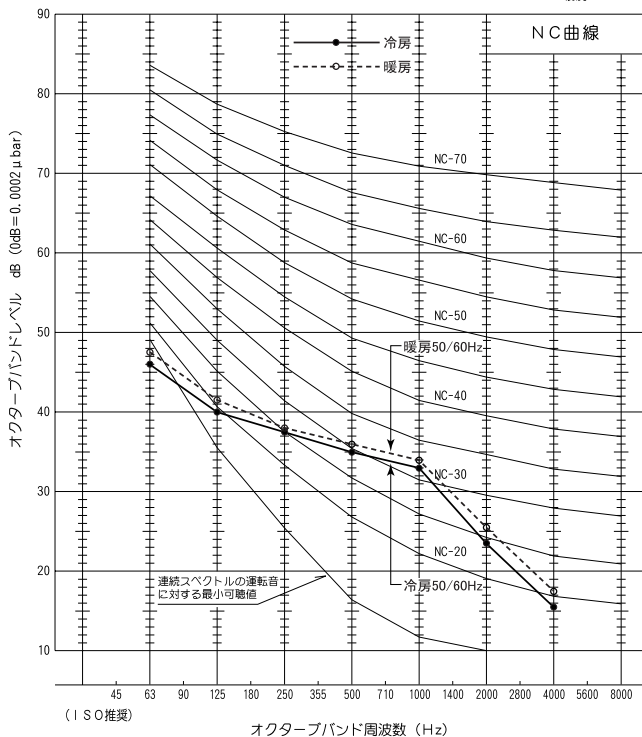
オーバーオールA特性運転音 冷房 39 dB  
暖房 40 dB



〔周囲温度：(冷)室内27 室外35 測定場所：無響室 測定方法はJISC9612  
(暖)室内20 室外7 暗騒音：15dB  
室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転 室外ユニット：50/60Hz〕

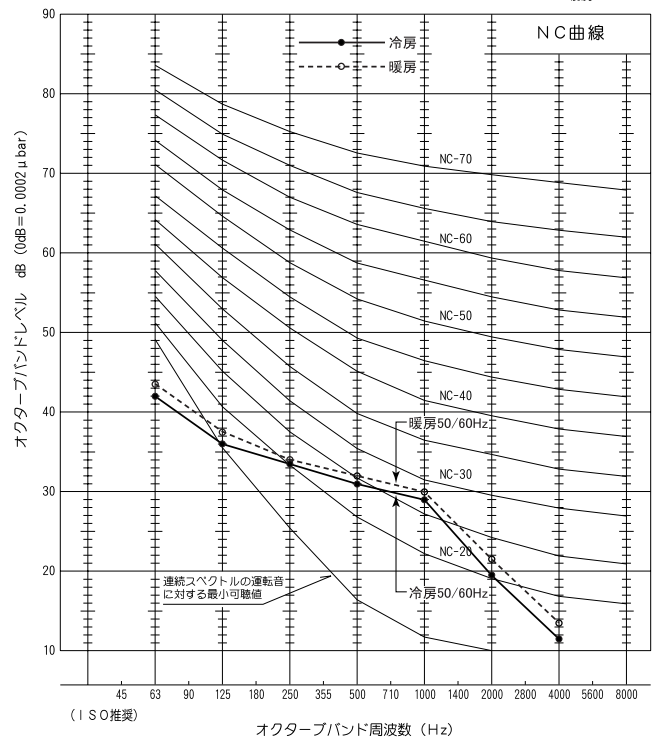
- 下がり天井設置

オーバーオールA特性運転音 冷房 37 dB  
暖房 38 dB



- 天埋設置

オーバーオールA特性運転音 冷房 33 dB  
暖房 34 dB



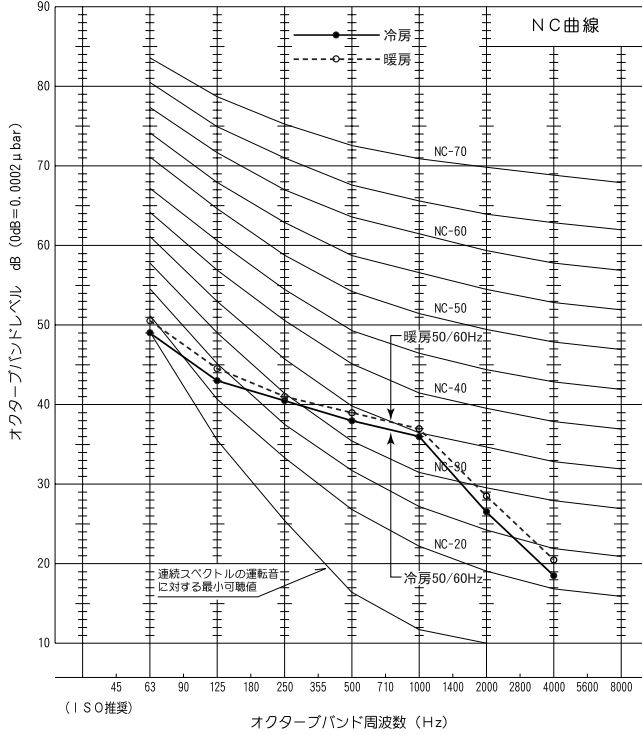
# 室内ユニット

## ●MBZ-40RAS

- 一間幅天袋吊り設置
- 半間幅天袋吊り設置<一面グリル>

## ●一間幅天袋置き設置

オーバーオールA特性運転音 冷房 40 dB  
暖房 41 dB

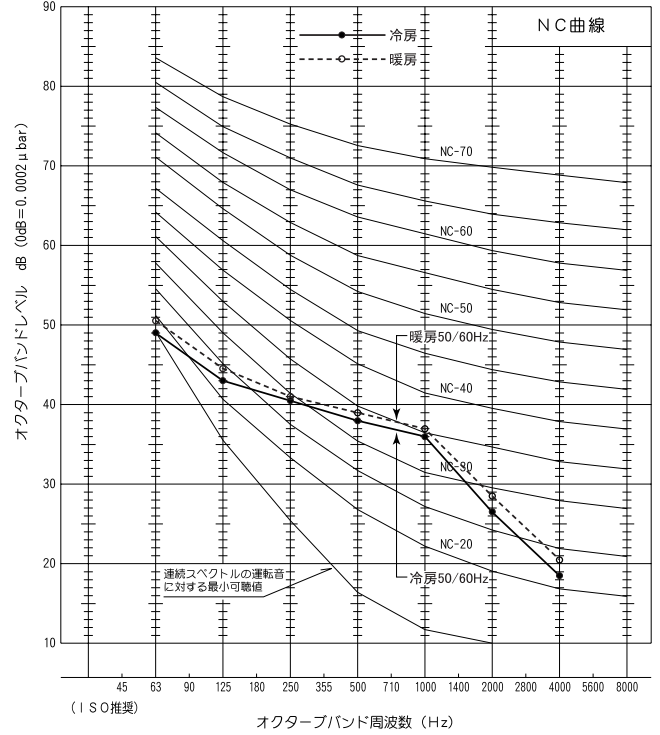


〔周囲温度：(冷)室内27 室外35 測定場所：無響室 測定方法はJISC9612  
(暖)室内20 室外 7 暗騒音：15dB  
室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転 室外ユニット：50/60Hz〕

## ●一間幅、半間幅地袋設置

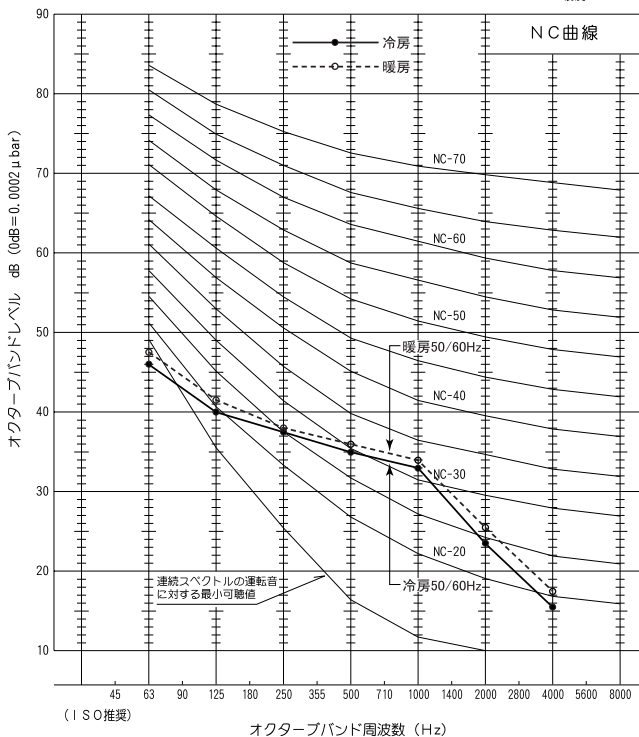
## ●半間幅地袋設置<一面グリル>

オーバーオールA特性運転音 冷房 40 dB  
暖房 41 dB



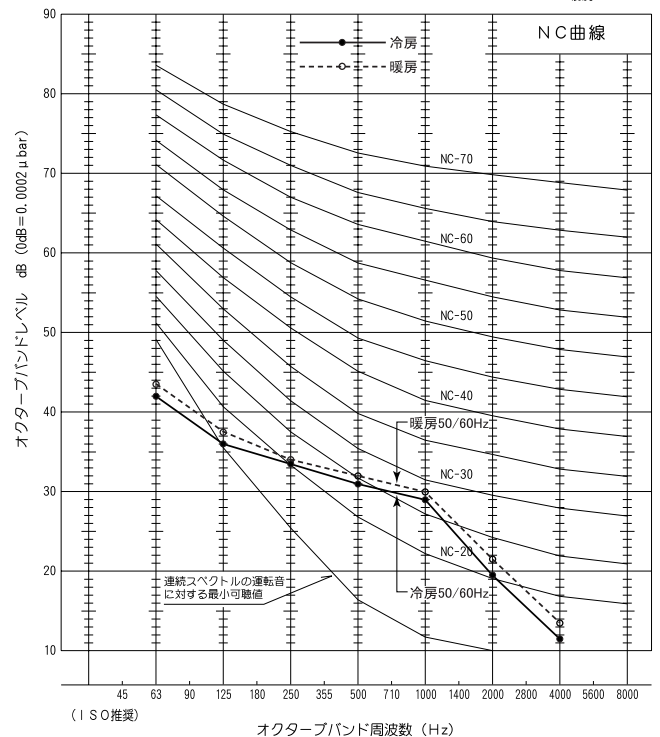
## ●下がり天井設置

オーバーオールA特性運転音 冷房 37 dB  
暖房 38 dB



## ●天埋設置

オーバーオールA特性運転音 冷房 33 dB  
暖房 34 dB



## 室内ユニット

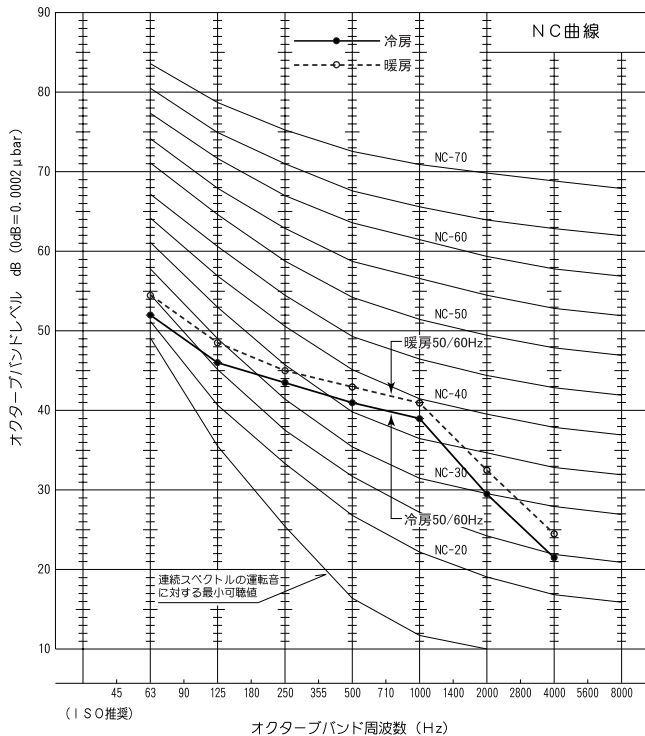
### ●MBZ-50RAS

〔周囲温度：(冷)室内27 室外35 測定場所：無響室 測定方法はJISC9612  
(暖)室内20 室外7 暗騒音：15dB  
室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転 室外ユニット：50/60Hz〕

- 一間幅天袋吊り設置
- 半間幅天袋吊り設置<一面グリル>

- 一間幅天袋置き設置

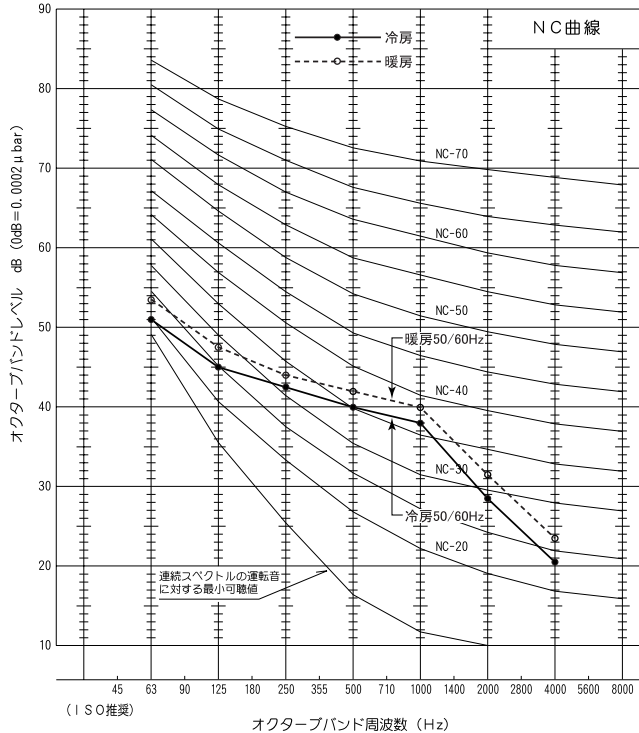
オーバーオールA特性運転音 冷房 43 dB  
暖房 45 dB



- 一間幅、半間幅地袋設置

- 半間幅地袋設置<一面グリル>

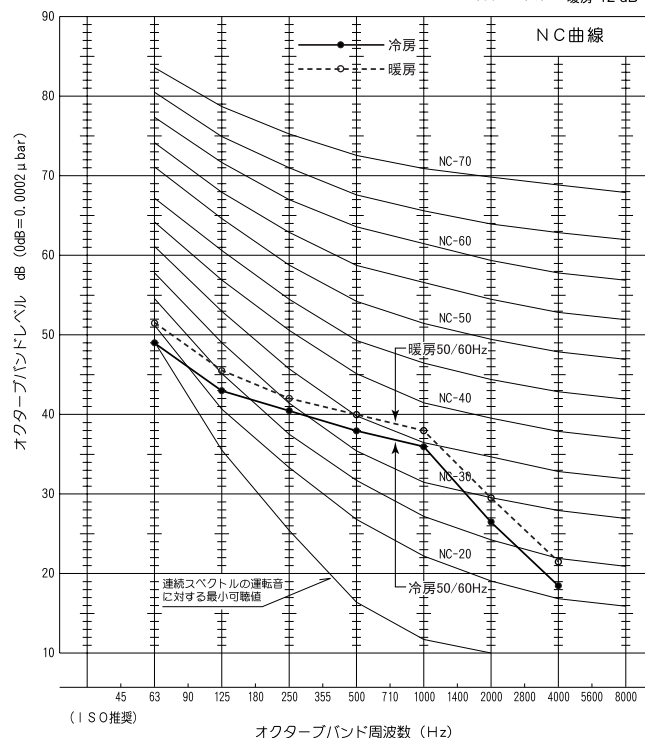
オーバーオールA特性運転音 冷房 42 dB  
暖房 44 dB



〔周囲温度：(冷)室内27 室外35 測定場所：無響室 測定方法はJISC9612  
(暖)室内20 室外7 暗騒音：15dB  
室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転 室外ユニット：50/60Hz〕

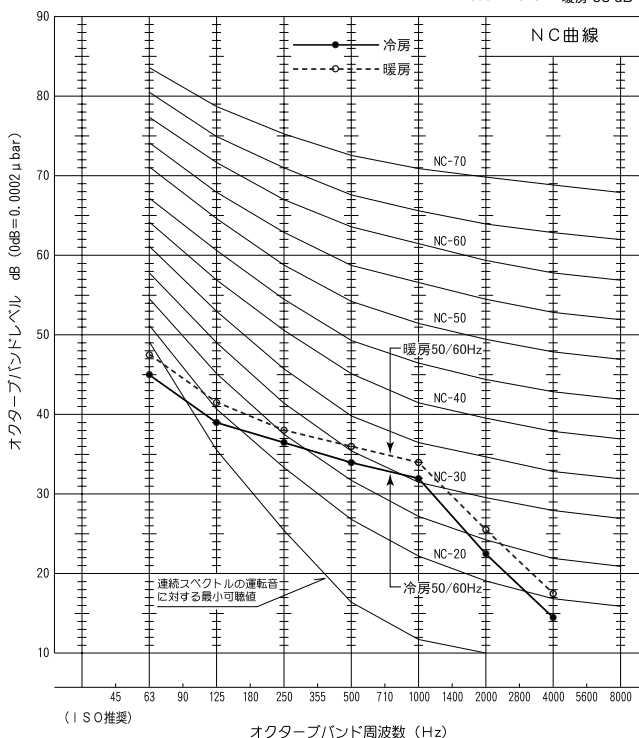
- 下がり天井設置

オーバーオールA特性運転音 冷房 40 dB  
暖房 42 dB



- 天埋設置

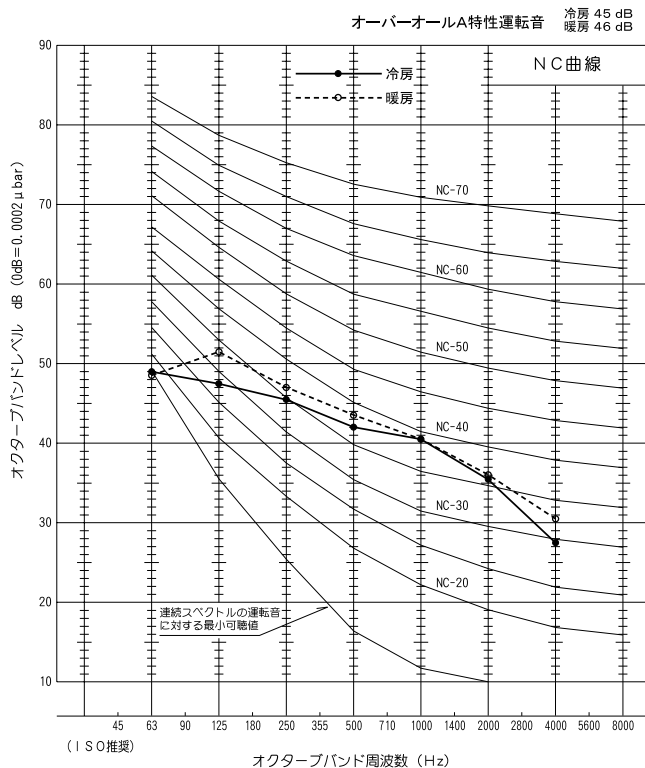
オーバーオールA特性運転音 冷房 36 dB  
暖房 38 dB



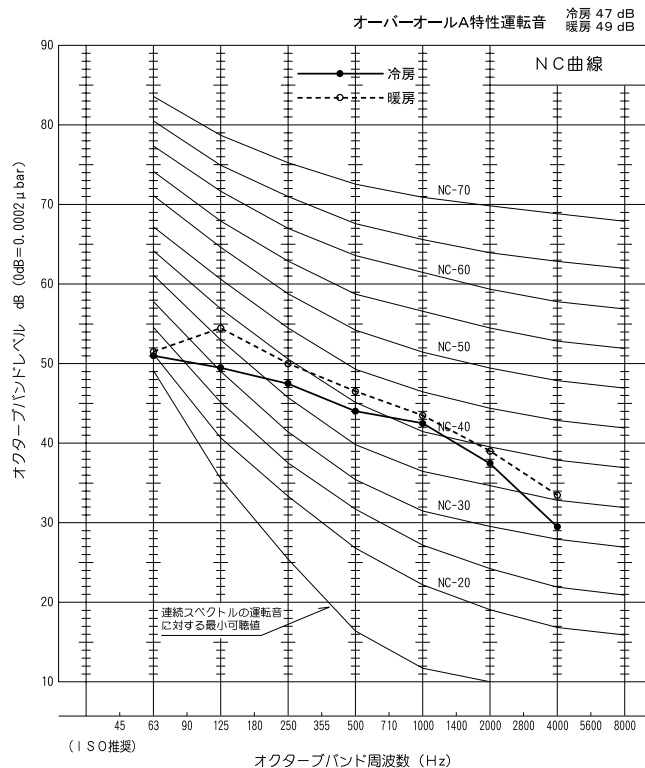
# 室外ユニット

〔周囲温度：(冷)室内27 室外35 測定場所：無響室 測定方法はJISC9612  
 (暖)室内20 室外 7 暗騒音：15dB  
 室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転 室外ユニット：50/60Hz〕

## ●MUBZ-28RAS

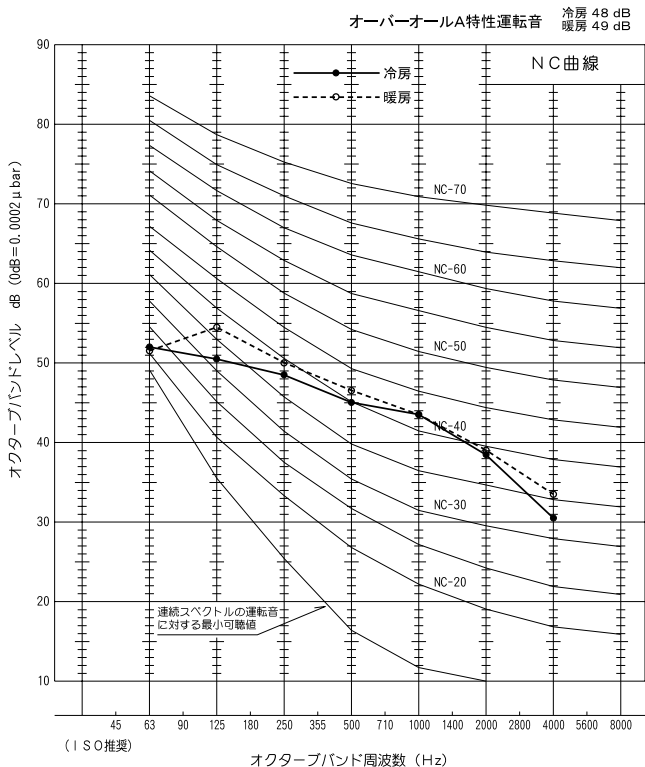


## ●MUBZ-36RAS

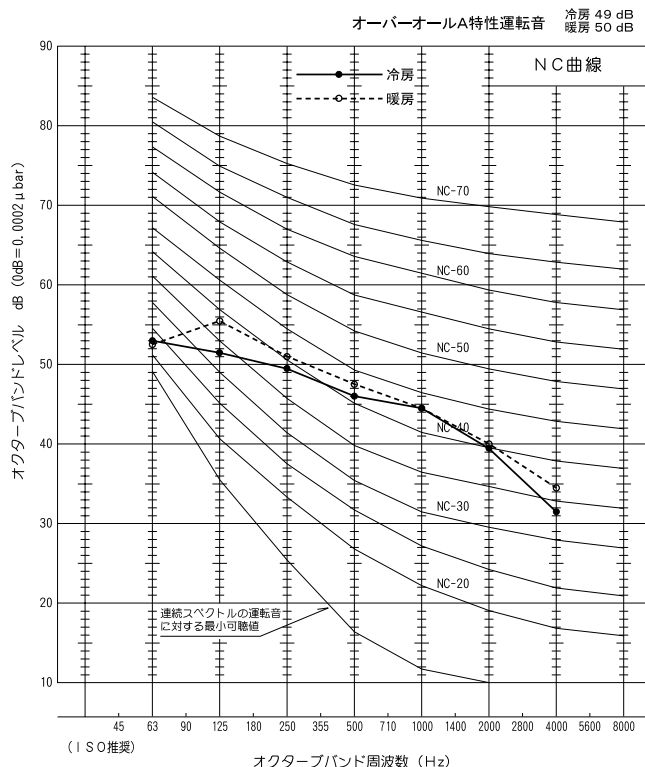


〔周囲温度：(冷)室内27 室外35 測定場所：無響室 測定方法はJISC9612  
 (暖)室内20 室外 7 暗騒音：15dB  
 室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転 室外ユニット：50/60Hz〕

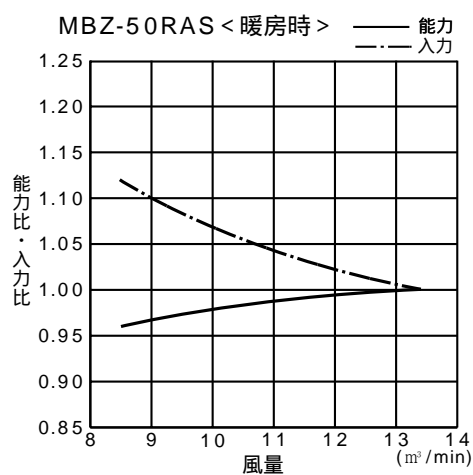
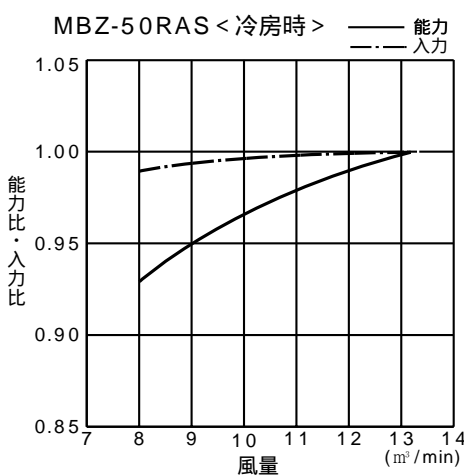
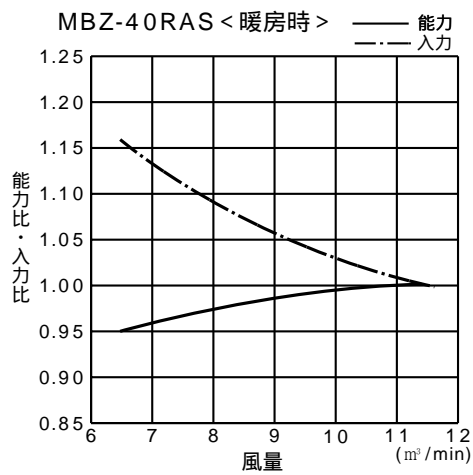
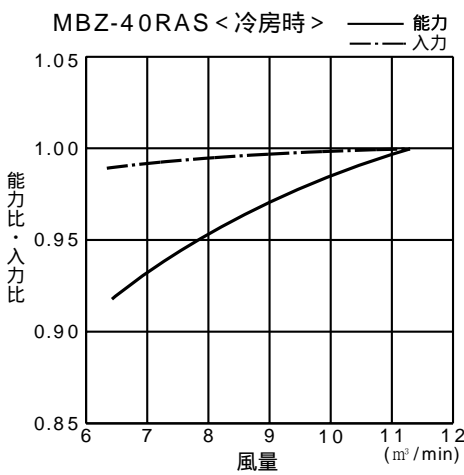
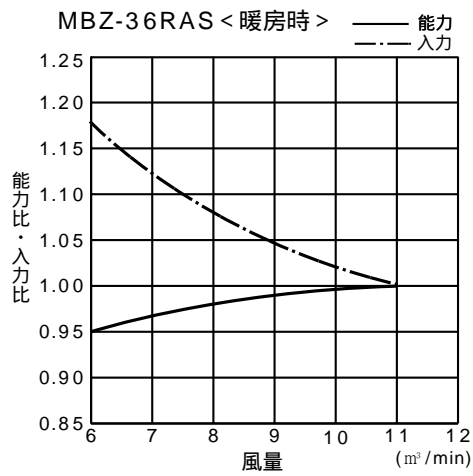
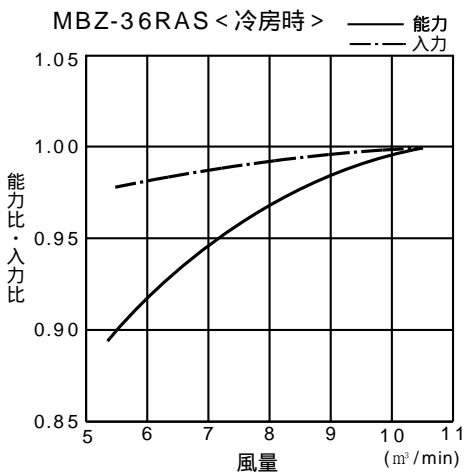
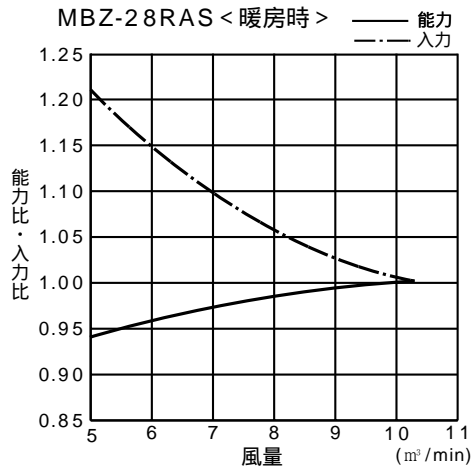
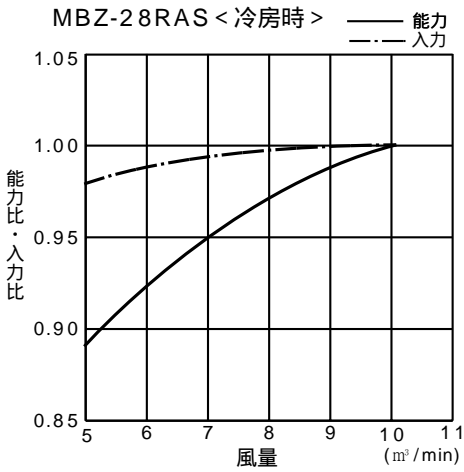
## ●MUBZ-40RAS



## ●MUBZ-50RAS



(2) 風量 - 能力・入力性能補正曲線図 (風量については設置パターン別特性表を参照してください。)



# 機器単体特性表

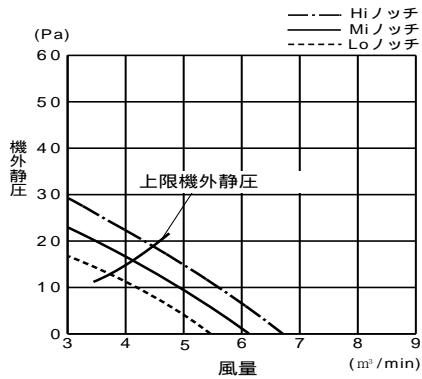
## (1) 機外静圧

<フリービルトイン天埋ダクトシステム設置時の送風機性能①> MAC-509SC,MAC-514FC 付

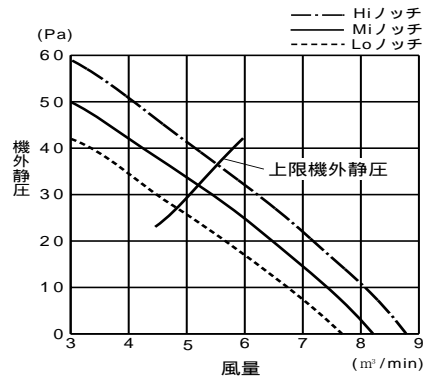
上限機外静圧は、下記に示すフレキシブルダクト仕様制限の時です。

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	吸込側と合わせて7m以下	90°以下1カ所
吸込側ダクト	1m以下	45°以下1カ所

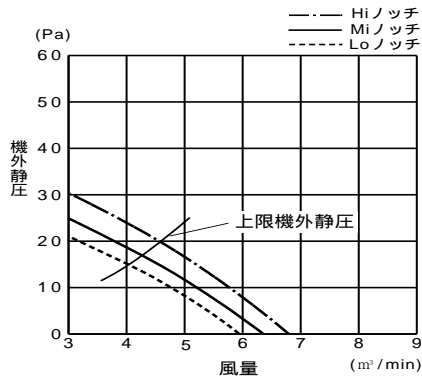
MBZ-28RAS <冷房時>



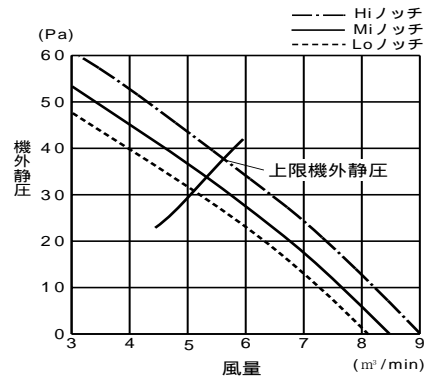
MBZ-28RAS <冷房時> 高静圧



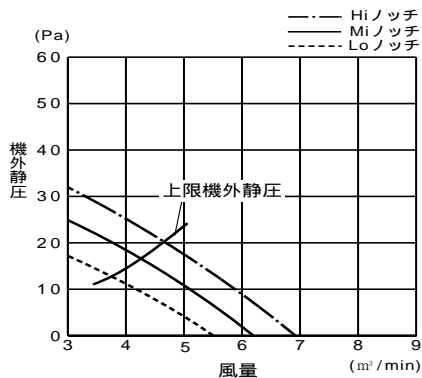
MBZ-28RAS <暖房時>



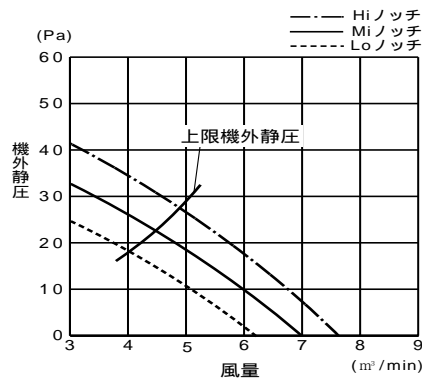
MBZ-28RAS <暖房時> 高静圧



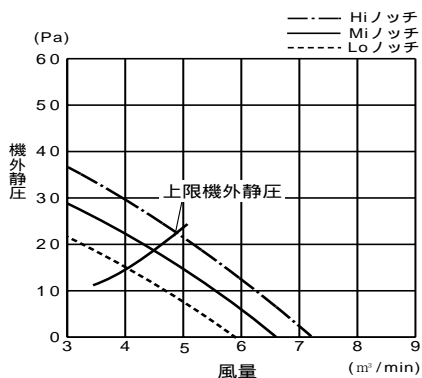
MBZ-36RAS <冷房時>



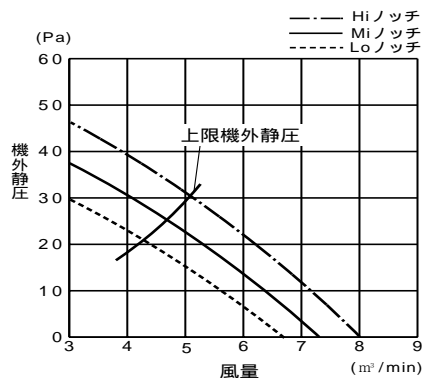
MBZ-36RAS <冷房時> 高静圧



MBZ-36RAS <暖房時>



MBZ-36RAS <暖房時> 高静圧

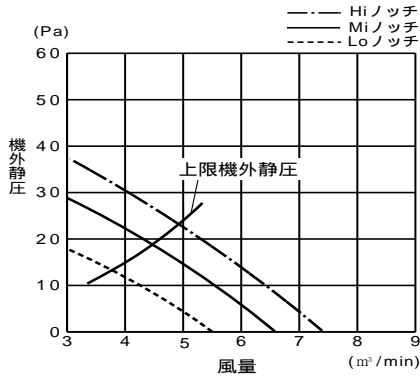


<フリービルトイン天埋ダクトシステム設置時の送風機性能②> MAC-509SC,MAC-514FC 付

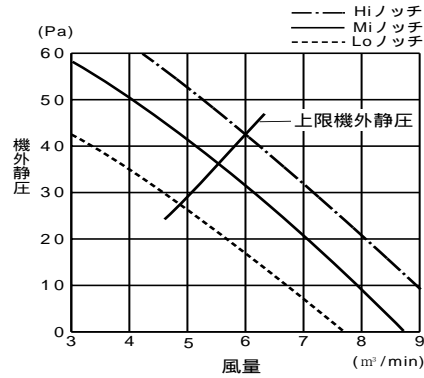
上限機外静圧は、下記に示すフレキシブルダクト仕様制限の時です。

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	吸込側と合わせて7m以下	90°以下1カ所
吸込側ダクト	1m以下	45°以下1カ所

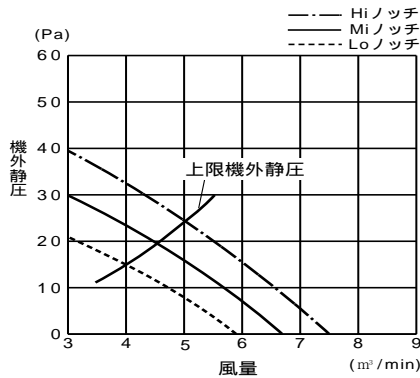
MBZ-40RAS <冷房時>



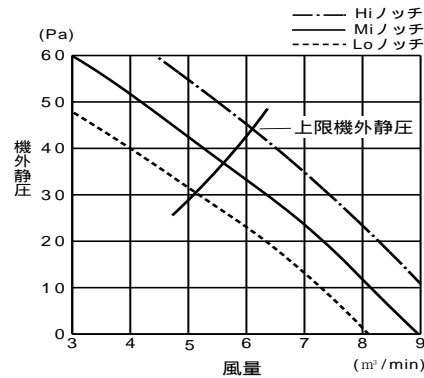
MBZ-40RAS <冷房時> 高静圧



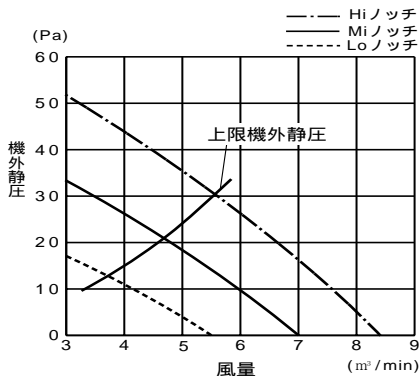
MBZ-40RAS <暖房時>



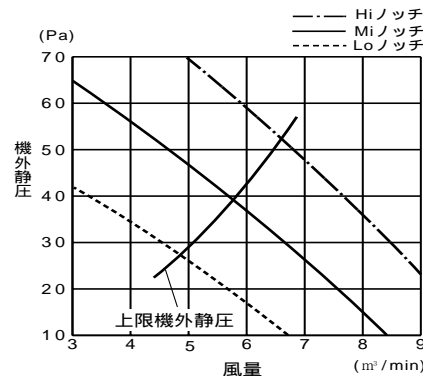
MBZ-40RAS <暖房時> 高静圧



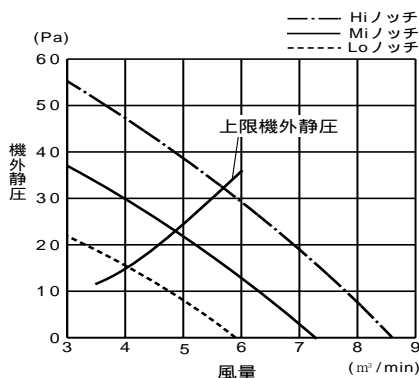
MBZ-50RAS <冷房時>



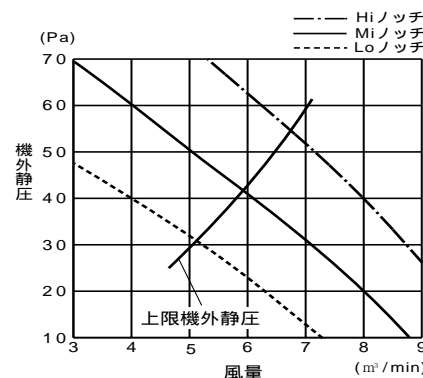
MBZ-50RAS <冷房時> 高静圧



MBZ-50RAS <暖房時>



MBZ-50RAS <暖房時> 高静圧

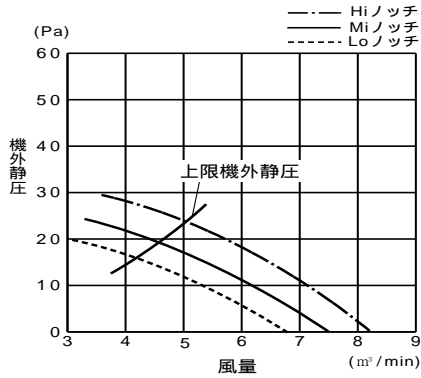


<フリービルトイン 下吸込パネル・キャンバスダクトなし①> MAC-530UP,MAC-514FC 付

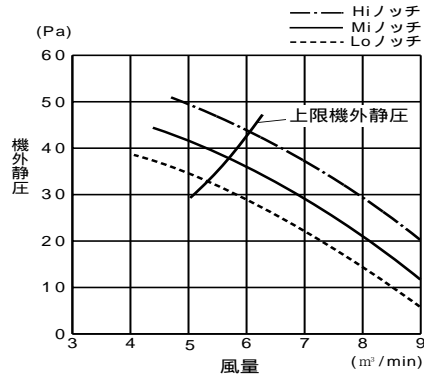
上限機外静圧は、下記に示すフレキシブルダクト仕様制限の時です。

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

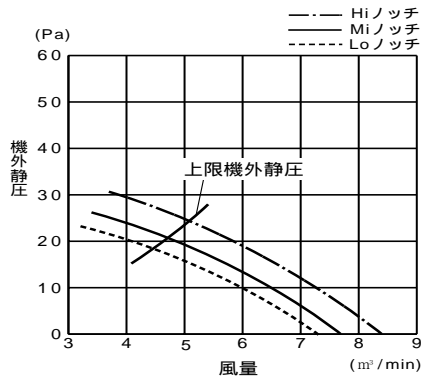
MBZ-28RAS <冷房時>



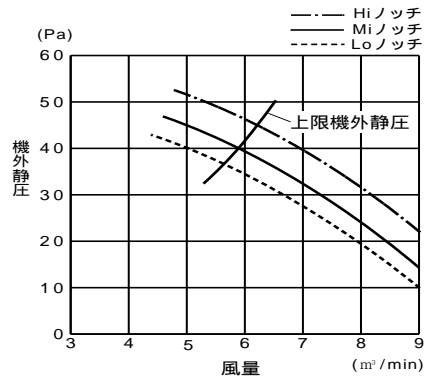
MBZ-28RAS <冷房時> 高静圧



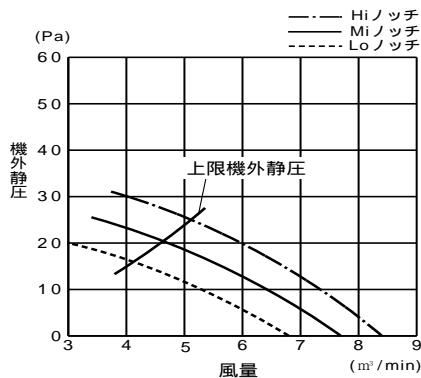
MBZ-28RAS <暖房時>



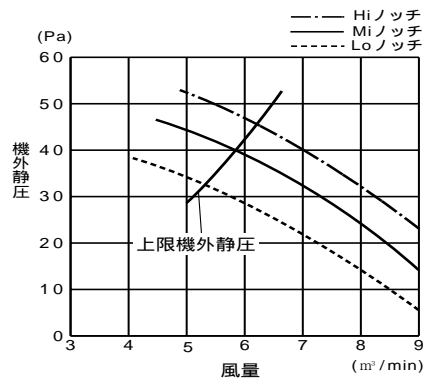
MBZ-28RAS <暖房時> 高静圧



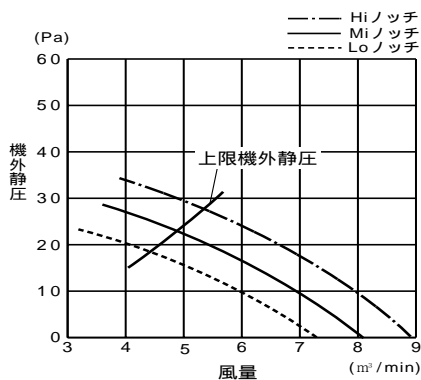
MBZ-36RAS <冷房時>



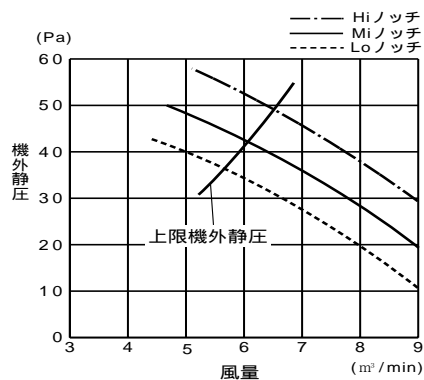
MBZ-36RAS <冷房時> 高静圧



MBZ-36RAS <暖房時>



MBZ-36RAS <暖房時> 高静圧

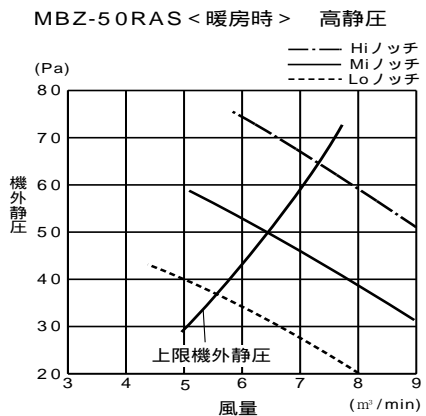
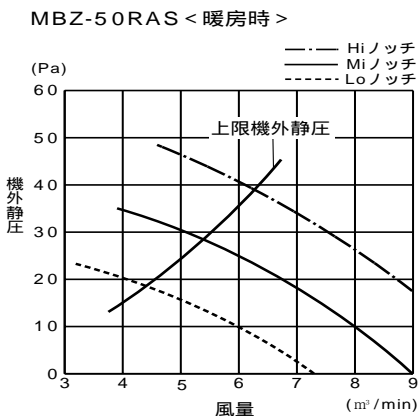
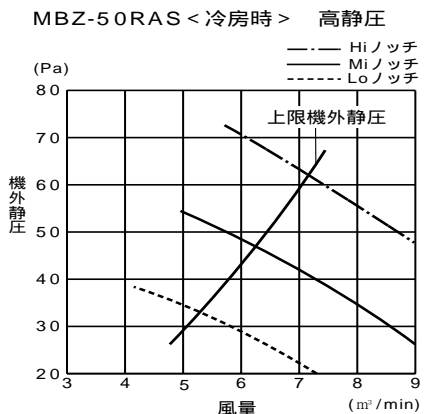
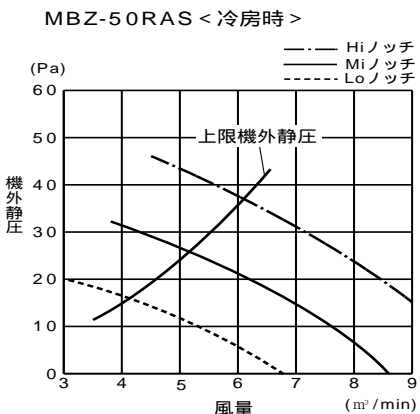
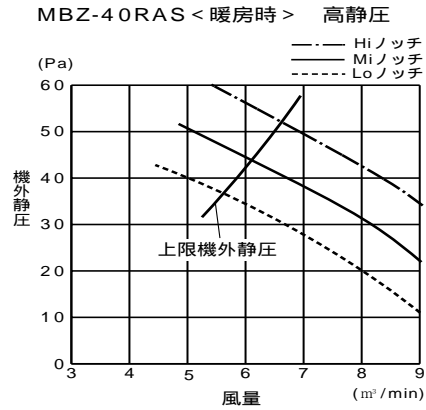
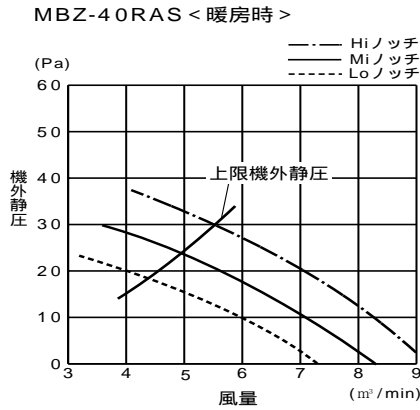
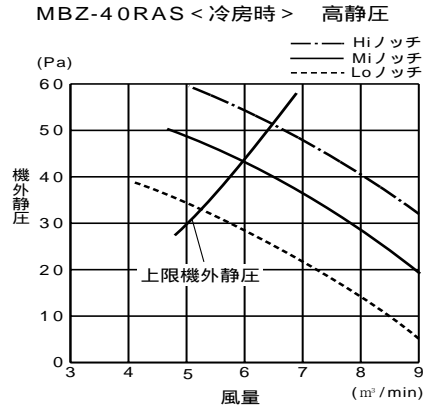
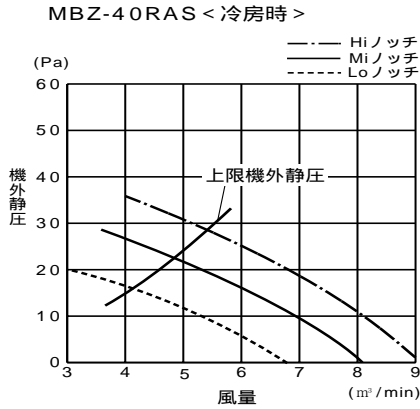




<フリービルトイン 下吸込パネル・キャンパスダクトなし②> MAC-530UP,MAC-514FC 付

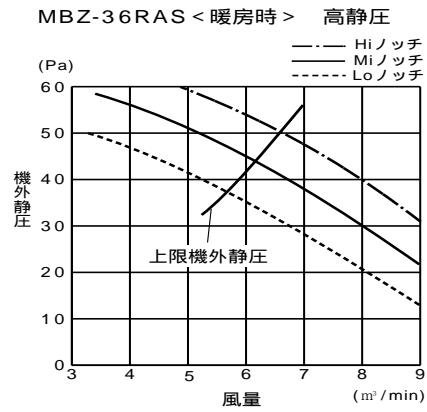
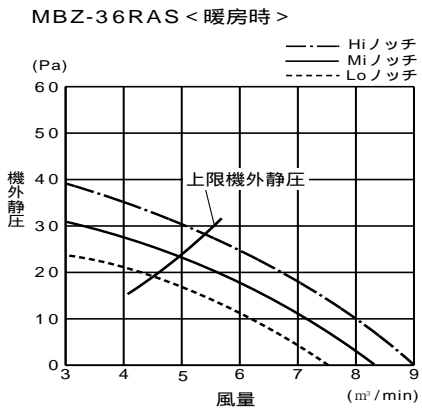
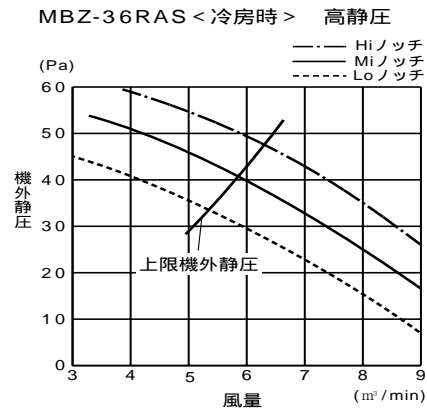
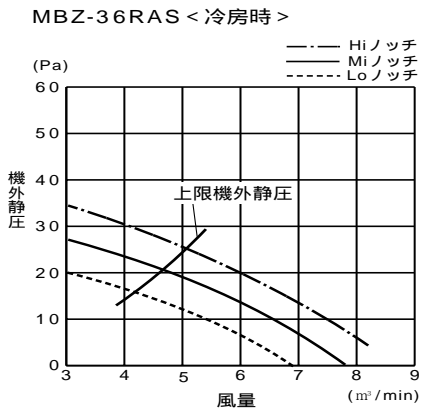
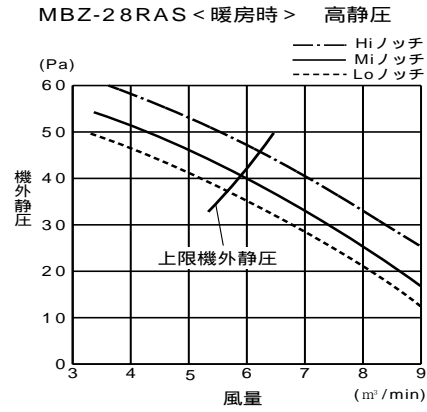
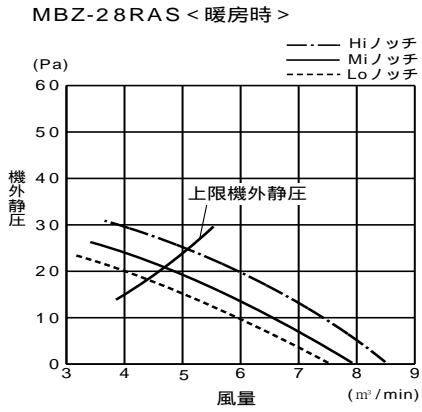
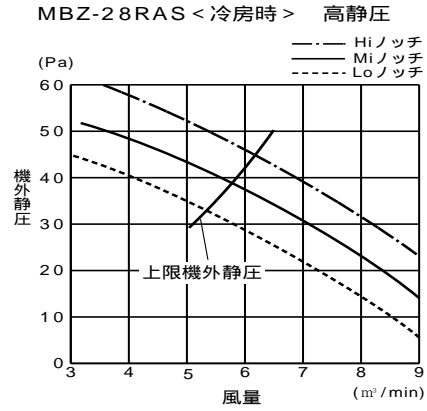
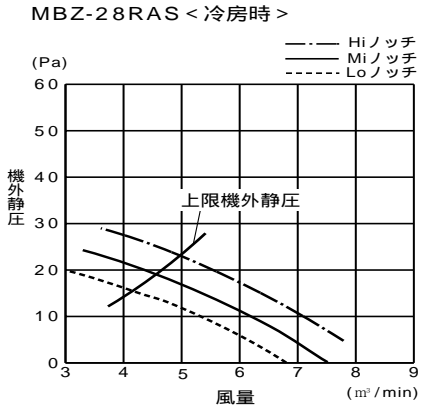
上限機外静圧は、下記に示すフレキシブルダクト仕様制限の時です。

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所



<フリービルトイン 下吸込パネル・キャンバスダクトあり①> MAC-530UP,MAC-508CD,MAC-514FC 付  
 上限機外静圧は、下記に示すフレキシブルダクト仕様制限の時です。

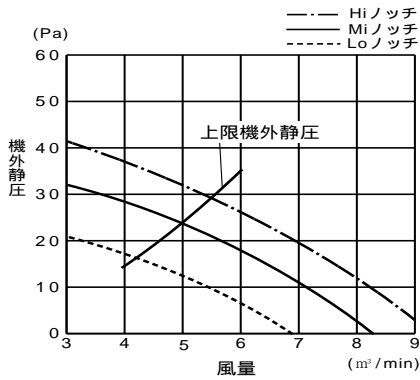
	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所



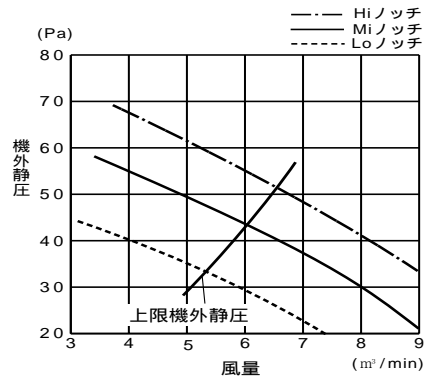
<フリービルトイン 下吸込パネル・キャンパスダクトあり②> MAC-530UP,MAC-508CD,MAC-514FC 付  
 上限機外静圧は、下記に示すフレキシブルダクト仕様制限の時です。

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

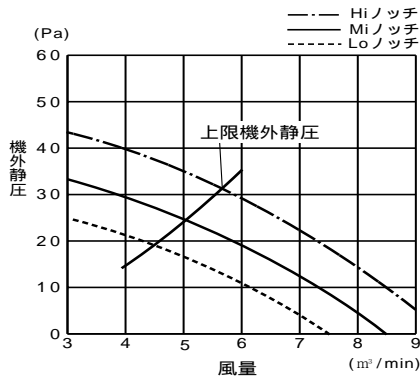
MBZ-40RAS <冷房時>



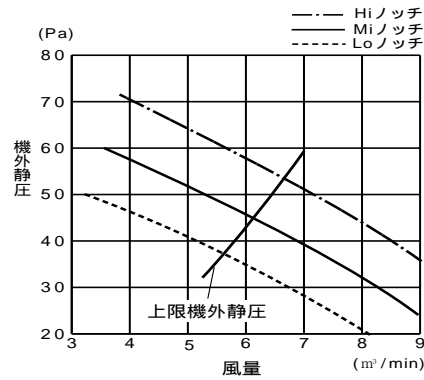
MBZ-40RAS <冷房時> 高静圧



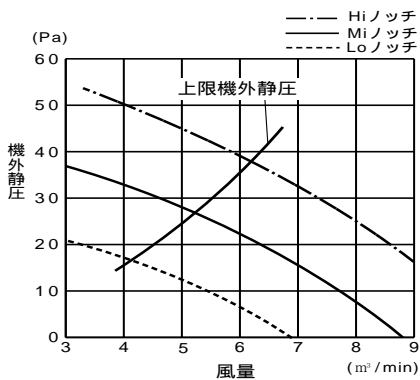
MBZ-40RAS <暖房時>



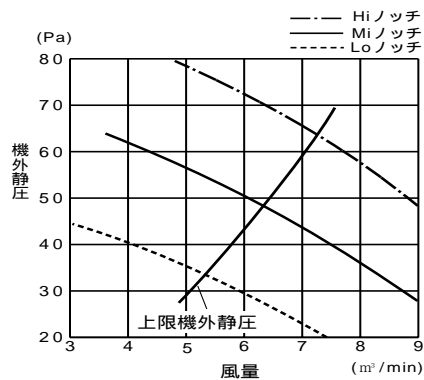
MBZ-40RAS <暖房時> 高静圧



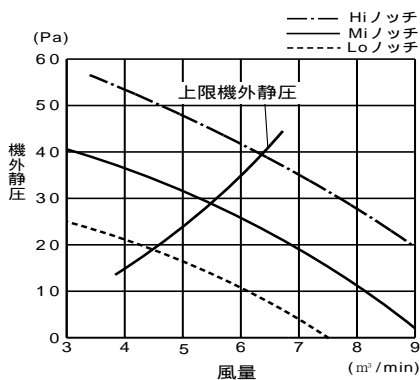
MBZ-50RAS <冷房時>



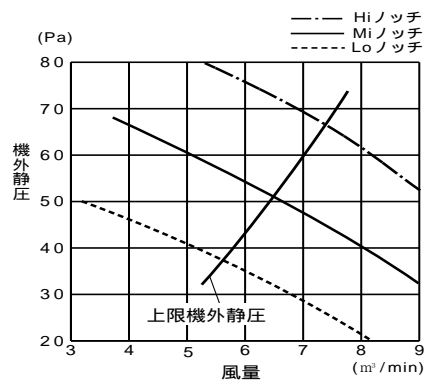
MBZ-50RAS <冷房時> 高静圧



MBZ-50RAS <暖房時>

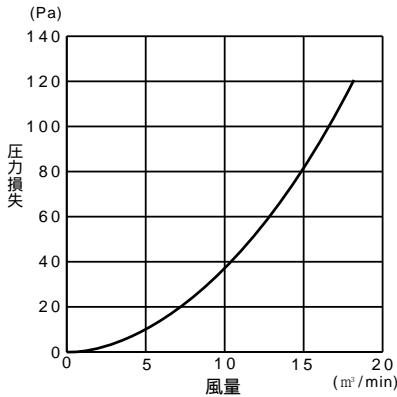


MBZ-50RAS <暖房時> 高静圧

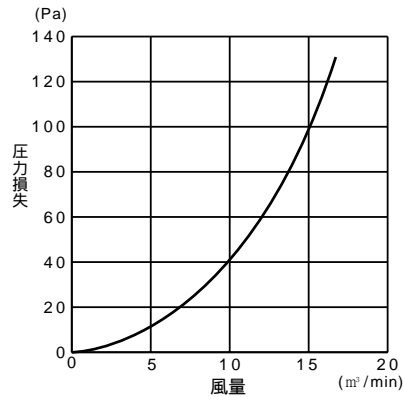


(2) 圧力損失

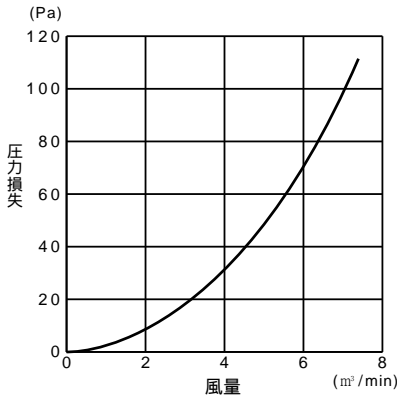
ダクト吸込ボックス(MAC-501SB)+  
ダクト吸込グリル(MAC-511SG/512SG)



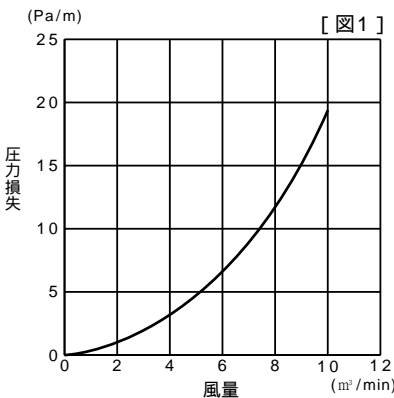
ダクト大吹出ボックス(MAC-517FB)+  
ダクト大吹出グリル(MAC-518FG/519FG)



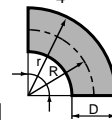
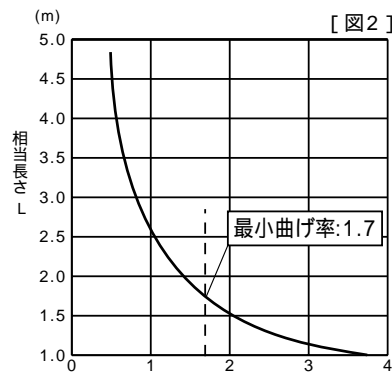
ダクト小吹出ボックス(MAC-520FB)+  
ダクト小吹出グリル(MAC-521FG/522FG)



フレキシブルダクト(φ150,1m)(MAC-515FD)  
<直管部の圧力損失>



<90°曲り部の直管相当長さ>



曲げ率  $\frac{R}{D}$  (1.7以上)

°の場合の相当長さ

$$L \times \frac{\theta}{90}$$

最小曲げ半径  $R=D \times \text{最小曲げ率}$

$$R=150 \times 1.7=255(\text{mm})$$

【圧力損失の計算例】

φ150mm、全長5mのダクトに風量 8 m³/minで送風する時の圧力損失は？  
但し、途中にR=255mmの90°曲げ、R=300mmの45°曲げが各1箇所ある。

①. 曲げ部の直管相当長さを求める。

90°曲げ部の場合  $R/D=255/150=1.7$

図2より、L=1.7(m)が求められる。

曲げ部の実長は、

$$2 R \times 90/360=2 \times 0.255 \times 90/360 \quad 0.4(\text{m})$$

45°曲げ部の場合  $R/D=300/150=2.0$

図2より、L=1.5(m)が求められる。

曲げ部の実長は、

$$2 R \times 90/360=2 \times 0.3 \times 45/360 \quad 0.24(\text{m})$$

②. ダクト全体の直管相当長さを計算する。

$$5 - (0.4+0.24)+(1.7+1.0)=7.06(\text{m})$$

③. 図1より圧力損失(1mあたり)を読み取る。

風量 8 m³/minの場合の

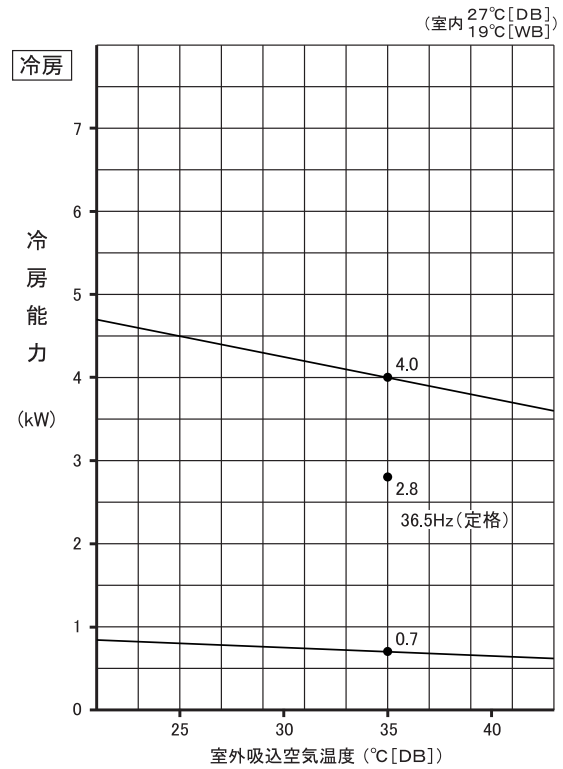
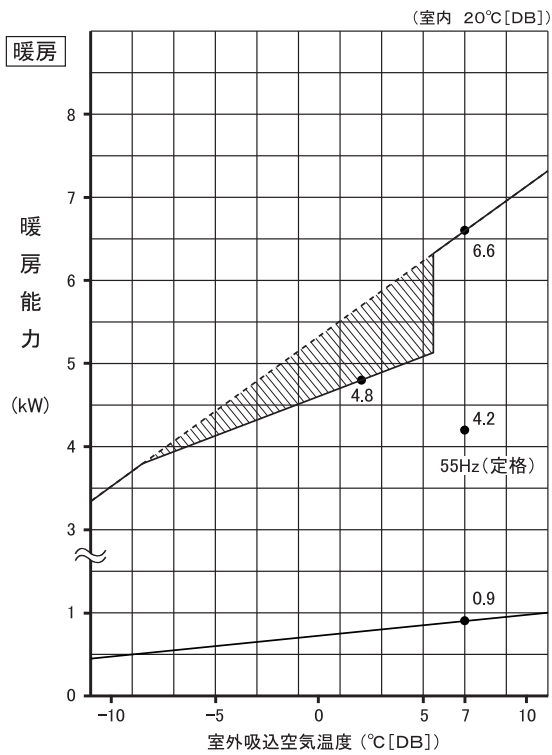
圧力損失は、12(Pa/m)

④. 圧力損失の計算

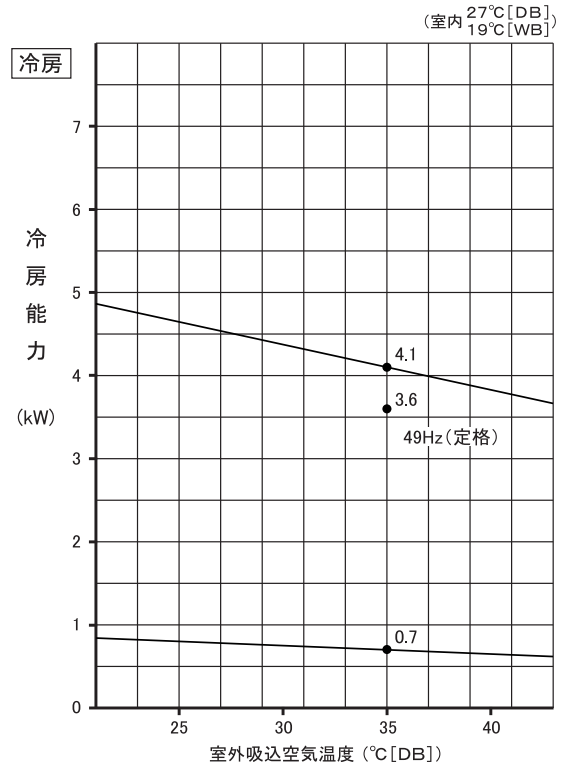
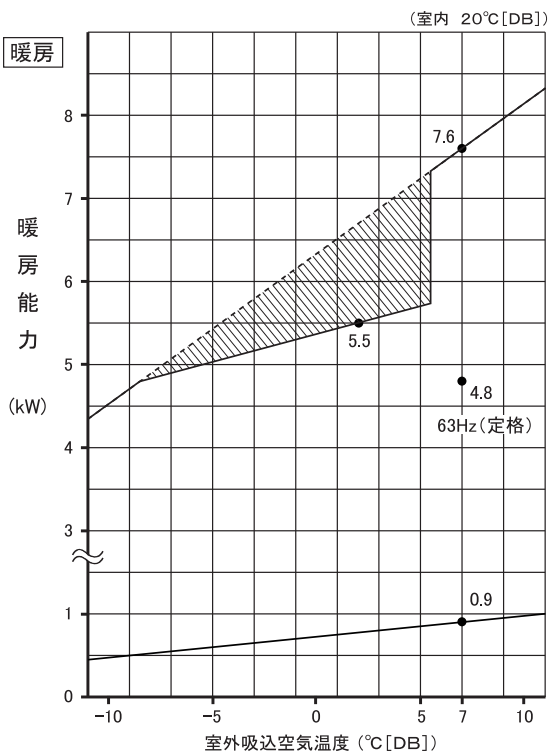
$$12 \times 7.06 \quad \underline{84.7(\text{Pa})}$$

# 能力曲線図

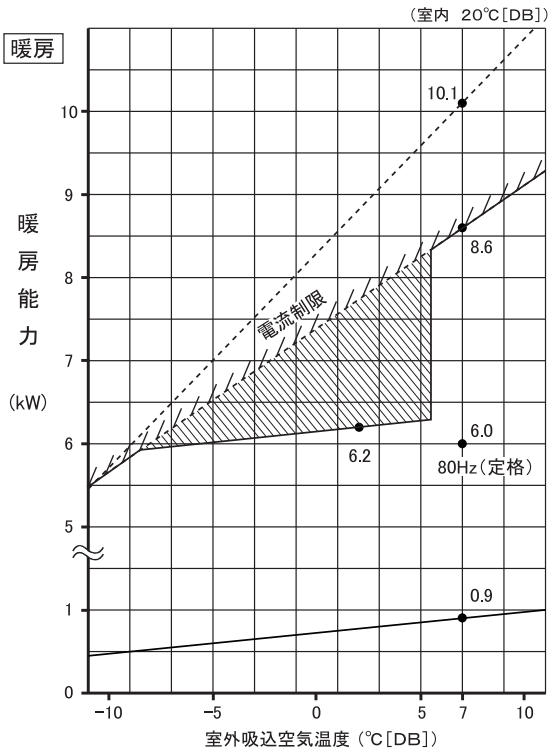
## ●MBZ-28RAS



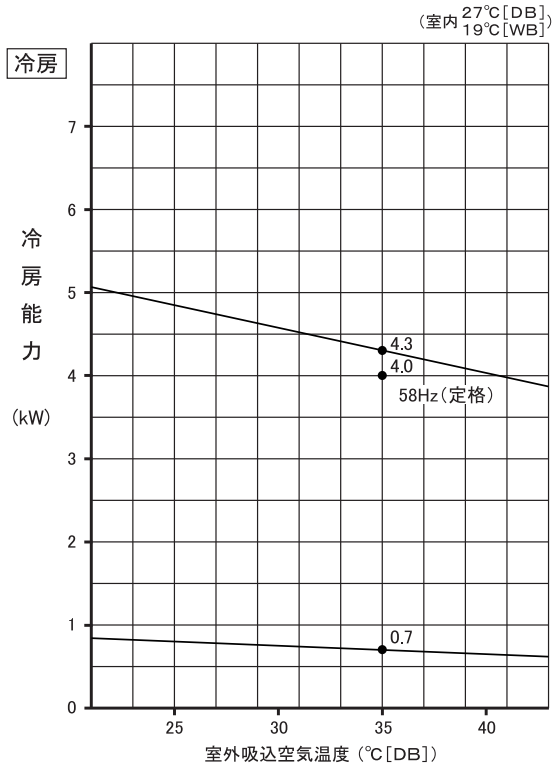
## ●MBZ-36RAS



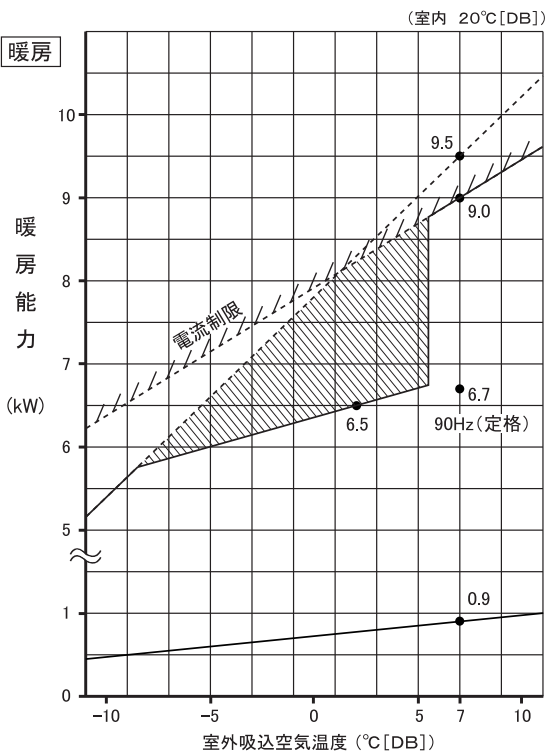
●MBZ-40RAS



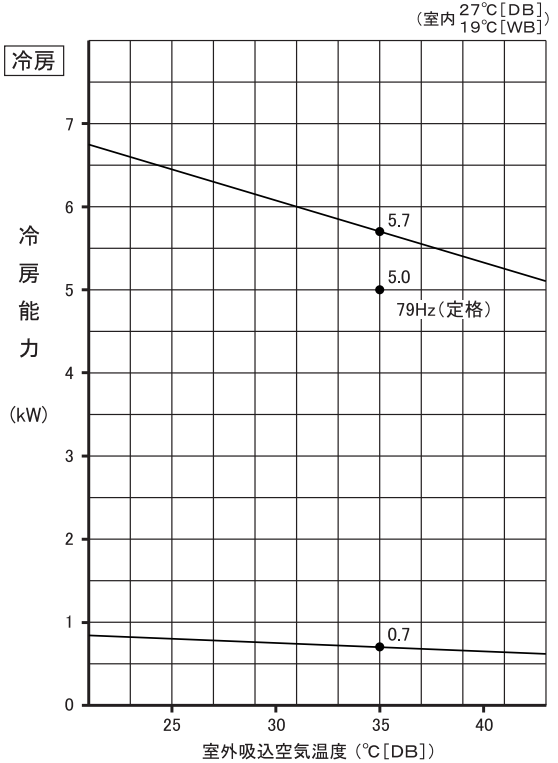
注. は、霜取運転による暖房能力低下分を示します



●MBZ-50RAS



注. は、霜取運転による暖房能力低下分を示します



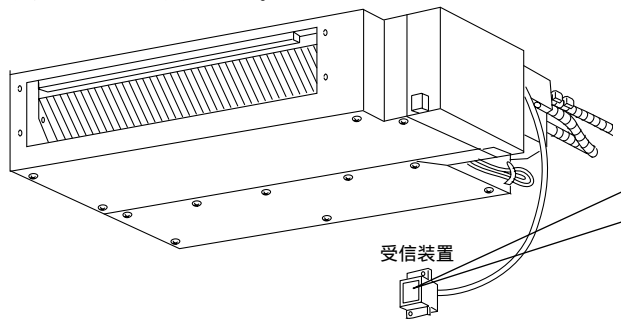
# 故障診断

## < 概要 >

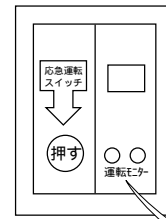
本ユニットは、故障診断機能を搭載しており、運転中に不具合が生じた時、室内ユニットの場合、運転モニターランプが点滅します。また室外ユニットの場合、基板上的LEDが点灯あるいは点滅します。

### (1)室内ユニット

- MBZ-28RAS
- MBZ-36RAS
- MBZ-40RAS
- MBZ-50RAS



受信装置拡大図



運転モニター  
● ○  
点滅します

運転モニターランプの点滅により故障箇所を推測する機能です。  
正常時、運転モニターランプ(左)は点灯しています。

8回、10～12回点滅はありません。

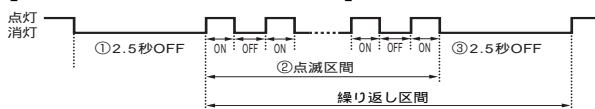
No.	現象	運転モニターランプ(左)	故障モード	検出方法
1	室内機 室外機 運転せず	0.5秒ごとに連続して点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○	誤配線異常 または シリアル 信号異常停止	運転中に室外機への信号を送信してから最大6分間、室外機からの信号を受信できなかった時。
2	室外機 運転せず	運転モニターランプ点灯 ●	室外制御系 異常停止	インバータ制御基板の不揮発性メモリデータが正常に読み込めない時。
3	室内 室外 機 運 転 せ ず	2回点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○ 2.5秒消灯	室内サーミスタ 系異常停止	主管温サーミスタ・補助管温サーミスタ、室温サーミスタのいずれかがショートまたはオープンした時。
4		3回点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○ 2.5秒消灯	室内ファン モータ異常 停止	室内ファンモータの回転速度フィードバック信号を検出することができなかった時。
5		4回点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○ 2.5秒消灯	室内制御系 異常停止	室内制御基板の不揮発性メモリデータが正常に読み込めない時。
6		5回点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○ 2.5秒消灯	室外パワ ー系異常 停止	圧縮機起動開始から1分以内の過電流保護停止が連続3回発生した時。または、圧縮機起動開始から1分以内の起動失敗保護停止が連続3回発生した時。
7		6回点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○ 2.5秒消灯	室外サーミ スタ系異常 停止	圧縮機運転中にサーミスタがショートまたはオープンした時。
8		7回点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○ 2.5秒消灯	室外制御系 異常停止	インバータ制御基板の不揮発性メモリデータが正常に読み込めない時。
9		9回点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○ 2.5秒消灯	ドレン異常 停止	・フロートセンサーがオープン ・フロートセンサーが異常水位を検知
10		13回点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○ 2.5秒消灯	異電源投入 停止	電源電圧が100Vの時。
11		14回点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○ 2.5秒消灯	その他の 室外異常	上記以外の室外異常を検知している。

注: 室内機が運転を開始して上記の異常を検出した場合(電源入後、最初に検出)、室内制御基板が室内ファンモータを停止し、運転ランプが点滅します。

No.	現象	運転モニターランプ(右)	故障モード	検出方法
12	室内機 室外機 運転せず	全てのランプが同時に連続点滅 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○	運転モード設定 (室外機がシステム マルチ室外ユニット の場合のみ)	それぞれの室内機が異なる冷房(除湿含む)、暖房設定を同時に行った場合、最初に運転した室内機の設定が優先されます。

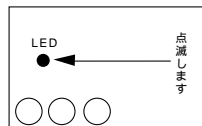
注: 室内機が運転を開始して上記の異常を検出した場合(電源入後、最初に検出)、室内制御基板が室内ファンモータを停止し、運転ランプが点滅します。

### [ 連続点滅以外の点滅パターン ]



(2)室外ユニット  
MUBZ-28RAS  
MUBZ-36RAS  
MUBZ-40RAS  
MUBZ-50RAS

インバータ制御基板



- 注1.LEDの位置は右図に表示します。  
2.正常時はLEDが常に点灯しています。  
3.LEDを直視できない場合がありますので、  
右図で示すLED実装信号近傍を注視し、ご確認ください。

No	現象	LEDの表示	故障モード	検出方法
1	室外機運転せず	1回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○	室外パワー系異常停止	圧縮機起動から1分以内の過電流保護停止が連続3回発生または圧縮機の起動失敗保護停止が連続3回発生した場合。
2		●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 0.5秒 2.5秒 消灯	室外サーミスタ異常停止	圧縮機運転中にサーミスタがショートまたはオープンした場合、圧縮機を停止する。
3		●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○	室外制御系異常停止	不揮発性メモリのデータが正常に読み込めない場合に停止する。 (室内運転ランプ7回点滅の場合と点灯の場合があります。)
4		●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	シリアル信号異常停止	室内機と3分間正常に通信ができない場合、シリアル通信異常とする。
5		●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	異電圧印加異常	200V機種に100V電源が接続された場合、室外ユニットは運転しない。
6		●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	室外系異常	室外異常(その他)
7	「室外機が運転停止し、3分経過後再運転する」を繰り返す	2回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	過電流保護停止	パワーモジュール(IPM)に約16.8Aの電流が流れた場合、圧縮機の運転を停止し3分後再起動する。
8		3回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	吐出温過昇保護停止	吐出温サーミスタの検出温度が116 以上になった場合に圧縮機の運転を停止し、3分後再起動する。(復帰は吐出温サーミスタの温度が100 以下になった場合)
9		4回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	フィン温/基板温サーミスタ過昇保護停止	インバータヒートシンク上のサーミスタ温度が82 以上になった場合、または基板温サーミスタの温度が84 以上になった場合。
10		5回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	高圧過昇保護停止	暖房の場合は室内機の冷媒配管の温度が70 以上になった場合、冷房の場合は霜取りサーミスタの温度が70 以上になった場合。
11		8回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	圧縮機同期異常停止	圧縮機電流の歪み量により検出する。
12		10回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	室外ファン保護停止	ファン起動30秒以内のファン異常停止が連続3回発生した場合。
13		12回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	圧縮機相電流保護停止	圧縮機の相電流が正常に検出できない場合。
14		13回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	母線電圧検出保護停止	インバータ回路の直流電圧が正常に検出されない場合。
15		1回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 0.5秒 2.5秒 消灯	電流保護周波数低下	電源電流が約15Aを越えた場合、圧縮機周波数を下げる。
16		3回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	高圧保護周波数低下 冷房霜取り周波数低下	暖房運転時に冷媒配管の温度が55 を越えた場合、圧縮機の運転周波数を下げる。 冷房運転時に管温サーミスタの温度が8 以下になった場合に圧縮機の運転周波数を下げる。
17	室外機は運転する	4回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	吐出温度保護周波数低下	吐出サーミスタの温度が111 を越えた場合、圧縮機の運転周波数を下げる。
18		7回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	吐出温低下保護	低吐出温状態50 以下が20分続いた場合。
19		8回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	PAM保護停止	IGBTに過電流が流れた場合または、母線電圧が320V以上に上昇した場合、PAM動作を停止し、再起動する。
20	9回点滅 ●○○○○○●○○○○○●○○○○○●○○○○○ 2.5秒 消灯	インバータチェックモード	圧縮機接続コネクタがはずれている場合、インバータチェックモードに入ります。	



# フリービルトインタイプ 設計・施工用資料集(総集編)

本資料集掲載商品の価格には、配送・設置調整費・パイプ・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。エアコンを廃棄する場合は家電リサイクル法に基づく収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料)が必要になります。